IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734
インストールとサービスのガイド

IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734
インストールとサービスのガイド

お願い

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、 377 ページの『特記事項』に記載されている一般情報、「*保証情報*」資料、IBM *Documentation* CD に収録されている「*IBM Safety Information*」および「*Environmental Notices and User Guide*」の各資料をお読みください。

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

本製品およびオプションに電源コード・セットが付属する場合は、それぞれ専用のものになっていますので他の電気機器には使用しないでください。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： IBM Flex System Manager Types 7955, 8731, and 8734
Installation and Service Guide

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

第1版第1刷 2012.6

© Copyright IBM Corporation 2011.

目次

安全について v
トレーニングを受けたサービス技術員向けのガイドライン vi
安全点検ガイド vi
電気機器の保守のためのガイドライン vii
安全に関する注意書き viii

第 1 章 概要 1
関連資料 2
IBM Documentation CD 4
ハードウェアとソフトウェアの要件 4
Documentation Browser の使用 4
本書で使用する注記 5
管理ノードの仕様 6
管理ノードの主要コンポーネント 7
電源、コントロール、およびインディケーター . . . 8
管理ノードのコントロール、コネクター、および LED 8
管理ノードの電源オン 11
管理ノードの電源オフ 11
システム・ボード・コネクター 12

第 2 章 IBM Flex System 管理ノードの概要 13
管理対象リソース 13
IBM Flex System 環境のシャーシ・マネージメント・モジュール (CMM) 14
IBM Flex System 環境の X-Architecture コンピュート・ノード 14
IBM Flex System 環境の Power Systems コンピュート・ノード 15

第 3 章 管理ノードのトラブルシューティング 17
Service Bulletin 17
診断ツール 17
Light Path 診断 17
エラー・メッセージ 21
IBM Dynamic System Analysis Preboot 診断プログラム 23
ハードウェア・エラー・メッセージ 25
IMM メッセージ 26
UEFI 診断コード 275
DSA メッセージ 293
管理ノードのトラブルシューティング 295
接続の問題 295
ハード・ディスクの問題 296
再現性の低い問題 297
断続的な接続の問題 299
メモリーの問題 299
目視で確認できる問題 300
パフォーマンスの問題 302
電源オン問題 302
未解決問題 305

第 4 章 コンポーネントの取り付け、取り外し、および交換 307
取り付けのガイドライン 307
システムの信頼性に関するガイドライン . . . 308
静電気の影響を受けやすい部品の取り扱い . . . 308
装置またはコンポーネントの返却 309
シャーシからの IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 の取り外し 309
シャーシへの管理ノードの取り付け 311
管理ノードを取り外した後のシャーシ・マネージメント・モジュール (CMM) のリカバリー 312
消耗部品および構造部品の取り外しと交換 313
シャーシ・バルクヘッドの取り外し 313
シャーシ・バルクヘッドの取り付け 315
前面ハンドルの取り外し 316
前面ハンドルの取り付け 316
管理ノード・カバーの取り外し 317
管理ノード・カバーの取り付け 318
ホット・スワップ・ストレージ・ケージの取り外し 319
ホット・スワップ・ストレージ・ケージの取り付け 321
ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブの取り外し 322
ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブの取り付け 323
Tier 1 CRU (お客様による交換が可能な部品) の取り外しと交換 323
アダプター保持アセンブリーの取り外し . . . 323
アダプター保持アセンブリーの取り付け . . . 325
ベゼルの取り外し 326
ベゼルの取り付け 327
バッテリーの取り外し 328
バッテリーの取り付け 329
DIMM の取り外し 331
DIMM の取り付け 332
ファブリック・コネクターの取り外し 337
ファブリック・コネクターの取り付け 338
ホット・スワップ・ストレージ・バックプレーンの取り外し 340
ホット・スワップ・ストレージ・バックプレーンの取り付け 341
ホット・スワップ・ストレージ・ドライブの取り外し 342
ホット・スワップ・ストレージ・ドライブの取り付け 343

© Copyright IBM Corp. 2011

ソリッド・ステート・ドライブの取り外し. . . 344
ソリッド・ステート・ドライブの取り付け. . . 344
Tier 2 CRU (お客様による交換が可能な部品) の取り外しと交換 345
ETE アダプターの取り外し. 346
ETE アダプターの取り付け. 347
I/O 拡張アダプターの取り外し 348
I/O 拡張アダプターの取り付け 349
マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し 351
マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り付け 354
マイクロプロセッサー保持アセンブリーの取り外し 359
マイクロプロセッサー保持アセンブリーの取り付け 361
システム・ボード・アセンブリーの取り外し . . 362
システム・ボード・アセンブリーの取り付け . . 364
熱伝導グリース. 366

第 5 章 部品リスト - IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 369

付録. ヘルプおよび技術サポートの入手 373
依頼する前に 373
資料の使用 374
ヘルプおよび情報を WWW から入手する. . . . 374
ソフトウェアのサービスとサポート. 374
ハードウェアのサービスとサポート. 375

特記事項. 377
商標 377
重要事項 378
サーバーの廃棄・譲渡時のハード・ディスク上のデータ消去に関するご注意. 379
粒子汚染 379
通信規制の注記. 380
電波障害自主規制特記事項 381
Federal Communications Commission (FCC) statement 381
Industry Canada Class A emission compliance statement 381
Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada. 381
Australia and New Zealand Class A statement . . 381
European Union EMC Directive conformance statement 381
Germany Class A statement 382
VCCI クラス A 情報技術装置. 383
電子情報技術産業協会 (JEITA) 表示. 383
Korea Communications Commission (KCC) statement 383
Russia Electromagnetic Interference (EMI) Class A statement 384
People's Republic of China Class A electronic emission statement 384
Taiwan Class A compliance statement. 384

索引 385

安全について

Before installing this product, read the Safety Information.

قبل تركيب هذا المنتج، يجب قراءة الملاحظات الآمنية

Antes de instalar este produto, leia as Informações de Segurança.

在安装本产品之前，请仔细阅读 Safety Information
(安全信息)。

安裝本產品之前，請先閱讀「安全資訊」。

Prije instalacije ovog produkta obavezno pročitajte Sigurnosne Upute.

Před instalací tohoto produktu si přečtěte příručku bezpečnostních instrukcí.

Læs sikkerhedsforskrifterne, før du installerer dette produkt.

Lees voordat u dit product installeert eerst de veiligheidsvoorschriften.

Ennen kuin asennat tämän tuotteen, lue turvaohjeet kohdasta Safety Information.

Avant d'installer ce produit, lisez les consignes de sécurité.

Vor der Installation dieses Produkts die Sicherheitshinweise lesen.

Πριν εγκαταστήσετε το προϊόν αυτό, διαβάστε τις πληροφορίες ασφάλειας
(safety information).

לפני שתתקינו מוצר זה, קראו את הוראות הבטיחות.

A termék telepítése előtt olvassa el a Biztonsági előírásokat!

Prima di installare questo prodotto, leggere le Informazioni sulla Sicurezza.

製品の設置の前に、安全情報をお読みください。

본 제품을 설치하기 전에 안전 정보를 읽으십시오.

© Copyright IBM Corp. 2011

Пред да се инсталира овој продукт, прочитајте информацијата за безбедност.

Les sikkerhetsinformasjonen (Safety Information) før du installerer dette produktet.

Przed zainstalowaniem tego produktu, należy zapoznać się
z książką "Informacje dotyczące bezpieczeństwa" (Safety Information).

Antes de instalar este produto, leia as Informações sobre Segurança.

Перед установкой продукта прочтите инструкции по
технике безопасности.

Pred inštaláciou tohto zariadenia si pečítaje Bezpečnostné predpisy.

Pred namestitvijo tega proizvoda preberite Varnostne informacije.

Antes de instalar este producto, lea la información de seguridad.

Läs säkerhetsinformationen innan du installerar den här produkten.

トレーニングを受けたサービス技術員向けのガイドライン

このセクションには、トレーニングを受けたサービス技術員のための情報を示します。

安全点検ガイド

この情報は、ご使用の IBM® 製品の保守を行う場合に、潜在的に存在する危険な状況を見極めるために役立てていただくためのものです。

各 IBM 製品には、設計され組み立てられた時点で、ユーザーとサービス技術員を障害から保護するための安全項目が義務付けられています。このセクションの情報は、こうした項目のみに言及します。このセクションの対象とならない IBM 以外の代替製品の使用または IBM 以外の機構やオプション装置の接続により起こりうる潜在的な危険を識別するには、適切な判断を行う必要があります。危険な状況が存在する場合、その危険がどの程度深刻なものであるか、この問題を解決せずに製品に対する作業を続行できるかどうかについて判断する必要があります。

次のような状況とそれがもたらす危険について検討します。

- 電気的な危険。特に、1 次側電源。 フレームの 1 次電圧が、重大または致命的な感電事故の原因になる場合があります。
- 爆発の危険。例えば、損傷を受けた CRT 表面またはコンデンサーの膨らみ。
- 機械的な危険。例えば、ハードウェアのゆるみまたは脱落。

製品を点検して潜在的に危険な状態の有無を調べるには、以下のステップを実行してください。

1. 電源がオフになっていて、電源コードが切り離されていることを確認します。

2. 外部カバーに損傷、ゆるみ、または切れ目がないことを確認し、鋭くとがった箇所の有無を調べます。
3. 以下について電源コードをチェックします。
   - 接地線を含む 3 線式の電源コードのコネクターが良好な状態であるかどうか。3 線式接地線の導通が、外部接地ピンとフレーム・アース間を計器で測定して、0.1 オーム以下であることを確認します。
   - 電源コードのタイプは正しい。
   - 絶縁体が擦り切れたり摩耗していないか。
4. カバーを取り外します。
5. 明らかに IBM によるものではない改造箇所をチェックします。IBM 以外の改造箇所の安全については適切な判断を行ってください。
6. 金属のやすりくず、汚れ、水やその他の液体、あるいは火災や煙による損傷の兆候など、明らかに危険な状況でないか、システムの内部をチェックします。
7. 磨耗したケーブル、擦り切れたケーブル、または何かではさまれているケーブルがないかをチェックします。
8. パワー・サプライ・カバーの留め金具 (ねじまたはリベット) が取り外されたり、不正な変更がされていないことを確認します。

電気機器の保守のためのガイドライン

電気機器を扱うときは、以下のガイドラインを遵守してください。

- 作業域に電気的危険がないかどうかをチェックしてください。こうした危険とは、例えば、濡れたフロア、接地されていない電源延長ケーブル、安全保護用のアースがないことなどです。
- 承認済みのツールおよびテスト装置を使用してください。工具の中には、握りや柄の部分のソフト・カバーが感電防止のための絶縁性を持たないものがあります。
- 安全な操作状態のために電気ハンド・ツールを規則的に検査および保守してください。磨耗したり破損したツールやテスターは使用しないでください。
- デンタル・ミラーの反射面で、通電中の電気回路に触れないでください。この表面は導電性があります。これで通電中の回路に触れると、人体の傷害や機械の損傷を起こす可能性があります。
- ゴム製のフロア・マットの中には、静電気の放電を減少させるために、小さい導電ファイバーを含むものがあります。このタイプのマットを感電の保護として使用しないでください。
- 危険な状態、または危険な電圧を持つ装置のそばで、1 人で作業しないでください。
- 電気事故が発生した場合に、すぐに電源をオフにできるよう、非常電源切断 (EPO) スイッチ、切断スイッチ、あるいは電源コンセントの場所を見つけておきます。
- 機械的な点検、電源近くでの作業、またはメイン・ユニットの取り外しや取り付けを行う前には、すべての電源を切り離してください。
- 機器での作業を開始する前に、電源コードを切り離しておきます。電源コードを抜けない場合は、この機器に電力を供給している配電盤の電源をオフにしてこの配電盤をオフにロックするように、お客さまに依頼してください。

- 電源と回路が切断されていることを前提にしないでください。電源が切り離されていることをチェックし確認してください。
- 電気回路がむき出しの機器で作業する必要がある場合、次の予防手段をとってください。
  - 必要に応じて、すぐに電源スイッチを切れるように、電源オフ制御機構を理解している別の人物に立ち会ってもらう。
  - 電源がオンになっている電気装置の作業を行う際は、片手のみを使用する。もう一方の手は、ポケットの中に入れておくか、背中に回しておきます。こうすることで、感電の原因となる完全な回路が形成されるのを防ぐことができます。
  - テスターを使用する際には、制御機構を正しくセットして、このテスター用に承認されたプローブ・リード線および付属品を使用する。
  - 適切なゴム製マットの上に立ち、床の金属部分や機器のフレームなどのアースと自分の身体とを絶縁する。
- 高電圧の測定時には、細心の注意を払ってください。
- パワー・サプライ、ポンプ、送風器、ファン、電動発電機などのコンポーネントの正しい接地状態を確保するために、これらのコンポーネントの保守はその通常の作動位置以外の場所では行わないでください。
- 電気的事故が発生した場合は、十分に用心し、電源をオフにして、別の人物に医療援助を求めに行かせてください。

安全に関する注意書き

以下では、本書に記載されている「注意」および「危険」に関する情報を説明します。

重要:

本書の「注意」と「危険」の各注意書きには番号が付いています。 この番号は、*Safety Information* 資料で、英語の Caution と Danger と対応する翻訳文の「注意」と「危険」を相互参照するのに使用します。

例えば、「Caution」の注意書きに数字の 1 が付いていた場合、「*Safety Information*」小冊子を見ればその注意書きに対応した 1 の翻訳文が見つかります。

この資料で述べられている手順を実施する前に「注意」と「危険」の注意書きをすべてお読みください。 もし、システムあるいはオプションに追加の安全情報がある場合はその装置の取り付けを開始する前にお読みください。

安全 1

危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- **雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の設置、保守、再構成を行わないでください。**
- **すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。**
- **ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線されたコンセントに接続してください。**
- **信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。**
- **火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。**
- **取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。**
- **ご使用の製品または接続された装置の取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の表の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。**

ケーブルの接続手順:	**ケーブルの切り離し手順:**
1. すべての電源をオフにします。	1. すべての電源をオフにします。
2. 最初に、すべてのケーブルを装置に接続します。	2. 最初に、電源コードをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクターに接続します。	3. 信号ケーブルをコネクターから取り外します。
4. 電源コードを電源コンセントに接続します。	4. すべてのケーブルを装置から取り外します。
5. 装置の電源をオンにします。	

安全 2

注意:
リチウム・バッテリーを交換する場合は、IBM 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- **水に投げ込む、あるいは浸す**
- **100℃ (華氏 212 度) を超える過熱**
- **修理または分解**

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

安全 3

注意:
レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー装置、または送信機など) を取り付ける場合には以下のことに注意してください。

- **カバーを外さないこと。カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。この装置の内部には保守が可能な部品はありません。**
- **本書に記述されていないコントロールや調整を使用したり、本書に記述されていない手順を実行すると、有害な光線を浴びることがあります。**

危険

一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。次のことに注意してください。

カバーを開くとレーザー光線の照射があります。光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。

クラス1 レーザー製品
Laser Klasse 1
Laser Klass 1
Luokan 1 Laserlaite
Appareil A Laser de Classe 1

安全 4

≥ 18 kg (39.7 lb)

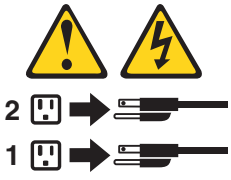
≥ 32 kg (70.5 lb)

≥ 55 kg (121.2 lb)

注意:
装置を持ち上げる場合には、安全に持ち上げる方法に従ってください。

安全に関する注記 5

注意:
装置の電源制御ボタンおよび電源機構の電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには、給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 6

注意:
もし電源コードを装置側でストレイン・リリーフ・ブラケットで固定した場合は、電源コードの給電部側はいつでも容易にアクセスできるようにしておく必要があります。

安全 7

注意:
もし装置にドアがついている場合は、けがを避けるため装置を移動したり持ち上げたりするときはドアを取り外すか固定してください。 ドアは装置の重みを支えるようには作られていません。

安全 8

注意:
電源機構 (パワー・サプライ) のカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。

このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

安全 9

注意:
けがを避けるため、ホット・スワップ・ファンを装置から取り外す場合はファンのケーブルを先に外してください。

安全 10

注意:
ラックに装着された装置の上には 82 kg を超えるものは置かないでください。

>82 kg (180 lb)

安全 11

注意:
このラベルが貼られている近くには鋭利な先端の部品やジョイントが存在します。

安全 12

注意:
このラベルが貼られている近くには高温になる部品が存在します。

安全 13

危険

分岐回路に過負荷がかかると発火や感電の危険性が生じます。このような危険を避けるためシステムが必要とする電源容量が電源回路の安全容量を超えないことを確認してください。 ご使用の装置の電気仕様は装置に付属のマニュアルに記載されています。

安全 14

注意:
危険な電圧、電流、電力が存在します。次のラベルが貼られている場所のカバーを外すことが許されるのは訓練を受けたサービス技術員だけです。

安全 15

注意:
ラックからサーバーを引き出してもラックが転倒しないようになっていることを確認してください。

安全 16

注意:
一部のアクセサリーやオプション・ボードの出力が Class 2 (制限電力限界値) を超えることがあります。このようなケースに使用する相互接続ケーブルは NEC (National Electric Code) に適合している必要があります。

安全 17

注意:
このラベルが貼られている近くには動く部品が存在します。

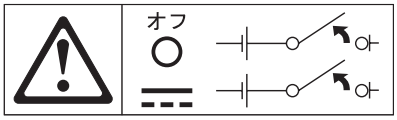
安全 18

注意:
感電、または危険なエネルギーにさらされるリスクを避けるため、次のようにしてください。

- **この装置は訓練を受けたサービス技術員によりアクセスが制限された (つまり、NEC および IEC 60950, Third Edition, The Standard for Safety of Information Technology Equipment の定義に適合している) 場所にのみ設置が許されます。**
- **装置は正しく接地された safety extra low voltage (SELV) 電源に接続してください。 SELV 電源とは、正常時、または単一の障害が発生してもその出力電圧が 60 VDC を超えないように設計された 2 次側の回路です。**
- **分岐回路の過電流保護の定格は最低 5 A、最高 15 A の範囲です。**
- **14 AWG (2.5 mm^2) の銅線のみを使用し、最長 3 メーターを超えないこと。**
- **配線端子ねじの締め付けトルクは 1.4 ニュートン・メーターです。**
- **フィールド配線には市販品で容量が十分な切断機を設置してください。**

安全 19

注意:
装置の電源制御ボタンは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには直流電源入力端子からすべての直流電源接続を切り離してください。



安全 20

注意:
けがを避けるため装置を持ち上げる前にすべてのブレード・サーバーを取り外してください。

安全 21

注意:
給電部にブレードを接続すると危険な電力が印加されます。ブレードを取り付ける前に必ずブレードにカバーを付けてください。

安全 22

注意:
感電、または危険なエネルギーにさらされるリスクを避けるため、次のようにしてください。

- この装置は訓練を受けたサービス技術員によりアクセスが制限された (つまり、NEC および IEC 60950, Third Edition, The Standard for Safety of Information Technology Equipment の定義に適合している) 場所にのみ設置が許されます。
- 装置は正しく接地された safety extra low voltage (SELV) 電源に接続してください。 SELV 電源とは、正常時、または単一の障害が発生してもその出力電圧が 60 VDC を超えないように設計された 2 次側の回路です。
- 分岐回路の過電流保護の定格は最低 13 A、最高 15 A の範囲です。
- 16 AWG (1.3 mm^2) の銅線のみを使用し、最長 3 メーターを超えないこと。
- 配線端子ねじの締め付けトルクは 1.4 ニュートン・メーターです。
- フィールド配線には市販品で容量が十分な切断機を設置してください。

安全 23

注意:
ラックに装着された装置の上には 50 kg を超えるものは置かないでください。

>50 kg (110 lb)

安全 24

注意:
感電、または危険なエネルギーにさらされるリスクを避けるため、次のようにしてください。

- **この装置は訓練を受けたサービス技術員によりアクセスが制限された (つまり、NEC および IEC 60950, Third Edition, The Standard for Safety of Information Technology Equipment の定義に適合している) 場所にのみ設置が許されます。**
- **装置は正しく接地された safety extra low voltage (SELV) 電源に接続してください。 SELV 電源とは、正常時、または単一の障害が発生してもその出力電圧が 60 VDC を超えないように設計された 2 次側の回路です。**
- **分岐回路の過電流保護の定格は最低 12 A、最高 15 A の範囲です。**
- **14 AWG (2.5 mm^2) の銅線のみを使用し、最長 3 メーターを超えないこと。**
- **配線端子ねじの締め付けトルクは 1.4 ニュートン・メーターです。**
- **フィールド配線には市販品で容量が十分な切断機を設置してください。**

安全 25

注意:
この製品には、クラス 1M のレーザーが含まれています。光学機器を直接覗き込まないでください。

安全 26

注意:
ラックに装着された装置の上には物を置かないでください。

安全 27

注意:
近くに動く部品が存在します。

安全 28

注意:
このバッテリーはリチウムイオン・バッテリーです。爆発を避けるために、バッテリーを焼却しないでください。バッテリーを交換する場合は、IBM 認可パーツだけを使用してください。バッテリーは、地域の条例で指示されたとおりにリサイクルまたは廃棄してください。米国では、IBM にはこのバッテリーを回収するプロセスがあります。詳しくは、1-800-426-4333 にお問い合わせください。お問い合わせの前に、このバッテリー・ユニットの IBM 部品番号をご用意ください。

安全 29

注意:
この装置は、DC 給電回路の接地導線と装置側の接地導線との接続が可能な設計になっています。この接続を行う場合は、以下の条件がすべて満たされている必要があります。

- **この装置が DC 供給システムの接地導線に直接接続されること、または DC 供給システムの接地導線が接続されている接地端子バーあるいはバスからの接合ジャンパーに直接接続されること。**
- **この装置が接続されているものと同一の DC 供給回路および接地線に接続されている他の装置が設置されている場所、および DC システムの接地点が設置された場所のすぐ近くのエリア (隣接したキャビネットなど) に、この装置が配置されること。DC システムは他の場所に接地されていないこと。**
- **DC 供給源はこの装置と同じ建物内に設置されていること。**
- **DC 供給源と接地極線の接続点とを結ぶ接地回線の途中に、切り替え機器または切断機器を設置しないこと。**

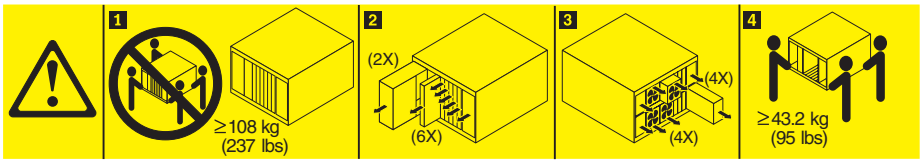
安全 30

注意:
感電、または危険なエネルギーにさらされるリスクを避けるため、次のようにしてください。

- **この装置は、訓練を受けたサービス技術員が、NEC および IEC 60950-1 First Edition, The Standard for Safety of Information Technology Equipment で定義されたアクセス制限のある場所に設置する必要があります。**
- **装置は正しく接地された safety extra low voltage (SELV) 電源に接続してください。 SELV 電源とは、正常時、または単一の障害が発生してもその出力電圧が 60 VDC を超えないように設計された 2 次側の回路です。**
- **分岐回路の過電流保護の定格は 20 A でなければなりません。**
- **12 AWG (2.5 mm^2) の銅線のみを使用し、最長 4.5 メートルを超えないこと。**
- **フィールド配線には市販品で容量が十分な切断機を設置してください。**

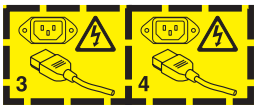
安全 32

注意:
けがを避けるため、装置を持ち上げる前に、すべてのブレード、パワー・サプライ、およびその他の取り外し可能モジュールを取り外して重量を軽くしてください。



安全 33

注意:
本製品には電源制御ボタンが装備されていません。ブレードをオフにしても、あるいは電源モジュールおよび I/O モジュールを取り外しても、製品に供給されている電流はオフになりません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには、給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 37

危険

ラック・キャビネットに装着する場合は、以下のガイドラインを順守してください。

- ラック・キャビネットのレベル・パッドは必ず下げてください。
- ラック・キャビネットには必ずスタビライザー・ブラケットを取り付けてください。
- 最も重い装置は、必ずラック・キャビネットの最下部に取り付けてください。
- ラック・マウント手順で指示されない限りは、複数の装置を同時にラック・キャビネットから引き出さないでください。複数の装置を保守位置に引き出すと、ラック・キャビネットが倒れる可能性があります。
- IBM 9308 ラック・キャビネットを使用していない場合は、ラック・キャビネットをしっかりと固定して確実に安定させてください。

ラック安全情報、安全 2

危険

- **ラック・キャビネットのレベル・パッドは必ず下げてください。**
- **ラック・キャビネットには必ずスタビライザー・ブラケットを取り付けてください。**
- **サーバーおよびオプション装置は、必ずラック・キャビネットの最下部から取り付けてください。**
- **最も重い装置は、必ずラック・キャビネットの最下部に取り付けてください。**

UL 規格情報

この装置は、リストされている IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ でのみ使用してください。

重要: 本製品は、どのような配電障害状態の下でも最大フェーズ間電圧が 240 V の IT 配電システムで使用することに適しています。

第 1 章 概要

IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 は、スケーラブルな高密度の管理ノードで、高性能環境や仮想化環境に理想的です。

IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734管理ノードは、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシでのみサポートされています。シャーシの最新情報については、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照してください。

本書には、IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 管理ノードのセットアップおよびトラブルシューティングに関する、以下のような情報が記載されています。

- 管理ノードの始動とセットアップ
- IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 上の IBM Flex System Manager 管理ソフトウェアの構成
- IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 上の IBM Flex System Manager 管理ソフトウェアを使用した IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ内のリソースの管理
- 問題の診断
- 障害が起きたコンポーネントの交換

重要: 本書には、IBM Flex System Manager ハードウェア、または管理ノードのトラブルシューティング情報が記載されています。 IBM Flex System Manager 管理ソフトウェアのトラブルシューティング情報については、「*IBM Flex System Manager 管理ソフトウェア Troubleshooting Guide*」を参照してください。

IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 には、ハードウェアの構成、デバイス・ドライバーのインストール、およびオペレーティング・システムのインストールに役立つソフトウェア CD が付属しています。

最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバーをダウンロードするには、http://www.ibm.com/systems/support/supportsite.wss/docdisplay?brandind=5000008&lndocid=MIGR-63017 にアクセスして「**IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734**」をクリックします。

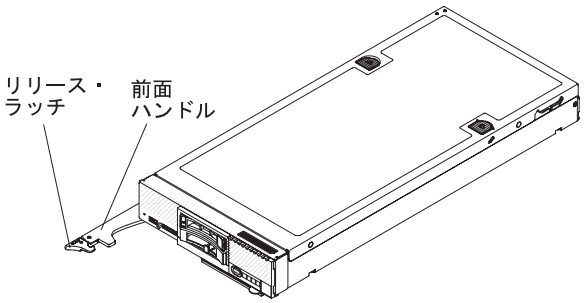
IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 には限定保証が付いています。保証の条件およびサービスと支援の利用については、ご使用の管理ノードの「*保証情報*」資料を参照してください。この資料は、IBM *Documentation* CD に収録されています。管理ノード の最新情報は、http://www.ibm.com/systems/bladecenter/で入手できます。

資料は、それらの機能に関する情報を記載するために時々更新されることがあります。資料には記載されていない追加情報を提供するための技術更新が利用可能になる場合もあります。

© Copyright IBM Corp. 2011

管理ノードに固有の情報更新を http://www.ibm.com/support/mynotifications/ で購読することができます。

型式番号およびシリアル番号は、管理ノードのベゼルの電源 LED の横にある ID ラベルに記載されています。また、これらの番号は管理ノードの側面のラベルにも記載されており、管理ノードが IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに取り付けられていないときに確認できます。



IBM Flex System エンタープライズ・シャーシには、ご使用の管理ノード用に空白のラベルが 1 セット付いています。管理ノードをシャーシに取り付ける際に、ラベルに管理ノードの識別情報を記入してください。そのラベルを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシのシャーシ・ベゼルに貼ります。ラベルの推奨位置については、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシの資料を参照してください。IBM Flex System エンタープライズ・シャーシの最新の資料については、http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/bladectr/documentation/topic/com.ibm.bladecenter.common.nav.doc/bc_chassis_welcome_page.html を参照してください。

重要: ラベルは、管理ノード自体、または管理ノードの通気孔をふさぐような場所に貼らないでください。

関連資料

以下の情報を使用して、関連資料を確認し、見つけることができます。

本書には、お客様自身でハードウェア障害を解決する上で役立つ情報など、IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 管理ノードに関する一般情報が記載されています。

重要: IBM Flex System Manager 管理ソフトウェアのログインおよび使用に関する情報については、IBM Flex System Manager インフォメーション・センター (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/index.jsp)、または以下のセクションにリストされている PDF 文書を参照してください。

IBM Flex System Manager 管理ソフトウェアの資料

本書のほかに、以下の資料も IBM Flex System Manager インフォメーション・センター (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/index.jsp) から入手できます。

- *IBM Flex System Manager システム管理ガイド*

- *IBM Flex System Manager Command Reference Guide*
- *IBM Flex System Manager Management Software Troubleshooting Guide*
- *IBM Flex System Manager サービスおよびサポート・マネージャー (電子サービス・エージェント)*
- *IBM Flex System Manager ネットワーク・コントロール*
- *IBM Flex System Manager VMControl*

IBM Flex System シャーシ・マネージメント・モジュールの資料

- *シャーシ・マネージメント・モジュール インストール・ガイド*

  この資料では、シャーシ・マネージメント・モジュールを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに取り付ける方法を説明しています。詳しくは、IBM Flex System シャーシ・マネージメント・モジュール インストール・ガイド (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.cmm.doc/dw1ku_cmm_ig_book.pdf)を参照してください。

- *シャーシ・マネージメント・モジュール Command-Line Interface リファレンス・ガイド*

  この資料では、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ管理機能に直接アクセスするために、シャーシ・マネージメント・モジュールのコマンド・ライン・インターフェース (CLI) を使用する方法について説明しています。詳しくは、IBM Flex System シャーシ・マネージメント・モジュール ユーザーズ・ガイド (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.cmm.doc/dw1kt_cmm_ug_pdf.pdf)を参照してください。

- *シャーシ・マネージメント・モジュールのイベント*

  インフォメーション・センター内のこのセクションには、装置固有ではないすべてのイベントおよび推奨処置について、イベント ID 順の完全なリストが記載されています。詳しくは、http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.8721.doc/cmm_error_messages.htmlを参照してください。

- *シャーシ・マネージメント・モジュール ユーザーズ・ガイド*

  この資料には、シャーシ・マネージメント・モジュールの構成、および IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに取り付けられたコンポーネントの管理に関する情報が記載されています。この資料では、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ管理機能に直接アクセスするために、シャーシ・マネージメント・モジュールのコマンド・ライン・インターフェース (CLI) を使用する方法について説明しています。詳しくは、IBM Flex System シャーシ・マネージメント・モジュール ユーザーズ・ガイド (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.cmm.doc/dw1kt_cmm_ug_pdf.pdf)を参照してください。

IBM Flex System エンタープライズ・シャーシおよび IBM Flex System コンピュート・ノードの資料

- *IBM Flex System エンタープライズ・シャーシインストールとサービスのガイド*

  この資料では、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシの取り付け、構成、および保守の方法を説明しています。詳しくは、IBM Flex System エンター

プライズ・シャーシ インストールとサービスのガイド (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.8721.doc/nn1gw_chassis_pdf.pdf)を参照してください。

- *IBM Flex System x240 コンピュート・ノードインストールとサービスのガイド*

  Flex System x240 コンピュート・ノードは、管理ソフトウェアによって管理できる X-Architecture® コンピュート・ノードです。この資料には、コンピュート・ノードの取り付けおよび保守に関する情報が記載されています。詳しくは、IBM Flex System x240 コンピュート・ノード インストールとサービスのガイド (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.8737.doc/dw1ko_book.pdf)を参照してください。

- *IBM Flex System p260 Compute Node and IBM Flex System p460 Compute Node Installation and Service Guide*

  Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードは、管理ソフトウェアによって管理できます。この資料には、コンピュート・ノードの取り付けおよび保守に関する情報が記載されています。詳しくは、IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノード インストールとサービスのガイド (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.7895.doc/ps7895_pdf.pdf)を参照してください。

更新済み資料を確認するには、http://www.ibm.com/supportportal/ にアクセスしてください。

IBM Documentation CD

IBM *Documentation* CD には、ご使用のハードウェアに関する資料が PDF 形式で収められています。この CD には、情報を速やかに見つけるための IBM Documentation Browser が収録されています。

IBM *Documentation* CD は、ハードウェアおよびソフトウェア要件を満たしていればどのようなコンピューターでも実行できます。

ハードウェアとソフトウェアの要件

ハードウェアおよびソフトウェアの最小要件を判別するには、この情報を使用します。

IBM *Documentation* CD は、少なくとも以下のハードウェアおよびソフトウェアを必要とします。

- Microsoft Windows または Red Hat Linux
- 100 MHz マイクロプロセッサー
- 32 MB の RAM
- Adobe Acrobat Reader 3.0 (以降) または Linux オペレーティング・システムに付属の xpdf。

Documentation Browser の使用

Documentation Browser を開始するには、この情報を使用します。

Documentation Browser を使用すると、CD の内容をブラウズしたり、資料の概要を読んだり、Adobe Acrobat Reader や xpdf を使用して資料を表示することができます。 Documentation Browser は、コンピューターで使用されている地域設定を自動的に検出し、その地域の言語を使用して (その地域の言語がある場合) 資料を表示します。その地域の言語で資料を表示できない場合は、英語版の資料が表示されます。

Documentation Browser を開始するには、次のいずれかの方法を使用してください。

- 自動始動が使用可能になっている場合は、CD を CD または DVD ドライブに挿入します。 Documentation Browser が自動的に開始します。
- 自動始動が使用不可の場合、またはすべてのユーザーに対して使用可能になっていない場合は、以下のいずれかの手順に従います。
  - Windows オペレーティング・システムを使用している場合は、CD または DVD ドライブに CD を挿入して、「**スタート**」→「**ファイル名を指定して実行**」をクリックします。「**名前**」フィールドに、次のように入力してください。

    ```
    e:¥win32.bat
    ```

    ここで、*e* は CD または DVD ドライブのドライブ名です。「**OK**」をクリックしてください。
  - Red Hat Linux を使用している場合は、CD または DVD ドライブに CD を挿入し、次のコマンドを /mnt/cdrom ディレクトリーから実行します。

    ```
    sh runlinux.sh
    ```

「**Product**」メニューからコンピュート・ノードを選択します。「**Available Topics**」リストに、コンピュート・ノード用のすべての資料が表示されます。資料はフォルダー内にある場合もあります。正符号 (+) が表示されていると、そのフォルダーまたは資料の下にさらに追加の資料が入っています。正符号をクリックすると、それらの追加資料が表示されます。

資料を選択すると、その資料の説明が「**Topic Description**」の下に表示されます。複数の資料を選択するには、Ctrl (キー) を押したまま資料を選択してください。「**View Book**」をクリックすると、Acrobat Reader または xpdf に、選択した資料が表示されます。複数の資料を選択した場合は、そのすべての資料が Acrobat Reader または xpdf で開きます。

すべての資料を検索する場合は、「**Search**」フィールドにワードまたはワード・ストリングを入力して、「**Search**」をクリックします。そのワードまたはワード・ストリングが出現する資料が、出現回数の多い順にリストされます。資料をクリックすると表示されます。資料内で、Acrobat の検索機能を使用するには Ctrl+F を、xpdf の検索機能を使用するには Alt+F を押します。

Documentation Browser の使用方法について詳しくは、「**Help**」をクリックしてください。

本書で使用する注記

以下の情報を使用して、本書における一般的な注記とその使用方法について理解することができます。

本書の注意および危険に関する注記は、IBM *Documentation* CD に収められている複数言語による「*Safety Information*」資料にも記載されています。各注記には、「*Safety Information*」資料の中の対応する注記を参照できるように番号がついています。

本書では、以下の注記が使用されます。

- **注:** これらの注記には、重要なヒント、説明、助言が書かれています。
- **重要:** これらの注記は、不都合な、または問題のある状態を避けるのに役立つ情報または助言が書かれています。また、これらの注記は、プログラム、デバイス、またはデータに損傷を及ぼすおそれのあることを示します。「重要」の注記は、損傷を起こすおそれのある指示や状態の記述の直前に書かれています。
- **注意:** これらの注記は、ユーザーに対して危険が生じる可能性がある状態を示します。「注意」の注記は、危険となりうる手順または状態の記述の直前に書かれています。
- **危険:** この注記は、ユーザーに対して致命的あるいは危険となりうる状態を示します。「危険」の注記は、致命的あるいは危険となりうる手順または状態の記述の直前に書かれています。

管理ノードの仕様

IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 管理ノードに関する具体的な情報を確認するには、この情報を使用します。

サイズ:

- 高さ: 55.5 mm
- 奥行き: 492.7 mm
- 幅: 215.5 mm
- 最大質量: 7.07 kg

環境: IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734は、ASHRAE クラス A3 仕様に準拠します。

- パワーオン: [1]:
  - 温度: 5°C から 40°C [2]
  - 湿度 (結露なし): -12°C の露点および 8% から 85% の相対湿度 [3,4]
  - 最大露点: 24°C
  - 最大高度: 3048 m
  - 最大温度変化率: 5°C/時 [5]
- 電源オフ時 [6]:
  - 温度: 5°C から 45°C
  - 相対湿度: 8% から 85%
  - 最大露点: 27°C
- 保管時 (非動作時)
  - 温度: 1°C から 60°C
  - 高度: 3050 m
  - 相対湿度: 5% から 80%
  - 最大露点: 29°C
- 配送時 (非動作時) [7]:
  - 温度: -40°C から 60°C

- 高度: 10,700 m
- 相対湿度: 5% から 100%
- 最大露点: 29°C [8]

• 粒子汚染

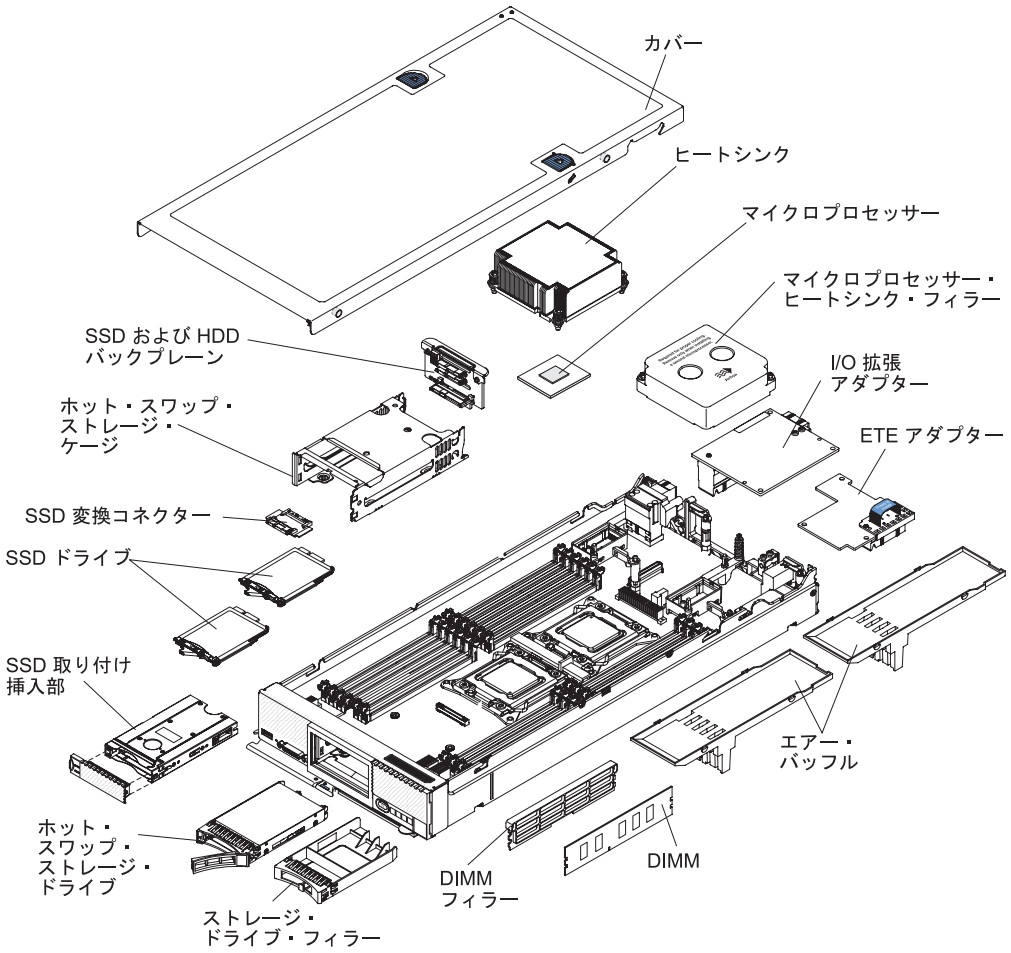
重要: 浮遊微小粒子や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わされることで、管理ノードにリスクをもたらす可能性があります。微粒子およびガスの制限については、 379 ページの『粒子汚染』を参照してください。

1. シャーシの電源がオンになっている状態。
2. A3 - 950 m より上では、最大許容温度が 175 m 当たり 1°C 低下します。
3. クラス A3 の最小湿度レベルは、露点 -12 °C と相対湿度 8% のうちどちらか高い (より湿気がある) 方です。これらは約 25°C で交差します。この交点 (~25C) より下では露点 (-12 °C) が最小湿度レベルを表し、上では相対湿度 (8%) が最小湿度レベルになります。
4. 0.5°C DP より低く、かつ -10 °C DP または相対湿度 8% を下回らない湿度レベルは、データ・センター内の人員と機器における静電気の発生を抑えるために、適切な制御手段が実装されている場合にのみ受け入れられます。適切な静電気制御システムを介して、すべての人員と可動の備品および機器を接地する必要があります。最小要件としては、次の項目が考えられます。
   a. 導電性の材料 (導電性フロア、データ・センターに入室するすべての人員が導電性の履き物を着用、可動の備品および機器はすべて導電性または静電気を散逸させる材料で構成)。
   b. ハードウェアの保守時に、IT 機器に接触するすべての人員が、正しく機能するリスト・ストラップを着用する必要があります。
5. テープ・ドライブを使用するデータ・センターの場合は時間当たり 5°C、ディスク・ドライブを使用するデータ・センターの場合は時間当たり 20°C。
6. シャーシがオリジナルの配送用コンテナーから取り出され、設置済みだが、使用されていない状態 (例えば、修理、保守、またはアップグレード時)。
7. 機器の環境順化に必要な時間は、輸送環境から稼働環境への温度変化の 20°C ごとに 1 時間です。
8. 結露は許容されますが、雨にぬれてはなりません。

管理ノードの主要コンポーネント

管理ノードの主要コンポーネントの位置を確認するには、この情報を使用します。主要コンポーネントには、技術員により交換される部品 (FRU) およびお客様による交換が可能な部品 (CRU) があります。

次の図は、管理ノードの主要コンポーネントを示しています。



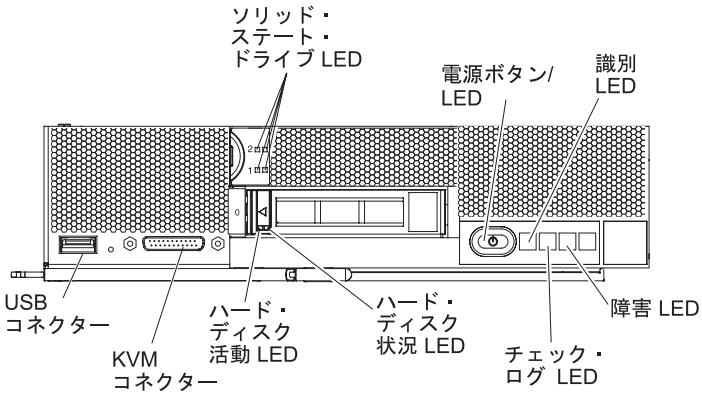
電源、コントロール、およびインディケーター

以下の情報を使用して、電源機構の確認、管理ノードの電源オン/オフ、およびコントロールとインディケーターの機能の確認を行うことができます。

管理ノードのコントロール、コネクター、および LED

コントロール、コネクター、および LED の詳細については、以下の情報を使用します。

次の図は、IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 コントロール・パネル上のボタン、コネクター、および LED を示しています。



ソリッド・ステート・ドライブ活動 LED (緑色)

この緑色の LED が点灯しているときは、ソリッド・ステート・ドライブが活動していることを示しています。

ソリッド・ステート・ドライブ活動 LED (オレンジ色)

このオレンジ色の LED が点灯しているときは、ソリッド・ステート・ドライブにエラーが発生したことを示しています。LED は、そのエラーが解決された後にのみオフになります。

ハード・ディスク活動 LED (緑色)

この緑色の LED が点灯しているときは、ストレージ・ドライブが活動していることを示しています。

ハード・ディスク状況 LED (オレンジ色)

このオレンジ色の LED が点灯しているときは、ストレージ・ドライブにエラーが発生したことを示しています。LED は、そのエラーが解決された後にのみオフになります。

障害 LED

このオレンジ色の LED が点灯しているときは、管理ノードでシステム・エラーが発生したことを示しています。さらに、シャーシのシステム LED パネル上の障害 LED が点灯します。管理ノード上の LED について詳しくは、19 ページの『Light Path 診断 LED』を参照してください。

障害 LED は、エラーが修正された場合にのみオフになります。

チェック・ログ LED

このオレンジ色の LED が点灯しているときは、自動 BIOS リカバリー (ABR) が発生したことを示している可能性があります。管理ノードは、バックアップ UEFI イメージを使用して始動します。

チェック・ログ LED は、IBM Flex System Manager 管理ソフトウェア CLI または IBM Flex System Manager 管理ソフトウェアの Web インターフェースからオフにすることができます。

識別 LED

システム管理者は、管理ノードの位置を目で確認できるように、この青色の LED をリモート側からオンにすることができます。この LED が点灯しているときは、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ上の識別 LED も点灯します。識別 LED のオン / オフは、IBM Flex System Manager 管理ソフトウェアの Web インターフェースで切り替えることができます。

電源ボタン/LED

管理ノードに電源が供給されているときに、このボタンを押して管理ノードの電源をオンまたはオフにします。

注: この電源ボタンは、管理ノードのローカル電源制御が使用可能になっている場合にのみ機能します。ローカル電源制御は、IBM Flex System Manager 管理ソフトウェア の Web インターフェースによって使用可能/使用不可にします。

管理ノードがシャーシから取り外された後、このボタンを押して、システム・ボード LED (Light Path 診断) をアクティブにします。

このボタンは、電源 LED としても機能します。この緑色の LED は、管理ノードの電源状況を次のように示します。

- **高速で点滅**: LED は、以下のいずれかの理由によって高速で点滅します。
  - 管理ノードがシャーシに取り付けられました。管理ノードを取り付けると、管理ノード上の統合管理モジュール II (IMM2) が初期化および IBM Flex System Manager 管理ソフトウェアとの同期を行っている間 (最大 90 秒間)、LED が高速で点滅します。
  - IBM Flex System Manager 管理ソフトウェアを介して、管理ノードに電源許可が割り当てられていません。
  - IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに、管理ノードの電源をオンにするために十分な電力がありません。
  - 管理ノード上の IMM2 が IBM Flex System Manager 管理ソフトウェアと通信していません。
- **低速で点滅**: 管理ノードに電源が供給されており、電源を入れる準備ができています。
- **点灯**: 管理ノードに電源が接続され、電源が入っています。

管理ノードの電源がオンのときに、このボタンを押すと、管理ノードの正常シャットダウンが行われ、安全に取り外すことができるようになります。この動作には、オペレーティング・システムのシャットダウン (可能な場合) および管理ノードからの電源の切り離しが含まれます。

オペレーティング・システムが稼働している場合、シャットダウンを開始するために約 4 秒間ボタンを押さなければならないことがあります。

重要: 4 秒間ボタンを押すことで、強制的にオペレーティング・システムを即時にシャットダウンします。データ損失の可能性があります。

KVM コネクター

IBM Flex System コンソール・ブレークアウト・ケーブルをこのコネクターに接続します。

USB コネクター

このコネクターには、USB デバイスを接続します。

注: ベスト・プラクティスとして、USB デバイスは、各 IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ 内で一度に 1 つの管理ノードのみの前面に接続することが推奨されます。

管理ノードの電源オン

IBM Flex System エンタープライズ・シャーシを通じて管理ノードを電源に接続した後、次のいずれかの方法で管理ノードを始動することができます。

このタスクについて

- 管理ノードの前面にある電源ボタンを押して (8 ページの『管理ノードのコントロール、コネクター、および LED』を参照)、管理ノードを始動できます。 この電源ボタンは、管理ノードのローカル電源制御が使用可能になっている場合にのみ機能します。管理ノードの電源が最初にオンになり、管理ソフトウェアが構成された後は、Web インターフェースを使用して管理ノードの電源をオフにすることができます。

  注:

  1. 管理ノードの電源 LED が低速で点滅するまで待ってから、電源ボタンを押します。管理ノード内のサービス・プロセッサーが初期化および 管理ソフトウェア との同期化を行っている間、パワーオン LED は高速で点滅し、管理ノードの電源制御ボタンは応答しません。このプロセスには、管理ノードを取り付けてから約 90 秒かかる場合があります。
  2. 管理ノードの始動中は、管理ノードの前面にある電源 LED は点灯しています (点滅していません)。電源 LED の状態については、8 ページの『管理ノードのコントロール、コネクター、および LED』を参照してください。
- 電源障害が発生した場合、電源の復旧時に自動的に始動するように、管理ソフトウェア の Web インターフェースから IBM Flex System エンタープライズ・シャーシおよび管理ノードを構成することができます。
- Wake on LAN 機能を使用して管理ノードの電源をオンにすることができます。管理ノードは電源に接続されている (パワーオン LED が低速で点滅している) 必要があり、管理ノードは 管理ソフトウェア と通信している必要があります。また、オペレーティング・システムが Wake on LAN 機能をサポートし、Wake on LAN 機能が 管理ソフトウェア インターフェースから使用可能にされている必要があります。

管理ノードの電源オフ

管理ノードの電源をオフにしても、管理ノードは IBM Flex System エンタープライズ・シャーシを経由して電源に接続されたままです。管理ノードは、管理ノードをオンにするためのサービス・プロセッサーからのリモート要求などの要求に応答できます。管理ノードからすべての電力をオフにするには、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシから取り外す必要があります。

このタスクについて

以下のいずれかの方法で管理ノードの電源をオフにすることができます。

- 管理ノードの電源ボタンを押します (8 ページの『管理ノードのコントロール、コネクター、および LED』を参照)。

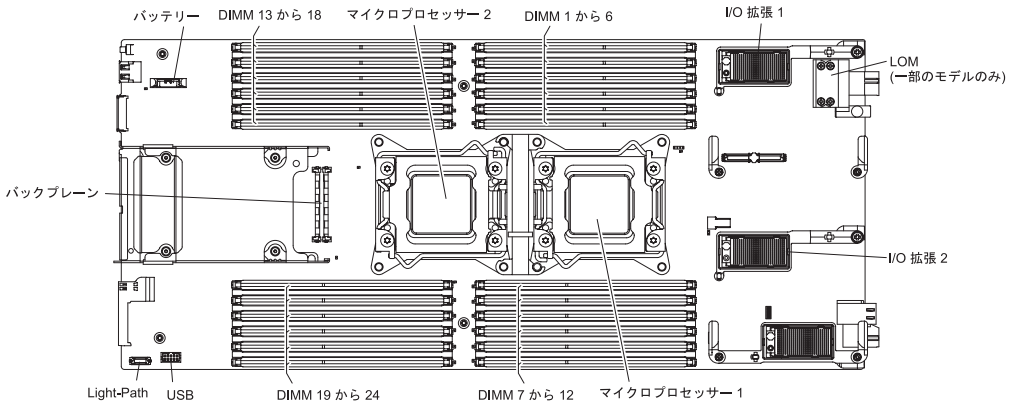
  注: 管理ノードの電源が最初にオンになり、管理ソフトウェア が構成された後は、Web インターフェースを使用して管理ノードの電源をオフにすることができます。

- IBM Flex System Manager 管理ソフトウェア の Web インターフェースを使用して管理ノードの電源をオフにするには、以下のステップを実行します。
  1. 「Home」ページで「**Administration**」タブをクリックします。
  2. 「Restart and Shut Down tasks」の下で「**Shut down or Restart IBM Flex System Manager**」をクリックします。
  3. 「Shut down or Restart」ウィンドウが開いた後、「**OK**」をクリックします。

システム・ボード・コネクター

システム・ボードのコンポーネントおよびコネクターの位置を確認するには、この情報を使用します。

次の図は、IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 管理ノード内のシステム・ボード・コンポーネント (ユーザーが取り付け可能なオプション装置用のコネクターを含む) を示しています。



第 2 章 IBM Flex System 管理ノードの概要

IBM Flex System Manager 管理ソフトウェア は、IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734管理ノード上で出荷時に取り付け済みの複数のシャーシを管理するためのソフトウェア・スタックです。複数のシャーシを効率的に管理するために使用できる、一貫性のあるインターフェースを提供しています。

IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734管理ノードは、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシでのみサポートされています。シャーシの最新情報については、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照してください。

IBM Flex System エンタープライズ・シャーシへの管理ノードの取り付けについて詳しくは、http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.8721.doc/initially_installing_the_flexible_resource-manager.htmlを参照してください。

IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 管理ノードには限定保証が付いています。保証の条件およびサービスと支援の利用については、IBM *Documentation* CD に収録されている「*保証情報*」を参照してください。管理ノードの最新情報は、http://www.ibm.com/supportportal/ で入手できます。

資料は、それらの機能に関する情報を記載するために時々更新されることがあります。資料には記載されていない追加情報を提供するための技術更新が利用可能になる場合もあります。

管理ノードに固有の情報更新を http://www.ibm.com/support/mynotifications/ で購読できます。

型式番号およびシリアル番号は、管理ノードのベゼルの電源 LED の横にある ID ラベルに記載されています。また、これらの番号は管理ノードの側面のラベルにも記載されており、管理ノードが IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに取り付けられていないときに確認できます。

管理対象リソース

このセクションの情報を使用して、IBM Flex System Manager 管理ソフトウェアが管理できる IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ内のコンピュート・ノードおよびシャーシ・マネージメント・モジュール (CMM) のタイプについて理解します。

管理ソフトウェアは、複数の IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ内のノード、ネットワーク、電源、および冷却装置の管理の機能を提供します。管理ソフトウェアとシャーシ・デバイスの間のすべての通信は、シャーシ・マネージメント・モジュール (CMM) のセキュアな管理ネットワークを介して行われます。

© Copyright IBM Corp. 2011

注: 管理ソフトウェアによって管理できるネットワーク・デバイスおよびストレージ・リソースについては、このセクションで説明していません。サポートされるネットワーク・デバイスについて詳しくは、http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.networkdevices.doc/network.htmlを参照してください。サポートされるストレージ・コンポーネントについて詳しくは、http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.director.storagectrl.helps.doc/fqm0_c_sc_overview.htmlを参照してください。

IBM Flex System 環境のシャーシ・マネージメント・モジュール (CMM)

IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ内の IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 管理ノードは、複数シャーシ内のシャーシ・マネージメント・モジュール (CMM) を管理します。

IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 管理ノード上の管理ソフトウェアは、CMM を含めて複数の IBM Flex System エンタープライズ・シャーシを管理できます。ただし、ユーザー管理とセキュリティー設定の管理は、各シャーシのCMMを使用してシャーシごとに直接的に行う必要があります。

注: CMMを管理できる管理ノードは 1 つだけです。

CMM について詳しくは、http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.cmm.doc/cmm_product_page.html を参照してください。

IBM Flex System 環境の X-Architecture コンピュート・ノード

IBM X-Architecture コンピュート・ノードは、管理ソフトウェアによって管理できる IBM Flex System エンタープライズ・シャーシで使用できるコンピュート・ノードの 1 タイプです。

IBM X-Architecture コンピュート・ノードは、Intel Xeon マイクロプロセッサーを搭載して出荷され、X-Architecture システムの機能、信頼性、およびパフォーマンスを small-form-factor 設計で提供します。多様な Microsoft Windows、Linux、および VMware オペレーティング・システムをサポートしており、多くのメモリーを使用するコンピューティング、コラボレーション、一般的な処理や基幹業務の処理、およびエンタープライズ・アプリケーション・ワークロードといった高性能環境と仮想化環境に理想的です。すべてのモデルには、シャーシ・マネージメント・モジュールに接続してノードの統合システム管理機能を提供する統合管理モジュール (IMM) が搭載されています。

管理ソフトウェアでの X-Architecture コンピュート・ノードの管理についての詳細は、http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.director.systemx_bc.helps.doc/fqm0_t_managing_systemx_bc.html を参照してください。

IBM Flex System 環境の Power Systems コンピュート・ノード

IBM Power Systems™ コンピュート・ノードは、管理ソフトウェアによって管理できる IBM Flex System エンタープライズ・シャーシで使用できるコンピュート・ノードの 1 タイプです。

IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに取り付けられている Power Systems コンピュート・ノードには IBM Flex System Manager 管理ソフトウェアが必要です。

IBM Power Systems コンピュート・ノードは、IBM Power7 マイクロプロセッサーを搭載して出荷され、小さなフォーム・ファクター設計で Power7 システムの機能、信頼性、およびパフォーマンスを提供します。多様な AIX®、Linux、および IBM i OS のオペレーティング・システムをサポートしており、コラボレーション、アプリケーション開発、モデリングとシミュレーション、重要な業務処理、およびクラウド・コンピューティングといった要求の厳しい商用ワークロードおよび仮想化環境に理想的です。すべてのモデルには、シャーシ・マネージメント・モジュールに接続してノードの統合システム管理機能を提供するフレキシブル・サービス・プロセッサー (FSP) が搭載されています。

重要:

1. Power Systems コンピュート・ノードを収容しているシャーシを管理しているシャーシ・マネージメント・モジュール (CMM) にアクセスするには、管理ソフトウェアでデフォルトの USERID アカウントとパスワードを使用する必要があります。
2. Power Systems コンピュート・ノード上のフレキシブル・サービス・プロセッサー (FSP) にアクセスするには、シャーシ・マネージメント・モジュール (CMM) で USERID アカウントとパスワードを使用する必要があります。
3. 1 つ以上の Power Systems コンピュート・ノードのファームウェアを更新する前に、デフォルトの USERID アカウントのパスワードが更新の完了前に有効期限切れにならないことを確認してください。コードの更新中にパスワードの期限が切れると、Power Systems コンピュート・ノードは管理ソフトウェアに再接続できない可能性があり、各 Power Systems コンピュート・ノードを新規パスワードで更新しなければならない場合があります。
4. IBM Flex System Manager 管理ソフトウェアのバージョン 1.1.0 は、74*x* アップデートが適用された 740 ファームウェアを稼働している IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードのみと互換性があります。

管理ソフトウェアでの Power Systems コンピュート・ノードの管理についての詳細は、http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.8731.doc/managing_power_systems.html を参照してください。

第 3 章 管理ノードのトラブルシューティング

この情報を使用して、管理ノードで発生する可能性がある問題の診断と修正を行います。

このセクションの情報では、ハードウェア障害を解決する上で役立つツールおよび手順について説明します。

重要: 本書には、IBM Flex System Manager ハードウェア、または管理ノードのトラブルシューティング情報が記載されています。 IBM Flex System Manager 管理ソフトウェアのトラブルシューティング情報については、「*IBM Flex System Manager 管理ソフトウェア Troubleshooting Guide*」を参照してください。

Service Bulletin

IBM は IBM サポート・ポータル Web サイトを更新して、多くの問題の解決に使用できる最新のヒントや技法を載せています。

IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 に対して使用できる Service Bulletin を見つけるには、IBM サポート・ポータル Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal) にアクセスします。「**検索**」フィールドに、用語 7955、8731、または 8734 と RETAIN を入力します。

診断ツール

ハードウェア関連の問題を診断および解決するための診断ツールについて調べるには、この情報を使用します。

Light Path 診断

Light Path 診断の概要を示します。

Light Path 診断は、コンピュート・ノードのコントロール・パネルと各種内部コンポーネント上にある LED による診断方式です。エラーが発生すると、コンピュート・ノード全体で LED が点灯し、エラーの原因の識別に役立ちます。

Light Path 診断 LED の確認

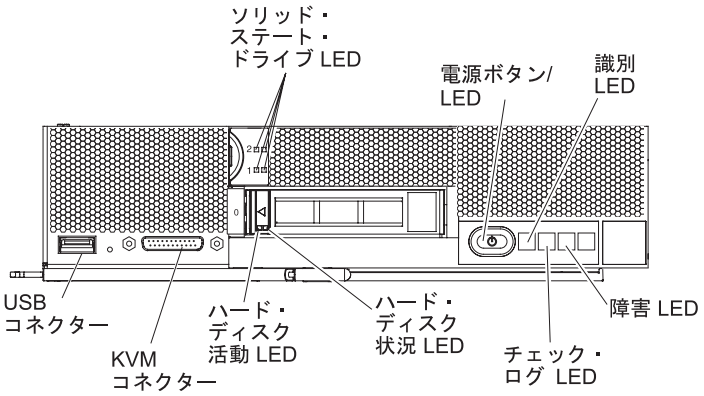
この情報を使用して、Light Path 診断 LED の位置を見つけて確認してください。

Light Path 診断 LED を確認するためノード内部で作業する前に、v ページの『安全について』および 307 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

エラーが発生した場合は、次の順序で Light Path 診断 LED を確認してください。

1. ノード前面のコントロール・パネルを見ます (8 ページの『管理ノードのコントロール、コネクター、および LED』を参照)。

© Copyright IBM Corp. 2011

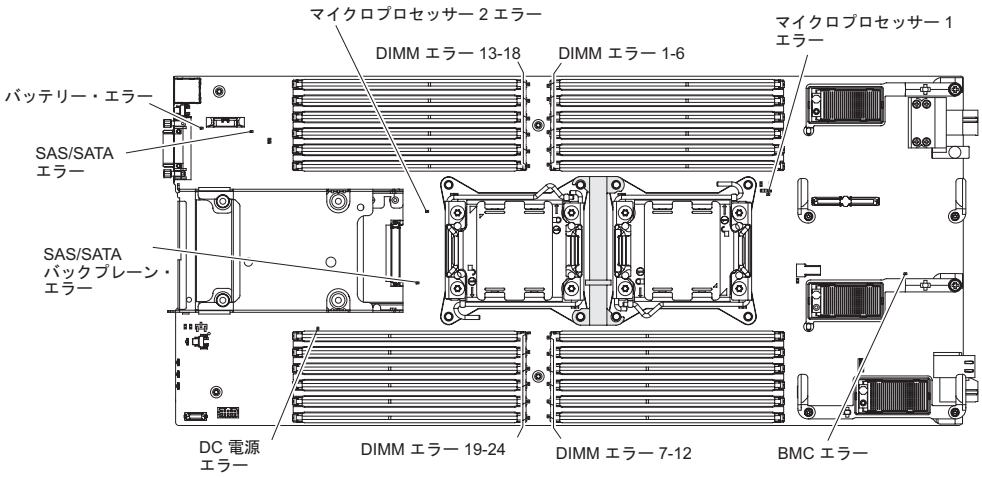


- チェック・ログ LED が点灯している場合、自動 BIOS リカバリーが発生したことを示しています。この問題を解決するには、以下の手順を実行します。
  a. ノードのファームウェアの更新を再試行します (ファームウェアの更新についての詳細は、「*IBM Flex System Manager システム管理ガイド*」資料を参照)。
  b. ノードを取り付け直します (309 ページの『シャーシからの IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 の取り外し』および 311 ページの『シャーシへの管理ノードの取り付け』を参照)。
  c. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します (362 ページの『システム・ボード・アセンブリーの取り外し』および 364 ページの『システム・ボード・アセンブリーの取り付け』を参照)。
- 障害 LED が点灯している場合、エラーが発生したことを示しています。Light Path 診断パネルおよび LED を確認して、障害のあるコンポーネントを特定してください。

2. Light Path 診断 LED を確認するには、以下のステップを実行してください。
   a. ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ シャーシから取り外します (手順については、 309 ページの『シャーシからの IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 の取り外し』を参照)。
   b. 帯電防止されている平らな場所にノードを注意して置きます。
   c. ノードのカバーを開きます (手順については、 317 ページの『管理ノード・カバーの取り外し』を参照)。
   d. 電源ボタンを押します。ハードウェア関連の問題がある場合は、電源ボタンを押すと、Light Path 診断パネルおよびシステム・ボード上の LED が点灯します。

次の図は、Light Path 診断パネル上の LED を示しています。

次の図は、システム・ボード上の Light Path 診断 LED の位置を示しています。



Light Path 診断 LED

以下の情報を使用して、Light Path 診断 LED によって示される潜在的なエラーを診断して解決します。

次の表では、Light Path 診断パネル上、およびシステム・ボード上の LED について説明し、検出された問題を訂正するための推奨アクションを示します。LED の点灯については、17 ページの『Light Path 診断 LED の確認』を参照してください。

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) で、どのコンポーネントがトレーニングを受けたサービス技術員のみが交換を行う必要のある技術員により交換される部品 (FRU) であるか判別するには、 369 ページの『第 5 章 部品リスト - IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734』を参照してください。**
- **処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**

点灯中の Light Path 診断 LED	説明	アクション
なし	特定できないエラーが発生したか、サービス・プロセッサーで障害が発生したか、ノードが十分に充電されていないためにシステム・ボードの LED を表示できません。	1. Light Path 診断 LED が点灯されていることを確認し、残りの LED を点灯させるために十分な電力がノードにあることを確かめます。 17 ページの『Light Path 診断 LED の確認』を参照してください。 2. Light Path 診断 LED によって示されないエラーについては、IMM のイベント・ログを調べてください。 26 ページの『IMM メッセージ』を参照してください。
バッテリー・エラー	システム・バッテリーが取り付けられていないか、機能していません。	1. バッテリーを取り付け直します。 328 ページの『バッテリーの取り外し』、および 329 ページの『バッテリーの取り付け』を参照してください。 2. バッテリーを交換してください。 328 ページの『バッテリーの取り外し』、および 329 ページの『バッテリーの取り付け』を参照してください。
DC 電源エラー	システム・ボード上の VRM で障害が発生しました。	(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボード・アセンブリーを交換します。 362 ページの『システム・ボード・アセンブリーの取り外し』、および 364 ページの『システム・ボード・アセンブリーの取り付け』を参照してください。
DIMM *x* エラー	メモリー・エラーが発生しました。	1. ログを表示して、取り付けられている DIMM のいずれかについてメモリーの予測障害アラートまたは訂正不能メモリー・エラーがあるかどうかを判別します。ある場合は、指定された DIMM を交換します。 331 ページの『DIMM の取り外し』、および 332 ページの『DIMM の取り付け』を参照してください。 2. 点灯中の LED が指し示す DIMM がサポートされていることを確認します。 17 ページの『Light Path 診断 LED の確認』を参照してください。 3. 点灯中の LED が指し示す DIMM を取り付け直します。 331 ページの『DIMM の取り外し』、および 332 ページの『DIMM の取り付け』を参照してください。 4. DIMM を交換します。 331 ページの『DIMM の取り外し』、および 332 ページの『DIMM の取り付け』を参照してください。 DIMM 障害の結果として DIMM を取り付けた後、交換した DIMM の DIMM コネクター (スロット) を再度使用可能にする必要がある場合があります。DIMM を再度使用可能にする必要があるかどうかを判別するには、次の手順を実行します。 1. ノードに取り付けられているメモリーの量が期待されるメモリー容量であることを確認します。取り付けられているメモリーの量は、オペレーティング・システムから確認するか、ノードの始動時にモニターを監視して確認するか、シャーシ・マネージメント・モジュールの Web インターフェースから確認することができます。 シャーシ・マネージメント・モジュールの Web インターフェースについての詳細は、 を参照してください。 2. Setup ユーティリティーを実行して、DIMM を再度使用可能にします。
I/O 拡張ユニット	将来の利用に限られます。	
Light Path 診断	システム・ボードの Light Path LED に電力が供給されています。	システム・ボード上に点灯しているエラー LED がないかどうか調べてください。この LED が点灯しない場合は、約 2 時間にわたってノードをシャーシに取り付け、Light Path 診断パネルが充電できるようにします。
メモリー	メモリー・エラーが発生しました。	システム・ボード上の DIMM エラー LED を調べます。

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) で、どのコンポーネントがトレーニングを受けたサービス技術員のみが交換を行う必要のある技術員により交換される部品 (FRU) であるか判別するには、 369 ページの『第 5 章 部品リスト - IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734』を参照してください。**
- **処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**

点灯中の Light Path 診断 LED	説明	アクション
マイクロプロセッサー *x* エラー	マイクロプロセッサーに障害が発生した場合、過熱状態になっている場合、あるいは始動マイクロプロセッサー (CPU 1) が欠落している場合、IMM2 はこの LED を点灯します。前面パネルの障害 LED も点灯します。	1. UEFI 設定を調べて、マイクロプロセッサーが使用可能になっていることを確認します。 2. さらに詳しい情報があるか、IMM のイベント・ログを調べます。 3. マイクロプロセッサーが使用不可になっていること、またはマイクロプロセッサー・エラーが発生したことがログに示されている場合、以下のいずれかのアクションを実行します。 a. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 点灯中の LED が指し示すマイクロプロセッサーを取り付け直します。 351 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』、および 354 ページの『マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り付け』を参照してください。 b. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 点灯中の LED が指し示すマイクロプロセッサーを交換します。 351 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』、および 354 ページの『マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り付け』を参照してください。
不一致	マイクロプロセッサーが一致しません。	両方のマイクロプロセッサーが同一であることを確認します。
NMI	システム・ボードに障害が起きました。	1. このノードに関連するエラーがないか、シャーシ・マネージメント・モジュールのイベント・ログまたは IMM のイベント・ログを調べて、エラーがある場合は解決します。 2. ノードを再始動します。 3. システム・ボードを交換します (手順については、 362 ページの『システム・ボード・アセンブリーの取り外し』および 364 ページの『システム・ボード・アセンブリーの取り付け』を参照)。
SAS ドライブ *x* エラー	ハード・ディスクで障害が発生しました。	SAS Attached Disk 診断テストを実行します。診断テストにはパスしても、問題が続く場合は、ハード・ディスクを新しいものと交換してください。
SAS エラー	SAS エラーが発生しました。	SAS Attached Disk 診断テストを実行します。診断テストにはパスしても、問題が続く場合は、ハード・ディスクを新しいものと交換してください。
システム・ボード	システム・ボードに障害が起きました。	1. ノードを再始動します。 2. 問題が解決しない場合は、システム・ボードを交換します (手順については、 362 ページの『システム・ボード・アセンブリーの取り外し』および 364 ページの『システム・ボード・アセンブリーの取り付け』を参照)。
温度	システム温度がしきい値レベルを超えました。	1. IBM Flex System エンタープライズ・シャーシの共用リソースの機能を確認します。 2. 通風孔がふさがれていないこと、および IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ内のすべてのノード・ベイにノードまたはノード・ベイ・フィラーが取り付けられていることを確認します。 3. 室温が高すぎないことを確認してください。

エラー・メッセージ

この情報を使用して、エラー・メッセージを確認し、多くのエラーを解決することができます。ここにリストされていないエラー・メッセージを探している場合、(pe ユーザー ID を使用して) 管理ノードに SSH 接続し、`/opt/ibm/director/lwi/logs` にアクセスして、エラー・ログ内のメッセージを見ることができます。

Setup ユーティリティーからのイベント・ログの表示

Setup ユーティリティーから IMM および POST イベントを表示することができます。

手順

POST イベント・ログまたはシステム・イベント・ログを表示するには、以下のステップを実行してください。

1. キーボード、モニター、およびマウスをコンソール・ブレークアウト・ケーブルに接続し、コンソール・ブレークアウト・ケーブルをコンピュート・ノードに接続します。
2. コンピュート・ノードの電源をオンにします。
3. 「Setup」プロンプトが表示されたら、Alt+Ctrl+F1 を押します。始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定してある場合、イベント・ログを表示するには管理者パスワードを入力する必要があります。
4. 「**System Event Logs**」を選択し、以下のステップのうちの 1 つを実行します。
   - POST イベント・ログを表示するには、「**POST Event Viewer**」を選択します。
   - システム・イベント・ログを表示するには、「**System Event Log**」を選択します。

管理ノードを再始動しないイベント・ログの表示

管理ノードがハングしていない場合、ノードを再始動せずに 1 つ以上のイベント・ログを表示する方法がいくつかあります。

シャーシ・マネージメント・モジュールのイベント・ログは、シャーシ・マネージャー内で、あるいは管理ソフトウェアの Web インターフェースの「**Event Log**」リンクから表示することができます。

また、CMM **displaylog** コマンドまたは CMM Web インターフェースを使用して、シャーシ・マネージメント・モジュールを表示することもできます。

- CMM **displaylog** コマンドについての詳細は、CMM の資料を参照してください。
- CMM Web インターフェースで、「Events」メニューから「**Event Log**」を選択します。CMM Web インターフェース・オンライン・ヘルプに、すべてのフィールドおよびオプションについて説明されています。

DSA の Portable エディションをインストール済みの場合は、それを使用してシステム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、オペレーティング・システム・イベント・ログ、またはマージされた DSA ログを表示することができます。DSA Preboot を使用してこれらのログを表示することもできますが、DSA Preboot を使用するには管理ノードを再始動する必要があります。Portable DSA または DSA Preboot をインストールする、あるいは DSA Preboot CD イメージをダウンロードするには、http://www.ibm.com/systems/support/supportsite.wss/docdisplay?brandind=5000008&Indocid=SERV-DSA にアクセスします。

IPMItool が管理ノードにインストールされている場合は、これを使用してシステム・イベント・ログを表示することができます。最新バージョンの Linux オペレーティング・システムには、現行バージョンの IPMItool が付属しています。IPMItool に関する情報を入手するには、以下のステップを実行してください。

注: IBM Web サイトには定期的に変更が加えられています。実際の手順は、本書の説明とは少し異なる場合があります。

1. http://www.ibm.com/developerworks にアクセスしてください。
2. 「**Linux**」をクリックします。
3. 「**Linux blueprints**」タブをクリックします。
4. 「**Blueprints for Linux on IBM systems**」をクリックし、次に「**Using Intelligent Platform Management Interface (IPMI) on IBM Linux platforms**」をクリックします。

次の表は、管理ノードの状態に応じて、イベント・ログの表示に使用できる方法を説明しています。通常、最初の 2 つの状態の場合は、管理ノードの再始動は不要です。

表 1. イベント・ログを表示する方法

状態	アクション
管理ノードはハングしておらず、ネットワークに接続されている。	以下の方法のいずれかを使用します。 • Portable DSA または Installable DSA を実行し、イベント・ログを表示するか、あるいは IBM サポートに送信可能な出力ファイルを作成します。 • IPMItool を使用して、システム・イベント・ログを表示します。
管理ノードはハングしておらず、ネットワークに接続されていない。	IPMItool を使用して、ローカル側でシステム・イベント・ログを表示します。
管理ノードがハングしている。	以下の方法のいずれかを使用します。 • DSA Preboot がインストールされている場合は、管理ノードを再始動し、F2 キーを押して DSA Preboot を始動してイベント・ログを表示します。 • DSA Preboot がインストールされていない場合は、DSA Preboot CD を挿入して管理ノードを再始動し、DSA Preboot を開始してイベント・ログを表示します。 • あるいは、管理ノードを再始動して Alt+Ctrl+F1 キーを押し、Setup ユーティリティーを開始して POST イベント・ログまたはシステム・イベント・ログを表示することもできます。

IBM Dynamic System Analysis Preboot 診断プログラム

IBM Dynamic System Analysis (DSA) Preboot 診断プログラムは、コンピュート・ノードの問題の診断に役立つシステム情報の収集および分析を行います。

DSA Preboot は、以下のタスクを実行します。

- システム情報を圧縮 XML ファイルに収集します。ユーザーは、このファイルを IBM サポートに送信することができます。

- ブート可能イメージを提供します。ユーザーは、このイメージを使用して、オペレーティング・システムやアプリケーションとは無関係に拡張ハードウェア・テストを実行することができます。
- ローカルの VMware ESXi ハイパーバイザー・ソフトウェアからバージョンおよびライセンスの情報を収集します。

DSA プリブートは、プログラムを始動した際、応答しないように見える場合があります。これは、プログラムをロードしているもので正常オペレーションです。

DSA コードおよび「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」を入手するには、http://www.ibm.com/systems/support/supportsite.wss/docdisplay?brandind=5000008&Indocid=SERV-DSA にアクセスしてください。

DSA メッセージを診断および解決するには、293 ページの『DSA メッセージ』を参照してください。

DSA Preboot の実行

DSA Preboot を実行するには、この情報を使用します。

このタスクについて

DSA Preboot 診断プログラムを実行するには、次のステップを実行してください。

1. コンピュート・ノードが稼働中の場合は、コンピュート・ノードおよび接続されているすべての装置の電源をオフにします。
2. 接続されているすべての装置の電源をオンにした後、コンピュート・ノードの電源をオンにします。
3. 「Diagnostics」プロンプトが表示されたら、Alt+Ctrl+F2 を押します。

   注: DSA Preboot は、プログラムを開始したときに非常に長い時間応答しないように見えることがあります。これは、プログラムをロードしているもので正常オペレーションです。
4. 「**Quit to DSA**」を選択して、スタンドアロン・メモリー診断プログラムを終了します。

   注: スタンドアロン・メモリー診断環境を終了した後、再度スタンドアロン・メモリー診断環境にアクセスするには、コンピュート・ノードを再始動する必要があります。
5. `gui` と入力して DSA グラフィカル・ユーザー・インターフェースを開始するか、「**cmd**」を選択して DSA 対話式メニューを表示します。
6. 診断プログラムの画面から実行したいテストを選択し、画面上の指示に従います。詳しくは、「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」(http://www.ibm.com/systems/support/supportsite.wss/docdisplay?brandind=5000008&Indocid=SERV-DSA から入手可能) を参照してください。

DSA のヘルプが入手可能です。DSA CLI に関するヘルプについては、コマンド・ラインで `help` と入力します。 DSA ユーザー・インターフェースに関するヘルプについては、F1 キーを押します。ヘルプ・パネル内で F1 キーを押すと、追加のオンライン資料が表示されます。

診断テキスト・メッセージ

テストの実行中に表示された診断テキスト・メッセージを理解するには、この情報を使用します。

診断テキスト・メッセージには、以下の結果のいずれかが示されます。

- **Passed:** テストはエラーなしに完了しました。
- **Failed:** テストでエラーが検出されました。
- **User Aborted:** ユーザーが、テストを完了前に停止しました。
- **Not Applicable:** コンピュート・ノード内に存在しないデバイスのテストを試行しました。
- **Aborted:** コンピュート・ノードの構成が原因で、テストを続行できませんでした。
- **Warning:** テストを実行できませんでした。テスト対象のハードウェアには障害はありませんでしたが、別の場所にハードウェア障害があるか、または他の問題が原因でテストを実行できなかった可能性があります。例えば、構成に問題があるか、あるいはハードウェアが欠落しているかまたは認識されていないことが考えられます。

上記の結果の後に、エラー・コード、またはエラーに関する追加情報が示されます。

テスト結果の表示

テスト結果を表示するには、この情報を使用します。

このタスクについて

テストが完了したら、以下のいずれかの方式を使用してテスト・ログにアクセスできます。

- DSA コマンド・ラインから DSA CLI View コマンドを発行するか、DSA グラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) から「**Diagnostic Event Log**」オプションを選択します。
- DSA 対話式メニューから、「**getextendedresults**」オプションを選択します。
- DSA 対話式メニューから、「**View**」オプションを選択して、収集された結果およびエラー・ログのデータをすべて表示します。
- DSA GUI で、「System Information」ページから「**DSA Error Log**」を選択します。

コンピュート・ノードの問題の診断に役立てるために DSA エラー・ログ・ファイルを IBM サポートに送信したり、DSA CLI copy コマンドを使用してログを外部デバイスにコピーすることができます。

ハードウェア・エラー・メッセージ

このセクションでは、IMM、UEFI、および DSA から報告されるハードウェア関連メッセージについて説明します。

IMM メッセージ

IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 上の IMM によってハードウェア・イベントが検出されると、IMM は、コンピュート・ノードのシステム・イベント・ログにそのイベントを記録します。さらに、IMM は、そのイベントを CMM および IBM Flex System Manager 管理ソフトウェアに送信します。

イベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

Event identifier (イベント ID)
イベントあるいはイベントのクラスを一意的に識別する 16 進数の ID。本書では、イベント ID は 0x で始まり、後に 8 文字が続きます。

Event description (イベント記述)
あるイベントについて表示される、ログに記録されたメッセージ・ストリング。イベント・ログにイベント・ストリングが表示される場合、特定のコンポーネントなどの情報が表示されます。本書では、その追加情報は [arg1] あるいは [arg2] などの変数として表示されます。

Explanation (説明)
そのイベントが発生した理由を説明する追加情報が提供されます。

重大度 その状態の懸念のレベルの表示。イベント・ログでは、重大度が先頭文字に省略されています。以下の重大度が表示されます。

表 2. 重大度レベル

重大度	説明
通知	通知メッセージは監査目的で記録されたもので、通常は、正常な動作のユーザー処置あるいは状態の変化です。
警告	警告はエラーほど深刻ではないですが、可能であればエラーになる前に状態を修正することが推奨されます。場合によっては、追加のモニターや保守を必要とする状態であることもあります。
エラー	エラーは通常、サービスや予想された機能を損なう障害状態または重大な状態を示します。

アラート・カテゴリー
類似のイベントを一緒にまとめてカテゴリー別に分類されています。アラート・カテゴリー・フィールドの情報は、次のフォーマットで表示されます。

重大度 - *デバイス・コンポーネント*

重大度 には、以下の重大度レベルのいずれかが示されます。

- 通知
- 警告
- Critical (クリティカル)

デバイス・コンポーネント は、イベントが生成される原因となったコンピュート・ノード内の特定のデバイスです。

保守可能
問題を修正するためにユーザー処置が必要かどうかを指定します。

CIM 情報

CIM メッセージ・レジストリーによって使用されるメッセージ ID のプレフィックスとシーケンス番号を提供します。

SNMP トラップ ID

SNMP アラート管理情報ベース (MIB) にある SNMP トラップ ID。

自動的にサポートに通知

このフィールドが「**はい**」に設定され、IBM Flex System Manager 管理ソフトウェアで Electronic Service Agent™ (ESA) が使用可能に設定されている場合、イベントが生成されると、自動的に IBM サポートに通知されます。

IBM サポートからのコールを待つ間に、イベントの推奨処置を実行することができます。

ユーザー応答

イベントを解決するために実行すべき処置を示します。

このセクションにリストされている手順を、問題が解決するまで順番に実行します。このフィールドに記載されているすべての処置を実行しても問題が解決されない場合は、IBM サポートに連絡してください。

40000001-00000000 Management Controller [arg1] Network Initialization Complete.

説明: IMM ネットワーク・サブシステムの初期化が完了しました。

4000000100000000 または 0x4000000100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0001

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000002-00000000 Certificate Authority [arg1] has detected a [arg2] Certificate Error.

説明: IMM にインポートされた SSL サーバー、SSL クライアント、または SSL トラステッド CA 証明書に、問題が発生しました。インポートされた証明書は、以前に **Generate a New Key and Certificate Signing Request** リンクで作成された鍵ペアに対応する公開鍵を含んでいる必要があります。

4000000200000000 または 0x4000000200000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0002

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: インポートしている証明書が正しいこと、および正常に生成されていることを確認します。

40000003-00000000 Ethernet Data Rate modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: 指定されたユーザーが、統合管理モジュールの外部ネットワーク・インターフェースのイーサネット・データ転送速度を指定された値に変更しました。

4000000300000000 または 0x4000000300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0003

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000004-00000000 Ethernet Duplex setting modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: 指定されたユーザーが、統合管理モジュールの外部ネットワーク・インターフェースのイーサネット二重設定を指定された値に変更しました。

4000000400000000 または 0x4000000400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0004

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000005-00000000 Ethernet MTU setting modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: 指定されたユーザーが、統合管理モジュールの外部ネットワーク・インターフェースのイーサネット最大伝送単位 (MTU) 設定を指定された値に変更しました。

4000000500000000 または 0x4000000500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0005

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000006-00000000 Ethernet locally administered MAC address modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: 指定されたユーザーが、統合管理モジュールの外部ネットワーク・インターフェースのイーサネット・ローカル管理 MAC アドレスを指定された値に変更しました。

4000000600000000 または 0x4000000600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0006

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000007-00000000 Ethernet interface [arg1] by user [arg2].

説明: 指定されたユーザーがイーサネット・インターフェースを使用可能または使用不可にしました。

4000000700000000 または 0x4000000700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0007

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000008-00000000 Hostname set to [arg1] by user [arg2].

説明: 指定されたユーザーが、統合管理モジュールのホスト名を変更しました。

4000000800000000 または 0x4000000800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0008

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000009-00000000 IP address of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: 指定されたユーザーが、統合管理モジュールの外部ネットワーク・インターフェースの IP アドレスを指定された値に変更しました。

4000000900000000 または 0x4000000900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0009

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000a-00000000 IP subnet mask of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: 指定されたユーザーが、統合管理モジュールの外部ネットワーク・インターフェースのサブネット・マスクを指定された値に変更しました。

4000000a00000000 または 0x4000000a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0010

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000b-00000000 IP address of default gateway modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: 指定されたユーザーが、統合管理モジュールの外部ネットワーク・インターフェースのゲートウェイ・アドレスを指定された値に変更しました。

4000000b00000000 または 0x4000000b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0011

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000c-00000000 OS Watchdog response [arg1] by [arg2] .

説明: このメッセージは、ユーザーによって OS ウォッチドッグが使用可能または使用不可にされた場合に使用されます。

4000000c00000000 または 0x4000000c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0012

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000d-00000000 DHCP[[arg1]] failure, no IP address assigned.

説明: DHCP サーバーが IMM への IP アドレスの割り当てに失敗しました。

4000000d00000000 または 0x4000000d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0013

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールのネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認します。
2. IMM に IP アドレスを割り当てることができる DHCP サーバーがネットワーク上に存在することを確認します。

4000000e-00000000 Remote Login Successful. Login ID: [arg1] from [arg2] at IP address [arg3].

説明: 指定されたユーザーが、統合管理モジュールにログインしました。

4000000e00000000 または 0x4000000e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0014

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000f-00000000 Attempting to [arg1] server [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーを使用してシステム上の電源機能を実行している場合に使用されます。

4000000f00000000 または 0x4000000f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0015

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

40000010-00000000 Security: Userid: [arg1] had [arg2] login failures from WEB client at IP address [arg3].

説明: ユーザーによる Web ブラウザーからのログイン試行の失敗が最大許容数を超えたため、ユーザーはロックアウト期間の間、ログインすることができません。

4000001000000000 または 0x4000001000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0016

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

40000011-00000000 Security: Login ID: [arg1] had [arg2] login failures from CLI at [arg3]..

説明: ユーザーによるコマンド・ライン・インターフェースからのログイン試行の失敗が最大許容数を超えたため、ユーザーはロックアウト期間の間、ログインすることができません。

4000001100000000 または 0x4000001100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0017

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

40000012-00000000 Remote access attempt failed. Invalid userid or password received. Userid is [arg1] from WEB browser at IP address [arg2].

説明: ユーザーが無効なログイン ID またはパスワードを使用して Web ブラウザーからログインを試みました。

4000001200000000 または 0x4000001200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0018

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

40000013-00000000 Remote access attempt failed. Invalid userid or password received. Userid is [arg1] from TELNET client at IP address [arg2].

説明: ユーザーが無効なログイン ID またはパスワードを使用して Telnet セッションからログインを試みました。

4000001300000000 または 0x4000001300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0019

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

40000014-00000000 The [arg1] on system [arg2] cleared by user [arg3].

説明: 指定されたユーザーが、システム・ログ・イベントまたは監査ログ・イベントを削除しました。

4000001400000000 または 0x4000001400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0020

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000015-00000000 Management Controller [arg1] reset was initiated by user [arg2].

説明: 統合管理モジュールがリセットされました。ログに詳細が記録されています。

4000001500000000 または 0x4000001500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0021

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000016-00000000 ENET[[arg1]] DHCP-HSTN=[arg2], DN=[arg3], IP@=[arg4], SN=[arg5], GW@=[arg6], DNS1@=[arg7] .

説明: DHCP サーバーが IMM IP アドレスおよび構成を割り当てました。

4000001600000000 または 0x4000001600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0022

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000017-00000000 ENET[[arg1]] IP-Cfg:HstName=[arg2], IP@=[arg3] ,NetMsk=[arg4], GW@=[arg5] .

説明: クライアント・データを使用して IMM IP アドレスおよび構成が割り当てられました。

4000001700000000 または 0x4000001700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0023

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000018-00000000 LAN: Ethernet[[arg1]] interface is no longer active.

説明: IMM イーサネット・インターフェースが使用不可にされました。

4000001800000000 または 0x4000001800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0024

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000019-00000000 LAN: Ethernet[[arg1]] interface is now active.

説明: IMM イーサネット・インターフェースが使用可能にされました。

4000001900000000 または 0x4000001900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0025

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000001a-00000000 DHCP setting changed to [arg1] by user [arg2].

説明: 指定されたユーザーが、統合管理モジュールの外部ネットワーク・インターフェースの DHCP 設定を変更しました。

4000001a00000000 または 0x4000001a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0026

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000001b-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restored from a file by user [arg2].

説明: 指定されたユーザーが、統合管理モジュール (IMM) 構成を以前に保管した構成ファイルからリストアしました。一部の構成設定を有効にするために IMM を再始動する必要がある場合があります。

4000001b00000000 または 0x4000001b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0027

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000001c-00000000 Watchdog [arg1] Screen Capture Occurred.

説明: オペレーティング・システム・エラーが発生し、スクリーン・キャプチャーが成功しました。

4000001c00000000 または 0x4000001c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0028

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: オペレーティング・システム・エラーがない場合は、以下のステップを問題が解決されるまで実行します。

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。
2. IMM Ethernet-over-USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。
4. ウォッチドッグを使用不可にします。

オペレーティング・システム・エラーがある場合は、インストールされているオペレーティング・システムの整合性を検査します。

4000001d-00000000 Watchdog [arg1] Failed to Capture Screen.

説明: オペレーティング・システム・エラーが発生し、スクリーン・キャプチャーが失敗しました。

4000001d00000000 または 0x4000001d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0029

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。
2. IMM Ethernet over USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。
4. ウォッチドッグを使用不可にします。
5. インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。
6. IMM ファームウェアを更新します。**重要:** 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

4000001e-00000000 Running the backup Management Controller [arg1] main application.

説明: IMM は、プライマリー IMM イメージを実行できなかったため、バックアップ・イメージを実行しました。

4000001e00000000 または 0x4000001e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0030

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを更新します。**重要:** 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

4000001f-00000000 Please ensure that the Management Controller [arg1] is flashed with the correct firmware. The Management Controller is unable to match its firmware to the server.

説明: サーバーは、インストールされた IMM ファームウェア・バージョンをサポートしていません。

4000001f00000000 または 0x4000001f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0031

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを、サーバーがサポートするバージョンに更新します。**重要:** 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

40000020-00000000 Management Controller [arg1] Reset was caused by restoring default values.

説明: 統合管理モジュールにデフォルト構成がリストアされました。

4000002000000000 または 0x4000002000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0032

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000021-00000000 Management Controller [arg1] clock has been set from NTP server [arg2].

説明: IMM クロックが、Network Time Protocol サーバーから提供された日時に設定されました。

4000002100000000 または 0x4000002100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0033

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000022-00000000 SSL data in the Management Controller [arg1] configuration data is invalid. Clearing configuration data region and disabling SSL.

説明: IMM にインポートされた証明書に問題があります。インポートされた証明書は、以前に 『Generate a New Key and Certificate Signing Request』 リンクで作成された鍵ペアに対応する公開鍵を含んでいる必要があります。

4000002200000000 または 0x4000002200000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0034

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. インポートしている証明書が正しいことを確認します。
2. 証明書のインポートを再試行します。

40000023-00000000 Flash of [arg1] from [arg2] succeeded for user [arg3] .

説明: 指定されたファームウェア更新が完了しました。

4000002300000000 または 0x4000002300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0035

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000024-00000000 Flash of [arg1] from [arg2] failed for user [arg3].

説明: 指定されたファームウェアは更新されていません。

4000002400000000 または 0x4000002400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0036

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000025-00000000 The [arg1] on system [arg2] is 75% full.

説明: IMM イベント・ログが 75% フルです。イベント・ログが完全にフルになると、新規エントリーが最も古いエントリーを上書きします。以前のログ・エントリーが失われないようにするには、ログをテキスト・ファイルとして保管し、ログをクリアします。

4000002500000000 または 0x4000002500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - イベント・ログ 75% フル

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0037

SNMP トラップ ID: 35

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000026-00000000 The [arg1] on system [arg2] is 100% full.

説明: IMM イベント・ログがフルです。ログの新規エントリーは、最も古いエントリーを上書きします。以前のログ・エントリーが失われないようにするには、ログをテキスト・ファイルとして保管し、ログをクリアします。

4000002600000000 または 0x4000002600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - イベント・ログ 75% フル

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0038

SNMP トラップ ID: 35

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以前のログ・エントリーが失われないようにするには、ログをテキスト・ファイルとして保管し、ログをクリアします。

40000027-00000000 Platform Watchdog Timer expired for [arg1].

説明: 「プラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマー有効期限切れ」イベントが発生しました。

4000002700000000 または 0x4000002700000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - OS タイムアウト

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0039

SNMP トラップ ID: 21

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。
2. IMM Ethernet-over-USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。
4. ウォッチドッグを使用不可にします。
5. インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。

40000028-00000000 Management Controller Test Alert Generated by [arg1].

説明: 統合管理モジュールが、接続の検証を行うためにテスト・メッセージを送信しました。

4000002800000000 または 0x4000002800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0040

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000029-00000000 Security: Userid: [arg1] had [arg2] login failures from an SSH client at IP address [arg3].

説明: ユーザーによる SSH からのログイン試行の失敗が最大許容数を超えたため、ユーザーはロックアウト期間の間、ログインすることができません。

4000002900000000 または 0x4000002900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0041

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

4000002a-00000000 [arg1] firmware mismatch internal to system [arg2]. Please attempt to flash the [arg3] firmware.

説明: 特定のタイプのファームウェア・ミスマッチが検出されました。

4000002a00000000 または 0x4000002a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0042

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

4000002b-00000000 Domain name set to [arg1].

説明: ユーザーによってドメイン・ネームが設定されました。

4000002b00000000 または 0x4000002b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0043

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

4000002c-00000000 Domain Source changed to [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーによってドメイン・ソースが変更されました。

4000002c00000000 または 0x4000002c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0044

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

4000002d-00000000 DDNS setting changed to [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーによって DDNS 設定が変更されました。

4000002d00000000 または 0x4000002d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0045

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

4000002e-00000000 DDNS registration successful. The domain name is [arg1].

説明: DDNS の登録が正常に完了しました。

4000002e00000000 または 0x4000002e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0046

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002f-00000000 IPv6 enabled by user [arg1] .

説明: 指定されたユーザーが、統合管理モジュール上の IPv6 サポートを使用可能にしました。

4000002f00000000 または 0x4000002f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0047

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000030-00000000 IPv6 disabled by user [arg1] .

説明: 指定されたユーザーが、統合管理モジュール上の IPv6 サポートを使用不可にしました。

4000003000000000 または 0x4000003000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0048

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000031-00000000 IPv6 static IP configuration enabled by user [arg1].

説明: 指定されたユーザーが、統合管理モジュール上の IPv6 固定アドレスの割り当てを使用可能にしました。

4000003100000000 または 0x4000003100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0049

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000032-00000000 IPv6 DHCP enabled by user [arg1].

説明: 指定されたユーザーが、統合管理モジュール上の DHCPv6 を使用可能にしました。

4000003200000000 または 0x4000003200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0050

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000033-00000000 IPv6 stateless auto-configuration enabled by user [arg1].

説明: 指定されたユーザーによって、統合管理モジュール上の IPv6 ステートレス・アドレス自動構成が使用可能にされました。

4000003300000000 または 0x4000003300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0051

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000034-00000000 IPv6 static IP configuration disabled by user [arg1].

説明: 指定されたユーザーが、統合管理モジュール上の IPv6 固定アドレスの割り当てを使用不可にしました。

4000003400000000 または 0x4000003400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0052

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000035-00000000 IPv6 DHCP disabled by user [arg1].

説明: 指定されたユーザーが、統合管理モジュール上の DHCPv6 を使用不可にしました。

4000003500000000 または 0x4000003500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0053

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000036-00000000 IPv6 stateless auto-configuration disabled by user [arg1].

説明: 指定されたユーザーによって、統合管理モジュール上の IPv6 ステートレス・アドレス自動構成が使用不可にされました。

4000003600000000 または 0x4000003600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0054

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000037-00000000 ENET[[arg1]] IPv6-LinkLocal:HstName=[arg2], IP@=[arg3], Pref=[arg4] .

説明: IPv6 リンク・ローカル・アドレスがアクティブです。

4000003700000000 または 0x4000003700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0055

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000038-00000000 ENET[[arg1]] IPv6-Static:HstName=[arg2], IP@=[arg3], Pref=[arg4], GW@=[arg5].

説明: IPv6 固定アドレスがアクティブです。

4000003800000000 または 0x4000003800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0056

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000039-00000000 ENET[[arg1]] DHCPv6-HSTN=[arg2], DN=[arg3], IP@=[arg4], Pref=[arg5].

説明: IPv6 DHCP 割り当てアドレスがアクティブです。

4000003900000000 または 0x4000003900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0057

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003a-00000000 IPv6 static address of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが、管理コントローラーの IPv6 固定アドレスを変更しました。

4000003a00000000 または 0x4000003a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0058

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

4000003b-00000000 DHCPv6 failure, no IP address assigned.

説明: DHCPv6 サーバーが、管理コントローラーへの IP アドレスの割り当てに失敗しました。

4000003b00000000 または 0x4000003b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0059

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールのネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認します。
2. IMM に IP アドレスを割り当てることができる DHCPv6 サーバーがネットワーク上に存在することを確認します。

4000003c-00000000 Platform Watchdog Timer expired for [arg1].

説明: OS ローダー・ウォッチドッグ・タイマーの有効期限が切れました。

4000003c00000000 または 0x4000003c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - ローダー・タイムアウト

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0060

SNMP トラップ ID: 26

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

4000003d-00000000 Telnet port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: 指定されたユーザーが、Telnet のポート番号を変更しました。

4000003d00000000 または 0x4000003d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0061

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003e-00000000 SSH port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: 指定されたユーザーが、セキュア・シェル (SSH) のポート番号を変更しました。

4000003e00000000 または 0x4000003e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0062

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003f-00000000 Web-HTTP port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: 指定されたユーザーが、HTTP のポート番号を変更しました。新規の HTTP (Web) 接続は、新しいポート番号を使用する必要があります。

4000003f00000000 または 0x4000003f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0063

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000040-00000000 Web-HTTPS port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: 指定されたユーザーが、HTTPS のポート番号を変更しました。新規の HTTPS (セキュア Web) 接続は、新しいポート番号を使用する必要があります。

4000004000000000 または 0x4000004000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0064

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000041-00000000 CIM/XML HTTP port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが、CIM HTTP のポート番号を変更しました。

4000004100000000 または 0x4000004100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0065

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

40000042-00000000 CIM/XML HTTPS port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが、CIM HTTPS のポート番号を変更しました。

4000004200000000 または 0x4000004200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0066

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

40000043-00000000 SNMP Agent port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: 指定されたユーザーが、Simple Network Management Protocol (SNMP) エージェントのポート番号を変更しました。

4000004300000000 または 0x4000004300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0067

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000044-00000000 SNMP Traps port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: 指定されたユーザーが、Simple Network Management Protocol (SNMP) トラップのポート番号を変更しました。

4000004400000000 または 0x4000004400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0068

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000045-00000000 Syslog port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが、Syslog 受信側のポート番号を変更しました。

4000004500000000 または 0x4000004500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0069

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

40000046-00000000 Remote Presence port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが、リモート・プレゼンスのポート番号を変更しました。

4000004600000000 または 0x4000004600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0070

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

40000047-00000000 LED [arg1] state changed to [arg2] by [arg3].

説明: 指定された LED の状態が変化しました。

4000004700000000 または 0x4000004700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0071

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000048-00000000 Inventory data changed for device [arg1], new device data hash=[arg2], new master data hash=[arg3] .

説明: 何らかの理由で物理インベントリーが変化しました。

4000004800000000 または 0x4000004800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0072

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

40000049-00000000 SNMP [arg1] enabled by user [arg2] .

説明: 指定されたユーザーが、SNMPv1 または SNMPv3 エージェントを使用可能にしました。

4000004900000000 または 0x4000004900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0073

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004a-00000000 SNMP [arg1] disabled by user [arg2] .

説明: 指定されたユーザーが、SNMPv1 または SNMPv3 エージェントを使用不可にしました。

4000004a00000000 または 0x4000004a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0074

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004b-00000000 SNMPv1 [arg1] set by user [arg2]: Name=[arg3], AccessType=[arg4], Address=[arg5], .

説明: ユーザーが、SNMP コミュニティー・ストリングを変更しました。

4000004b00000000 または 0x4000004b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0075

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

4000004c-00000000 LDAP Server configuration set by user [arg1]: SelectionMethod=[arg2], DomainName=[arg3], Server1=[arg4], Server2=[arg5], Server3=[arg6], Server4=[arg7].

説明: ユーザーが、LDAP サーバー構成を変更しました。

4000004c00000000 または 0x4000004c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0076

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

4000004d-00000000 LDAP set by user [arg1]: RootDN=[arg2], UIDSearchAttribute=[arg3], BindingMethod=[arg4], EnhancedRBS=[arg5], TargetName=[arg6], GroupFilter=[arg7], GroupAttribute=[arg8], LoginAttribute=[arg9].

説明: ユーザーが、LDAP の各種設定を構成しました。

4000004d00000000 または 0x4000004d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0077

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

4000004e-00000000 Serial Redirection set by user [arg1]: Mode=[arg2], BaudRate=[arg3], StopBits=[arg4], Parity=[arg5], SessionTerminateSequence=[arg6].

説明: ユーザーが、シリアル・ポート・モードを構成しました。

4000004e00000000 または 0x4000004e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0078

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

4000004f-00000000 Date and Time set by user [arg1]: Date=[arg2], Time-[arg3], DST Auto-adjust=[arg4], Timezone=[arg5].

説明: 指定されたユーザーが、統合管理モジュールの日時を変更しました。

4000004f00000000 または 0x4000004f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0079

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000050-00000000 Server General Settings set by user [arg1]: Name=[arg2], Contact=[arg3], Location=[arg4], Room=[arg5], RackID=[arg6], Rack U-position=[arg7].

説明: ユーザーが、ロケーション設定を構成しました。

4000005000000000 または 0x4000005000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0080

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

40000051-00000000 Server Power Off Delay set to [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、サーバーの電源オフ遅延を構成しました。

4000005100000000 または 0x4000005100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0081

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

40000052-00000000 Server [arg1] scheduled for [arg2] at [arg3] by user [arg4].

説明: ユーザーが、特定の時刻のサーバー電源アクションを構成しました。

4000005200000000 または 0x4000005200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0082

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

40000053-00000000 Server [arg1] scheduled for every [arg2] at [arg3] by user [arg4].

説明: ユーザーが、サーバー電源アクションの繰り返しを構成しました。

4000005300000000 または 0x4000005300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0083

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

40000054-00000000 Server [arg1] [arg2] cleared by user [arg3].

説明: ユーザーが、Server Power Action をクリアしました。

4000005400000000 または 0x4000005400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0084

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

40000055-00000000 Synchronize time setting by user [arg1]: Mode=[arg2], NTPServerHost=[arg3]:[arg4],NTPUpdateFrequency=[arg5].

説明: ユーザーが、日時の同期設定を構成しました。

4000005500000000 または 0x4000005500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0085

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

40000056-00000000 SMTP Server set by user [arg1] to [arg2]:[arg3].

説明: ユーザーが、SMTP サーバーを構成しました。

4000005600000000 または 0x4000005600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0086

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

40000057-00000000 Telnet [arg1] by user [arg2].

説明: 指定されたユーザーが、Telnet を使用可能または使用不可にしました。

4000005700000000 または 0x4000005700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0087

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000058-00000000 DNS servers set by user [arg1]: UseAdditionalServers=[arg2], PreferredDNStype=[arg3], IPv4Server1=[arg4], IPv4Server2=[arg5], IPv4Server3=[arg6], IPv6Server1=[arg7], IPv6Server2=[arg8], IPv6Server3=[arg9].

説明: 指定されたユーザーが、DNS サーバーを構成しました。

4000005800000000 または 0x4000005800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0088

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000059-00000000 LAN over USB [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、USB-LAN を構成しました。

4000005900000000 または 0x4000005900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0089

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

4000005a-00000000 LAN over USB Port Forwarding set by user [arg1]: ExternalPort=[arg2], USB-LAN port=[arg3].

説明: ユーザーが、USB-LAN ポート転送を構成しました。

4000005a00000000 または 0x4000005a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0090

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

4000005b-00000000 Secure Web services (HTTPS) [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、セキュア Web サービスを使用可能または使用不可にしました。

4000005b00000000 または 0x4000005b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0091

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

4000005c-00000000 Secure CIM/XML(HTTPS) [arg1] by user [arg2].

説明: セキュア CIM-XML ポートが、使用可能または使用不可にされました。

4000005c00000000 または 0x4000005c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM または **ID:** 0092

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005d-00000000 Secure LDAP [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、セキュア LDAP サービスを使用可能または使用不可にしました。

4000005d00000000 または 0x4000005d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0093

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

4000005e-00000000 SSH [arg1] by user [arg2].

説明: 指定されたユーザーが、セキュア・シェル (SSH) サービスを使用可能または使用不可にしました。

4000005e00000000 または 0x4000005e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0094

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005f-00000000 Server timeouts set by user [arg1]: EnableOSWatchdog=[arg2], OSWatchdogTimout=[arg3], EnableLoaderWatchdog=[arg4], LoaderTimeout=[arg5].

説明: ユーザーが、サーバー・タイムアウトを構成しました。

4000005f00000000 または 0x4000005f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0095

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

40000060-00000000 License key for [arg1] added by user [arg2].

説明: 指定された機能へのアクセスを許可する統合管理モジュール・ライセンスが、システムに追加されました。

4000006000000000 または 0x4000006000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0096

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000061-00000000 License key for [arg1] removed by user [arg2].

説明: 指定されたユーザーが、統合管理モジュール・ライセンスを除去しました。指定された機能へのアクセスは許可されなくなりました。

4000006100000000 または 0x4000006100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0097

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000062-00000000 Global Login General Settings set by user [arg1]: AuthenticationMethod=[arg2], LockoutPeriod=[arg3], SessionTimeout=[arg4].

説明: ユーザーが、グローバル・ログインの一般設定を変更しました。

4000006200000000 または 0x4000006200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0098

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

40000063-00000000 Global Login Account Security set by user [arg1]: PasswordRequired=[arg2], PasswordExpirationPeriod=[arg3], MinimumPasswordReuseCycle=[arg4], MinimumPasswordLength=[arg5], MinimumPasswordChangeInterval=[arg6], MaxmumLoginFailures=[arg7], LockoutAfterMaxFailures=[arg8], MinimumDifferentCharacters=[arg9], DefaultIDExpired=[arg10], ChangePasswordFirstAccess=[arg11].

説明: ユーザーが、グローバル・ログインのアカウント・セキュリティー設定を「Legacy」に変更しました。

4000006300000000 または 0x4000006300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0099

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

40000064-00000000 User [arg1] created..

説明: ユーザー・アカウントが作成されました。

4000006400000000 または 0x4000006400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0100

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000065-00000000 User [arg1] removed...

説明: ユーザー・アカウントが削除されました。

4000006500000000 または 0x4000006500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0101

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000066-00000000 User [arg1] password modified..

説明: 指定されたユーザー・アカウントのパスワードが変更されました。

4000006600000000 または 0x4000006600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0102

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000067-00000000 User [arg1] role set to [arg2].

説明: ユーザー・アカウントの役割が割り当てられました。

4000006700000000 または 0x4000006700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0103

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

40000068-00000000 User [arg1] custom privileges set: [arg2].

説明: ユーザー・アカウントの特権が割り当てられました。

4000006800000000 または 0x4000006800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0104

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

40000069-00000000 User [arg1] for SNMPv3 set: AuthenticationProtocol=[arg2], PrivacyProtocol=[arg3], AccessType=[arg4], HostforTraps=[arg5].

説明: ユーザー・アカウントの SNMPv3 設定が変更されました。

4000006900000000 または 0x4000006900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0105

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

4000006a-00000000 SSH Client key added for user [arg1].

説明: ユーザーが、SSH クライアント・キーをローカルで定義しました。

4000006a00000000 または 0x4000006a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0106

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

4000006b-00000000 SSH Client key imported for user [arg1] from [arg2].

説明: ユーザーが、SSH クライアント・キーをインポートしました。

4000006b00000000 または 0x4000006b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0107

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

4000006c-00000000 SSH Client key removed from user [arg1].

説明: ユーザーが、SSH クライアント・キーを削除しました。

4000006c00000000 または 0x4000006c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0108

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

4000006d-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration saved to a file by user [arg2].

説明: ユーザーが、管理コントローラー構成をファイルに保存しました。

4000006d00000000 または 0x4000006d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0109

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

4000006e-00000000 Alert Configuration Global Event Notification set by user [arg1]: RetryLimit=[arg2], RetryInterval=[arg3], EntryInterval=[arg4].

説明: ユーザーが、グローバル・イベント通知設定を変更しました。

4000006e00000000 または 0x4000006e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0110

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

4000006f-00000000 Alert Recipient Number [arg1] updated: Name=[arg2], DeliveryMethod=[arg3], Address=[arg4], IncludeLog=[arg5], Enabled=[arg6], EnabledAlerts=[arg7], AllowedFilters=[arg8].

説明: 指定されたユーザーが、リモート・アラートの受信側の構成を変更またはリセットしました。

4000006f00000000 または 0x4000006f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0111

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000070-00000000 SNMP Traps enabled by user [arg1]: EnabledAlerts=[arg2], AllowedFilters=[arg3] .

説明: 指定されたユーザーが、Simple Network Management Protocol (SNMP) トラップを使用可能にしました。

4000007000000000 または 0x4000007000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0112

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000071-00000000 The power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts by user [arg3].

説明: 電源キャッピング・レベルが変更されました。

4000007100000000 または 0x4000007100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0113

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000072-00000000 The minimum power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts.

説明: 電源キャップの最小値が変更されました。

4000007200000000 または 0x4000007200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0114

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

40000073-00000000 The maximum power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts.

説明: 電源キャップの最大値が変更されました。

4000007300000000 または 0x4000007300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0115

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

40000074-00000000 The soft minimum power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts.

説明: 電源キャップのソフト最小値が変更されました。

4000007400000000 または 0x4000007400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0116

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

40000075-00000000 The measured power value exceeded the power cap value.

説明: 計測電力値が電源キャップ値を超えました。

4000007500000000 または 0x4000007500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0117

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

40000076-00000000 The new minimum power cap value exceeded the power cap value.

説明: 新規の電源キャップの最小値が電源キャップ値を超えました。

4000007600000000 または 0x4000007600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0118

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

40000077-00000000 Power capping was activated by user [arg1].

説明: 電源キャッピング制御が使用可能にされました。

4000007700000000 または 0x4000007700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0119

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000078-00000000 Power capping was deactivated by user [arg1].

説明: 電源キャッピング制御が使用可能にされました。

4000007800000000 または 0x4000007800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0120

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000079-00000000 Static Power Savings mode has been turned on by user [arg1].

説明: ユーザーによって、静的省電力モードがオンにされました。

4000007900000000 または 0x4000007900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0121

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

4000007a-00000000 Static Power Savings mode has been turned off by user [arg1].

説明: ユーザーによって、静的省電力モードがオフにされました。

4000007a00000000 または 0x4000007a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0122

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

4000007b-00000000 Dynamic Power Savings mode has been turned on by user [arg1].

説明: ユーザーによって、動的省電力モードがオンにされました。

4000007b00000000 または 0x4000007b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0123

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

4000007c-00000000 Dynamic Power Savings mode has been turned off by user [arg1].

説明: ユーザーによって、動的省電力モードがオフにされました。

4000007c00000000 または 0x4000007c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0124

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

4000007d-00000000 Power cap and external throttling occurred.

説明: 電源キャップ・スロットルおよび外部スロットルが発生しました。

4000007d00000000 または 0x4000007d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0125

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

4000007e-00000000 External throttling occurred .

説明: 外部スロットルが発生しました。

4000007e00000000 または 0x4000007e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

4000007f-00000000 Power cap throttling occurred.

説明: 電源キャップ・スロットルが発生しました。

4000007f00000000 または 0x4000007f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

40000080-00000000 Remote Control session started by user [arg1] in [arg2] mode.

説明: Remote Control セッションが開始されました。

4000008000000000 または 0x4000008000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0128

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

40000082-00000000 The measured power value has returned below the power cap value.

説明: 以前に計測された高い電力値が、電源キャップ値より下に戻りました。

4000008200000000 または 0x4000008200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

40000083-00000000 The new minimum power cap value has returned below the power cap value.

説明: これまで高かった電源キャップの最小値が、電源キャップ値より下に戻りました。

4000008300000000 または 0x4000008300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

40000084-00000000 IMM firmware mismatch between nodes [arg1] and [arg2]. Please attempt to flash the IMM firmware to the same level on all nodes.

説明: ノード間の IMM ファームウェアのミスマッチが検出されました。

4000008400000000 または 0x4000008400000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0132

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

40000085-00000000 FPGA firmware mismatch between nodes [arg1] and [arg2]. Please attempt to flash the FPGA firmware to the same level on all nodes.

説明: ノード間の FPGA ファームウェアのミスマッチが検出されました。

4000008500000000 または 0x4000008500000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0133

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

40000086-00000000 Test Call Home Generated by user [arg1].

説明: 指定されたユーザーが、テスト用の自動サポート通知を生成しました。

4000008600000000 または 0x4000008600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0134

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000087-00000000 Manual Call Home by user [arg1]: [arg2].

説明: 指定されたユーザーが、サービス要求を実行依頼しました。

4000008700000000 または 0x4000008700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0135

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: IBM サポートが問題に対応します。

40000088-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restoration from a file by user [arg2] completed..

説明: 指定されたユーザーが、指定された管理コントローラーの構成をファイルから正常にリストアしました。

4000008800000000 または 0x4000008800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

40000089-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restoration from a file by user [arg2] failed to complete..

説明: 指定されたユーザーによる指定された管理コントローラーの構成のファイルからのリストアは、完了しませんでした。

4000008900000000 または 0x4000008900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

4000008a-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restoration from a file by user [arg2] failed to start..

説明: 指定されたユーザーによる指定された管理コントローラーの構成のファイルからのリストアは、開始されませんでした。

4000008a00000000 または 0x4000008a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

4000008b-00000000 One or more of the Storage Management IP addresses has changed..

説明: このメッセージは、ストレージ管理用の IP アドレスが変更された場合に使用されます。

4000008b00000000 または 0x4000008b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: :

80010202-0701ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted.

説明: 電圧が、指定されたしきい値を下回りました。

800102020701ffff または 0x800102020701ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0480

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 以下の手順のいずれかを使用してください。

- 指定されたセンサーが Planar 3.3V または Planar 5V である場合は、システム・ボードを交換してください。
- 指定されたセンサーが Planar 12V である場合は、シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログでパワー・サプライ関連の問題がないかを確認し、それらの問題を解決してください。問題が解決しない場合は、システム・ボードを交換してください。

80010202-2801ffff Sensor Planar VBAT has detected low battery voltage.

説明: CMOS バッテリーの電圧が、指定されたしきい値を下回りました。

800102022801ffff または 0x800102022801ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0480

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: CMOS バッテリーを交換してください。

80010701-3701ffff Sensor {NumericSensorElementName] has detected a noncritical high inlet temperature.

説明: 吸気口の温度が、指定されたしきい値を超えました。

800107013701ffff または 0x800107013701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

80010901-3701ffff Sensor [NumericSensorElementName] has detected a critical high inlet temperature.

説明: 吸気口の温度が、指定されたしきい値を超えました。 コンピュート・ノードがソフト・シャットダウンを試行しました。

800109013701ffff または 0x800109013701ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

80010902-0701ffff Sensor [NumericSensorElementName] has detected high voltage.

説明: 電圧が、指定されたしきい値を超えました。

800109020701ffff または 0x800109020701ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 以下の手順のいずれかを使用してください。

- 指定されたセンサーが Planar 3.3V または Planar 5V である場合は、システム・ボードを交換してください。
- 指定されたセンサーが Planar 12V である場合は、シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログでパワー・サプライ関連の問題がないかを確認し、それらの問題を解決してください。問題が解決しない場合は、システム・ボードを交換してください。

80010b01-3701ffff Numeric sensor Inlet Temp going high (upper non-recoverable) has asserted.

説明: 吸気口の温度が、指定されたしきい値を超えました。コンピュート・ノードがハード・シャットダウンを開始しました。

80010b013701ffff または 0x80010b013701ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

80030006-2101ffff Sensor Sig Verify Fail has deasserted.

説明: セキュア UEFI 更新が完了しました。

800300062101ffff または 0x800300062101ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0509

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

8003010e-2581ffff Sensor Memory Resized has asserted.

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

8003010e2581ffff または 0x8003010e2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0508

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

80070101-03010100 Sensor [SensorElementName] has gone from from Normal state to Non-critical state.

説明: マイクロプロセッサー 1 の温度が、指定されたしきい値を超えました。

8007010103010100 または 0x8007010103010100 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0520

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

80070101-03020100 Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state.

説明: マイクロプロセッサー 2 の温度が、指定されたしきい値を超えました。

8007010103020100 または 0x8007010103020100 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0520

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

80070101-2c01ffff Sensor Mezz Exp 1 temp has transitioned from normal to non-critical state.

説明: I/O 拡張コネクター 1 の I/O 拡張アダプターの温度が、指定されたしきい値を超えました。

800701012c01ffff または 0x800701012c01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0520

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

80070101-2c02ffff Sensor Mezz Exp 2 temp has transitioned from normal to non-critical state.

説明: I/O 拡張コネクター 2 の I/O 拡張アダプターの温度が、指定されたしきい値を超えました。

800701012c02ffff または 0x800701012c02ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0520

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

80070114-2201ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state.

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800701142201ffff または 0x800701142201ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0520

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

80070201-2d0101ff Sensor PCH Overtemp has transitioned to critical from a less severe state.

説明: 温度が、指定されたしきい値を超えました。

800702012d0101ff または 0x800702012d0101ff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

80070202-0701ffff Sensor Planar Fault has gone to Critical state from a less severe state.

説明: システム・ボードに障害が検出されました。

800702020701ffff または 0x800702020701ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 最近取り付けたコンポーネントをすべて取り外します。
2. コンピュート・ノードの電源オンを試行します。
   - コンピュート・ノードの電源オンが正常に完了する場合は、以下のステップを実行してください。
     a. ServerProven Web サイトで、最近取り付けたコンポーネントがコンピュート・ノードと互換性があることを確認します。
     b. 以前に取り付けたコンポーネントに物理的損傷がないかを検査します。
   - コンピュート・ノードの電源オンが正常に完了しない場合、あるいはこの問題が発生したのが初めてではない場合は、システム・ボードを交換してください。

8007020f-2582ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state.

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8007020f2582ffff または 0x8007020f2582ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: I/O リソースなし :

8007021b-0301ffff Sensor CPU 1 QPILinkErr has transitioned to critical from a less severe state.

説明: CPU 1 の QPI リンク障害が検出されました。

8007021b0301ffff または 0x8007021b0301ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

8007021b-0302ffff Sensor CPU 2 QPILinkErr has transitioned to critical from a less severe state.

説明: CPU 2 の QPI リンク障害が検出されました。

8007021b0302ffff または 0x8007021b0302ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

80070301-03010100 Sensor [SensorElementName] has gone to Nonrecoverable state from a less severe state.

説明: マイクロプロセッサー 1 の温度が指定されたしきい値を上回ったため、ノードのハード・シャットダウンが発生しました。

8007030103010100 または 0x8007030103010100 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0524

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. マイクロプロセッサー 1 のヒートシンクがしっかりと取り付けられていることを確認します。
5. マイクロプロセッサー 1 のヒートシンクが正しく取り付けられていること、および熱伝導材が正しく塗布されていることを確認します。
6. マイクロプロセッサー 1 を交換します。

80070301-03020100 Sensor [SensorElementName] has gone to Nonrecoverable state from a less severe state.

説明: マイクロプロセッサー 2 の温度が指定されたしきい値を超えたため、コンピュート・ノードのハード・シャットダウンが発生しました。

8007030103020100 または 0x8007030103020100 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0524

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. マイクロプロセッサー 2 のヒートシンクがしっかりと取り付けられていることを確認します。
5. マイクロプロセッサー 2 のヒートシンクが正しく取り付けられていること、および熱伝導材が正しく塗布されていることを確認します。
6. マイクロプロセッサー 2 を交換します。

80070301-2c01ffff Sensor Mezz Exp 1 temp has transitioned to non-recoverable from a less severe state.

説明: I/O 拡張コネクター 1 の I/O 拡張アダプターの温度が、指定されたしきい値を超えました。 コンピュート・ノードがソフト・シャットダウンを試行しました。

800703012c01ffff または 0x800703012c01ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0524

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. 他に温度に関する問題がない場合は、I/O 拡張アダプターを交換します。

80070301-2c02ffff Sensor Mezz Exp 2 temp has transitioned to non-recoverable from a less severe state.

説明: I/O 拡張コネクター 2 の I/O 拡張アダプターの温度が、指定されたしきい値を超えました。 コンピュート・ノードがソフト・シャットダウンを試行しました。

800703012c02ffff または 0x800703012c02ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0524

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. 他に温度に関する問題がない場合は、I/O 拡張アダプターを交換します。

80070301-2d0101ff Sensor PCH Overtemp has transitioned to non-recoverable from a less severe state.

説明: 温度が、指定されたしきい値を超えました。コンピュート・ノードがソフト・シャットダウンを試行します。

800703012d0101ff または 0x800703012d0101ff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0524

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

80070319-2201ffff Sensor S3 Resume Fail has transitioned to non-recoverable from a less severe state.

説明: S3 Resume Fail センサーが、重大度の低い状態からリカバリー不能状態に変化しました。

800703192201ffff または 0x800703192201ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0524

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

80070401-2c01ffff Sensor Mezz Exp 1 temp has transitioned to non-critical from a more severe state.

説明: これまで高かった I/O 拡張コネクター 1 の I/O 拡張アダプターの温度が、指定されたしきい値より下に戻りました。

800704012c01ffff または 0x800704012c01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0526

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

80070401-2c02ffff Sensor Mezz Exp 2 temp has transitioned to non-critical from a more severe state.

説明: これまで高かった I/O 拡張コネクター 2 の I/O 拡張アダプターの温度が、指定されたしきい値より下に戻りました。

800704012c02ffff または 0x800704012c02ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0526

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

80070601-2c01ffff Sensor Mezz Exp 1 temp has transitioned to non-recoverable.

説明: I/O 拡張コネクター 1 の I/O 拡張アダプターの温度が、指定されたしきい値を超えました。 コンピュート・ノードがソフト・シャットダウンを試行しました。

800706012c01ffff または 0x800706012c01ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0530

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. 他に温度に関する問題がない場合は、I/O 拡張アダプターを交換します。

80070601-2c02ffff Sensor Mezz Exp 2 temp has transitioned to non-recoverable.

説明: I/O 拡張コネクター 2 の I/O 拡張アダプターの温度が、指定されたしきい値を超えました。 コンピュート・ノードがソフト・シャットダウンを試行しました。

800706012c02ffff または 0x800706012c02ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0530

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. 他に温度に関する問題がない場合は、I/O 拡張アダプターを交換します。

8007060f-2201ffff Sensor BOFM Config Err has transitioned to non-recoverable.

説明: BOFM 構成エラーが検出されました。

8007060f2201ffff または 0x8007060f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0530

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

80070614-2201ffff Sensor TPM Phy Pres Set has transitioned to non-recoverable.

説明: TPM Phy Pres Set センサーが、リカバリー不能状態に変化しました。

800706142201ffff または 0x800706142201ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0530

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

80080017-0f01ffff Device SAS BP has been removed from unit [PhysicalPackageElementName].

説明: SAS バックプレーンが取り外されました。

800800170f01ffff または 0x800800170f01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0537

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: SAS バックプレーンを取り付けます。

8008010f-2101ffff Device [LogicalDeviceElementName] has been added.

説明: 指定されたデバイスが、コンピュート・ノードに取り付けられました。

8008010f2101ffff または 0x8008010f2101ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0536

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 物理プレゼンス・ジャンパー :

80080128-2101ffff Device [LogicalDeviceElementName] has been added.

説明: 指定されたデバイスが、コンピュート・ノードに取り付けられました。

800801282101ffff または 0x800801282101ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0536

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 低セキュリティー・ジャンパー :

8009000c-0701ffff Device Performance Mode has been disabled.

説明: ユーザーが、パフォーマンス・モードから音響モードに切り替えました。

8009000c0701ffff または 0x8009000c0701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0539

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

8009010c-0701ffff Device Performance Mode has been enabled.

説明: ユーザーが、音響モードからパフォーマンス・モードに切り替えました。

8009010c0701ffff または 0x8009010c0701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0538

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

80090112-2101ffff Device [LogicalDeviceElementName] has been enabled.

説明: IPMI または SNMP アカウントが使用可能にされました。

800901122101ffff または 0x800901122101ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0538

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

800b010c-2581ffff Redundancy Lost for Backup Memory has asserted.

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明された場合に使用されます。

800b010c2581ffff または 0x800b010c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0802

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

800b030c-2581ffff Non-redundant:Sufficient Resources from Redundancy Degraded or Fully Redundant for Backup Memory has asserted.

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「冗長性の機能低下」状態または「完全冗長」状態から「非冗長:十分なリソース」状態に変化した場合に使用されます。

800b030c2581ffff または 0x800b030c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0806

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

800b050c-2581ffff Non-redundant:Insufficient Resources for Backup Memory has asserted.

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なリソース」状態に変化した場合に使用されます。

800b050c2581ffff または 0x800b050c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0810

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f0007-0301ffff CPU 1 has Failed with IERR.

説明: このメッセージは、「プロセッサー障害 - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f00070301ffff または 0x806f00070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0042

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f0007-0302ffff CPU 2 has Failed with IERR.

説明: このメッセージは、「プロセッサー障害 - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f00070302ffff または 0x806f00070302ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0042

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f0007-2584ffff [ProcessorElementName] has Failed with IERR.

説明: このメッセージは、「プロセッサー障害 - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。すべての CPU。1 つの CPU。

806f00072584ffff または 0x806f00072584ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0042

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f0009-0701ffff system board 1 has been turned off.

説明: コンピュート・ノードの電源がオフにされました。

806f00090701ffff または 0x806f00090701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 電源オフ

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0106

SNMP トラップ ID: 23

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

806f000d-0400ffff The Drive Drive 0 has been added.

説明: ハード・ディスク 0 が取り付けられました。

806f000d0400ffff または 0x806f000d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

806f000d-0401ffff The Drive Drive 1 has been added.

説明: ハード・ディスク 1 が取り付けられました。

806f000d0401ffff または 0x806f000d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

806f000f-220101ff The System [ComputerSystemElementName] has detected no memory in the system.

説明: このメッセージは、メモリーがシステム内で検出されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。ABR の状況。ファームウェア・エラー

806f000f220101ff または 0x806f000f220101ff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0794

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f000f-220102ff Subsystem [MemoryElementName] has insufficient memory for operation.

説明: このメッセージは、操作に使用可能なメモリーが不十分であることを実装環境が検出した場合に使用されます。ABR の状況 : ファームウェア・エラー :

806f000f220102ff または 0x806f000f220102ff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0132

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f000f-220103ff The System [ComputerSystemElementName] encountered firmware error - unrecoverable boot device failure.

説明: このメッセージは、リカバリー不能ブート・デバイス障害を示すシステム・ファームウェア・エラーが発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f220103ff または 0x806f000f220103ff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0770

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: ABR の状況 : ファームウェア・エラー : これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f000f-220104ff The System [ComputerSystemElementName]has encountered a motherboard failure.

説明: このメッセージは、致命的なマザーボード障害がシステムで発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。ABR の状況。ファームウェア・エラー

806f000f220104ff または 0x806f000f220104ff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0795

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f000f-220107ff The System [ComputerSystemElementName] encountered firmware error - unrecoverable keyboard failure.

説明: このメッセージは、リカバリー不能キーボード障害を示すシステム・ファームウェア・エラーが発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。 ABR の状況。ファームウェア・エラー

806f000f220107ff または 0x806f000f220107ff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0764

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f000f-22010aff The System [ComputerSystemElementName] encountered firmware error - no video device detected.

説明: このメッセージは、ビデオ・デバイスが検出されないことを示すシステム・ファームウェア・エラーが発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。 ABR の状況。ファームウェア・エラー

806f000f22010aff または 0x806f000f22010aff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0766

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f000f-22010bff Firmware BIOS (ROM) corruption was detected on system [ComputerSystemElementName] during POST.

説明: POST 中に、システム上でファームウェア BIOS (ROM) の破損が検出されました。ABR の状況。ファームウェア・エラー

806f000f22010bff または 0x806f000f22010bff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0850

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f000f-22010cff CPU voltage mismatch detected on [ProcessorElementName].

説明: このメッセージは、CPU 電圧がソケット電圧と一致していないことを実装環境が検出した場合に使用されます。 ABR の状況。ファームウェア・エラー

806f000f22010cff または 0x806f000f22010cff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0050

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f000f-2201ffff The System [ComputerSystemElementName] encountered a POST Error.

説明: このメッセージは、実装環境で POST エラーが検出された場合に使用されます。 ABR の状況。ファームウェア・エラー

806f000f2201ffff または 0x806f000f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0184

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f0013-1701ffff A diagnostic interrupt has occurred on system [ComputerSystemElementName].

説明: ユーザーが NMI ボタンを押したか、あるいは NMI ボタンが誤動作しました。

806f00131701ffff または 0x806f00131701ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0222

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: オペレーター情報パネル上の NMI ボタンが押されていない場合は、以下のステップを実行してください。

1. NMI ボタンが押されていないことを確認します。
2. システム・ボードを交換します。

806f0021-2201ffff Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。 Op ROM スペースがありません。

806f00212201ffff または 0x806f00212201ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f0021-2582ffff Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。すべての PCI エラー。1 つの PCI エラー。

806f00212582ffff または 0x806f00212582ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f0023-2101ffff Watchdog Timer expired for IPMI Watchdog.

説明: IPMI ウォッチドッグ・タイマーの有効期限が切れました。

806f00232101ffff または 0x806f00232101ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0368

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

806f0028-2101ffff Sensor TPM Card Failures is unavailable or degraded on management system [ComputerSystemElementName].

説明: TPM の初期化コマンドまたは開始コマンドが失敗しました。

806f00282101ffff または 0x806f00282101ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0398

806f0107-0301ffff

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. システムをリブートします。
2. エラーが解決しない、またはブートが正常に完了しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0107-0301ffff An over-temperature condition has been detected on [ProcessorElementName].

説明: マイクロプロセッサー 1 の温度がクリティカル・レベルを超えたため、コンピュート・ノードのハード・シャットダウンが発生しました。

806f01070301ffff または 0x806f01070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0036

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. マイクロプロセッサー 1 のヒートシンクがしっかりと取り付けられていることを確認します。
5. マイクロプロセッサー 1 のヒートシンクが正しく取り付けられていること、および熱伝導材が正しく塗布されていることを確認します。
6. マイクロプロセッサー 1 を交換します。

806f0107-0302ffff An over-temperature condition has been detected on [ProcessorElementName].

説明: マイクロプロセッサー 2 の温度がクリティカル・レベルを超えたため、コンピュート・ノードのハード・シャットダウンが発生しました。

806f01070302ffff または 0x806f01070302ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0036

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. マイクロプロセッサー 1 のヒートシンクがしっかりと取り付けられていることを確認します。
5. マイクロプロセッサー 1 のヒートシンクが正しく取り付けられていること、および熱伝導材が正しく塗布されていることを確認します。
6. マイクロプロセッサー 1 を交換します。

806f0107-2584ffff An over-temperature condition has been detected on [ProcessorElementName].

説明: 指定されたマイクロプロセッサーの温度が、指定されたしきい値を超えました。

806f01072584ffff または 0x806f01072584ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0036

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. 指定されたマイクロプロセッサーのヒートシンクがしっかりと取り付けられていることを確認します。
5. 指定されたマイクロプロセッサーのヒートシンクが正しく取り付けられていること、および熱伝導材が正しく塗布されていることを確認します。
6. 指定されたマイクロプロセッサーを交換します。

806f0109-0701ffff system board 1 has been Power Cycled.

説明: コンピュート・ノードの電源がオフにされた後でオンにされました。

806f01090701ffff または 0x806f01090701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0108

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

806f010c-2001ffff Uncorrectable error detected for DIMM 1 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2001ffff または 0x806f010c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f010c-2002ffff Uncorrectable error detected for DIMM 2 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2002ffff または 0x806f010c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f010c-2003ffff Uncorrectable error detected for DIMM 3 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2003ffff または 0x806f010c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f010c-2004ffff Uncorrectable error detected for DIMM 4 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2004ffff または 0x806f010c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f010c-2005ffff Uncorrectable error detected for DIMM 5 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2005ffff または 0x806f010c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f010c-2006ffff Uncorrectable error detected for DIMM 6 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2006ffff または 0x806f010c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f010c-2007ffff Uncorrectable error detected for DIMM 7 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2007ffff または 0x806f010c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f010c-2008ffff Uncorrectable error detected for DIMM 8 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2008ffff または 0x806f010c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f010c-2009ffff Uncorrectable error detected for DIMM 9 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2009ffff または 0x806f010c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f010c-200affff Uncorrectable error detected for DIMM 10 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200affff または 0x806f010c200affff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f010c-200bffff Uncorrectable error detected for DIMM 11 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200bffff または 0x806f010c200bffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f010c-200cffff Uncorrectable error detected for DIMM 12 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200cffff または 0x806f010c200cffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f010c-200dffff Uncorrectable error detected for DIMM 13 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200dffff または 0x806f010c200dffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f010c-200effff Uncorrectable error detected for DIMM 14 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200effff または 0x806f010c200effff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f010c-200fffff Uncorrectable error detected for DIMM 15 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200fffff または 0x806f010c200fffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f010c-2010ffff Uncorrectable error detected for DIMM 16 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2010ffff または 0x806f010c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f010c-2011ffff Uncorrectable error detected for DIMM 17 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2011ffff または 0x806f010c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f010c-2012ffff Uncorrectable error detected for DIMM 18 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2012ffff または 0x806f010c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f010c-2013ffff Uncorrectable error detected for DIMM 19 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2013ffff または 0x806f010c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f010c-2014ffff Uncorrectable error detected for DIMM 20 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2014ffff または 0x806f010c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f010c-2015ffff Uncorrectable error detected for DIMM 21 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2015ffff または 0x806f010c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f010c-2016ffff Uncorrectable error detected for DIMM 22 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2016ffff または 0x806f010c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f010c-2017ffff Uncorrectable error detected for DIMM 23 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2017ffff または 0x806f010c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f010c-2018ffff Uncorrectable error detected for DIMM 24 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2018ffff または 0x806f010c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f010c-2581ffff Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。すべての DIMM。1 つの DIMM。

806f010c2581ffff または 0x806f010c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f010d-0400ffff The Drive Drive 0 has been disabled due to a detected fault.

説明: ハード・ディスク・コントローラーが、ハード・ディスク 0 に障害を検出しました。現在、ハード・ディスク 0 は機能不良状態です。

806f010d0400ffff または 0x806f010d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. Support Portal で、ご使用のドライブに関連する Service Bulletin および RETAIN のヒントがないかを確認します。
2. Support Portal で、ご使用のドライブに関連するファームウェア更新がないかを確認します。
3. ドライブを交換します。
4. RAID 関連のエラーが他にないかを確認します。

806f010d-0401ffff The Drive Drive 1 has been disabled due to a detected fault.

説明: ハード・ディスク・コントローラーが、ハード・ディスク 1 に障害を検出しました。現在、ハード・ディスク 1 は機能不良状態です。

806f010d0401ffff または 0x806f010d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. Support Portal で、ご使用のドライブに関連する Service Bulletin および RETAIN のヒントがないかを確認します。
2. Support Portal で、ご使用のドライブに関連するファームウェア更新がないかを確認します。
3. ドライブを交換します。
4. RAID 関連のエラーが他にないかを確認します。

806f010f-2201ffff The System [ComputerSystemElementName] encountered a firmware hang.

説明: このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェアのハングが検出された場合に使用されます。 ファームウェア・エラー :

806f010f2201ffff または 0x806f010f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - ブート障害

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0186

SNMP トラップ ID: 25

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f011b-0c01ffff The connector LightPath has encountered a configuration error.

説明: Light Path LED カードが検出されませんでした。

806f011b0c01ffff または 0x806f011b0c01ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0266

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. Light Path LED カードからシステム・ボードへのケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。
2. Light Path 診断パネルを交換します。

806f0123-2101ffff Reboot of system [ComputerSystemElementName] initiated by IPMI Watchdog.

説明: IPMI ウォッチドッグ・タイマーの有効期限が切れました。コンピュート・ノードが再始動しました。

806f01232101ffff または 0x806f01232101ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0370

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

806f0125-1f05ffff LOM detected as absent.

説明: このシステム・ボード上では LAN on Motherboard (LOM) が検出されませんでした。

806f01251f05ffff または 0x806f01251f05ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0392

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。LOM なしで出荷されたモデルです。

806f0207-0301ffff CPU 1 has Failed with FRB1/BIST condition.

説明: このメッセージは、実装環境で「プロセッサー障害 - FRB1/BIST 状態」が検出された場合に使用されます。

806f02070301ffff または 0x806f02070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0044

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f0207-0302ffff CPU 2 has Failed with FRB1/BIST condition.

説明: このメッセージは、実装環境で「プロセッサー障害 - FRB1/BIST 状態」が検出された場合に使用されます。

806f02070302ffff または 0x806f02070302ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0044

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f0207-2584ffff [ProcessorElementName] has Failed with FRB1/BIST condition.

説明: このメッセージは、実装環境で「プロセッサー障害 - FRB1/BIST 状態」が検出された場合に使用されます。すべての CPU。1 つの CPU。

806f02072584ffff または 0x806f02072584ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0044

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f020d-0400ffff Failure Predicted on drive Drive 0 for array [ComputerSystemElementName].

説明: ハード・ディスクの障害予知 (PFA) が検出されました。

806f020d0400ffff または 0x806f020d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 次の保守期間にハード・ディスク 0 を交換します。

806f020d-0401ffff Failure Predicted on drive Drive 1 for array [ComputerSystemElementName].

説明: ハード・ディスクの障害予知 (PFA) が検出されました。

806f020d0401ffff または 0x806f020d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 次の保守期間にハード・ディスク 1 を交換します。

806f0223-2101ffff Powering off system [ComputerSystemElementName] initiated by IPMI Watchdog.

説明: IPMI ウォッチドッグ・タイマーの有効期限が切れました。コンピュート・ノードの電源がオフにされました。

806f02232101ffff または 0x806f02232101ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0372

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

806f030c-2001ffff Scrub Failure for DIMM 1 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: ブート中にメモリー・エラーが検出されました..(実行時エラーではありません)。

806f030c2001ffff または 0x806f030c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f030c-2002ffff Scrub Failure for DIMM 2 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: ブート中にメモリー・エラーが検出されました..(実行時エラーではありません)。

806f030c2002ffff または 0x806f030c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f030c-2003ffff Scrub Failure for DIMM 3 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: ブート中にメモリー・エラーが検出されました..(実行時エラーではありません)。

806f030c2003ffff または 0x806f030c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f030c-2004ffff Scrub Failure for DIMM 4 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: ブート中にメモリー・エラーが検出されました..(実行時エラーではありません)。

806f030c2004ffff または 0x806f030c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f030c-2005ffff Scrub Failure for DIMM 5 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: ブート中にメモリー・エラーが検出されました..(実行時エラーではありません)。

806f030c2005ffff または 0x806f030c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f030c-2006ffff Scrub Failure for DIMM 6 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: ブート中にメモリー・エラーが検出されました..(実行時エラーではありません)。

806f030c2006ffff または 0x806f030c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f030c-2007ffff Scrub Failure for DIMM 7 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: ブート中にメモリー・エラーが検出されました..(実行時エラーではありません)。

806f030c2007ffff または 0x806f030c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f030c-2008ffff Scrub Failure for DIMM 8 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: ブート中にメモリー・エラーが検出されました..(実行時エラーではありません)。

806f030c2008ffff または 0x806f030c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f030c-2009ffff Scrub Failure for DIMM 9 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: ブート中にメモリー・エラーが検出されました..(実行時エラーではありません)。

806f030c2009ffff または 0x806f030c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f030c-200affff Scrub Failure for DIMM 10 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: ブート中にメモリー・エラーが検出されました..(実行時エラーではありません)。

806f030c200affff または 0x806f030c200affff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f030c-200bffff Scrub Failure for DIMM 11 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: ブート中にメモリー・エラーが検出されました..(実行時エラーではありません)。

806f030c200bffff または 0x806f030c200bffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f030c-200cffff Scrub Failure for DIMM 12 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: ブート中にメモリー・エラーが検出されました..(実行時エラーではありません)。

806f030c200cffff または 0x806f030c200cffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f030c-200dffff Scrub Failure for DIMM 13 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: ブート中にメモリー・エラーが検出されました..(実行時エラーではありません)。

806f030c200dffff または 0x806f030c200dffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f030c-200effff Scrub Failure for DIMM 14 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: ブート中にメモリー・エラーが検出されました..(実行時エラーではありません)。

806f030c200effff または 0x806f030c200effff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f030c-200fffff Scrub Failure for DIMM 15 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: ブート中にメモリー・エラーが検出されました..(実行時エラーではありません)。

806f030c200fffff または 0x806f030c200fffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f030c-2010ffff Scrub Failure for DIMM 16 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: ブート中にメモリー・エラーが検出されました..(実行時エラーではありません)。

806f030c2010ffff または 0x806f030c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f030c-2011ffff Scrub Failure for DIMM 17 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: ブート中にメモリー・エラーが検出されました..(実行時エラーではありません)。

806f030c2011ffff または 0x806f030c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f030c-2012ffff Scrub Failure for DIMM 18 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: ブート中にメモリー・エラーが検出されました..(実行時エラーではありません)。

806f030c2012ffff または 0x806f030c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f030c-2013ffff Scrub Failure for DIMM 19 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: ブート中にメモリー・エラーが検出されました..(実行時エラーではありません)。

806f030c2013ffff または 0x806f030c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f030c-2014ffff Scrub Failure for DIMM 20 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: ブート中にメモリー・エラーが検出されました..(実行時エラーではありません)。

806f030c2014ffff または 0x806f030c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f030c-2015ffff Scrub Failure for DIMM 21 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: ブート中にメモリー・エラーが検出されました..(実行時エラーではありません)。

806f030c2015ffff または 0x806f030c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f030c-2016ffff Scrub Failure for DIMM 22 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: ブート中にメモリー・エラーが検出されました..(実行時エラーではありません)。

806f030c2016ffff または 0x806f030c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f030c-2017ffff Scrub Failure for DIMM 23 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: ブート中にメモリー・エラーが検出されました..(実行時エラーではありません)。

806f030c2017ffff または 0x806f030c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f030c-2018ffff Scrub Failure for DIMM 24 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: ブート中にメモリー・エラーが検出されました..(実行時エラーではありません)。

806f030c2018ffff または 0x806f030c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f030c-2581ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].

説明: ブート中にメモリー・エラーが検出されました..(実行時エラーではありません)。

806f030c2581ffff または 0x806f030c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f0313-1701ffff A software NMI has occurred on system [ComputerSystemElementName].

説明: ソフトウェア NMI が発生しました。構成設定によっては、コンピュート・ノードが再始動した可能性があります。

806f03131701ffff または 0x806f03131701ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0228

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: オペレーティング・システムのログを確認し、NMI に関連する問題をすべて解決します。

806f0323-2101ffff Power cycle of system [ComputerSystemElementName] initiated by watchdog IPMI Watchdog.

説明: IPMI ウォッチドッグ・タイマーの有効期限が切れました。コンピュート・ノードの電源がオフにされた後でオンにされました。

806f03232101ffff または 0x806f03232101ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0374

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

806f040c-2001ffff DIMM 1 Disabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2001ffff または 0x806f040c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f040c-2002ffff DIMM 2 Disabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2002ffff または 0x806f040c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f040c-2003ffff DIMM 3 Disabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2003ffff または 0x806f040c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f040c-2004ffff DIMM 4 Disabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2004ffff または 0x806f040c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f040c-2005ffff DIMM 5 Disabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2005ffff または 0x806f040c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f040c-2006ffff DIMM 6 Disabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2006ffff または 0x806f040c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f040c-2007ffff DIMM 7 Disabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2007ffff または 0x806f040c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f040c-2008ffff DIMM 8 Disabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2008ffff または 0x806f040c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f040c-2009ffff DIMM 9 Disabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2009ffff または 0x806f040c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f040c-200affff DIMM 10 Disabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200affff または 0x806f040c200affff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f040c-200bffff DIMM 11 Disabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200bffff または 0x806f040c200bffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f040c-200cffff DIMM 12 Disabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200cffff または 0x806f040c200cffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f040c-200dffff DIMM 13 Disabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200dffff または 0x806f040c200dffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f040c-200effff DIMM 14 Disabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200effff または 0x806f040c200effff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f040c-200fffff DIMM 15 Disabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200fffff または 0x806f040c200fffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f040c-2010ffff DIMM 16 Disabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2010ffff または 0x806f040c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f040c-2011ffff DIMM 17 Disabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2011ffff または 0x806f040c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f040c-2012ffff DIMM 18 Disabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2012ffff または 0x806f040c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f040c-2013ffff DIMM 19 Disabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2013ffff または 0x806f040c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f040c-2014ffff DIMM 20 Disabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2014ffff または 0x806f040c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f040c-2015ffff DIMM 21 Disabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2015ffff または 0x806f040c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f040c-2016ffff DIMM 22 Disabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2016ffff または 0x806f040c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f040c-2017ffff DIMM 23 Disabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2017ffff または 0x806f040c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f040c-2018ffff DIMM 24 Disabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2018ffff または 0x806f040c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f040c-2581ffff [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。すべての DIMM。1 つの DIMM。

806f040c2581ffff または 0x806f040c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f0413-2582ffff A PCI PERR has occurred on system [ComputerSystemElementName].

説明: このメッセージは、実装環境で PCI PERR が検出された場合に使用されます。 PCI :

806f04132582ffff または 0x806f04132582ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0232

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f0507-0301ffff CPU 1 has a Configuration Mismatch.

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサー構成のミスマッチが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f05070301ffff または 0x806f05070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0062

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f0507-0302ffff CPU 2 has a Configuration Mismatch.

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサー構成のミスマッチが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f05070302ffff または 0x806f05070302ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0062

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f0507-2584ffff [ProcessorElementName] has a Configuration Mismatch.

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサー構成のミスマッチが発生したことが検出された場合に使用されます。すべての CPU。1 つの CPU。

806f05072584ffff または 0x806f05072584ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0062

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの

『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f050c-2001ffff Memory Logging Limit Reached for DIMM 1 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2001ffff または 0x806f050c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f050c-2002ffff Memory Logging Limit Reached for DIMM 2 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2002ffff または 0x806f050c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f050c-2003ffff Memory Logging Limit Reached for DIMM 3 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2003ffff または 0x806f050c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f050c-2004ffff Memory Logging Limit Reached for DIMM 4 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2004ffff または 0x806f050c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f050c-2005ffff Memory Logging Limit Reached for DIMM 5 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2005ffff または 0x806f050c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f050c-2006ffff Memory Logging Limit Reached for DIMM 6 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2006ffff または 0x806f050c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f050c-2007ffff Memory Logging Limit Reached for DIMM 7 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2007ffff または 0x806f050c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f050c-2008ffff Memory Logging Limit Reached for DIMM 8 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2008ffff または 0x806f050c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f050c-2009ffff Memory Logging Limit Reached for DIMM 9 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2009ffff または 0x806f050c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f050c-200affff Memory Logging Limit Reached for DIMM 10 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200affff または 0x806f050c200affff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f050c-200bffff Memory Logging Limit Reached for DIMM 11 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200bffff または 0x806f050c200bffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f050c-200cffff Memory Logging Limit Reached for DIMM 12 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200cffff または 0x806f050c200cffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f050c-200dffff Memory Logging Limit Reached for DIMM 13 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200dffff または 0x806f050c200dffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f050c-200effff Memory Logging Limit Reached for DIMM 14 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200effff または 0x806f050c200effff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f050c-200fffff Memory Logging Limit Reached for DIMM 15 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200fffff または 0x806f050c200fffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f050c-2010ffff Memory Logging Limit Reached for DIMM 16 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2010ffff または 0x806f050c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f050c-2011ffff Memory Logging Limit Reached for DIMM 17 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2011ffff または 0x806f050c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f050c-2012ffff Memory Logging Limit Reached for DIMM 18 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2012ffff または 0x806f050c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f050c-2013ffff Memory Logging Limit Reached for DIMM 19 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2013ffff または 0x806f050c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f050c-2014ffff Memory Logging Limit Reached for DIMM 20 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2014ffff または 0x806f050c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f050c-2015ffff Memory Logging Limit Reached for DIMM 21 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2015ffff または 0x806f050c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f050c-2016ffff Memory Logging Limit Reached for DIMM 22 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2016ffff または 0x806f050c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f050c-2017ffff Memory Logging Limit Reached for DIMM 23 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2017ffff または 0x806f050c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f050c-2018ffff Memory Logging Limit Reached for DIMM 24 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2018ffff または 0x806f050c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f050c-2581ffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。すべての DIMM。1 つの DIMM。

806f050c2581ffff または 0x806f050c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f050d-0400ffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition.

説明: RAID アレイがクリティカル状態です。システム障害を回避するために即時アクションが必要です。

806f050d0400ffff または 0x806f050d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0401ffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition.

説明: RAID アレイがクリティカル状態です。システム障害を回避するために即時アクションが必要です。

806f050d0401ffff または 0x806f050d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f0513-2582ffff A PCI SERR has occurred on system [ComputerSystemElementName].

説明: このメッセージは、実装環境で PCI SERR が検出された場合に使用されます。 PCI :

806f05132582ffff または 0x806f05132582ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0234

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f052b-2101ffff Invalid or Unsupported firmware or software was detected on system [ComputerSystemElementName].

説明: IMM プライマリー・ファームウェア・イメージが破損しています。IMM は、バックアップ・イメージで稼働しています。

806f052b2101ffff または 0x806f052b2101ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0446

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを再フラッシュまたは更新してください。

806f0607-0301ffff An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for CPU 1 has asserted.

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明された場合に使用されます。

806f06070301ffff または 0x806f06070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0816

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f0607-0302ffff An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for CPU 2 has asserted.

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明された場合に使用されます。

806f06070302ffff または 0x806f06070302ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0816

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f0607-2584ffff An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has asserted.

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明された場合に使用されます。すべての CPU。1 つの CPU。

806f06072584ffff または 0x806f06072584ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0816

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f060d-0400ffff Array [ComputerSystemElementName] has failed.

説明: RAID アレイに障害が発生しました。

806f060d0400ffff または 0x806f060d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

- 状況 LED が点灯しているハード・ディスクをすべて交換します。
- アレイを再作成します。
- バックアップからデータをリストアします。

806f060d-0401ffff Array [ComputerSystemElementName] has failed.

説明: RAID アレイに障害が発生しました。

806f060d0401ffff または 0x806f060d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

- 状況 LED が点灯しているハード・ディスクをすべて交換します。
- アレイを再作成します。
- バックアップからデータをリストアします。

806f070c-2001ffff Configuration Error for DIMM 1 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2001ffff または 0x806f070c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f070c-2002ffff Configuration Error for DIMM 2 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2002ffff または 0x806f070c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの

『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f070c-2003ffff Configuration Error for DIMM 3 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2003ffff または 0x806f070c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f070c-2004ffff Configuration Error for DIMM 4 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2004ffff または 0x806f070c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f070c-2005ffff Configuration Error for DIMM 5 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2005ffff または 0x806f070c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f070c-2006ffff Configuration Error for DIMM 6 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2006ffff または 0x806f070c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f070c-2007ffff Configuration Error for DIMM 7 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2007ffff または 0x806f070c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f070c-2008ffff Configuration Error for DIMM 8 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2008ffff または 0x806f070c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f070c-2009ffff Configuration Error for DIMM 9 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2009ffff または 0x806f070c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f070c-200affff Configuration Error for DIMM 10 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200affff または 0x806f070c200affff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f070c-200bffff Configuration Error for DIMM 11 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200bffff または 0x806f070c200bffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

806f070c-200cffff

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f070c-200cffff Configuration Error for DIMM 12 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200cffff または 0x806f070c200cffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f070c-200dffff Configuration Error for DIMM 13 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200dffff または 0x806f070c200dffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f070c-200effff Configuration Error for DIMM 14 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200effff または 0x806f070c200effff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f070c-200fffff Configuration Error for DIMM 15 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200fffff または 0x806f070c200fffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f070c-2010ffff Configuration Error for DIMM 16 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2010ffff または 0x806f070c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f070c-2011ffff Configuration Error for DIMM 17 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2011ffff または 0x806f070c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

806f070c-2012ffff

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f070c-2012ffff Configuration Error for DIMM 18 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2012ffff または 0x806f070c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f070c-2013ffff Configuration Error for DIMM 19 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2013ffff または 0x806f070c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f070c-2014ffff Configuration Error for DIMM 20 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2014ffff または 0x806f070c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f070c-2015ffff Configuration Error for DIMM 21 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2015ffff または 0x806f070c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f070c-2016ffff Configuration Error for DIMM 22 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2016ffff または 0x806f070c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f070c-2017ffff Configuration Error for DIMM 23 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2017ffff または 0x806f070c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f070c-2018ffff Configuration Error for DIMM 24 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2018ffff または 0x806f070c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f070c-2581ffff Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。すべての DIMM。1 つの DIMM。

806f070c2581ffff または 0x806f070c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f070d-0400ffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName].

説明: 指定されたシステム内の RAID アレイが再ビルド中です。

806f070d0400ffff または 0x806f070d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

806f070d-0401ffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName].

説明: 指定されたシステム内の RAID アレイが再ビルド中です。

806f070d0401ffff または 0x806f070d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

806f0807-0301ffff CPU 1 has been Disabled.

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f08070301ffff または 0x806f08070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0061

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f0807-0302ffff CPU 2 has been Disabled.

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f08070302ffff または 0x806f08070302ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0061

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f0807-2584ffff [ProcessorElementName] has been Disabled.

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。すべての CPU。1 つの CPU。

806f08072584ffff または 0x806f08072584ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0061

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f0813-2581ffff A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f08132581ffff または 0x806f08132581ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0240

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: DIMM :

806f0813-2584ffff A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。 CPU :

806f08132584ffff または 0x806f08132584ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0240

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f0823-2101ffff Watchdog Timer interrupt occurred for [WatchdogElementName].

説明: IPMI ウォッチドッグ・タイマーの有効期限が切れました。ウォッチドッグ割り込みが発生しました。

806f08232101ffff または 0x806f08232101ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0376

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

806f090c-20010101 memory device 1 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: DIMM センサーによって高温状態が検出されたため、メモリー DIMM のスロットルが発生しました。

806f090c20010101 または 0x806f090c20010101 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-2001ffff memory device 1 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: DIMM センサーによって高温状態が検出されたため、メモリー DIMM のスロットルが発生しました。

806f090c2001ffff または 0x806f090c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

806f090c-20020102

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-20020102 memory device 2 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c20020102 または 0x806f090c20020102 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-2002ffff memory device 2 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2002ffff または 0x806f090c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-20030103 memory device 3 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c20030103 または 0x806f090c20030103 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-2003ffff memory device 3 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2003ffff または 0x806f090c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-20040104 memory device 4 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c20040104 または 0x806f090c20040104 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-2004ffff memory device 4 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2004ffff または 0x806f090c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-20050105 memory device 5 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c20050105 または 0x806f090c20050105 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-2005ffff memory device 5 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2005ffff または 0x806f090c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-20060106 memory device 6 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c20060106 または 0x806f090c20060106 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-2006ffff memory device 6 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2006ffff または 0x806f090c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-20070107 memory device 7 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c20070107 または 0x806f090c20070107 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-2007ffff memory device 7 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2007ffff または 0x806f090c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-20080108 memory device 8 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c20080108 または 0x806f090c20080108 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-2008ffff memory device 8 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2008ffff または 0x806f090c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-20090109 memory device 9 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c20090109 または 0x806f090c20090109 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-2009ffff memory device 9 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2009ffff または 0x806f090c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-200a010a memory device 10 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200a010a または 0x806f090c200a010a として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-200affff memory device 10 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200affff または 0x806f090c200affff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-200b010b memory device 11 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200b010b または 0x806f090c200b010b として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-200bffff memory device 11 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200bffff または 0x806f090c200bffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-200c010c memory device 12 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200c010c または 0x806f090c200c010c として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-200cffff memory device 12 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200cffff または 0x806f090c200cffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-200d010d memory device 13 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200d010d または 0x806f090c200d010d として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-200dffff memory device 13 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200dffff または 0x806f090c200dffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-200e010e memory device 14 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200e010e または 0x806f090c200e010e として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-200effff memory device 14 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200effff または 0x806f090c200effff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-200f010f memory device 15 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200f010f または 0x806f090c200f010f として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-200fffff memory device 15 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200fffff または 0x806f090c200fffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-20100110 memory device 16 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c20100110 または 0x806f090c20100110 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-2010ffff memory device 16 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2010ffff または 0x806f090c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-20110111 memory device 17 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c20110111 または 0x806f090c20110111 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-2011ffff memory device 17 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2011ffff または 0x806f090c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-20120112 memory device 18 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c20120112 または 0x806f090c20120112 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-2012ffff memory device 18 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2012ffff または 0x806f090c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-20130113 memory device 19 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c20130113 または 0x806f090c20130113 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-2013ffff memory device 19 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2013ffff または 0x806f090c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-20140114 memory device 20 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c20140114 または 0x806f090c20140114 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-2014ffff memory device 20 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2014ffff または 0x806f090c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-20150115 memory device 21 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c20150115 または 0x806f090c20150115 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-2015ffff memory device 21 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2015ffff または 0x806f090c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-20160116 memory device 22 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c20160116 または 0x806f090c20160116 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-2016ffff memory device 22 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2016ffff または 0x806f090c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-20170117 memory device 23 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c20170117 または 0x806f090c20170117 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-2017ffff memory device 23 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2017ffff または 0x806f090c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-20180118 memory device 24 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c20180118 または 0x806f090c20180118 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f090c-2018ffff memory device 24 in Group 1 on Subsystem System Memory Throttled

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2018ffff または 0x806f090c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a07-0301ffff CPU 1 is operating in a Degraded State.

説明: 温度または電源の状態が原因で、プロセッサーのスロットルが発生しています。

806f0a070301ffff または 0x806f0a070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0038

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンや冷却機構に関連する問題、または電源に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

806f0a07-0302ffff CPU 2 is operating in a Degraded State.

説明: プロセッサーのスロットルが発生しています。

806f0a070302ffff または 0x806f0a070302ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0038

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンや冷却機構に関連する問題、または電源に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

806f0a07-2584ffff [ProcessorElementName] is operating in a Degraded State.

説明: プロセッサーのスロットルが発生しています。

806f0a072584ffff または 0x806f0a072584ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0038

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: すべての CPU : 1 つの CPU

次のステップを実行してください。

1. CMM または FSM イベント・ログを参照し、ファンや冷却機構に関連する問題、または電源に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

806f0a0c-20010101 An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 1 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 1 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c20010101 または 0x806f0a0c20010101 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-2001ffff An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 1 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 1 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c2001ffff または 0x806f0a0c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-200201012 An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 2 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 2 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c200201012 または 0x806f0a0c200201012 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-2002ffff An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 2 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 2 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c2002ffff または 0x806f0a0c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-20030103 An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 3 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 3 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c20030103 または 0x806f0a0c20030103 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-2003ffff An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 3 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 3 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c2003ffff または 0x806f0a0c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-20040104 An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 4 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 4 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c20040104 または 0x806f0a0c20040104 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-2004ffff An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 4 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 4 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c2004ffff または 0x806f0a0c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-20050105 An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 5 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 5 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c20050105 または 0x806f0a0c20050105 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-2005ffff An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 5 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 5 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c2005ffff または 0x806f0a0c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-20060106 An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 6 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 6 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c20060106 または 0x806f0a0c20060106 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-2006ffff An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 6 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 6 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c2006ffff または 0x806f0a0c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-20070107 An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 7 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 7 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c20070107 または 0x806f0a0c20070107 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-2007ffff An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 7 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 7 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c2007ffff または 0x806f0a0c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-20080108 An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 8 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 8 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c20080108 または 0x806f0a0c20080108 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-2008ffff An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 8 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 8 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c2008ffff または 0x806f0a0c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-20090109 An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 9 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 9 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c20090109 または 0x806f0a0c20090109 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-2009ffff An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 9 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 9 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c2009ffff または 0x806f0a0c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-200a010a An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 10 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 10 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c200a010a または 0x806f0a0c200a010a として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-200affff An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 10 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 10 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c200affff または 0x806f0a0c200affff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-200b010b An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 11 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 11 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c200b010b または 0x806f0a0c200b010b として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-200bffff An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 11 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 11 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c200bffff または 0x806f0a0c200bffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-200c010c An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 12 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 12 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c200c010c または 0x806f0a0c200c010c として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-200cffff An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 12 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 12 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c200cffff または 0x806f0a0c200cffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-200d010d An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 13 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 13 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c200d010d または 0x806f0a0c200d010d として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-200dffff An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 13 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 13 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c200dffff または 0x806f0a0c200dffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-200e010e An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 14 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 14 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c200e010e または 0x806f0a0c200e010e として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-200effff An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 14 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 14 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c200effff または 0x806f0a0c200effff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-200f010f An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 15 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 15 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c200f010f または 0x806f0a0c200f010f として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-200fffff An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 15 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 15 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c200fffff または 0x806f0a0c200fffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-20100110 An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 16 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 16 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c20100110 または 0x806f0a0c20100110 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-2010ffff An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 16 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 16 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c2010ffff または 0x806f0a0c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-20110111 An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 17 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 17 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c20110111 または 0x806f0a0c20110111 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-2011ffff An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 17 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 17 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c2011ffff または 0x806f0a0c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-20120112 An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 18 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 18 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c20120112 または 0x806f0a0c20120112 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-2012ffff An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 18 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 18 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c2012ffff または 0x806f0a0c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-20130113 An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 19 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 19 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c20130113 または 0x806f0a0c20130113 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-2013ffff An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 19 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 19 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c2013ffff または 0x806f0a0c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-20140114 An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 20 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 20 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c20140114 または 0x806f0a0c20140114 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-2014ffff An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 20 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 20 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c2014ffff または 0x806f0a0c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-20150115 An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 21 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 21 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c20150115 または 0x806f0a0c20150115 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-2015ffff An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 21 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 21 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c2015ffff または 0x806f0a0c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-20160116 An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 22 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 22 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c20160116 または 0x806f0a0c20160116 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-2016ffff An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 22 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 22 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c2016ffff または 0x806f0a0c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-20170117 An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 23 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 23 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c20170117 または 0x806f0a0c20170117 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-2017ffff An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 23 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 23 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c2017ffff または 0x806f0a0c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-20180118 An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 24 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 24 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c20180118 または 0x806f0a0c20180118 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a0c-2018ffff An Over-Temperature Condition has been detected on the memory device 24 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 24 の DIMM で温度超過状態が検出されました。

806f0a0c2018ffff または 0x806f0a0c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. シャーシ・マネージメント・モジュールまたは Flex System Manager のイベント・ログを参照して、 ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. シャーシの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィラーが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. DIMM バッフルが所定の位置にあることを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

806f0a13-2401ffff A Fatal Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でバスの致命的エラーが検出された場合に使用されます。 SMBus.

806f0a132401ffff または 0x806f0a132401ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0244

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

806f0a13-2582ffff A Fatal Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でバスの致命的エラーが検出された場合に使用されます。

806f0a132582ffff または 0x806f0a132582ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0244

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

81010202-0701ffff Sensor [NumericSensorElementName] has detected that a voltage is no longer going low.

説明: これまで低かった電圧が、指定されたしきい値より上に戻りました (センサー Planar 12V、Planar 3.3V、または Planar 5V)。

810102020701ffff または 0x810102020701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0481

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

81010202-2801ffff Sensor [NumericSensorElementName] has detected that the battery voltage is no longer low.

説明: これまで低かった CMOS バッテリー電圧が、指定されたしきい値より上に戻りました。

810102022801ffff または 0x810102022801ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0481

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

81010701-3701ffff Sensor [NumericSensorElementName] has detected that the inlet temperature is no longer high.

説明: これまで高かった吸気口の温度が、指定されたしきい値より下に戻りました。

810107013701ffff または 0x810107013701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

81010901-3701ffff Sensor [NumericSensorElementName] has detected that the inlet temperature is no longer high.

説明: これまで高かった吸気口の温度が、指定されたしきい値より下に戻りました。

810109013701ffff または 0x810109013701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

81010902-0701ffff Sensor [NumericSensorElementName] has detected that a voltage is no longer high.

説明: これまで高かった電圧が、指定されたしきい値より下に戻りました (センサー Planar 12V、Planar 3.3V、または Planar 5V)。

810109020701ffff または 0x810109020701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

81010b01-3701ffff Numeric sensor Inlet Temp going high (upper non-recoverable) has deasserted.

説明: これまで高かった吸気口の温度が、指定されたしきい値より下に戻りました。

81010b013701ffff または 0x81010b013701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

81030006-2101ffff Sensor Sig Verify Fail has asserted.

説明: UEFI BIOS 内のファームウェア・ボリュームまたはカプセルの 1 つで、署名検査が失敗しました。

810300062101ffff または 0x810300062101ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0508

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 自動 BIOS リカバリー (ABR) によって、システムはバックアップ・バンク内の UEFI イメージから起動します。プライマリー・バンク内の UEFI イメージを再フラッシュしてください。エラーが解決した場合は、追加のリカバリー・アクションは不要です。

8103010e-2581ffff Sensor Memory Resized has deasserted.

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出された場合に使用されます。

8103010e2581ffff または 0x8103010e2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0509

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

81070101-03010100 Sensor [SensorElementName] has gone from Noncritical state to Normal state.

説明: これまで高かったマイクロプロセッサー 1 の温度が、指定されたしきい値より下に戻りました。

8107010103010100 または 0x8107010103010100 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0521

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

81070101-03020100 Sensor [SensorElementName] has gone from Noncritical state to Normal state.

説明: これまで高かったマイクロプロセッサー 2 の温度が、指定されたしきい値より下に戻りました。

8107010103020100 または 0x8107010103020100 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0521

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

81070101-2c01ffff Sensor Mezz Exp 1 temp has deassserted the transition from normal to non-critical state.

説明: I/O 拡張コネクター 1 の I/O 拡張アダプターの温度が、非クリティカル状態ではなくなりました。

810701012c01ffff または 0x810701012c01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0521

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

81070101-2c02ffff Sensor Mezz Exp 2 temp has deassserted the transition from normal to non-critical state.

説明: I/O 拡張コネクター 2 の I/O 拡張アダプターの温度が、非クリティカル状態ではなくなりました。

810701012c02ffff または 0x810701012c02ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0521

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

81070114-2201ffff Sensor TPM Lock has deasserted the transition from normal to non-critical state.

説明: TPM ロックが正常な状態に戻りました。

810701142201ffff または 0x810701142201ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0521

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

81070201-2d01ffff Sensor PCH Overtemp has transitioned to a less severe state from critical.

説明: これまで高かった PCH の温度が、指定されたしきい値より下に戻りました。

810702012d01ffff または 0x810702012d01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

81070202-0701ffff Sensor Planar Fault has gone from Criitical state to a less severe state.

説明: システム・ボードで障害が検出されなくなりました。

810702020701ffff または 0x810702020701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

8107020f-2201ffff Sensor TXT ACM Module has transitioned to a less severe state from critical.

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

8107020f2201ffff または 0x8107020f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知のみ; ユーザー・アクションは不要です。

8107020f-2582ffff Sensor No I/O Resources has transitioned to a less severe state from critical.

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

8107020f2582ffff または 0x8107020f2582ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

81070217-1f02ffff Sensor ETE Fault has transitioned to a less severe state from critical.

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702171f02ffff または 0x810702171f02ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

81070217-2c01ffff Sensor Mezz Exp 1 Fault has transitioned to a less severe state from critical.

説明: I/O 拡張コネクター 1 の I/O 拡張アダプターで障害が検出されなくなりました。

810702172c01ffff または 0x810702172c01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

81070217-2c02ffff Sensor Mezz Exp 2 Fault has transitioned to a less severe state from critical.

説明: I/O 拡張コネクター 2 の I/O 拡張アダプターで障害が検出されなくなりました。

810702172c02ffff または 0x810702172c02ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

81070219-0701ffff Sensor Sys Board Fault has transitioned to a less severe state from critical.

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702190701ffff または 0x810702190701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

8107021b-0301ffff Sensor CPU 1 QPILinkErr has transitioned to a less severe state from critical.

説明: CPU 1 の QPI リンク障害がリカバリーされました。

8107021b0301ffff または 0x8107021b0301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

8107021b-0302ffff Sensor CPU 2 QPILinkErr has transitioned to a less severe state from critical.

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

8107021b0302ffff または 0x8107021b0302ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

81070301-03010100 Sensor [SensorElementName] has gone from Nonrecoverable state to a less severe state.

説明: これまで高かったマイクロプロセッサー 1 の温度が、指定されたしきい値より下に戻りました。

8107030103010100 または 0x8107030103010100 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0525

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

81070301-03020100 Sensor [SensorElementName] has gone from Nonrecoverable state to a less severe state.

説明: これまで高かったマイクロプロセッサー 2 の温度が、指定されたしきい値より下に戻りました。

8107030103020100 または 0x8107030103020100 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0525

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

81070301-2c01ffff Sensor Mezz Exp 1 temp has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state.

説明: これまで高かった I/O 拡張コネクター 1 の I/O 拡張アダプターの温度が、指定されたしきい値より下に戻りました。

810703012c01ffff または 0x810703012c01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0525

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

81070301-2c02ffff Sensor Mezz Exp 2 temp has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state.

説明: これまで高かった I/O 拡張コネクター 2 の I/O 拡張アダプターの温度が、指定されたしきい値より下に戻りました。

810703012c02ffff または 0x810703012c02ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0525

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

81070301-2d01ffff Sensor PCH Overtemp has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state.

説明: これまで高かった PCH の温度が、指定されたしきい値より下に戻りました。

810703012d01ffff または 0x810703012d01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0525

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

81070601-2c01ffff Sensor Mezz Exp 1 temp has deasserted the transition to non-recoverable.

説明: これまで高かったメザニン拡張カードの温度が、指定されたしきい値より下に戻りました。

810706012c01ffff または 0x810706012c01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0531

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

81070601-2c02ffff Sensor Mezz Exp 2 temp has deasserted the transition to non-recoverable.

説明: これまで高かったメザニン拡張カードの温度が、指定されたしきい値より下に戻りました。

810706012c02ffff または 0x810706012c02ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0531

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

8107060f-2201ffff Sensor BOFM Config Err has deasserted the transition to non-recoverable.

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能状態に変化したことが表明解除されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8107060f2201ffff または 0x8107060f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0531

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知のみ; ユーザー・アクションは不要です。

81080017-0f01ffff Device SAS BP has been added.

説明: SAS バックプレーンが取り付けられました。

810800170f01ffff または 0x810800170f01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0536

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

81090112-2101ffff Device [LogicalDeviceElementName] has been disabled.

説明: IPMI または SNMP アカウントが使用不可にされました。

810901122101ffff または 0x810901122101ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0539

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

810b010c-2581ffff Redundancy Lost for Backup Memory has deasserted.

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明解除された場合に使用されます。

810b010c2581ffff または 0x810b010c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0803

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

810b030c-2581ffff Non-redundant:Sufficient Resources from Redundancy Degraded or Fully Redundant for Backup Memory has deasserted.

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b030c2581ffff または 0x810b030c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0807

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

810b050c-2581ffff Non-redundant:Insufficient Resources for Backup Memory has deasserted.

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b050c2581ffff または 0x810b050c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0811

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f0007-0301ffff CPU 1 has Recovered from IERR.

説明: このメッセージは、「プロセッサーのリカバリー済み - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f00070301ffff または 0x816f00070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0043

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f0007-0302ffff CPU 2 has Recovered from IERR.

説明: このメッセージは、「プロセッサーのリカバリー済み - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f00070302ffff または 0x816f00070302ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0043

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f0007-2584ffff [ProcessorElementName] has Recovered from IERR.

説明: このメッセージは、「プロセッサーのリカバリー済み - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。すべての CPU。1 つの CPU。

816f00072584ffff または 0x816f00072584ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0043

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f0009-0701ffff system board 1 has been turned on.

説明: コンピュート・ノードの電源がオンにされました。

816f00090701ffff または 0x816f00090701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 電源オン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0107

SNMP トラップ ID: 24

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f000d-0400ffff The Drive Drive 0 has been removed from unit Drive 0.

説明: ハード・ディスク 0 が検出されなくなりました。ドライブ・ベイ内にドライブがない場合、フィラーが必要です。

816f000d0400ffff または 0x816f000d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. ドライブが意図的に取り外された場合は、ドライブ・ベイにフィラーが取り付けられていることを確認します。
2. ドライブが正しく装着されていることを確認します。
3. ドライブが正しく装着されている場合は、ドライブを交換します。

816f000d-0401ffff The Drive Drive 1 has been removed from unit Drive 1.

説明: ハード・ディスク 1 が検出されなくなりました。ドライブ・ベイ内にドライブがない場合、フィラーが必要です。

816f000d0401ffff または 0x816f000d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. ドライブが意図的に取り外された場合は、ドライブ・ベイにフィラーが取り付けられていることを確認します。
2. ドライブが正しく装着されていることを確認します。
3. ドライブが正しく装着されている場合は、ドライブを交換します。

816f000f-2201ffff The System [ComputerSystemElementName] has detected a POST Error deassertion.

説明: このメッセージは、実装環境で POST エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。 ABR の状況。ファームウェア・エラー

816f000f2201ffff または 0x816f000f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0185

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f0013-1701ffff System NMI has recovered from a diagnostic interrupt.

説明: コンピュート・ノードが、フロント・パネルの NMI 診断割り込みからリカバリーしました。

816f00131701ffff または 0x816f00131701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0223

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f0021-2201ffff Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。 Op ROM スペースがありません。

816f00212201ffff または 0x816f00212201ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f0021-2582ffff Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。すべての PCI エラー。1 つの PCI エラー。

816f00212582ffff または 0x816f00212582ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f0028-2101ffff Sensor TPM Cmd Failures has returned to normal on management system [ComputerSystemElementName].

説明: Trusted Platform Module カードの初期化および開始が正常に完了しました。

816f00282101ffff または 0x816f00282101ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0399

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f0107-0301ffff An over-temperature condition on [ProcessorElementName] no longer exists.

説明: これまで高かったマイクロプロセッサー 1 の温度が、クリティカル・レベルより下に戻りました。

816f01070301ffff または 0x816f01070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0037

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f0107-0302ffff An over-temperature condition on [ProcessorElementName] no longer exists.

説明: これまで高かったマイクロプロセッサー 2 の温度が、クリティカル・レベルより下に戻りました。

816f01070302ffff または 0x816f01070302ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0037

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f0107-2584ffff An over-temperature condition on [ProcessorElementName] no longer exists.

説明: これまで高かった指定されたマイクロプロセッサーの温度が、指定されたしきい値より下に戻りました。

816f01072584ffff または 0x816f01072584ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0037

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。 すべての CPU : 1 つの CPU :

816f010c-2001ffff Uncorrectable error recovery detected for DIMM 1 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2001ffff または 0x816f010c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f010c-2002ffff Uncorrectable error recovery detected for DIMM 2 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2002ffff または 0x816f010c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f010c-2003ffff Uncorrectable error recovery detected for DIMM 3 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2003ffff または 0x816f010c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

816f010c-2004ffff

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f010c-2004ffff Uncorrectable error recovery detected for DIMM 4 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2004ffff または 0x816f010c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f010c-2005ffff Uncorrectable error recovery detected for DIMM 5 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2005ffff または 0x816f010c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f010c-2006ffff Uncorrectable error recovery detected for DIMM 6 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2006ffff または 0x816f010c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f010c-2007ffff Uncorrectable error recovery detected for DIMM 7 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2007ffff または 0x816f010c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f010c-2008ffff Uncorrectable error recovery detected for DIMM 8 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2008ffff または 0x816f010c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f010c-2009ffff Uncorrectable error recovery detected for DIMM 9 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2009ffff または 0x816f010c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

816f010c-200affff

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f010c-200affff Uncorrectable error recovery detected for DIMM 10 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200affff または 0x816f010c200affff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f010c-200bffff Uncorrectable error recovery detected for DIMM 11 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200bffff または 0x816f010c200bffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f010c-200cffff Uncorrectable error recovery detected for DIMM 12 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200cffff または 0x816f010c200cffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された

IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f010c-200fffff Uncorrectable error recovery detected for DIMM 13 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200fffff または 0x816f010c200fffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f010c-200effff Uncorrectable error recovery detected for DIMM 14 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200effff または 0x816f010c200effff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f010c-200fffff Uncorrectable error recovery detected for DIMM 15 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200fffff または 0x816f010c200fffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの

『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f010c-2010ffff Uncorrectable error recovery detected for DIMM 16 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2010ffff または 0x816f010c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f010c-2011ffff Uncorrectable error recovery detected for DIMM 17 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2011ffff または 0x816f010c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f010c-2012ffff Uncorrectable error recovery detected for DIMM 18 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2012ffff または 0x816f010c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f010c-2013ffff Uncorrectable error recovery detected for DIMM 19 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2013ffff または 0x816f010c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f010c-2014ffff Uncorrectable error recovery detected for DIMM 20 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2014ffff または 0x816f010c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f010c-2015ffff Uncorrectable error recovery detected for DIMM 21 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2015ffff または 0x816f010c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f010c-2016ffff Uncorrectable error recovery detected for DIMM 22 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2016ffff または 0x816f010c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f010c-2017ffff Uncorrectable error recovery detected for DIMM 23 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2017ffff または 0x816f010c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f010c-2018ffff Uncorrectable error recovery detected for DIMM 24 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2018ffff または 0x816f010c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f010c-2581ffff Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。すべての DIMM。1 つの DIMM。

816f010c2581ffff または 0x816f010c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f010d-0400ffff The Drive Drive 0 has been enabled.

説明: これまで使用不可にされていたハード・ディスク 0 が使用可能にされました。

816f010d0400ffff または 0x816f010d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f010d-0401ffff The Drive Drive 1 has been enabled.

説明: これまで使用不可にされていたハード・ディスク 1 が使用可能にされました。

816f010d0401ffff または 0x816f010d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f010f-2201ffff The System [ComputerSystemElementName] has recovered from a firmware hang.

説明: このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェアがハングした状態からリカバリーされた場合に使用されます。

816f010f2201ffff または 0x816f010f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0187

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f011b-0c01ffff The connector LightPath configuration error has been repaired.

説明: Light Path 接続が復旧しました。

816f011b0c01ffff または 0x816f011b0c01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0267

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f0125-1f05ffff [ManagedElementName] detected as present.

説明: このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントの存在が検出された場合に使用されます。

816f01251f05ffff または 0x816f01251f05ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0390

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: LOM :

816f0207-0301ffff CPU 1 has Recovered from FRB1/BIST condition.

説明: このメッセージは、「プロセッサーのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f02070301ffff または 0x816f02070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0045

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f0207-0302ffff CPU 2 has Recovered from FRB1/BIST condition.

説明: このメッセージは、「プロセッサーのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f02070302ffff または 0x816f02070302ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0045

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f0207-2584ffff [ProcessorElementName] has Recovered from FRB1/BIST condition.

説明: このメッセージは、「プロセッサーのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。すべての CPU。1 つの CPU。

816f02072584ffff または 0x816f02072584ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0045

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの

『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f020d-0400ffff Failure no longer Predicted on drive Drive 0 for array [ComputerSystemElementName].

説明: ハード・ディスク 0 の障害予知がなくなりました。

816f020d0400ffff または 0x816f020d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f020d-0401ffff Failure no longer Predicted on drive Drive 1 for array [ComputerSystemElementName].

説明: ハード・ディスク 1 の障害予知がなくなりました。

816f020d0401ffff または 0x816f020d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f030c-2001ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.

説明: メモリー・エラーがリカバリーされました。

816f030c2001ffff または 0x816f030c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f030c-2002ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.

説明: メモリー・エラーがリカバリーされました。

816f030c2002ffff または 0x816f030c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f030c-2003ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.

説明: メモリー・エラーがリカバリーされました。

816f030c2003ffff または 0x816f030c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f030c-2004ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.

説明: メモリー・エラーがリカバリーされました。

816f030c2004ffff または 0x816f030c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f030c-2005ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.

説明: メモリー・エラーがリカバリーされました。

816f030c2005ffff または 0x816f030c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f030c-2006ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.

説明: メモリー・エラーがリカバリーされました。

816f030c2006ffff または 0x816f030c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f030c-2007ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.

説明: メモリー・エラーがリカバリーされました。

816f030c2007ffff または 0x816f030c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f030c-2008ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.

説明: メモリー・エラーがリカバリーされました。

816f030c2008ffff または 0x816f030c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f030c-2009ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.

説明: メモリー・エラーがリカバリーされました。

816f030c2009ffff または 0x816f030c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f030c-200affff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.

説明: メモリー・エラーがリカバリーされました。

816f030c200affff または 0x816f030c200affff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f030c-200bffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.

説明: メモリー・エラーがリカバリーされました。

816f030c200bffff または 0x816f030c200bffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f030c-200cffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.

説明: メモリー・エラーがリカバリーされました。

816f030c200cffff または 0x816f030c200cffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f030c-200dffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.

説明: メモリー・エラーがリカバリーされました。

816f030c200dffff または 0x816f030c200dffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f030c-200effff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.

説明: メモリー・エラーがリカバリーされました。

816f030c200effff または 0x816f030c200effff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f030c-200fffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.

説明: メモリー・エラーがリカバリーされました。

816f030c200fffff または 0x816f030c200fffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f030c-2010ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.

説明: メモリー・エラーがリカバリーされました。

816f030c2010ffff または 0x816f030c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f030c-2011ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.

説明: メモリー・エラーがリカバリーされました。

816f030c2011ffff または 0x816f030c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f030c-2012ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.

説明: メモリー・エラーがリカバリーされました。

816f030c2012ffff または 0x816f030c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f030c-2013ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.

説明: メモリー・エラーがリカバリーされました。

816f030c2013ffff または 0x816f030c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f030c-2014ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.

説明: メモリー・エラーがリカバリーされました。

816f030c2014ffff または 0x816f030c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f030c-2015ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.

説明: メモリー・エラーがリカバリーされました。

816f030c2015ffff または 0x816f030c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f030c-2016ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.

説明: メモリー・エラーがリカバリーされました。

816f030c2016ffff または 0x816f030c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f030c-2017ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.

説明: メモリー・エラーがリカバリーされました。

816f030c2017ffff または 0x816f030c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f030c-2018ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.

説明: メモリー・エラーがリカバリーされました。

816f030c2018ffff または 0x816f030c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f030c-2581ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.

説明: メモリー・エラーがリカバリーされました。

816f030c2581ffff または 0x816f030c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f0313-1701ffff The Latch to [PhysicalPackageElementName] has been closed.

説明: このメッセージは、実装環境で FRU ラッチが閉じられたことが検出された場合に使用されます。

816f03131701ffff または 0x816f03131701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0255

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f040c-2001ffff DIMM 1 Enabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2001ffff または 0x816f040c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f040c-2002ffff DIMM 2 Enabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2002ffff または 0x816f040c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f040c-2003ffff DIMM 3 Enabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2003ffff または 0x816f040c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f040c-2004ffff DIMM 4 Enabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2004ffff または 0x816f040c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f040c-2005ffff DIMM 5 Enabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2005ffff または 0x816f040c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f040c-2006ffff DIMM 6 Enabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2006ffff または 0x816f040c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f040c-2007ffff DIMM 7 Enabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2007ffff または 0x816f040c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f040c-2008ffff DIMM 8 Enabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2008ffff または 0x816f040c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f040c-2009ffff DIMM 9 Enabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2009ffff または 0x816f040c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f040c-200affff DIMM 10 Enabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200affff または 0x816f040c200affff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f040c-200bffff DIMM 11 Enabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200bffff または 0x816f040c200bffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f040c-200cffff DIMM 12 Enabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200cffff または 0x816f040c200cffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f040c-200dffff DIMM 13 Enabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200dffff または 0x816f040c200dffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f040c-200effff DIMM 14 Enabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200effff または 0x816f040c200effff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f040c-200fffff DIMM 15 Enabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200fffff または 0x816f040c200fffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f040c-2010ffff DIMM 16 Enabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2010ffff または 0x816f040c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f040c-2011ffff DIMM 17 Enabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2011ffff または 0x816f040c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f040c-2012ffff DIMM 18 Enabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2012ffff または 0x816f040c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f040c-2013ffff DIMM 19 Enabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2013ffff または 0x816f040c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f040c-2014ffff DIMM 20 Enabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2014ffff または 0x816f040c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f040c-2015ffff DIMM 21 Enabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2015ffff または 0x816f040c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f040c-2016ffff DIMM 22 Enabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2016ffff または 0x816f040c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f040c-2017ffff DIMM 23 Enabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2017ffff または 0x816f040c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f040c-2018ffff DIMM 24 Enabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2018ffff または 0x816f040c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f040c-2581ffff [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。すべての DIMM。1 つの DIMM。

816f040c2581ffff または 0x816f040c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f0413-2582ffff A PCI PERR recovery has occurred on system [ComputerSystemElementName].

説明: このメッセージは、実装環境で PCI PERR がリカバリーされたことが検出された場合に使用されます。 PCI。

816f04132582ffff または 0x816f04132582ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0233

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f0507-0301ffff CPU 1 has Recovered from a Configuration Mismatch.

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサー構成のミスマッチがリカバリーされたこと検出された場合に使用されます。

816f05070301ffff または 0x816f05070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0063

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f0507-0302ffff CPU 2 has Recovered from a Configuration Mismatch.

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサー構成のミスマッチがリカバリーされたこと検出された場合に使用されます。

816f05070302ffff または 0x816f05070302ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0063

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f0507-2584ffff [ProcessorElementName] has Recovered from a Configuration Mismatch.

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサー構成のミスマッチがリカバリーされたこと検出された場合に使用されます。すべての CPU。1 つの CPU。

816f05072584ffff または 0x816f05072584ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0063

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの

『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f050c-2001ffff Memory Logging Limit Removed for DIMM 1 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2001ffff または 0x816f050c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f050c-2002ffff Memory Logging Limit Removed for DIMM 2 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2002ffff または 0x816f050c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f050c-2003ffff Memory Logging Limit Removed for DIMM 3 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2003ffff または 0x816f050c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f050c-2004ffff Memory Logging Limit Removed for DIMM 4 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2004ffff または 0x816f050c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f050c-2005ffff Memory Logging Limit Removed for DIMM 5 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2005ffff または 0x816f050c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f050c-2006ffff Memory Logging Limit Removed for DIMM 6 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2006ffff または 0x816f050c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f050c-2007ffff Memory Logging Limit Removed for DIMM 7 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2007ffff または 0x816f050c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f050c-2008ffff Memory Logging Limit Removed for DIMM 8 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2008ffff または 0x816f050c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f050c-2009ffff Memory Logging Limit Removed for DIMM 9 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2009ffff または 0x816f050c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f050c-200affff Memory Logging Limit Removed for DIMM 10 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200affff または 0x816f050c200affff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f050c-200bffff Memory Logging Limit Removed for DIMM 11 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200bffff または 0x816f050c200bffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f050c-200cffff Memory Logging Limit Removed for DIMM 12 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200cffff または 0x816f050c200cffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f050c-200dffff Memory Logging Limit Removed for DIMM 13 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200dffff または 0x816f050c200dffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f050c-200effff Memory Logging Limit Removed for DIMM 14 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200effff または 0x816f050c200effff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f050c-200fffff Memory Logging Limit Removed for DIMM 15 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200fffff または 0x816f050c200fffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f050c-2010ffff Memory Logging Limit Removed for DIMM 16 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2010ffff または 0x816f050c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f050c-2011ffff Memory Logging Limit Removed for DIMM 17 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2011ffff または 0x816f050c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f050c-2012ffff Memory Logging Limit Removed for DIMM 18 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2012ffff または 0x816f050c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f050c-2013ffff Memory Logging Limit Removed for DIMM 19 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2013ffff または 0x816f050c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f050c-2014ffff Memory Logging Limit Removed for DIMM 20 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2014ffff または 0x816f050c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f050c-2015ffff Memory Logging Limit Removed for DIMM 21 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2015ffff または 0x816f050c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f050c-2016ffff Memory Logging Limit Removed for DIMM 22 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2016ffff または 0x816f050c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f050c-2017ffff Memory Logging Limit Removed for DIMM 23 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2017ffff または 0x816f050c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f050c-2018ffff Memory Logging Limit Removed for DIMM 24 on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2018ffff または 0x816f050c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f050c-2581ffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。すべての DIMM。1 つの DIMM。

816f050c2581ffff または 0x816f050c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f050d-0400ffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted.

説明: RAID アレイがクリティカル状態ではなくなりました。

816f050d0400ffff または 0x816f050d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f050d-0401ffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted.

説明: RAID アレイがクリティカル状態ではなくなりました。

816f050d0401ffff または 0x816f050d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f0513-2582ffff A PCI SERR on system [ComputerSystemElementName] has deasserted.

説明: このメッセージは、実装環境で PCI SERR の表明解除が検出された場合に使用されます。 PCI。

816f05132582ffff または 0x816f05132582ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0235

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f0607-0301ffff An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for CPU 1 has deasserted.

説明: このメッセージは、 SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除された場合に使用されます。

816f06070301ffff または 0x816f06070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0817

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f0607-0302ffff An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for CPU 2 has deasserted.

説明: このメッセージは、 SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除された場合に使用されます。

816f06070302ffff または 0x816f06070302ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0817

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f0607-2584ffff An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has deasserted.

説明: このメッセージは、 SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除された場合に使用されます。すべての CPU。1 つの CPU。

816f06072584ffff または 0x816f06072584ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0817

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f060d-0400ffff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored.

説明: 障害が発生した RAID アレイが修復されました。

816f060d0400ffff または 0x816f060d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f060d-0401ffff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored.

説明: 障害が発生した RAID アレイが修復されました。

816f060d0401ffff または 0x816f060d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f070c-2001ffff Configuration error for DIMM 1 on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2001ffff または 0x816f070c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f070c-2002ffff Configuration error for DIMM 2 on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2002ffff または 0x816f070c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f070c-2003ffff Configuration error for DIMM 3 on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2003ffff または 0x816f070c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの

『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f070c-2004ffff Configuration error for DIMM 4 on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2004ffff または 0x816f070c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f070c-2005ffff Configuration error for DIMM 5 on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2005ffff または 0x816f070c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f070c-2006ffff Configuration error for DIMM 6 on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2006ffff または 0x816f070c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f070c-2007ffff Configuration error for DIMM 7 on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2007ffff または 0x816f070c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f070c-2008ffff Configuration error for DIMM 8 on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2008ffff または 0x816f070c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f070c-2009ffff Configuration error for DIMM 9 on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2009ffff または 0x816f070c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f070c-200affff Configuration error for DIMM 10 on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200affff または 0x816f070c200affff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f070c-200bffff Configuration error for DIMM 11 on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200bffff または 0x816f070c200bffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f070c-200cffff Configuration error for DIMM 12 on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200cffff または 0x816f070c200cffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

816f070c-200dffff

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f070c-200dffff Configuration error for DIMM 13 on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200dffff または 0x816f070c200dffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f070c-200effff Configuration error for DIMM 14 on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200effff または 0x816f070c200effff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f070c-200fffff Configuration error for DIMM 15 on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200fffff または 0x816f070c200fffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f070c-2010ffff Configuration error for DIMM 16 on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2010ffff または 0x816f070c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f070c-2011ffff Configuration error for DIMM 17 on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2011ffff または 0x816f070c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f070c-2012ffff Configuration error for DIMM 18 on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2012ffff または 0x816f070c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f070c-2013ffff Configuration error for DIMM 19 on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2013ffff または 0x816f070c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f070c-2014ffff Configuration error for DIMM 20 on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2014ffff または 0x816f070c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f070c-2015ffff Configuration error for DIMM 21 on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2015ffff または 0x816f070c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f070c-2016ffff Configuration error for DIMM 22 on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2016ffff または 0x816f070c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f070c-2017ffff Configuration error for DIMM 23 on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2017ffff または 0x816f070c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f070c-2018ffff Configuration error for DIMM 24 on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2018ffff または 0x816f070c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f070c-2581ffff Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。すべての DIMM。1 つの DIMM。

816f070c2581ffff または 0x816f070c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f070d-0400ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName].

説明: RAID アレイの再ビルドが完了しました。

816f070d0400ffff または 0x816f070d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f070d-0401ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName].

説明: RAID アレイの再ビルドが完了しました。

816f070d0401ffff または 0x816f070d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f0807-0301ffff CPU 1 has been Enabled.

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f08070301ffff または 0x816f08070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0060

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f0807-0302ffff CPU 2 has been Enabled.

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f08070302ffff または 0x816f08070302ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0060

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f0807-2584ffff [ProcessorElementName] has been Enabled.

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。すべての CPU。1 つの CPU。

816f08072584ffff または 0x816f08072584ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0060

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f0813-2581ffff System [ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error.

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。 DIMM。

816f08132581ffff または 0x816f08132581ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0241

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f0813-2584ffff System [ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error.

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。 CPU。

816f08132584ffff または 0x816f08132584ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0241

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f090c-2001ffff memory device 1 in Group 1 on Subsystem System Memory is no longer Throttled

説明: DIMM コネクター 1 の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2001ffff または 0x816f090c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f090c-2002ffff memory device 2 in Group 1 on Subsystem System Memory is no longer Throttled

説明: DIMM コネクター 2 の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2002ffff または 0x816f090c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f090c-2003ffff memory device 3 in Group 1 on Subsystem System Memory is no longer Throttled

説明: DIMM コネクター 3 の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2003ffff または 0x816f090c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f090c-2004ffff memory device 4 in Group 1 on Subsystem System Memory is no longer Throttled

説明: DIMM コネクター 4 の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2004ffff または 0x816f090c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f090c-2005ffff memory device 5 in Group 1 on Subsystem System Memory is no longer Throttled

説明: DIMM コネクター 5 の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2005ffff または 0x816f090c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f090c-2006ffff memory device 6 in Group 1 on Subsystem System Memory is no longer Throttled

説明: DIMM コネクター 6 の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2006ffff または 0x816f090c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f090c-2007ffff memory device 7 in Group 1 on Subsystem System Memory is no longer Throttled

説明: DIMM コネクター 7 の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2007ffff または 0x816f090c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f090c-2008ffff memory device 8 in Group 1 on Subsystem System Memory is no longer Throttled

説明: DIMM コネクター 8 の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2008ffff または 0x816f090c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f090c-2009ffff memory device 9 in Group 1 on Subsystem System Memory is no longer Throttled

説明: DIMM コネクター 9 の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2009ffff または 0x816f090c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f090c-200affff memory device 10 in Group 1 on Subsystem System Memory is no longer Throttled

説明: DIMM コネクター 10 の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c200affff または 0x816f090c200affff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f090c-200bffff memory device 11 in Group 1 on Subsystem System Memory is no longer Throttled

説明: DIMM コネクター 11 の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c200bffff または 0x816f090c200bffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f090c-200cffff memory device 12 in Group 1 on Subsystem System Memory is no longer Throttled

説明: DIMM コネクター 12 の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c200cffff または 0x816f090c200cffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f090c-200dffff memory device 13 in Group 1 on Subsystem System Memory is no longer Throttled

説明: DIMM コネクター 13 の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c200dffff または 0x816f090c200dffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f090c-200effff memory device 14 in Group 1 on Subsystem System Memory is no longer Throttled

説明: DIMM コネクター 14 の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c200effff または 0x816f090c200effff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f090c-200fffff memory device 15 in Group 1 on Subsystem System Memory is no longer Throttled

説明: DIMM コネクター 15 の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c200fffff または 0x816f090c200fffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f090c-2010ffff memory device 16 in Group 1 on Subsystem System Memory is no longer Throttled

説明: DIMM コネクター 16 の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2010ffff または 0x816f090c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f090c-2011ffff memory device 17 in Group 1 on Subsystem System Memory is no longer Throttled

説明: DIMM コネクター 17 の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2011ffff または 0x816f090c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f090c-2012ffff memory device 18 in Group 1 on Subsystem System Memory is no longer Throttled

説明: DIMM コネクター 18 の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2012ffff または 0x816f090c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f090c-2013ffff memory device 19 in Group 1 on Subsystem System Memory is no longer Throttled

説明: DIMM コネクター 19 の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2013ffff または 0x816f090c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f090c-2014ffff memory device 20 in Group 1 on Subsystem System Memory is no longer Throttled

説明: DIMM コネクター 20 の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2014ffff または 0x816f090c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f090c-2015ffff memory device 21 in Group 1 on Subsystem System Memory is no longer Throttled

説明: DIMM コネクター 21 の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2015ffff または 0x816f090c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f090c-2016ffff memory device 22 in Group 1 on Subsystem System Memory is no longer Throttled

説明: DIMM コネクター 22 の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2016ffff または 0x816f090c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f090c-2017ffff memory device 23 in Group 1 on Subsystem System Memory is no longer Throttled

説明: DIMM コネクター 23 の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2017ffff または 0x816f090c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f090c-2018ffff memory device 24 in Group 1 on Subsystem System Memory is no longer Throttled

説明: DIMM コネクター 24 の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2018ffff または 0x816f090c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f0a07-0301ffff The Processor CPU 1 is no longer operating in a Degraded State.

説明: マイクロプロセッサー 1 のスロットルがオフにされました。

816f0a070301ffff または 0x816f0a070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0039

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f0a07-0302ffff The Processor CPU 2 is no longer operating in a Degraded State.

説明: マイクロプロセッサー 2 のスロットルがオフにされました。

816f0a070302ffff または 0x816f0a070302ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0039

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f0a07-2584ffff The Processor [ProcessorElementName] is no longer operating in a Degraded State.

説明: マイクロプロセッサー・スロットルがオフにされました。

816f0a072584ffff または 0x816f0a072584ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0039

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。 すべての CPU : 1 つの CPU :

816f0a0c-2001ffff An Over-Temperature Condition has been removed on the memory device 1 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 1 の DIMM が温度超過状態ではなくなりました。

816f0a0c2001ffff または 0x816f0a0c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f0a0c-2002ffff An Over-Temperature Condition has been removed on the memory device 2 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 2 の DIMM が温度超過状態ではなくなりました。

816f0a0c2002ffff または 0x816f0a0c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f0a0c-2003ffff An Over-Temperature Condition has been removed on the memory device 3 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 3 の DIMM が温度超過状態ではなくなりました。

816f0a0c2003ffff または 0x816f0a0c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f0a0c-2004ffff An Over-Temperature Condition has been removed on the memory device 4 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 4 の DIMM が温度超過状態ではなくなりました。

816f0a0c2004ffff または 0x816f0a0c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f0a0c-2005ffff An Over-Temperature Condition has been removed on the memory device 5 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 5 の DIMM が温度超過状態ではなくなりました。

816f0a0c2005ffff または 0x816f0a0c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

816f0a0c-2006ffff

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f0a0c-2006ffff An Over-Temperature Condition has been removed on the memory device 6 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 6 の DIMM が温度超過状態ではなくなりました。

816f0a0c2006ffff または 0x816f0a0c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f0a0c-2007ffff An Over-Temperature Condition has been removed on the memory device 7 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 7 の DIMM が温度超過状態ではなくなりました。

816f0a0c2007ffff または 0x816f0a0c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f0a0c-2008ffff An Over-Temperature Condition has been removed on the memory device 8 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 8 の DIMM が温度超過状態ではなくなりました。

816f0a0c2008ffff または 0x816f0a0c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f0a0c-2009ffff An Over-Temperature Condition has been removed on the memory device 9 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 9 の DIMM が温度超過状態ではなくなりました。

816f0a0c2009ffff または 0x816f0a0c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f0a0c-200affff An Over-Temperature Condition has been removed on the memory device 10 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 10 の DIMM が温度超過状態ではなくなりました。

816f0a0c200affff または 0x816f0a0c200affff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f0a0c-200bffff An Over-Temperature Condition has been removed on the memory device 11 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 11 の DIMM が温度超過状態ではなくなりました。

816f0a0c200bffff または 0x816f0a0c200bffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f0a0c-200cffff An Over-Temperature Condition has been removed on the memory device 12 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 12 の DIMM が温度超過状態ではなくなりました。

816f0a0c200cffff または 0x816f0a0c200cffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f0a0c-200dffff An Over-Temperature Condition has been removed on the memory device 13 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 13 の DIMM が温度超過状態ではなくなりました。

816f0a0c200dffff または 0x816f0a0c200dffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f0a0c-200effff An Over-Temperature Condition has been removed on the memory device 14 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 14 の DIMM が温度超過状態ではなくなりました。

816f0a0c200effff または 0x816f0a0c200effff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f0a0c-200fffff An Over-Temperature Condition has been removed on the memory device 15 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 15 の DIMM が温度超過状態ではなくなりました。

816f0a0c200fffff または 0x816f0a0c200fffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f0a0c-2010ffff An Over-Temperature Condition has been removed on the memory device 16 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 16 の DIMM が温度超過状態ではなくなりました。

816f0a0c2010ffff または 0x816f0a0c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f0a0c-2011ffff An Over-Temperature Condition has been removed on the memory device 17 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 17 の DIMM が温度超過状態ではなくなりました。

816f0a0c2011ffff または 0x816f0a0c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f0a0c-2012ffff An Over-Temperature Condition has been removed on the memory device 18 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 18 の DIMM が温度超過状態ではなくなりました。

816f0a0c2012ffff または 0x816f0a0c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f0a0c-2013ffff An Over-Temperature Condition has been removed on the memory device 19 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 19 の DIMM が温度超過状態ではなくなりました。

816f0a0c2013ffff または 0x816f0a0c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f0a0c-2014ffff An Over-Temperature Condition has been removed on the memory device 20 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 20 の DIMM が温度超過状態ではなくなりました。

816f0a0c2014ffff または 0x816f0a0c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f0a0c-2015ffff An Over-Temperature Condition has been removed on the memory device 21 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 21 の DIMM が温度超過状態ではなくなりました。

816f0a0c2015ffff または 0x816f0a0c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f0a0c-2016ffff An Over-Temperature Condition has been removed on the memory device 22 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 22 の DIMM が温度超過状態ではなくなりました。

816f0a0c2016ffff または 0x816f0a0c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f0a0c-2017ffff An Over-Temperature Condition has been removed on the memory device 23 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 23 の DIMM が温度超過状態ではなくなりました。

816f0a0c2017ffff または 0x816f0a0c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f0a0c-2018ffff An Over-Temperature Condition has been removed on the memory device 24 in Group 1 on Subsystem System Memory.

説明: DIMM コネクター 24 の DIMM が温度超過状態ではなくなりました。

816f0a0c2018ffff または 0x816f0a0c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

816f0a13-2401ffff System [ComputerSystemElementName] has recovered from a Fatal Bus Error.

説明: このメッセージは、システムがバスの致命的エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。 SMBus。

816f0a132401ffff または 0x816f0a132401ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0245

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

816f0a13-2582ffff System PCIs has recovered from a Fatal Bus Error.

説明: PCI システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされました。

816f0a132582ffff または 0x816f0a132582ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0241

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

UEFI 診断コード

UEFI 診断コードは、コンピュート・ノードの始動時またはコンピュート・ノードの稼働中に生成される可能性があります。 UEFI 診断コードは、コンピュート・ノードの IMM イベント・ログに記録されます。

イベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

Event identifier (イベント ID)
イベントを一意的に識別する ID。

Event description (イベント記述)
イベントについて表すログ・メッセージ・ストリング。

Explanation (説明)
イベントが発生した原因を説明する追加情報。

重大度 その状態の懸念のレベルの表示。イベント・ログでは、重大度が先頭文字に省略されています。以下の重大度が表示されます。

表 3. 重大度レベル

重大度	説明
通知	通知メッセージは監査目的で記録されたもので、通常は、正常な動作のユーザー処置あるいは状態の変化です。
警告	警告はエラーほど深刻ではないですが、可能であればエラーになる前に状態を修正することが推奨されます。場合によっては、追加のモニターや保守を必要とする状態であることもあります。
エラー	エラーは通常、サービスや予想された機能を損なう障害状態または重大な状態を示します。

ユーザー応答
イベントを解決するために実行する必要がある処置を示します。

このセクションにリストされている手順を、問題が解決するまで順番に実行します。このフィールドに記載されているすべての処置を実行しても問題が解決されない場合は、IBM サポートに連絡してください。

I.11002 [I.11002] A processor mismatch has been detected between one or more processors in the system.

説明: 1 つ以上のプロセッサーの不一致が検出されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このメッセージと一緒に、他のプロセッサー構成の問題を示すメッセージが発行される場合があります。最初に、それらのメッセージを解決してください。
2. 問題が解決しない場合は、取り付けられているプロセッサーが一致していること (オプション部品番号が一致しているなど) を確認します。
3. サーバーの「問題判別の手引き」に従って、プロセッサーが正しいソケットに取り付けられていることを確認します。正しく取り付けられていない場合は、問題を修正してください。
4. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 一致していないプロセッサーを交換します。プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが破損している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18005 **[I.18005] A discrepancy has been detected in the number of cores reported by one or more processor packages within the system.**

説明: プロセッサーのコア数が一致していません。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. これが新規に取り付けたオプションの問題である場合、サーバーの「問題判別の手引き」に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが破損している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18006 **[I.18006] A mismatch between the maximum allowed QPI link speed has been detected for one or more processor packages.**

説明: プロセッサーの QPI 速度が一致していません。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. これが新規に取り付けたオプションの問題である場合、一致するプロセッサー CPU が、サーバーの「問題判別の手引き」に従って正しいプロセッサー CPU ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる RETAIN のヒント、Service Bulletin、またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが破損している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18007 **[I.18007] A power segment mismatch has been detected for one or more processor packages.**

説明: プロセッサーの電源セグメントが一致していません。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 取り付けられているプロセッサーの消費電力が同一ではありません。
2. すべてのプロセッサーの消費電力 (65、95、または 130 ワットなど) が一致していることを確認します。
3. 消費電力が一致している場合は、IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが破損している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18008 **[I.18008] Currently, there is no additional information for this event.**

説明: プロセッサーの内部 DDR3 周波数が一致していません。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. サーバーの「問題判別の手引き」に従って、一致する DIMM が正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。検出された構成の問題をすべて修正します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 関連するプロセッサーを交換します。プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが破損している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18009 [I.18009] A core speed mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサーのコア速度が一致していません。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. サーバーの「問題判別の手引き」に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致の問題をすべて修正します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが破損している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.1800A [I.1800A] A mismatch has been detected between the speed at which a QPI link has trained between two or more processor packages.

説明: プロセッサーのバス速度が一致していません。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. プロセッサーが、このシステムの Server Proven デバイスにリストされている有効なオプションであることを確認します。有効なオプションではない場合、そのプロセッサーを取り外し、Server Proven にリストされたプロセッサーを取り付けます。
2. サーバーの「問題判別の手引き」に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
3. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが破損している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.1800B [I.1800B] A cache size mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサーの 1 つ以上のキャッシュ・レベルでサイズが一致していません。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. サーバーの「問題判別の手引き」に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800C [I.1800C] A cache type mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサーの 1 つ以上のキャッシュ・レベルでタイプが一致していません。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. サーバーの「問題判別の手引き」に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。

2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800D [I.1800D] A cache associativity mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサーの 1 つ以上のキャッシュ・レベルで結合順序が一致していません。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. サーバーの「問題判別の手引き」に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800E [I.1800E] A processor model mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサーの型式番号が一致していません。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. サーバーの「問題判別の手引き」に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800F [I.1800F] A processor family mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサーのファミリーが一致していません。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. サーバーの「問題判別の手引き」に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.18010 [I.18010] A processor stepping mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: 同一モデルのプロセッサーのステッピング ID が一致していません。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. サーバーの「問題判別の手引き」に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.2018002 [I.2018002] The device found at Bus % Device % Function % could not be configured due to resource constraints. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: OUT_OF_RESOURCES (PCI オプション ROM)

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin、UEFI、またはアダプター・ファームウェア更新がないかを確認します。注: アダプター・ファームウェアを更新するために、UEFI F1 セットアップ、ASU、またはアダプター製造元のユーティリティーを使用して、未使用のオプション ROM を使用不可にする必要がある場合があります。
3. カードを別のスロットに移動します。スロットが使用可能ではない場合、あるいはエラーが再発生する場合は、アダプターを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) アダプターを別のスロットに移動させてエラーが再発生しなかった場合は、この問題がシステムの制限事項ではないことを確認し、システム・ボードを交換します。また、これが最初の取り付けではなく、アダプターを交換しても問題が解決しない場合は、システム・ボードを交換します。

I.2018003 [I.2018003] A bad option ROM checksum was detected for the device found at Bus % Device % Function %. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: ROM チェックサム・エラー

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。
2. アダプターを別のシステム・スロットに移動します (使用可能な場合)。
3. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin、UEFI、またはアダプター・ファームウェア更新がないかを確認します。注: アダプター・ファームウェアをアップグレードするために、スロットを Gen1 に構成したり、特別なユーティリティー・ソフトウェアを使用する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、あるいは ASU ユーティリティーを使用して構成することができます。
4. アダプターを交換します。

I.3048005 [I.3048005] UEFI has booted from the backup flash bank.

説明: バックアップ UEFI イメージからブートしています。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

「問題判別の手引き」の UEFI リカバリーのセクションを参照し、システムを 1 次バンクに戻します。

I.3808004 [I.3808004] The IMM System Event log (SEL) is full.

説明: IPMI システム・イベント・ログがフルです。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IMM Web インターフェースを使用して、イベント・ログを消去します。

2. IMM 通信が使用できない場合は、F1 Setup を使用して、「System Event Logs Menu」にアクセスし、「Clear IMM System Event Log」を選択してサーバーを再始動します。

I.3818001 [I.3818001] The firmware image capsule signature for the currently booted flash bank is invalid.

説明: 現行のバンク CRTM カプセル更新署名が無効です。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムをリブートします。バックアップ UEFI イメージが起動します。1 次 UEFI イメージを再フラッシュします。
2. エラーが解決した場合は、追加のリカバリー・アクションは不要です。
3. エラーが解決しない、またはブートが正常に完了しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.3818002 [I.3818002] The firmware image capsule signature for the non-booted flash bank is invalid.

説明: 対向バンク CRTM カプセル更新署名が無効です。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. バックアップ UEFI イメージを再フラッシュします。
2. エラーが解決した場合は、追加のリカバリー・アクションは不要です。
3. エラーが解決しない、またはブートが正常に完了しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.3818003 [I.3818003] The CRTM flash driver could not lock the secure flash region.

説明: CRTM がセキュア・フラッシュ領域をロックできませんでした。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムが正常にブートしない場合は、システムの DC サイクルを実行します。
2. システムが F1 Setup にブートする場合は、UEFI イメージをフラッシュし、バンクを 1 次にリセットします (必要な場合)。システムがエラーなくブートする場合は、リカバリーは完了です。追加アクションは不要です。
3. システムがブートに失敗する場合、またはフラッシュ試行が失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.3868000 [I.3868000] BOFM: System reset performed to reset adapters.

説明: BOFM: アダプターをリセットするためにシステム・リセットが実行されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

このイベントに対するユーザー応答は不要です。これは単なる通知メッセージです。

I.3868003 [I.3868003] BOFM: Configuration to large for compatibility mode.

説明: BOFM: 互換モードには構成が大規模すぎです。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

このイベントに対するユーザー応答は不要です。これは単なる通知メッセージです。

I.58015 [I.58015] Memory spare copy initiated.

説明: スペア・コピーが開始されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

このイベントに対するユーザー応答は不要です。これは単なる通知メッセージです。

I.580A4 [I.580A4] Memory population change detected.

説明: DIMM 装着の変化が検出されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

システム・イベント・ログで訂正不能 DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

I.580A5 [I.580A5] Mirror Fail-over complete. DIMM number % has failed over to to the mirrored copy.

説明: DIMM ミラーリングのフェイルオーバーが検出されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

システム・イベント・ログで訂正不能 DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

I.580A6 [I.580A6] Memory spare copy has completed successfully.

説明: スペア・コピーが完了しました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

システム・ログで関連する DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

S.1100C [S.1100C] An uncorrectable error has been detected on processor %.

説明: 訂正不能プロセッサー・エラーが検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. システムをリブートします。問題が解決しない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。

S.2011001 [S.2011001] An Uncorrected PCIe Error has Occurred at Bus % Device % Function %. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: PCI SERR が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. この ITE や接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、a. アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。 b. デバイス・ドライバーを再

ロードします。 c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成することが必要な場合があります。Gen1/Gen2 設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、あるいは ASU ユーティリティーを使用して構成することができます。

2. IBM サポート・サイトで、このプロセッサー・エラーに適用できるデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、PDSG 改訂、あるいはその他の情報がないかを確認します。新規のデバイス・ドライバーおよび必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
3. 問題が解決しない場合は、アダプター・カードを取り外します。アダプターなしでシステムが正常にリブートする場合は、そのカードを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。

S.2018001 [S.2018001] An Uncorrected PCIe Error has Occurred at Bus % Device % Function %. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: PCIe 訂正不能エラーが検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. この ITE や接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、a. アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。 b. デバイス・ドライバーを再ロードします。 c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成することが必要な場合があります。 Gen1/Gen2 設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、あるいは ASU ユーティリティーを使用して構成することができます。
2. IBM サポート・サイトで、このプロセッサー・エラーに適用できるデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、PDSG 改訂、あるいはその他の情報がないかを確認します。新規のデバイス・ドライバーおよび必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
3. 問題が解決しない場合は、アダプター・カードを取り外します。アダプターなしでシステムが正常にリブートする場合は、そのカードを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。

S.3020007 [S.3020007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再フラッシュします。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3028002 [S.3028002] Boot permission timeout detected.

説明: ブート許可のネゴシエーションがタイムアウトになりました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM/IMM ログで通信エラーがないかを確認し、エラーを解決します。
2. システムを取り付け直します。
3. 問題が解決しない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。

S.3030007 [S.3030007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再フラッシュします。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3040007 [S.3040007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再フラッシュします。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3050007 [S.3050007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再フラッシュします。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3058004 [S.3058004] A Three Strike boot failure has occurred. The system has booted with default UEFI settings.

説明: POST 障害が発生しました。システムはデフォルト設定でブートしました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このイベントは、次回のブートで UEFI をデフォルト設定にリセットします。正常に行われると、ユーザーは強制的に F1 セットアップに入ります。元の UEFI 設定はまだ存在しています。
2. ユーザーが意図的にリブートを開始したのではない場合、ログで推定原因を確認してください。
3. 最近行ったシステム変更 (設定やデバイスの追加) を元に戻します。最近行ったシステム変更がない場合は、すべてのオプションを取り外した後、CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去します。システムがブートすることを確認します。次に、一度に 1 つずつオプションを再取り付けし、問題を特定します。
4. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. UEFI ファームウェアを再フラッシュします。
6. CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。

7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3060007 [S.3060007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再フラッシュします。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3070007 [S.3070007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再フラッシュします。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3108007 [S.3108007] The default system settings have been restored.

説明: システム構成がデフォルトに復元されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。

S.3818004 [S.3818004] The CRTM flash driver could not successfully flash the staging area. A failure occurred.

説明: CRTM 更新が失敗しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムのブートを続行します。システムがリセットされない場合、手動でシステムをリセットします。
2. その後のブートでエラーが報告されない場合は、追加のリカバリー処置は不要です。
3. エラーが解決されない場合は、システムのブートおよび UEFI イメージの再フラッシュを続行します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3818007 [S.3818007] The firmware image capsules for both flash banks could not be verified.

説明: CRTM イメージ・カプセルを検査できませんでした。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムが正常にブートしない場合は、システムの DC サイクルを実行します。

2. システムが F1 Setup にブートする場合は、UEFI イメージをフラッシュし、バンクを 1 次にリセットします (必要な場合)。システムがエラーなくブートする場合は、リカバリーは完了です。追加アクションは不要です。
3. システムがブートに失敗する場合、またはフラッシュ試行が失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.51003 [S.51003] An uncorrectable memory error was detected in DIMM slot % on rank %.

説明: 致命的なメモリー・エラーが発生しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行します。

1. この ITE の取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャネル上の DIMM コネクターにコネクターに異物が入っていないことを確認してください。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている可能性があります。)
2. DIMM コネクター上に問題が見つからず、この問題が解決しない場合は、Light Path あるいはイベント・ログ・エントリー (またはその両方) で示された DIMM を交換します。
3. 同じ DIMM コネクターで問題が再発生した場合は、同じメモリー・チャネル上の他の DIMM を交換します。
4. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が再発生した場合は、コネクターに損傷がないかを検査します。損傷が見つかった場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のプロセッサーを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.51006 [S.51006] A memory mismatch has been detected. Please verify that the memory configuration is valid.

説明: 1 つ以上の DIMM の不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 訂正不能メモリー・エラーあるいはメモリー・テストの失敗に続いて発生した可能性があります。ログを確認し、最初にそのイベントの保守を行います。他のエラーあるいは処置によって使用不可になっている DIMM が、このイベントの原因となっている可能性があります。
2. サーバーの「問題判別の手引き」に従って、DIMM が正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。
3. メモリー・ミラーリングおよびスペアリングを使用不可にします。この処置によって不一致がなくなった場合は、IBM サポート・サイトで、この問題に関連する情報がないかを確認します。
4. UEFI ファームウェアを再フラッシュします。
5. DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。

S.51009 [S.51009] No system memory has been detected.

説明: メモリーが検出されませんでした。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 1 つ以上の DIMM がサーバーに取り付けられていることを確認します。

2. ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクターのエラー LED が点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) を使用して、すべての DIMM コネクターが使用可能になっていることを確認します。
3. サーバーの「問題判別の手引き」に従って、DIMM を正しい装着順序で再取り付けします。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.58008 [S.58008] A DIMM has failed the POST memory test.

説明: DIMM がメモリー・テストに失敗しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの AC サイクルを実行して、対象の DIMM コネクターを再度使用可能にするか、あるいは F1 Setup を使用して、手動で対象の DIMM コネクターを再度使用可能にします。
2. この ITE の取り付け、保守、移動、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物が入っていないことを確認します。いずれかの状態が見つかった場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている可能性があります。)
3. 問題が解決しない場合は、Light Path あるいはイベント・ログ・エントリー (またはその両方) で示された DIMM を交換します。
4. 同じ DIMM コネクターで問題が再発生した場合は、同じメモリー・チャネル上の他の DIMM を、チャネル間で (別のメモリー・チャネルまたはプロセッサーに) 一度に 1 つずつスワップします。(スペアリング/ペアリング・モードでの装着要件については、「問題判別の手引き」または「インストール・ガイド」を参照してください)。別のメモリー・チャネルに移動した DIMM に問題が付随する場合は、その DIMM を交換します。
5. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 元の DIMM コネクターで問題が続く場合は、DIMM コネクターに異物がないかを再検査し、見つかった場合は除去します。コネクターが損傷している場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のプロセッサーを取り外し、プロセッサー・ソケット・ピンに損傷したピンや誤って位置合わせされたピンがないかを検査します。損傷が見つかった場合、あるいはこれがアップグレード・プロセッサーである場合は、システム・ボードを交換します。複数のプロセッサーがある場合は、それらのプロセッサーをスワップし、対象のプロセッサーを別のプロセッサー・ソケットに移動して再試行します。問題が対象のプロセッサーに付随する場合 (あるいは、プロセッサーが 1 つしかない場合) は、対象のプロセッサーを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.68005 [S.68005] An error has been detected by the the IIO core logic on Bus %. The Global Fatal Error Status register contains %. The Global Non-Fatal Error Status register contains %. Please check error logs for the presence of additional downstream device error data.

説明: クリティカル IOH-PCI エラー

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. ログで関連する PCIe デバイスの個別のエラーを確認し、そのエラーを保守します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できるシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。

3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.680B8 [S.680B8] Internal QPI Link Failure Detected.

説明: 内部 QPI リンク障害が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. プロセッサー・ソケットに異物や損傷がないかを検査します。異物が見つかった場合は、除去します。
3. エラーが再発生する場合、あるいはソケットの損傷が見つかった場合は、システム・ボードを交換します (トレーニングを受けたサービス技術員のみ)。

S.680B9 [S.680B9] External QPI Link Failure Detected.

説明: 外部 QPI リンク障害が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. プロセッサー・ソケットに異物や損傷がないかを検査します。異物が見つかった場合は、除去します。
3. エラーが再発生する場合、あるいはソケットの損傷が見つかった場合は、システム・ボードを交換します (トレーニングを受けたサービス技術員のみ)。

W.11004 [W.11004] A processor within the system has failed the BIST.

説明: プロセッサー自己診断テストの失敗が検出されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. プロセッサーまたはファームウェアを更新したばかりの場合は、IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 複数のプロセッサーがある場合は、それらのプロセッサーをスワップし、対象のプロセッサーを別のプロセッサー・ソケットに移動して再試行します。問題が対象のプロセッサーに付随する場合、あるいは、これが単一プロセッサーのシステムである場合は、対象のプロセッサーを交換します。プロセッサーを取り外すたびに、プロセッサー・ソケットを検査し、損傷したピンや誤って位置合わせされたピンが見つかった場合は、システム・ボードを交換します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3048006 [W.3048006] UEFI has booted from the backup flash bank due to an Automatic Boot Recovery (ABR) event.

説明: 自動ブート・リカバリーにより、バックアップ UEFI イメージからブートしています。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。

2. 1 次 UEFI イメージを再フラッシュします。「問題判別の手引き」の UEFI リカバリーのセクションを参照してください。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.305000A [W.305000A] An invalid date and time have been detected.

説明: RTC 日時が誤っています。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IMM/シャーシ・イベント・ログを確認します。このイベントは、0068002 エラーの直前にあります。このイベントまたはその他のバッテリー関連エラーをすべて保守します。
2. F1 Setup を使用して日時を再設定します。システム・リセットの後に問題が再発生する場合は、CMOS バッテリーを交換します。
3. 問題が解決しない場合は、IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3058009 [W.3058009] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Missing Configuraiton. Requires Change Settings From F1.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 構成が欠落しています。F1 から設定を変更する必要があります。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 「System Settings」>「Settings」>「Driver Health Status List」に進み、構成が必要な状況を報告しているドライバー/コントローラーを見つけます。
2. 「System Settings」からドライバー・メニューを検索し、設定を適切に変更します。
3. 設定を保存してシステムを再始動します。

W.305800A [W.305800A] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Reports 'Failed' Status Controller.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「障害」状態のコントローラーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、または現在の UEFI イメージを再フラッシュします。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.305800B [W.305800B] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Reports 'Reboot' Required Controller.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「リブート」が必要なコントローラーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. アクションは不要です – POST の最後にシステムがリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、または現在の UEFI イメージを再フラッシュします。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.305800C [W.305800C] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Reports 'System Shutdown' Required Controller.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「システム・シャットダウン」が必要なコントローラーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、または現在の UEFI イメージを再フラッシュします。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.305800D [W.305800D] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Disconnect Controller Failed. Requires 'Reboot'.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: コントローラーの切断に失敗しました。「リブート」が必要です。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムをリブートし、コントローラーを再接続します。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、または現在の UEFI イメージを再フラッシュします。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.305800E [W.305800E] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Reports Invalid Health Status Driver.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 無効なヘルス状況のドライバーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、または現在の UEFI イメージを再フラッシュします。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3808000 [W.3808000] An IMM communication failure has occurred.

説明: IMM 通信に失敗しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM から IMM をリセットします。
2. CMM を使用して、ITE から AUX 電源を取り外します。これにより、ITE 全体がリブートします。
3. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. UEFI ファームウェアを再フラッシュします。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3808002 [W.3808002] An error occurred while saving UEFI settings to the IMM.

説明: IMM へのシステム構成の更新でエラーが発生しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. F1 Setup、「Verify Settings」、「Save Settings」を使用して設定をリカバリーします。
2. CMM から IMM をリセットします。
3. CMM を使用して、ITE から AUX 電源を取り外します。これにより、ITE 全体がリブートします。
4. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. IMM ファームウェアを再フラッシュします。
6. CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3808003 .[W.3808003] Unable to retrieve the system configuration from the IMM.

説明: IMM からのシステム構成の取得でエラーが発生しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. F1 Setup、「Verify Settings」、「Save Settings」を使用して設定をリカバリーします。
2. CMM から IMM をリセットします。
3. CMM を使用して、ITE から AUX 電源を取り外します。これにより、ITE 全体がリブートします。
4. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. IMM ファームウェアを再フラッシュします。
6. CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3818005 [W.3818005] The CRTM flash driver could not successfully flash the staging area. The update was aborted

説明: CRTM 更新が異常終了しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムのブートを続行します。システムがリセットされない場合、手動でシステムをリセットします。
2. その後のブートでエラーが報告されない場合は、追加のリカバリー処置は不要です。
3. イベントが解決されない場合は、システムのブートおよび UEFI イメージの再フラッシュを続行します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3868001 [W.3868001] BOFM: Reset loop avoided - Multiple resets not allowed.

説明: BOFM: リセットのループが回避されました - 複数回のリセットは許可されていません。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. すべてのファームウェア (アダプター・ファームウェアを含む) を最新レベルに更新します。

2. 問題が解決しない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。

W.3868002 [W.3868002] BOFM: Error communicating with the IMM - BOFM may not be deployed correctly.

説明: BOFM: IMM との通信でエラーが発生しました - BOFM が正常にデプロイされない可能性があります。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. すべてのファームウェア (アダプター・ファームウェアを含む) を最新レベルに更新します。
2. 問題が解決しない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。

W.3938002 [W.3938002] A boot configuration error has been detected.

説明: ブート構成エラー。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. F1 Setup->「Save Settings」
2. OOB 構成の更新を再試行します。

W.50001 [W.50001] A DIMM has been disabled due to an error detected during POST.

説明: DIMM が使用不可です。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. メモリー障害によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのイベントに対する手順に従います。
2. ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクターのエラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) を使用して DIMM を再度使用可能にします。
3. 問題が解決しない場合は、管理コンソールから ITE の電源サイクルを実行します。
4. IMM をデフォルト設定にリセットします。
5. UEFI をデフォルト設定にリセットします。
6. IMM および UEFI ファームウェアを再フラッシュします。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.58001 [W.58001] The PFA Threshold limit (correctable error logging limit) has been exceeded on DIMM number % at address %. MC5 Status contains % and MC5 Misc contains %.

説明: DIMM PFA しきい値を超えました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. この ITE の取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャネル上の DIMM コネクターにコネクターに異物が入っていないことを確認してください。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている可能性があります。)
2. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。リリース・ノートには、その更新で対応している既知の問題がリストされています。
3. 上記のステップで問題が解決されない場合は、次に保守を行う機会に対象の DIMM (Light Path や障害ログ・エントリーで示されたもの) を交換します。

4. 同じ DIMM コネクターで PFA が再発生した場合は、同じメモリー・チャネル上の他の DIMM を、別のメモリー・チャネルまたはプロセッサーに一度に 1 つずつスワップします。(スペアリング/ペアリング・モードでの装着要件については、「問題判別の手引き」または「インストール・ガイド」を参照してください)。PFA が別のメモリー・チャネルの DIMM コネクターに移動した DIMM に付随する場合は、その移動した DIMM を交換します。
5. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin がないかを確認します。(IBM サポートの Service Bulletin へのリンク)
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が継続的に再発生する場合は、DIMM コネクターに異物がないかを検査し、見つかった場合は除去します。コネクターが損傷している場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のプロセッサーを取り外し、プロセッサー・ソケット・ピンに損傷したピンや誤って位置合わせされたピンがないかを検査します。損傷が見つかった場合、あるいはプロセッサーがアップグレード部品である場合は、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のプロセッサーを交換します。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.58007 [W.58007] Invalid memory configuration (Unsupported DIMM Population) detected. Please verify memory configuration is valid.

説明: サポートされていない DIMM 装着です。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 訂正不能メモリー・エラーあるいはメモリー・テストの失敗に続いて発生した可能性があります。ログを確認し、最初にそのイベントの保守を行います。他のエラーあるいは処置によって使用不可になっている DIMM が、このイベントの原因となっている可能性があります。
2. サーバーの「問題判別の手引き」のガイドラインに従って DIMM コネクターが装着されていることを確認します。

W.580A1 [W.580A1] Invalid memory configuration for Mirror Mode. Please correct memory configuration.

説明: ミラーリング・モードでサポートされていない DIMM 装着です。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. DIMM コネクターのエラー LED が点灯している場合は、その障害を解決します。
2. サーバーの「問題判別の手引き」のガイドラインに従って、DIMM コネクターがミラーリング・モードとして正しく装着されていることを確認します。

W.580A2 [W.580A2] Invalid memory configuration for Sparing Mode. Please correct memory configuration.

説明: スペアリング・モードでサポートされていない DIMM 装着です。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

サーバーの「問題判別の手引き」のガイドラインに従って、DIMM コネクターがスペアリング・モードとして正しく装着されていることを確認します。

W.68002 [W.68002] A CMOS battery error has been detected

説明: CMOS バッテリー障害

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの取り付け、移動、あるいは保守を最近行った場合は、バッテリーが正しく装着されていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. CMOS バッテリーを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

DSA メッセージ

この情報を使用して、診断エラー・メッセージを確認し、多くのエラーを解決することができます。

診断プログラムが表にリストされていないエラー・コードを生成した場合は、最新レベルの UEFI コードがインストールされていることを確認してください。コンピュート・ノードの最新ファームウェアをダウンロードするには、http://www.ibm.com/systems/support/supportsite.wss/docdisplay?brandind=5000008&lndocid=MIGR-63017 にアクセスします。

以下の表では、診断プログラムが生成する可能性があるメッセージと、検出された問題を解決するための推奨アクションについて説明します。「アクション」欄の推奨アクションを、リストされている順に実行してください。エラー・コードの中の *x* は、任意の数字または文字を表します。ただし、コードの中央位置にある 3 桁の数値が 000、195、または 197 である場合は、CRU または FRU を交換しないでください。コードの中央位置に表示されるこれらの数値は、以下の意味を表します。

000 コンピュート・ノードがテストにパスしました。CRU または FRU を交換しないでください。

195 テストを終了するために Esc キーが押されました。CRU または FRU を交換しないでください。

197 これは警告エラーですが、ハードウェア障害を示すものではありません。CRU または FRU を交換しないでください。「アクション」欄に示されているアクションは実行しますが、*CRU または FRU を交換しないでください*。詳しくは、25 ページの『診断テキスト・メッセージ』の『**Warning**』の説明を参照してください。

マイクロプロセッサー・テスト

この情報を使用して、マイクロプロセッサー・テストのエラーを診断し、解決してください。

問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。

- どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) で、どのコンポーネントがトレーニングを受けたサービス技術員のみが交換を行う必要のある技術員により交換される部品 (FRU) であるか判別するには、 369 ページの『第 5 章 部品リスト - IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734』を参照してください。
- 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。

089-000-xxx

説明: CPU ストレス・テストにパスしました。

ユーザーの処置: 通知のみ。アクションは不要です。

089-801-xxx

説明: 内部プログラム・エラーが原因で異常終了しました。

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンピュート・ノードが応答を停止した場合は、コンピュート・ノードの電源をオフにしてから再始動してください。 11 ページの『管理ノードの電源オフ』、および 11 ページの『管理ノードの電源オン』を参照してください。
2. DSA コードが最新のものであるか確認して、必要に応じてアップグレードします。その後、テストを再実行します。最新のコードは、http://www.ibm.com/systems/support/supportsite.wss/docdisplay?brandind=5000008&Indocid=SERV-DSA で参照できます。
3. システム・ファームウェア・レベルが最新のものであるか確認して、必要に応じてアップグレードします。その後、テストを再実行します。インストールされているファームウェア・レベルは、このコンポーネントのファームウェア/VPD セクション内の DSA ログで確認することができます。このコンポーネントの最新レベルのファームウェアは、http://www.ibm.com/systems/support/supportsite.wss/docdisplay?brandind=5000008&lndocid=MIGR-63017 で参照できます。
4. コンピュート・ノードが応答を停止した場合は、コンピュート・ノードの電源をオフにしてから再始動します。その後、テストを再実行してください。 11 ページの『管理ノードの電源オフ』、および 11 ページの『管理ノードの電源オン』を参照してください。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) コンポーネントの障害が解決しない場合は、 307 ページの『第 4 章 コンポーネントの取り付け、取り外し、および交換』を参照して、障害のあるコンポーネントを交換します。

089-802-xxx

説明: システム・リソース可用性エラーが原因で異常終了しました。

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 少なくとも 1 GB のメモリーがコンピュート・ノードに取り付けられていることを確認します (332 ページの『DIMM の取り付け』を参照)。

2. DSA コードが最新のものであるか確認して、必要に応じてアップグレードします。その後、テストを再実行します。最新のコードは、http://www.ibm.com/systems/support/supportsite.wss/docdisplay?brandind=5000008&Indocid=SERV-DSA で参照できます。
3. システム・ファームウェア・レベルが最新のものであるか確認して、必要に応じてアップグレードします。その後、テストを再実行します。インストールされているファームウェア・レベルは、このコンポーネントのファームウェア/VPD セクション内の DSA ログで確認することができます。このコンポーネントの最新レベルのファームウェアは、http://www.ibm.com/systems/support/supportsite.wss/docdisplay?brandind=5000008&lndocid=MIGR-63017 で参照できます。
4. コンピュート・ノードが応答を停止した場合は、コンピュート・ノードの電源をオフにしてから再始動します。その後、テストを再実行してください。 11 ページの『管理ノードの電源オフ』、および 11 ページの『管理ノードの電源オン』を参照してください。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) コンポーネントの障害が解決しない場合は、 307 ページの『第 4 章 コンポーネントの取り付け、取り外し、および交換』を参照して、障害のあるコンポーネントを交換します。

管理ノードのトラブルシューティング

このセクションのトラブルシューティング表を使用して、IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 管理ノードの問題を解決します。

IBM Flex System Manager 管理ソフトウェアのトラブルシューティング情報については、「*IBM Flex System Manager Troubleshooting Guide*」を参照してください。

接続の問題

接続の問題を解決するには、この情報を使用します。

IBM Flex System コンピュート・ノードの接続に関するトラブルシューティング情報については、そのコンピュート・ノードの資料の『トラブルシューティング』セクションを参照してください。

シャーシ・マネージメント・モジュール (CMM) と通信できない

管理ネットワーク上で シャーシ・マネージメント・モジュール (CMM) と通信できない場合、管理ノードのトラブルシューティングを行うには、このセクションの情報を使用します。

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 接続パス内のすべてのポートが使用可能になっていること、および CMM に ping 可能であることを確認します。
2. 使用しているプロトコルが使用可能になっていることを確認します。

   注: デフォルトでは、セキュア・プロトコル (例えば、SSH および HTTPS) のみが有効です。
3. CMM にログインできることを確認します。
4. シャーシ・マネージメント・モジュール (CMM) 上のリセット・ボタンを押して、シャーシ・マネージメント・モジュール (CMM) をデフォルトの設定値にリセットします。

   注: CMM 構成設定をリセットするには、ボタンを 10 秒間押し続けます。ユーザーが変更した構成設定は、すべて出荷時のデフォルト値にリセットされます。

I/O モジュールと通信できない

I/O モジュールと通信できない場合、管理ノードのトラブルシューティングを行うには、このセクションの情報を使用します。

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 接続パス内のすべてのポートが使用可能になっていること、および I/O モジュールに ping 可能であることを確認します。
2. 使用しているプロトコルが使用可能になっていることを確認します。

   注: デフォルトでは、セキュア・プロトコル (例えば、SSH および HTTPS) のみが有効です。
3. I/O モジュールにログインできることを確認します。
4. シリアル・ケーブルを使用して I/O モジュールに接続し、さらに問題の切り分けを行います。外部イーサネット・ポートを介して I/O モジュールにリンクすることもできます。

SAN と通信できない

SAN と通信できない管理ノードのトラブルシューティングを行うには、このセクションの情報を使用します。

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 以下の点を確認します。
   a. I/O モジュールが電源オンで、I/O モジュール上の適切なポートが使用可能であること。
   b. I/O モジュールの POST が完了してログにエラーが報告されていないことを、CMM が報告していること。
   c. SAN 装置の電源がオンで正常に機能していること。
   d. I/O モジュールと SAN 装置の間のすべてのケーブルが適切にしっかりと接続されていること、および適切なポートの活動 LED が点灯していること。
2. SAN 接続あるいはネットワーク接続の問題のトラブルシューティングについて詳しくは、I/O モジュールの資料を参照してください。

ハード・ディスクの問題

ハード・ディスクの問題を解決するには、この情報を使用します。

注: ホット・スワップ SAS ドライブが障害を起こしていても、ソリッド・ステート・ドライブは障害を起こしていない場合、IBM Flex System Manager 管理ソフトウェア・イメージはまだ操作可能である可能性があります。

管理ノードがハード・ディスクを認識できない場合、以下の手順を実行します。

1. ドライブが、このコンピュート・ノードでサポートされていることを確認します。サポートされるハード・ディスクのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照してください。
2. ドライブがドライブ・ベイに正しく装着されていること、およびドライブ・コネクターに物理的損傷がないことを確認します。

3. DSA SAS Fixed Disk または SAS Attached Disk 診断テストを実行します (http://www.ibm.com/systems/support/supportsite.wss/docdisplay?brandind=5000008&Indocid=SERV-DSAを参照)。
   a. ドライブの診断テストが失敗する場合は、そのドライブを交換します。
   b. ドライブの診断テストはパスするが、そのドライブが認識されない場合は、次のステップを実行します。
      1) ドライブを交換します。
      2) ハード・ディスク・バックプレーンを交換します (340 ページの『ホット・スワップ・ストレージ・バックプレーンの取り外し』および 341 ページの『ホット・スワップ・ストレージ・バックプレーンの取り付け』を参照)。
      3) システム・ボードを交換します (362 ページの『システム・ボード・アセンブリーの取り外し』および 364 ページの『システム・ボード・アセンブリーの取り付け』を参照)。
4. http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.8731.doc/recovering_the_flex_system_manager_from_optical_media.html で説明されている手順を完了します。

   注: 管理ノードのソリッド・ステート・ドライブ (SSD) を交換する必要がある (または既に交換した) 場合、http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.8731.doc/recovery_1_reinstalling_the_management_software_from_optical_media.html で説明されている再取り付けとリカバリーのプロセスを実行します。

再現性の低い問題

再現性の低い問題を解決するには、この情報を使用します。

IBM はサポート Web サイトを更新して、多くの問題の解決に使用できる最新のヒントや技法を載せています。http://www.ibm.com の IBM Flex System サポート検索 Web サイトにアクセスして、Service Bulletin が作成されているかどうか調べてください。検索フィールドに、8731、8734、または 7955、RETAIN ヒント、および再現性の低いと入力します。

問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) で、どのコンポーネントがトレーニングを受けたサービス技術員のみが交換を行う必要のある技術員により交換される部品 (FRU) であるか判別するには、 369 ページの『第 5 章 部品リスト - IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734』を参照してください。**
- **処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**

現象	アクション
断続的な接続の問題	1. ネットワーク・ケーブルがスイッチ・モジュールのポートに正しく接続されていること、およびスイッチ・モジュールが正しく装着されていることを確認します。 2. NIC デバイス・ドライバーまたはストレージ・デバイス・コントローラーのデバイス・ドライバーを更新します。 3. 接続の問題の解決について、I/O モジュールの資料を参照してください。
再現性の低い外部デバイスの問題	1. 正しいデバイス・ドライバーがインストールされていることを確認します。資料については、製造メーカーの Web サイトをご覧ください。 2. USB デバイスの場合: a. デバイスが正しく構成されていることを確認します。 b. デバイスを別のポートに接続します。USB ハブを使用している場合は、ハブを取り外し、デバイスを管理ノードに直接接続します。デバイスがポートに対して正しく構成されていることを確認します。 c. DSA Preboot USB 診断を実行します。
再現性の低い KVM の問題	ビデオの問題: 1. すべてのケーブルおよびコンソール・ブレークアウト・ケーブルが正しく接続され、保護されていることを確認します。 2. モニターを別のノードでテストして、正常に機能していることを確認します。 3. 正常に機能しているコンピュート・ノードで コンソール・ブレークアウト・ケーブルをテストし、コンソール・ブレークアウト・ケーブルが正常に機能していることを確認します。コンソール・ブレークアウト・ケーブルに障害がある場合は交換します。 キーボードの問題: すべてのケーブルおよびコンソール・ブレークアウト・ケーブルが正しく接続され、保護されていることを確認します。 マウスの問題: すべてのケーブルおよびコンソール・ブレークアウト・ケーブルが正しく接続され、保護されていることを確認します。
再現性の低い予期しないリブート	リブートを示すイベント・コードがないかを確認します。IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 管理ノードのイベント・ログ、または CMM のイベント・ログを参照し、この問題を解決するために必要なアクションを判別します。一部の訂正可能エラーでは、管理ノードをリブートして、マシンが正常に起動できるようにするためにメモリー DIMM やマイクロプロセッサーなどのデバイスを使用不可にする必要があります。

断続的な接続の問題

再現性の低い接続の問題を解決するには、この情報を使用します。

単一のコンピュート・ノードが断続的に接続できない

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. ネットワーク・ケーブルがスイッチ・モジュールのポートに正しく接続されていること、およびスイッチ・モジュールが正しく装着されていることを確認します。
2. NIC デバイス・ドライバーまたはストレージ・デバイス・コントローラーのデバイス・ドライバーを更新します。
3. 接続の問題の解決について、I/O モジュールの資料を参照してください。

複数のコンピュート・ノードが断続的に接続できない

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. デバイスの製造元が提供する診断ツールを使用して、デバイスが接続されている I/O モジュールをテストします。
2. 最初に 1 つのコンピュート・ノードをネットワークに接続し、続けて別のコンピュート・ノードを 1 つずつ接続して問題を切り分けます。
3. 必要に応じて、I/O モジュールのファームウェアを更新します。

   注: コンピュート・ノードを再始動し、I/O モジュールで POST 診断を実行することで、問題の切り分けに役立つ場合があります。ただし、これによってネットワークに他の悪影響を及ぼす場合があります。

メモリーの問題

メモリーの問題を解決するには、この情報を使用します。

IBM はサポート Web サイトを更新して、多くの問題の解決に使用できる最新のヒントや技法を載せています。http://www.ibm.com の IBM Flex System サポート検索 Web サイトにアクセスして、Service Bulletin が作成されているかどうか調べてください。検索フィールドに、8731、8734、または 7955、RETAIN ヒント、およびメモリーと入力します。

問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) で、どのコンポーネントがトレーニングを受けたサービス技術員のみが交換を行う必要のある技術員により交換される部品 (FRU) であるか判別するには、 369 ページの『第 5 章 部品リスト - IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734』を参照してください。**
- **処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**

現象	アクション
表示されたシステム・メモリーの容量が、実際に取り付けたメモリーの容量より少ない。	1. 以下の点を確認します。 a. 正しいタイプのメモリーを取り付けた (332 ページの『DIMM の取り付け』を参照)。 b. メモリー・ミラーリングまたはメモリー・スペアリングが原因の不一致ではない。 Setup ユーティリティーでメモリー構成を確認することができます。 2. 最近、新規メモリーを取り付けた場合は、イベント・ログに構成イベントが報告されていないことを確認します。イベントがある場合は、そのイベントを解決します。 3. 最近、管理ノードの取り付け、移動、あるいは保守を行った場合は、DIMM が正しくコネクターに取り付けられていることを確認します (332 ページの『DIMM の取り付け』を参照)。 4. すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。管理ノードが問題を検出したときに DIMM を自動的に使用不可にしたか、DIMM が手動で使用不可にされた可能性があります。 5. メモリー診断を実行します (23 ページの『IBM Dynamic System Analysis Preboot 診断プログラム』を参照)。 6. 管理ノードが正しいメモリー容量を示すまで、DIMM を取り外します。正常に機能していない DIMM を判別できるまで、一度に 1 つずつ DIMM を取り付けます。その DIMM を取り外し、正常な DIMM と交換します (331 ページの『DIMM の取り外し』および 332 ページの『DIMM の取り付け』を参照)。 7. 問題が解決しない場合は、IBM サポートに連絡してください。

目視で確認できる問題

目視で確認できる問題を解決するには、この情報を使用します。

IBM はサポート Web サイトを更新して、多くの問題の解決に使用できる最新のヒントや技法を載せています。http://www.ibm.com の IBM Flex System サポート検索 Web サイトにアクセスして、Service Bulletin が作成されているかどうか調べてください。検索フィールドに、8731、8734、または 7955、RETAIN ヒント、およびハングと入力します。

問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) で、どのコンポーネントがトレーニングを受けたサービス技術員のみが交換を行う必要のある技術員により交換される部品 (FRU) であるか判別するには、 369 ページの『第 5 章 部品リスト - IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734』を参照してください。**
- **処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**

現象	アクション
管理ノードが応答しない (POST が完了し、オペレーティング・システムが稼働している)	管理ノードの設置場所にいる場合は、以下のステップを実行してください。 1. KVM 接続を使用している場合、その接続が正常に機能していることを確認します。使用していない場合は、キーボードおよびマウスが正常に機能していることを確認します。 2. 可能な場合、管理ノードにログインし、すべてのアプリケーションが稼働している (ハングしているアプリケーションがない) ことを確認します。 3. 管理ノードを再始動します。 4. 問題が解決しない場合は、すべての新規ソフトウェアが正しくインストールおよび構成されていることを確認します。 5. ソフトウェアの購入先またはソフトウェア・プロバイダーに連絡します。 リモート・ロケーションから管理ノードにアクセスしている場合は、以下のステップを実行してください。 1. すべてのアプリケーションが稼働している (ハングしているアプリケーションがない) ことを確認します。 2. システムからログアウトしてから、再度ログインしてみます。 3. コマンド・ラインから管理ノードに対して ping または trace route を実行してネットワーク・アクセスを検証します。 a. ping テスト中に応答が得られない場合は、シャーシ内の別のコンピュート・ノードに ping を試行し、接続の問題であるのか、管理ノードの問題であるのかを判別します。 b. trace route を実行し、接続が切断されている場所を判別します。 VPN あるいは接続が切断されているポイントの接続の問題の解決を試行します。 4. 管理インターフェースから管理ノードをリモートで再始動します。 5. 問題が解決しない場合は、すべての新規ソフトウェアが正しくインストールおよび構成されていることを確認します。 6. ソフトウェアの購入先またはソフトウェア・プロバイダーに連絡します。
異臭	1. 異臭は、新規に取り付けた装置から発生している可能性があります。 2. 問題が解決しない場合は、IBM サポートに連絡してください。
管理ノードが高温になっているように見える	1. 室温が正常な範囲内であることを確認します。 2. IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 管理ノードのログで、温度上昇イベントがないか確認します。イベントがない場合、管理ノードは正常な作動温度内で稼働しています。ある程度の温度変化は予想されるので注意してください。
部品またはシャーシが破損している	IBM サポートに連絡してください。

パフォーマンスの問題

パフォーマンスの問題を解決するには、この情報を使用します。

IBM はサポート Web サイトを更新して、多くの問題の解決に使用できる最新のヒントや技法を載せています。http://www.ibm.com の IBM Flex System サポート検索 Web サイトにアクセスして、Service Bulletin が作成されているかどうか調べてください。検索フィールドに、8731、8734、または 7955、RETAIN ヒント、およびパフォーマンスと入力します。

問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) で、どのコンポーネントがトレーニングを受けたサービス技術員のみが交換を行う必要のある技術員により交換される部品 (FRU) であるか判別するには、 369 ページの『第 5 章 部品リスト - IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734』を参照してください。**
- **処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**

現象	アクション
ネットワーク・パフォーマンスが低い	1. どのネットワーク (ストレージ、データ、管理など) が低速で作動しているかを特定します。 ping ツールやオペレーティング・システム・ツール (タスク・マネージャーあるいはリソース・マネージャーなど) を使用すると、この特定に役立つ場合があります。 2. ネットワーク上のトラフィック輻輳 (ふくそう) がないかを確認します。 3. NIC デバイス・ドライバーまたはストレージ・デバイス・コントローラーのデバイス・ドライバーを更新します。 4. I/O モジュールの製造元が提供するトラフィック診断ツールを使用します。

電源オン問題

電源オン問題を解決するには、このセクションのトラブルシューティング表を使用してください。

表 4. 電源オン問題および修正処置

問題記述	修正処置
管理ノードがシャーシに取り付けられた後、電源ボタン/LED が高速で点滅して、3 分以上経った後も点滅の速度が低下しません。管理ノードの電源をオンにすることができません。	問題の原因として、ETE アダプターの障害または欠落、あるいは ETE アダプターがしっかりと装着されていないことが考えられます。電源障害 LED および Light Path LED は点灯せず、IMM または CMM でエラーはログに記録されません。 **注:** 管理ノードのシステム・ボード・アセンブリーを交換する前に、ETE アダプターが障害を起こしているか、しっかりと装着されていない可能性について調査してください。 1. 管理ノードをシャーシから取り外します。 309 ページの『シャーシからの IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 の取り外し』を参照してください。 2. カバーを取り外します。 317 ページの『管理ノード・カバーの取り外し』を参照してください。 3. ETE アダプターを取り外してから、再取り付けします。 346 ページの『ETE アダプターの取り外し』、および 347 ページの『ETE アダプターの取り付け』を参照してください。管理ノードの再始動を試行します。 4. 問題が解決しない場合は、CMM のイベント・ログで管理ノードに関連したエラーがあるかどうか調べます。 5. (COM エラー以外に) 管理ノードに関連したエラーがない場合は、ETE アダプターを交換します。 6. 問題が解決しない場合には、管理ノードのシステム・ボード・アセンブリーを交換します。 362 ページの『システム・ボード・アセンブリーの取り外し』、および 364 ページの『システム・ボード・アセンブリーの取り付け』を参照してください。

表 4. 電源オン問題および修正処置 (続き)

問題記述	修正処置
管理ノードの電源がオフになり、障害 LED が点灯します。	管理ノードの電源がオンになった後で障害 LED が表示される場合、問題の原因として、ETE アダプターで障害が発生したか、ETE アダプターがしっかりと装着されていないことが考えられます。 **注:** 管理ノードのシステム・ボード・アセンブリーを交換する前に、ETE アダプターが障害を起こしているか、しっかりと装着されていない可能性について調査してください。 1. 管理ノードをシャーシから取り外します。 309 ページの『シャーシからの IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 の取り外し』を参照してください。 2. カバーを取り外します。 317 ページの『管理ノード・カバーの取り外し』を参照してください。 3. 管理ノード内の Light Path 診断パネルを確認します。詳しくは、 17 ページの『Light Path 診断 LED の確認』を参照してください。 ADJ Light Path 診断 LED が点灯している場合、ETE アダプターが障害を起こしているか、しっかりと装着されていません。 4. ETE アダプターを取り外してから、再取り付けします。 346 ページの『ETE アダプターの取り外し』、および 347 ページの『ETE アダプターの取り付け』を参照してください。 5. 管理ノードをシャーシに再取り付けします。 6. 管理ノードの電源オンを試行します。問題が続いていて、ADJ LED がまだ点灯している場合は、ETE アダプターを交換します。 7. 問題が解決しない場合には、管理ノードのシステム・ボード・アセンブリーを交換します。 362 ページの『システム・ボード・アセンブリーの取り外し』、および 364 ページの『システム・ボード・アセンブリーの取り付け』を参照してください。

表 4. 電源オン問題および修正処置 (続き)

問題記述	修正処置
管理ノードが電源オン状態にならず、ブートせず、チェック・ログ LED が点灯しています。	1. 管理ノードのファームウェアを更新して、管理ノードを再始動します。 2. 管理ノードをシャーシから取り外してから、再取り付けします。 309 ページの『シャーシからの IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 の取り外し』を参照してください。 3. 管理ノードのシステム・ボード・アセンブリーを交換します。 362 ページの『システム・ボード・アセンブリーの取り外し』、および 364 ページの『システム・ボード・アセンブリーの取り付け』を参照してください。
管理ノードが始動中にハングします。	1. 管理ノードを再始動します。 2. コンソール・ブレークアウト・ケーブルを管理ノードに接続します。 3. Dynamic System Analysis (DSA) Preboot を実行します (詳しくは、 24 ページの『DSA Preboot の実行』を参照)。DSA Preboot は、コンピュート・ノードの問題の診断に役立つ情報を提供します。 4. Setup ユーティリティーでシステム・イベント・ログを表示して、問題を判別します (詳しくは、 21 ページの『Setup ユーティリティーからのイベント・ログの表示』を参照)。

未解決問題

未解決問題を解決するには、この情報を使用します。

未解決問題がある場合

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログをチェックし、推奨アクションに従ってすべてのイベント・コードを解決します (21 ページの『エラー・メッセージ』を参照)。
2. このセクションのトラブルシューティング表で、発生している現象を見つけ、推奨アクションに従ってすべての問題を解決します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス要求を実行依頼します。

コンピュート・ノードが管理ソフトウェアあるいは CMM によって検出されない

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. コンピュート・ノードが管理ソフトウェアまたは CMM によって認識されていることを確認します。シャーシ・マップに不明な装置として表示されている場合があります。認識されていない場合は、以下のステップを実行してください。
   a. コンピュート・ノードを取り外し、コンピュート・ノードとコンピュート・ノード・ベイの背面の両方を検査して、コネクターに物理的損傷がないことを確認します。
   b. コンピュート・ノードを別のベイに移動します。
   c. システム・ボード・アセンブリーを取り替えます。詳しくは、ご使用のコンピュート・ノードの資料を参照してください。
2. 管理ソフトウェア管理ノードあるいは CMM からコンピュート・ノードに ping できるかを確認します。
3. コンピュート・ノードが別のシャーシ内にある場合は、管理ソフトウェアを使用してそのシャーシを管理するための適切なソフトウェア・ライセンスがあることを確認してください。
4. この問題に該当する可能性があるファームウェア更新があるかどうかを確認します。ファームウェア更新のリリース・ノートを表示して、その更新によって解決される問題を判別できます。
5. ネットワーク接続に関連する Service Bulletin があるかどうかを確認します。

第 4 章 コンポーネントの取り付け、取り外し、および交換

IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 のコンポーネントの取り付け、取り外し、および交換を行うには、この情報を使用します。

IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 はクローズド・システムであり、オプションのハードウェア・コンポーネントを使用できません。ただし、その他のいくつかのハードウェア・コンポーネントを交換可能コンポーネントとして使用できます。ノード内のコンポーネントを交換する必要がある場合、そのコンポーネントが Tier 1 CRU、Tier 2 CRU、またはトレーニングを受けたサービス技術員のみが交換を行う必要のある FRU のいずれであるか判別するには、369 ページの『第 5 章 部品リスト - IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734』を参照してください。

保証の条件およびサービスと支援を得るための情報については、「*保証情報*」資料を参照してください。

取り付けのガイドライン

FRU の取り外しまたは交換を行う前、またはオプション・デバイスを取り付ける前に、以下をお読みください。

- 作業を開始する前に、v ページの『安全について』、および 308 ページの『静電気の影響を受けやすい部品の取り扱い』をお読みください。この情報は、安全に取り扱うために役立ちます。
- 新規のノードを取り付ける場合は、この機会を利用して最新のファームウェア更新をダウンロードし、適用してください。このステップを行うことにより、既知の問題が対処され、ノードが最高レベルのパフォーマンスで機能できるようになります。
- 作業区域を整理整とんしてください。取り外したカバーや他の部品を安全な場所に保管しておきます。
- ディスク・ドライブの変更は、すべての重要なデータをバックアップしてから行ってください。
- ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシから取り外す前に、オペレーティング・システムをシャットダウンしてノードの電源をオフにする必要があります。シャーシをシャットダウンする必要はありません。
- コンポーネントの青色の部分は、ノードのコンポーネントの取り外しや取り付けを行ったり、ラッチを開閉したりするためにコンポーネントをつかむことができる、手を触れてよい部分を示しています。
- このコンピュート・ノードでサポートされるオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照してください。

© Copyright IBM Corp. 2011

システムの信頼性に関するガイドライン

管理ノードが冷却要件とシステム信頼性の要件を満たしていることを確認するには、以下のガイドラインを使用します。

- 適切なシステム冷却を維持するために、各ノード・ベイに管理ノードまたはノード・ベイ・フィラーを取り付けていない状態で、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシを稼働しない。追加情報については、ご使用の IBM Flex System エンタープライズ・シャーシの資料を参照してください。
- マイクロプロセッサーの各ソケットには、常にマイクロプロセッサー・ダスト・カバーとヒートシンク・フィラー、またはマイクロプロセッサーとヒートシンクが取り付けられている。管理ノードにマイクロプロセッサーを 1 つだけ取り付ける場合は、マイクロプロセッサー・ソケット 1 に取り付ける必要があります。
- 各 DIMM コネクターに DIMM または DIMM フィラーのいずれかが取り付けられている。
- DIMM コネクター上にエアー・バッフルが取り付けられている。
- 管理ノードの通気孔がふさがれていない。
- 管理ノードのバッテリーが正常に作動している。バッテリーに障害が発生した場合は、速やかに取り替えてください。

静電気の影響を受けやすい部品の取り扱い

静電気の放電による損傷の可能性を減らすために、次の注意事項を守ってください。

重要: 静電気は、ノードおよびその他の電子部品に損傷を与える可能性があります。損傷を避けるために、静電気の影響を受けやすい部品は、取り付ける準備ができるまで帯電防止パッケージに入れておいてください。

- 静電気放電 (ESD) コネクターが装備されている IBM Flex System エンタープライズ・シャーシで作業する場合、特にモジュール、オプション装置、ノードを取り扱う場合は、リスト・ストラップを使用してください。リスト・ストラップを正常に機能させるには、リスト・ストラップの両端を (一方は作業者の皮膚に、他方は IBM Flex System エンタープライズ・シャーシの前または後ろにある ESD コネクターに) しっかりと接触させる必要があります。
- 動きを制限する。動くと、周囲に静電気が蓄積されることがあります。
- 部品は、縁またはフレームを持って慎重に取り扱ってください。
- はんだ接合部分、ピンまたは露出した回路には触らないでください。
- 部品を他の人が手で触ったり、損傷を与える可能性のあるような場所に放置しておかないでください。
- 部品を帯電防止パッケージに入れたまま、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシの塗装されていない 金属部分、あるいは部品を取り付けるラック内の接地されたラック・コンポーネントで、塗装されていない 金属面があれば、そこに少なくとも 2 秒間接触させてください。これにより、パッケージとユーザーの身体から静電気が放出されます。
- 部品をパッケージから取り出し、下に置かずに直接ノードに取り付けてください。部品を下に置く必要がある場合は、帯電防止パッケージに戻してください。部品をノードのカバーや金属面の上には置かないでください。

- 寒い季節には、部品の取り扱いには特に気を付けてください。暖房で室内の湿度が下がり、静電気が増加します。

装置またはコンポーネントの返却

装置またはコンポーネントに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

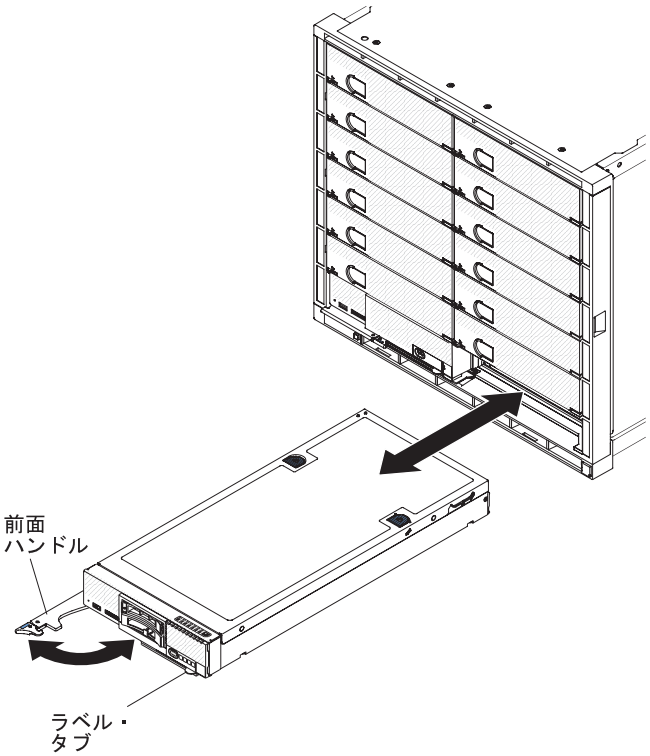
シャーシからの IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 の取り外し

IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 を IBM Flex System エンタープライズ・シャーシから取り外すには、次の手順で行います。

始める前に

シャーシから IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 を取り外す前に、管理ソフトウェアがシャーシ・マネージメント・モジュール (CMM) を管理しなくなるように構成する必要があります。

重要: シャーシ・マネージメント・モジュール (CMM) を管理解除せずに IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 を取り外した場合は、312 ページの『管理ノードを取り外した後のシャーシ・マネージメント・モジュール (CMM) のリカバリー』を参照してください。



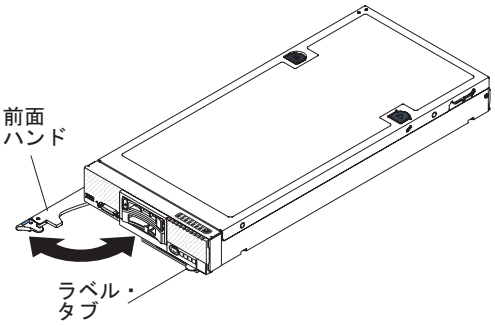
シャーシ・マネージメント・モジュール (CMM) を管理解除して、IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 を取り外すには、以下の手順を実行します。

1. v ページの『安全について』および 307 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. 管理ソフトウェアの Web インターフェースの「ホーム」ページで、「**プラグイン**」タブをクリックします。
3. 「**IBM Flex System Manager**」の下にある「**FSM Management Domain**」リンクをクリックします。
4. 「Management Domain」ページで、管理ソフトウェアの下にあるすべてのシャーシを選択して、「**Unmanage**」をクリックします。
5. 管理ソフトウェアの Web インターフェースを使用してノードの電源をオフにするか、電源ボタンを押して IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 の電源をオフにします (詳しくは、 11 ページの『管理ノードの電源オフ』を参照)。

手順

ノードをシャーシから取り外すには、以下のステップを実行してください。

1. 図に示されているように、前面ハンドルを開きます。ノードが、ノード・ベイから約 0.6 cm 外に出ます。



重要:

- 適切なシステム冷却を維持するために、各ノード・ベイにノードまたはノード・ベイ・フィラーのいずれも取り付けずに IBM Flex System エンタープライズ・シャーシを稼働させないでください。
- ノードを取り外す場合は、ノード・ベイ番号をメモしてください。ノードを取り外したときとは別のノード・ベイに再取り付けすると、予期しない影響がある可能性があります。一部の構成情報および更新オプションは、ノード・ベイ番号に従って設定されます。ノードを別のノード・ベイに再取り付けする場合は、ノードの再構成が必要になる場合があります。

2. ノードをノード・ベイから引き出します。
3. 1 分以内にノード・ベイにノード・ベイ・フィラーまたは別のノードのいずれかを取り付けてください。

次のタスク

IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

シャーシへの管理ノードの取り付け

IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに管理ノードを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

管理ノードをシャーシに取り付ける前に、 v ページの『安全について』および 307 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

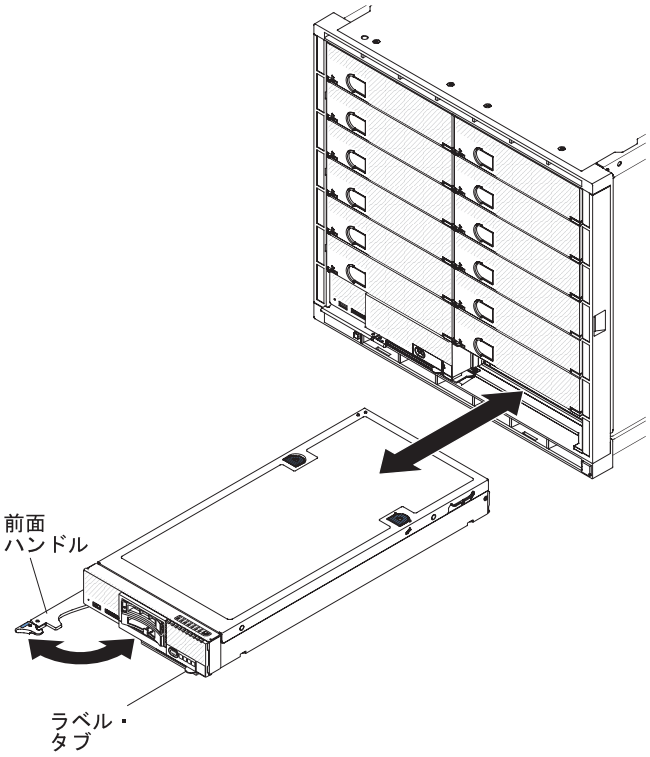
安全 21

注意:
給電部にノードを接続すると危険な電力が印加されます。ノードを取り付ける前には、必ずコンピュート・ノード・カバーを交換してください。

手順

管理ノードをシャーシに取り付けるには、以下のステップを実行してください。

注: 管理ノードが I/O 拡張ユニットに接続されている場合は、管理ノードをシャーシに取り付けるための手順について、I/O 拡張ユニットに付属の資料を参照してください。



1. ノード・ベイを選択します。

   注:

a. 取り外した管理ノードを再取り付けする場合は、取り外したときと同じノード・ベイに取り付ける必要があります。管理ノードを別のノード・ベイに再取り付けすると、予期しない影響がある可能性があります。管理ノードを別のノード・ベイに再取り付けする場合は、管理ノードの再構成が必要になる場合があります。

b. 適切なシステム冷却を維持するために、各ノード・ベイに管理ノード、I/O 拡張ユニット、またはノード・ベイ・フィラーのいずれも取り付けずに IBM Flex System エンタープライズ・シャーシを稼働しないでください。

2. 管理ノードの前面ハンドルが開いた位置にあることを確認します。
3. 管理ノードを、停止するまでノード・ベイに押し込みます。
4. 管理ノード前面にある前面ハンドルを閉じた位置まで押します。

   注: 管理ノードを取り付けると、管理ノード内の IMM2 が初期化およびシャーシ・マネージメント・モジュールとの同期を行います。このプロセスが完了するまで、約 90 秒かかります。電源 LED が高速で点滅し、管理ノード上の電源ボタンは、このプロセスが完了するまで応答しません。

5. 管理ノードの電源をオンにします (手順については、 11 ページの『管理ノードの電源オン』を参照)。
6. 管理ノードのコントロール・パネル上の電源 LED が継続的に点灯していることを確認します。これは、管理ノードに電力が供給され、電源がオンになっていることを示します。
7. (オプション) 管理ノードに付属のラベルに識別情報を記入し、ラベルを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシのベゼルに貼り付けます。ラベルの貼り付け位置については、ご使用の IBM Flex System エンタープライズ・シャーシの資料を参照してください。

   重要: ラベルは、管理ノード自体、または管理ノードの通気孔をふさぐように貼らないでください。

   注:

次のタスク

管理ノードを初めてシャーシに取り付ける場合は、「*IBM Flex System Manager システム管理ガイド*」資料で説明されている手順に従って、IBM Flex System Manager 管理ソフトウェアをセットアップする必要があります。

管理ノードを取り外した後のシャーシ・マネージメント・モジュール (CMM) のリカバリー

IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 ハードウェアを取り外したときに、最初に「FSM Management Domain」ページでシャーシ・マネージメント・モジュール (CMM) を管理解除しなかった場合にのみ、以下の手順を使用してシャーシ・マネージメント・モジュール (CMM) のリカバリーと構成を行ってください。

手順

1. CMM **users** コマンドを使用して、CMM のユーザー認証オプションにローカル・レジストリーが含まれていることを確認します (ユーザー・レジストリーについての詳細は、「*IBM Flex System Manager システム管理ガイド*」資料を参照)。リモート、ローカル、リモートの次にローカル、またはローカルの次にリモートを選択できます。管理ノードが取り外された後、CMM のローカル・レジストリーにあるいずれかの ID を使用して CMM にログインする必要があります。次に、ローカル・ユーザー・リポジトリーを使用するか、別の外部ユーザー・リポジトリーまたはリモート・ユーザー・リポジトリーを指すようにユーザー認証を設定します。
2. Electronic Service Agent (ESA) が適切に構成されていることを確認します。CMM は、管理ソフトウェアによって管理されている場合は、サービス要求の実行を許可しません。管理ノードが取り外された後、CMM はサービス要求を開始します。
3. NTP サーバーのロケーション設定を確認します。最初に CMM を管理解除せずに管理ノードを取り外した場合、CMM にアクセスし、CMM Web インターフェースまたは **ntp** CLI コマンドを使用して別の NTP サーバーを指定する必要があります (詳しくは、http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.cmm.doc/cli_command_ntp.html を参照)。
4. CMM でセキュリティー・ポリシーを確認します。 CMM には、いくつかのセキュリティー設定があります (例えば、セキュア・サーバーおよびアカウント認証)。管理ノードで実装されていたセキュリティー・ポリシーは、管理ノードが取り外された後も CMM に残されています。必要な場合は、CMM にログインし、CMM Web インターフェースまたは **security** CLI コマンドを使用してセキュリティー設定を変更することができます (詳しくは、http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.cmm.doc/cli_command_security.html を参照)。

消耗部品および構造部品の取り外しと交換

消耗部品および構造部品の取り外しおよび交換を行うには、この情報を使用します。

このタスクについて

このセクションで記載されている消耗部品および構成部品の交換は、お客様の責任で行ってください。お客様の要請により IBM が消耗部品および構造部品の取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。

シャーシ・バルクヘッドの取り外し

シャーシ・バルクヘッドを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

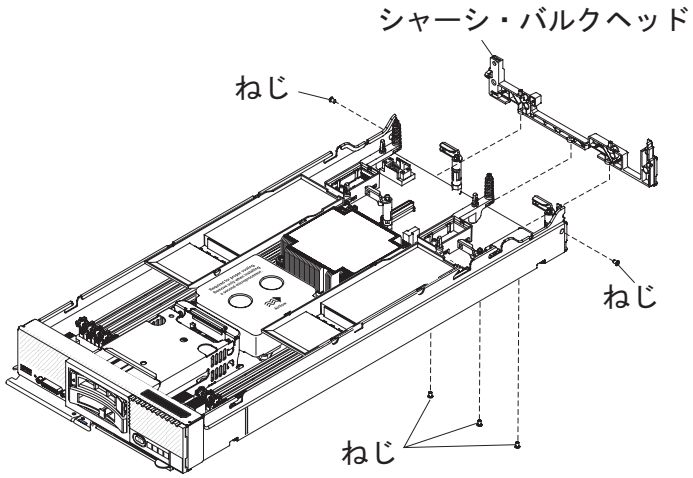
シャーシ・バルクヘッドを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの『安全について』および 307 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

2. シャーシに管理ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 309 ページの『シャーシからの IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 の取り外し』を参照)。
3. 管理ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな場所に管理ノードを注意して置きます。

手順

シャーシ・バルクヘッドを取り外すには、以下のステップを実行してください。



1. カバーを取り外します (317 ページの『管理ノード・カバーの取り外し』を参照)。
2. I/O 拡張アダプターを取り外します (348 ページの『I/O 拡張アダプターの取り外し』を参照)。
3. ETE・コネクターを取り外します (346 ページの『ETE アダプターの取り外し』を参照)。
4. 前面ハンドル側が上になるようにシャーシの側面を下にして、慎重にシャーシを置きます。

   注: エアー・バッフルを取り外すと、作業が容易になる場合があります。
5. T8 Torx ドライバーを使用して、バルクヘッドをシャーシ底部に固定しているねじを取り外します。
6. シャーシの底部が下になるように、慎重にシャーシを戻します。
7. T8 Torx ドライバーを使用して、バルクヘッドをシャーシ側面に固定しているねじを取り外します。
8. シャーシ・バルクヘッドを持ち上げて、シャーシから取り外します。

次のタスク

シャーシ・バルクヘッドの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

シャーシ・バルクヘッドの取り付け

シャーシ・バルクヘッドを取り付けるには、この情報を使用します。

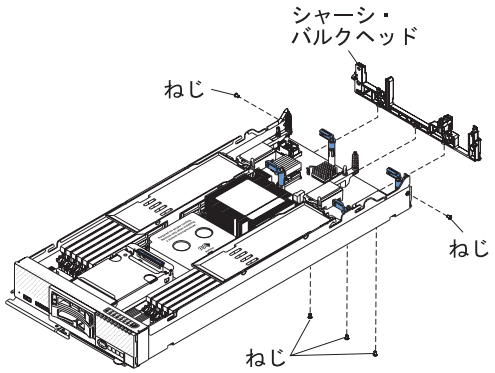
始める前に

シャーシ・バルクヘッドを取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの『安全について』および 307 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. シャーシにノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 309 ページの『シャーシからの IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 の取り外し』を参照)。
3. 管理ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな場所に管理ノードを注意して置きます。

手順

シャーシ・バルクヘッドを取り付けるには、以下のステップを実行してください。



1. カバーを取り外します (317 ページの『管理ノード・カバーの取り外し』を参照)。
2. バルクヘッドをシャーシ内に配置します。
3. T8 Torx ドライバーを使用して、バルクヘッドをシャーシ側面に固定するねじを取り付けます。
4. 前面ハンドルが上になるようにシャーシの側面を下にして、慎重にシャーシを置きます。
5. T8 Torx ドライバーを使用して、バルクヘッドをシャーシ底部に固定するねじを取り付けます。
6. シャーシの底部が下になるように、慎重にシャーシを戻します。
7. エアー・バッフルを取り外した場合は、取り付けます。

次のタスク

シャーシ・バルクヘッドを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. 管理ノードにカバーを取り付けます (手順については 318 ページの『管理ノード・カバーの取り付け』を参照)。
2. 管理ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、 311 ページの『シャーシへの管理ノードの取り付け』を参照)。

前面ハンドルの取り外し

前面ハンドルを取り外すには、この情報を使用します。

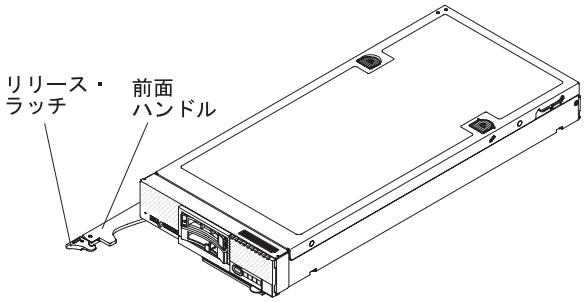
始める前に

前面ハンドルを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの『安全について』および 307 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. シャーシに管理ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 309 ページの『シャーシからの IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 の取り外し』を参照)。
3. 管理ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にカバー側を下にして管理ノードを注意して置きます。

手順

前面ハンドルを取り外すには、以下のステップを実行してください。



1. ハンドルを管理ノードに取り付けているねじを見つけます。
2. T8 Torx ドライバーを使用して、前面ハンドルからねじを取り外し、安全な場所に保管します。前面ハンドルを取り付けるときに、そのねじを使用します。

次のタスク

前面ハンドルの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

前面ハンドルの取り付け

前面ハンドルを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

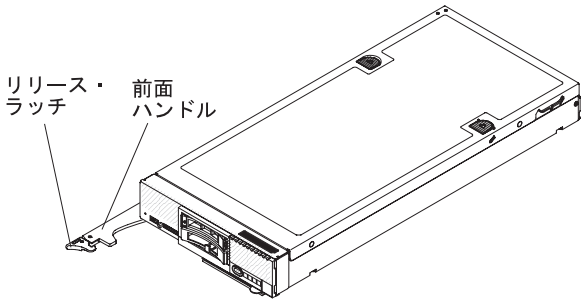
前面ハンドルを取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの『安全について』および 307 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. シャーシに管理ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 309 ページの『シャーシからの IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 の取り外し』を参照)。

3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にカバー側を下にしてノードを注意して置きます。

手順

前面ハンドルを取り付けるには、以下のステップを実行してください。



1. 青色のリリース・ラッチが管理ノードの中央に向くように、前面ハンドルの向きを合わせます。
2. ハンドルの穴を、ハンドルを取り付ける管理ノードの穴に位置合わせします。
3. T8 Torx ドライバーを使用して、ハンドルを固定するねじを取り付けます。ハンドルを取り外したときに取り外したねじを取り付けます。

次のタスク

前面ハンドルを取り付けた後、管理ノードをシャーシに取り付けます (手順については、 311 ページの『シャーシへの管理ノードの取り付け』を参照)。

管理ノード・カバーの取り外し

管理ノードからカバーを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

管理ノード・カバーを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの『安全について』および 307 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに管理ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 309 ページの『シャーシからの IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 の取り外し』を参照)。
3. 管理ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな場所に管理ノードを注意して置きます。

安全 12

注意:
このラベルが貼られている近くには高温になる部品が存在します。

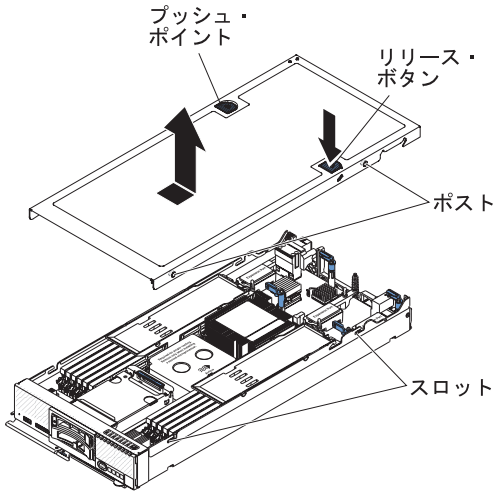
安全 21

注意:
給電部に管理ノードを接続すると危険な電力が印加されます。管理ノードを取り付ける前には、必ず管理ノード・カバーを交換してください。

手順

管理ノード・カバーを取り外すには、以下のステップを実行してください。

1. リリース・ボタンおよびプッシュ・ポイントを同時に押し、カバーを管理ノードの後部に向けてスライドさせます。
2. カバーを持ち上げて管理ノードから取り外します。



3. カバーを平らな場所に置くか、将来の利用に備えて保管します。

次のタスク

カバーの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

管理ノード・カバーの取り付け

管理ノード・カバーを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

始める前に

管理ノード・カバーを取り付ける前に、 v ページの『安全について』および 307 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

重要: カバーを取り付けて閉じなければ、管理ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに挿入することはできません。この保護措置は必ず実施してください。

安全 21

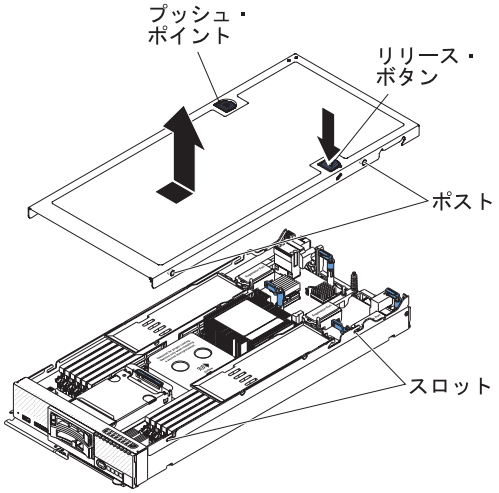
注意:
給電部に管理ノードを接続すると危険な電力が印加されます。管理ノードを取り付ける前には、必ず管理ノード・カバーを交換してください。

手順

管理ノード・カバーを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

1. 管理ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな場所に管理ノードを注意して置きます。
2. カバー内側のピンが管理ノードのスロットに差し込まれるように、カバーの向きを合わせます。

   注: カバーを閉じる前に、エアー・バッフルとすべてのコンポーネントが正しく取り付けおよび装着されていること、管理ノード内部に工具や部品を置き忘れていないことを確認してください。



3. 管理ノードの前部を持ち、カチッと音がして所定の位置に収まるまでカバーを前方にスライドさせて閉じます。

次のタスク

管理ノード・カバーを取り付けた後、管理ノードをシャーシに取り付けます (手順については、 311 ページの『シャーシへの管理ノードの取り付け』を参照)。

ホット・スワップ・ストレージ・ケージの取り外し

ホット・スワップ・ストレージ・ケージを取り外すには、この情報を使用します。

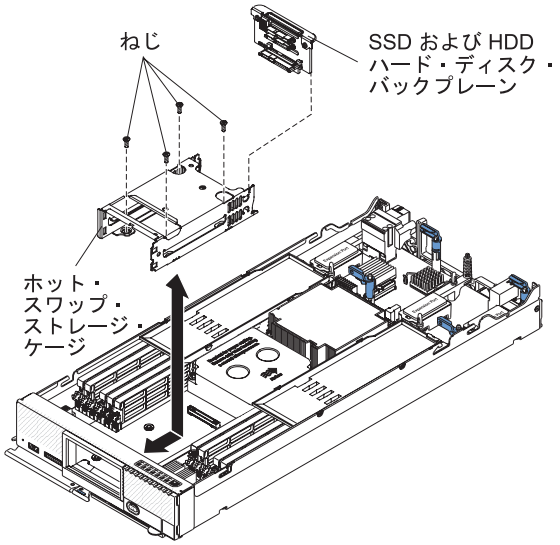
始める前に

ホット・スワップ・ストレージ・ケージを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの『安全について』および 307 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. シャーシに管理ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 309 ページの『シャーシからの IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 の取り外し』を参照)。
3. 管理ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな場所に管理ノードを注意して置きます。

手順

ホット・スワップ・ストレージ・ケージを取り外すには、以下のステップを実行してください。



1. カバーを取り外します (317 ページの『管理ノード・カバーの取り外し』を参照)。
2. ホット・スワップ・ストレージ・ドライブとストレージ・ドライブ・フィラーを取り外します。
3. ホット・スワップ・ストレージ・バックプレーンを取り外します (340 ページの『ホット・スワップ・ストレージ・バックプレーンの取り外し』を参照)。
4. ケージから 4 個のねじを取り外し、ベゼルの下からケージを引き出します。次に、ケージをノードから取り外します。

次のタスク

ホット・スワップ・ストレージ・ケージの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

ホット・スワップ・ストレージ・ケージの取り付け

ホット・スワップ・ストレージ・ケージを取り付けるには、この情報を使用します。

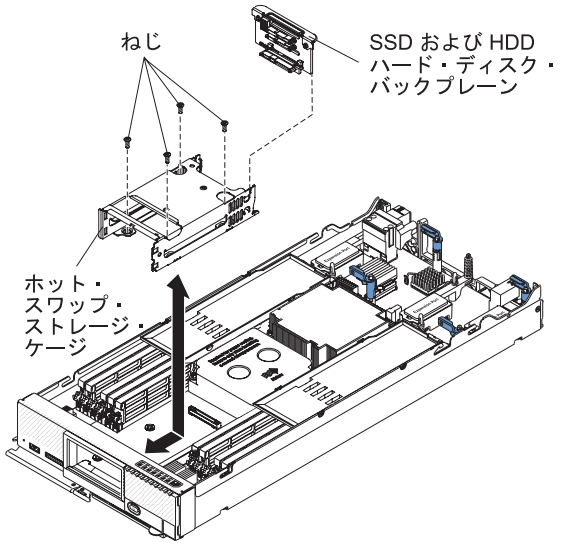
始める前に

ホット・スワップ・ストレージ・ケージを取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの『安全について』および 307 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. シャーシにノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 309 ページの『シャーシからの IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 の取り外し』を参照)。
3. 管理ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな場所にノードを注意して置きます。

手順

ホット・スワップ・ストレージ・ケージを取り付けるには、以下のステップを実行してください。



1. カバーを取り外します (317 ページの『管理ノード・カバーの取り外し』を参照)。
2. ケージをコンピュート・ノード内に配置します。
3. ケージをシステム・ボード上のねじ穴に位置合わせします。
4. 4 個のねじを挿入し、ケージをノードに固定します。
5. ホット・スワップ・ストレージ・バックプレーンを取り付けます (341 ページの『ホット・スワップ・ストレージ・バックプレーンの取り付け』を参照)。
6. ホット・スワップ・ストレージ・ドライブとストレージ・ドライブ・フィラーを挿入します。

次のタスク

ホット・スワップ・ストレージ・ケージを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. ノードにカバーを取り付けます (手順については 318 ページの『管理ノード・カバーの取り付け』を参照)。
2. ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、311 ページの『シャーシへの管理ノードの取り付け』を参照)。

ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブの取り外し

この情報を使用して、ソリッド・ステート・ドライブ (SSD) マウント・スリーブを取り外します。

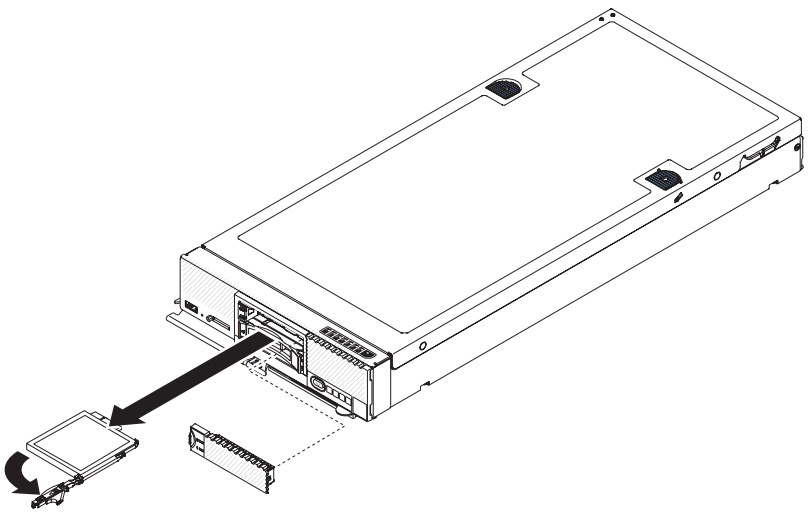
始める前に

SSD マウント・スリーブを取り外す前に、v ページの『安全について』および 307 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

手順

1. ソリッド・ステート・ドライブ・ベゼルを取り外します。
2. ソリッド・ステート・ドライブを取り外します (344 ページの『ソリッド・ステート・ドライブの取り外し』を参照)。
3. マイナス・ドライバーなどの工具を使用して、SSD マウント・スリーブの右側にあるリリース・ラッチをそっとこじあけます。
4. SSD マウント・スリーブをノードからスライドさせて取り出します。

例



次のタスク

SSD ストレージ・マウント・スリーブの返却を求められた場合は、梱包の指示に従って、部品がお手元に届いたときの配送用の梱包材がある場合は、それを使用してください。

ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブの取り付け

この情報を使用して、ソリッド・ステート・ドライブ (SSD) マウント・スリーブを取り付けます。

始める前に

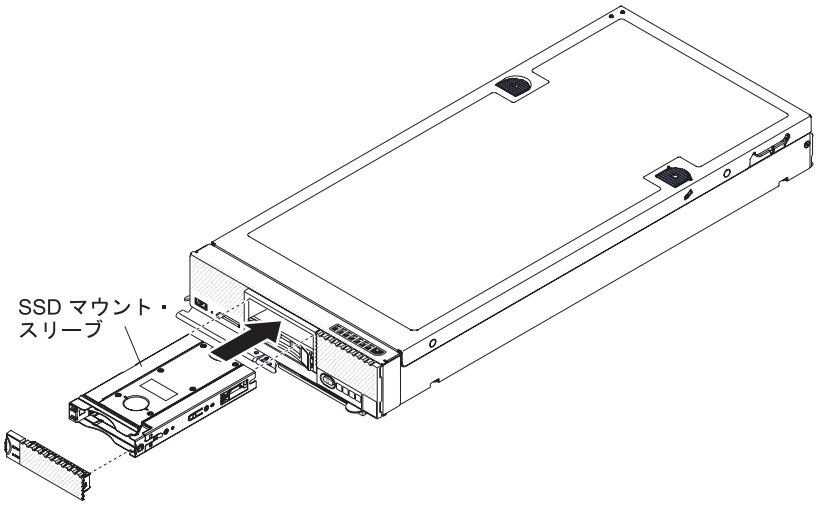
SSD マウント・スリーブを取り付ける前に、 v ページの『安全について』および 307 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

手順

ソリッド・ステート・ドライブ (SSD) マウント・スリーブを取り付けるには、以下の手順を実行します。

1. 必要な場合は、SSD ベゼルを取り外します。
2. SSD マウント・スリーブの右側にあるリリース・ラッチが音を立てるまで、マウント・スリーブをノードの中にスライドさせて入れます。
3. SSD マウント・スリーブに SSD を再取り付けします (344 ページの『ソリッド・ステート・ドライブの取り付け』を参照)。
4. SSD ベゼルを再取り付けします。

例



Tier 1 CRU (お客様による交換が可能な部品) の取り外しと交換

Tier 1 CRU の取り外しと交換を行うには、この情報を使用します。

このタスクについて

Tier 1 の CRU の交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。

アダプター保持アセンブリーの取り外し

アダプター保持アセンブリーを取り外すには、この情報を使用します。

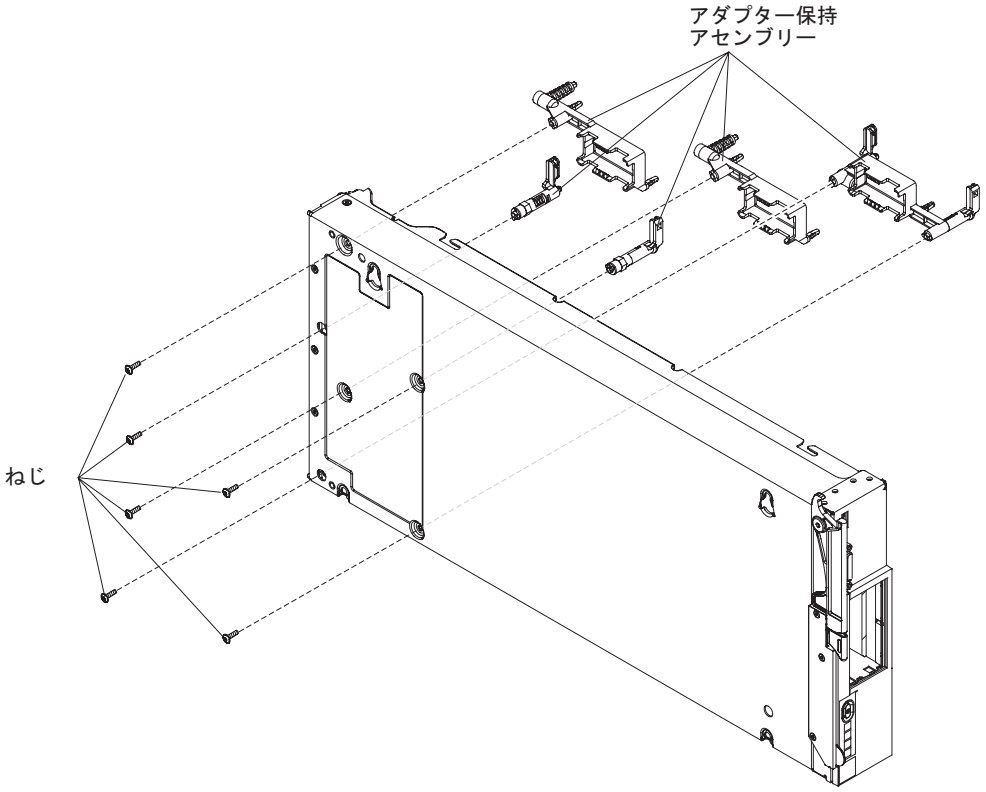
始める前に

アダプター保持アセンブリーを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの『安全について』および 307 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに管理ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 309 ページの『シャーシからの IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 の取り外し』を参照)。
3. 管理ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな場所に管理ノードを注意して置きます。

手順

アダプター保持アセンブリーを取り外すには、以下のステップを実行してください。



1. カバーを取り外します (317 ページの『管理ノード・カバーの取り外し』を参照)。
2. エアー・バッフルを取り外します。
3. 必要に応じて、I/O 拡張アダプターを取り外します (348 ページの『I/O 拡張アダプターの取り外し』を参照)。
4. 前面ハンドル側が上になるようにシャーシの側面を下にして、慎重にシャーシを置きます。

5. T9 Torx ドライバーを使用して、アダプター保持アセンブリーを固定している 6 個のねじを取り外します。
6. アダプター保持アセンブリーを持ち上げてシステム・ボードから取り外します。
7. シャーシの底部が下になるように、慎重にシャーシを戻します。

次のタスク

アダプター保持アセンブリーの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

アダプター保持アセンブリーの取り付け

アダプター保持アセンブリーを取り付けるには、この情報を使用します。

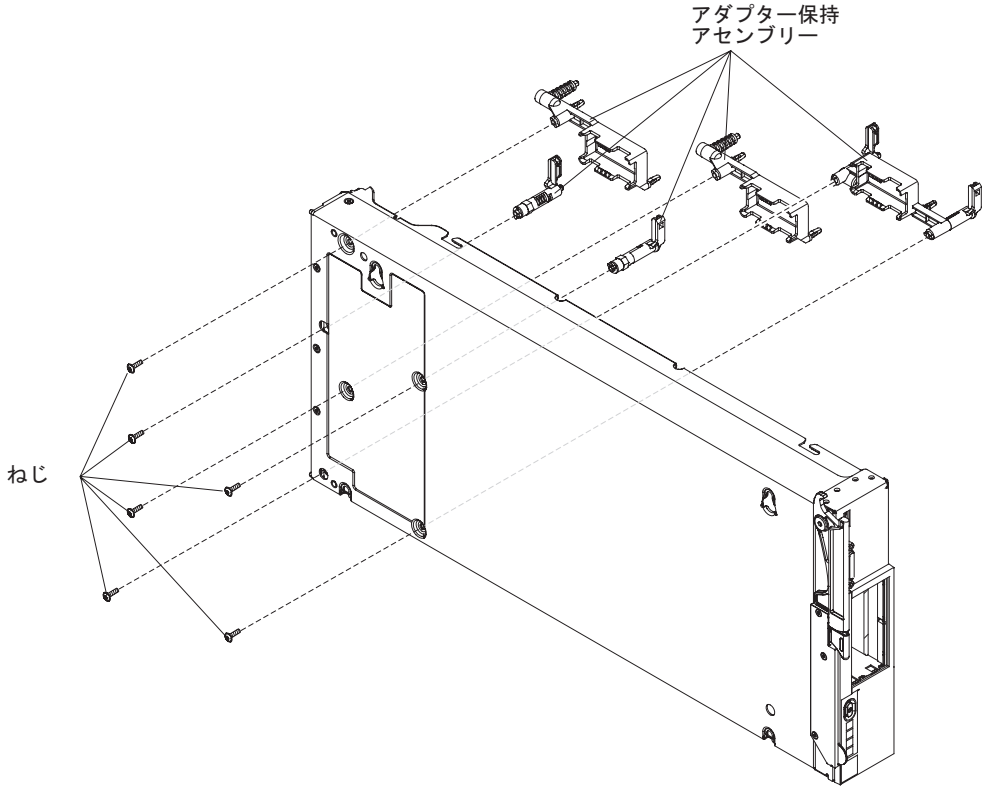
始める前に

アダプター保持アセンブリーを取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの『安全について』および 307 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに管理ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 309 ページの『シャーシからの IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 の取り外し』を参照)。
3. ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな場所に管理ノードを注意して置きます。

手順

アダプター保持アセンブリーを取り付けるには、以下のステップを実行してください。



1. カバーを取り外します (317 ページの『管理ノード・カバーの取り外し』を参照)。
2. エアー・バッフルを取り外します。
3. 前面ハンドル側が上になるようにシャーシの側面を下にして、慎重にシャーシを置きます。
4. アダプター保持アセンブリーをシステム・ボード上に位置合わせします。
5. T9 Torx ドライバーを使用して、アダプター保持アセンブリーを固定するねじを取り付けます。
6. シャーシの底部が下になるように、慎重にシャーシを戻します。
7. I/O 拡張アダプターを取り外した場合は、取り付けます (349 ページの『I/O 拡張アダプターの取り付け』を参照)。
8. エアー・バッフルを取り付けます。

次のタスク

アダプター保持アセンブリーを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. ノードにカバーを取り付けます (手順については 318 ページの『管理ノード・カバーの取り付け』を参照)。
2. ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、 311 ページの『シャーシへの管理ノードの取り付け』を参照)。

ベゼルの取り外し

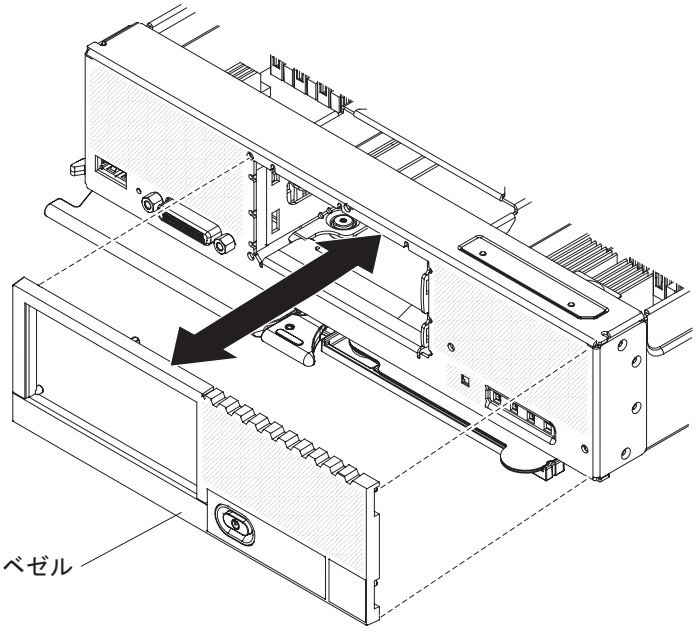
ベゼルを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

ベゼルを取り外す前に、 v ページの『安全について』および 307 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

手順

ベゼルを取り外すには、以下のステップを実行してください。



1. マイナス・ドライバーを使用して、慎重にベゼルを管理ノードから引き離します。
2. ベゼルをノードから持ち上げて取り外します。

次のタスク

ベゼルに返却の指示がある場合は、梱包方法のすべての説明に従い、配送されたときのパッケージ資材を使用してください。

ベゼルの取り付け

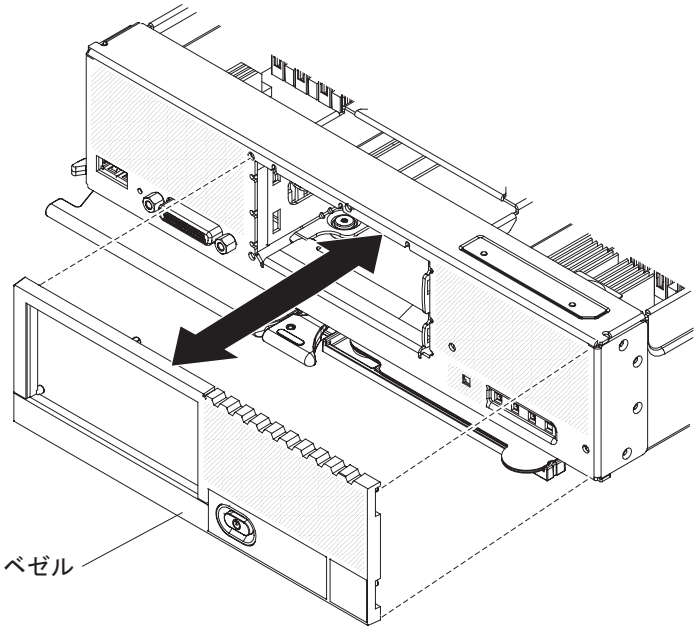
ベゼルを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

ベゼルを取り付ける前に、 v ページの『安全について』および 307 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

手順

ベゼルを取り付けるには、以下のステップを実行してください。



1. コンピュート・ノードの前面にベゼルを配置します。
2. ベゼルをしっかりとシャーシに押し込みます。

   注: 電源ボタンの周囲が平らになるようにベゼルがシャーシに押し込まれ、電源ボタンへのアクセスが維持されていることを確認します。

バッテリーの取り外し

バッテリーを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

バッテリーを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

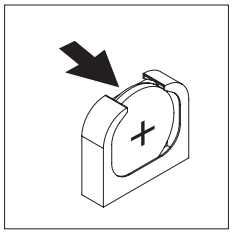
1. v ページの『安全について』および 307 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに管理ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 309 ページの『シャーシからの IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 の取り外し』を参照)。
3. ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな場所に管理ノードを注意して置きます。

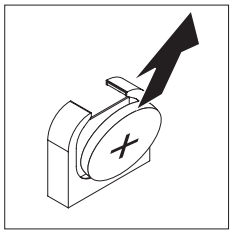
手順

CMOS バッテリーを取り外すには、以下のステップを実行してください。

1. カバーを取り外します (317 ページの『管理ノード・カバーの取り外し』を参照)。

2. システム・ボード上の CMOS バッテリーを見つけます (12 ページの『システム・ボード・コネクター』を参照)。
3. CMOS バッテリー上にカバーがある場合は、そのカバーを取り外します。
4. CMOS バッテリーをコンピュート・ノードの中央に向けて回転させます。





5. CMOS バッテリーをソケットから持ち上げて取り外します。

次のタスク

取り外したバッテリーを廃棄する場合は、地方自治体の条例に従ってください。

バッテリーの取り付け

バッテリーを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

バッテリーを取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの『安全について』および 307 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. IBM Flex System エンタープライズ・シャーシにノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 309 ページの『シャーシからの IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 の取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな場所にノードを注意して置きます。

このタスクについて

以下の注記は、コンピュート・ノード内のバッテリーを交換する際に考慮する必要がある事項について説明しています。

- バッテリーは同一メーカーの同一タイプのリチウム・バッテリーと交換する必要があります。
- 交換電池を注文するには、米国内では 1-800-426-7378 に、カナダ内では 1-800-465-7999 または 1-800-465-6666 に電話してください。米国およびカナダ以外では、IBM 営業担当員または認定販売店にご連絡ください。
- バッテリーを交換した後、ノードを再構成し、システム日時を再設定する必要があります。
- 危険防止のために、以下に示す安全上の注意を読み、それに従ってください。

安全 2

注意:
リチウム・バッテリーを交換する場合は、IBM 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- **水に投げ込む、あるいは浸す**
- **100°C を超えて過熱**
- **修理または分解**

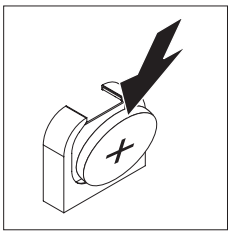
バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

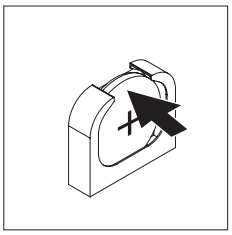
重要: バッテリーの交換時にノードの側面などの金属面にバッテリーが接触すると、バッテリーが故障する可能性があります。

手順

CMOS バッテリーを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

1. カバーを取り外します (317 ページの『管理ノード・カバーの取り外し』を参照)。
2. 交換用バッテリーに付属の特殊な取り扱いや取り付けの説明書があれば、それに従ってください。
3. システム・ボード上の CMOS バッテリー・ソケットを見つけます (12 ページの『システム・ボード・コネクター』を参照)。
4. CMOS バッテリーのプラス (+) 側がコンピュート・ノードの中央を向くように、バッテリーの向きを合わせます。





5. ソケットの下部に CMOS バッテリーを挿入できるように、バッテリーを回転させます。
6. CMOS バッテリーを所定の位置にスライドさせて、CMOS バッテリーの上部を押してソケットに挿入します。
7. バッテリーからカバーを取り外していた場合は、そのカバーを再取り付けします。

次のタスク

バッテリーを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. ノードにカバーを取り付けます (手順については 318 ページの『管理ノード・カバーの取り付け』を参照)。
2. ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、 311 ページの『シャーシへの管理ノードの取り付け』を参照)。
3. ノードの電源をオンにし、Setup ユーティリティーを開始して構成を再設定します。

DIMM の取り外し

デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

DIMM を取り外す前に、以下のステップを実行してください。

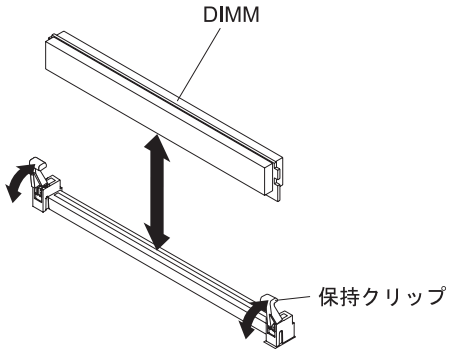
1. v ページの『安全について』および 307 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに管理ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 309 ページの『シャーシからの IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 の取り外し』を参照)。
3. 管理ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな場所に管理ノードを注意して置きます。

このタスクについて

DIMM の取り付けまたは取り外しをした後は、Setup ユーティリティーを使用して新構成情報を変更し保存する必要があります。管理ノードの電源を入れると、メモリー構成が変更されたことを示すメッセージが表示されます。Setup ユーティリティーを開始して「**Save Settings**」を選択し、変更を保存します。

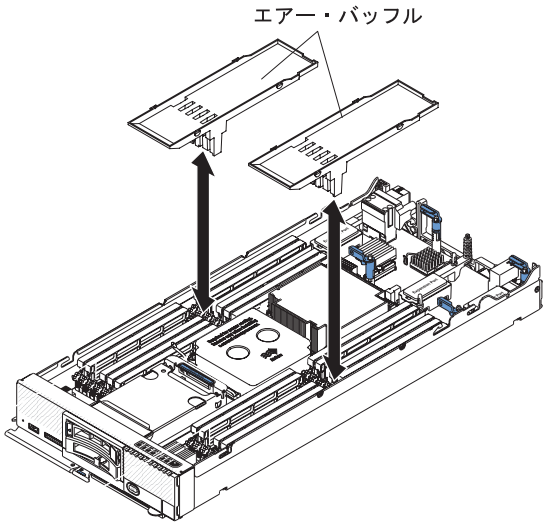
手順

DIMM は、以下の手順で取り外してください。



1. カバーを取り外します (317 ページの『管理ノード・カバーの取り外し』を参照)。

2. DIMM コネクター上に取り付けられているエアー・バッフルを取り外します。



3. DIMM コネクターの位置を確認します (12 ページの『システム・ボード・コネクター』を参照)。管理ノードから取り外す DIMM を判別します。

   重要: 保持クリップの破損や DIMM コネクターの損傷を防止するために、クリップは慎重に取り扱ってください。

4. DIMM を取り外す DIMM コネクターの両方の保持クリップが開いた位置にあることを確認します。
5. DIMM をコネクターから引き抜きます。
6. 即時に DIMM を交換しない場合は、エアー・バッフルを取り付けます。

   重要: 適切なシステム冷却を維持するために、DIMM コネクターの上にエアー・バッフルを取り付けずにコンピュート・ノードを作動させないでください。

次のタスク

DIMM の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

DIMM の取り付け

DIMM を取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

DIMM を取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの『安全について』および 307 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. DIMM に付属の資料をお読みください。
3. IBM Flex System エンタープライズ・シャーシにノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 309 ページの『シャーシからの IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 の取り外し』を参照)。

4. ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな場所にノードを注意して置きます。

このタスクについて

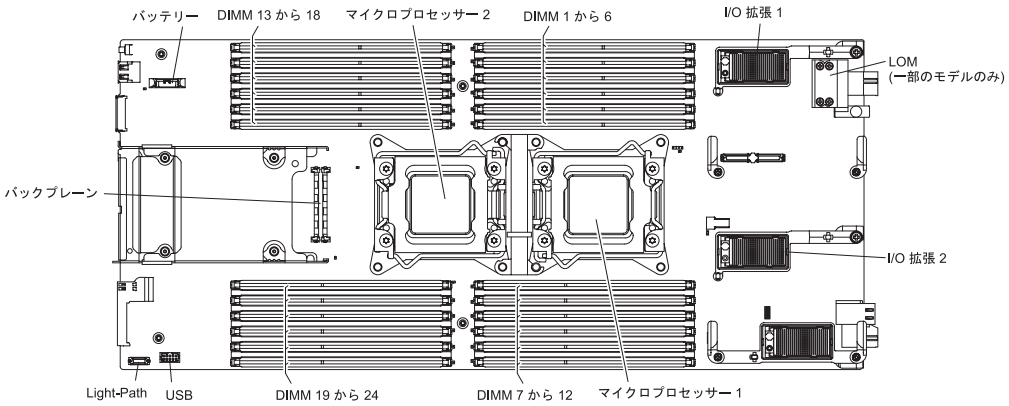
DIMM の取り付けまたは取り外しをした後は、Setup ユーティリティーを使用して新構成情報を変更し保存する必要があります。ノードの電源を入れると、メモリー構成が変更されたことを示すメッセージが表示されます。Setup ユーティリティーを開始して「**Save Settings**」を選択し、変更を保存します。

DIMM 障害の結果として DIMM を取り付ける場合、その DIMM を再度使用可能にする必要がある場合があります。DIMM を再度使用可能にするには、以下のステップを実行してください。

1. 取り付けられているメモリーの容量が期待されるメモリー容量であることを確認します。そのためには、オペレーティング・システムから確認するか、ノードの始動時にモニターを監視して確認するか、シャーシ・マネージメント・モジュールの Web インターフェースから確認します。シャーシ・マネージメント・モジュールの Web インターフェースについての詳細は、を参照してください。
2. Setup ユーティリティーを実行して、DIMM を再度使用可能にします。

管理ノードは、合計 24 個のデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) コネクターを備えています。管理ノードは、2 GB、4 GB、8 GB、および 16 GB の容量の ECC (エラー訂正コード) 付き Low Profile (LP) DDR3 DIMM をサポートします。

次の図は、システム・ボード・コンポーネント (DIMM コネクターを含む) を示しています。



メモリーのアクセスは、8 個のチャネル (マイクロプロセッサーごとに 4 個のチャネル) を使用して内部的に行われます。各チャネルごとに 3 個の DIMM コネクターがあります。各チャネルごとに最大 8 個のランクを持つことができます。次の表は、各チャネルのリストおよびチャネル内の DIMM コネクターを示しています。

表 5. メモリー・チャネル構成

マイクロプロセッサー	メモリー・チャネル	DIMM コネクター
マイクロプロセッサー 1	チャネル B	4、5、および 6
	チャネル A	1、2、および 3
	チャネル C	7、8、および 9
	チャネル D	10、11、および 12
マイクロプロセッサー 2	チャネル H	22、23、および 24
	チャネル G	19、20、および 21
	チャネル E	13、14、および 15
	チャネル F	16、17、および 18

Setup ユーティリティーで設定されたメモリー・モードに応じて、1 個のマイクロプロセッサーが取り付けられたコンピュート・ノードでは、最小 2 GB、最大 192 GB のシステム・メモリーをサポートすることができます。2 個のマイクロプロセッサーが取り付けられている場合は、コンピュート・ノードは最小 2 GB、最大 384 GB のシステム・メモリーをサポートすることができます。

以下の注記では、メモリーを取り付けるときに考慮する必要がある情報について説明しています。

- 同じコンピュート・ノード内で RDIMM と LRDIMM を混用することはできません。
- 各チャネルごとに合計 8 個のランクがサポートされます。
- quad-rank DIMM を取り付ける場合、メモリー・チャネルの終端のコネクターに取り付けます。
- チャネルに 1 つ以上の quad-rank DIMM がある場合、チャネルごとに 2 個の DIMM のみがサポートされます。

次の 3 つのメモリー・モードがあります。

- **独立チャネル・モード:** 独立チャネル・モードでは、1 個のマイクロプロセッサーが取り付けられている場合は最大 192 GB、2 個のマイクロプロセッサーが取り付けられている場合は最大 384 GB のメモリーが使用可能です (16 GB DIMM 使用時)。
- **ランク・スペアリング・モード:** ランク・スペアリング・モードでは、1 個のメモリー DIMM ランクが同じチャネル上の他のランクのスペアとして機能します。スペア・ランクは、常に予約されており、アクティブ・メモリーとして使用されることはありません。スペア・ランクは、同じチャネル上のすべての他のアクティブ DIMM ランク以上のメモリー容量でなければなりません。エラーしきい値を超えると、そのランクの内容がスペア・ランクにコピーされます。 DIMM のランクに障害が発生すると、そのランクはオフラインにされ、スペア・ランクがオンラインになって障害のあるランクの代わりにアクティブ・メモリーとして使用されます。

  以下の注記では、ランク・スペアリング・メモリー・モードを選択するときに考慮する必要がある追加情報について説明しています。

  – 1 つのチャネル上のランク・スペアリングは、その他のすべてのチャネルのスペアリングから独立しています。

– Setup ユーティリティーを使用して、DIMM ランクの状況を判別することができます。

- **ミラーリング・チャネル・モード:** ミラーリング・チャネル・モードでは、メモリーをペアで取り付けます。ペアの各 DIMM は、容量、タイプ、およびランク数が同一でなければなりません。チャネルはペアでグループ化され、ペアのチャネルはそれぞれ同じデータを受信します。 1 つのチャネルが他方のバックアップとして使用され、冗長性を提供します。チャネル B のメモリーの内容がチャネル C に複製され、チャネル A のメモリーの内容がチャネル D に複製されます。システムで使用可能な実効メモリーは、取り付けられたメモリーの半分のみです。

各マイクロプロセッサーごとに 1 個の DIMM が最小要件です。ただし、最適なパフォーマンスのために、DIMM を 4 個セットで取り付けることで、すべてのチャネルにメモリーを等しく分配することができます。 2 個のマイクロプロセッサーが取り付けられている場合は、マイクロプロセッサー間で同等になるようにメモリーをすべてのチャネルに分配します。独立チャネル・モードおよびランク・スペアリング・モードの場合、次の表で示されている順序で DIMM を取り付けます。

表 6. 独立チャネル・モードおよびランク・スペアリング・モードの DIMM 装着順序

1 個のマイクロプロセッサーが取り付けられている場合	**2 個のマイクロプロセッサーが取り付けられている場合**
DIMM コネクター 4、1、9、12、2、5、8、11、3、6、7、および 10	DIMM コネクター 4、1、13、16、9、12、21、24、2、5、14、17、8、11、20、23、3、6、15、18、7、10、19、および 22

ミラーリング・チャネル・モードの場合、次の表で示されている順序で DIMM を取り付けます。

表 7. ミラーリング・チャネル・モードの DIMM 装着順序

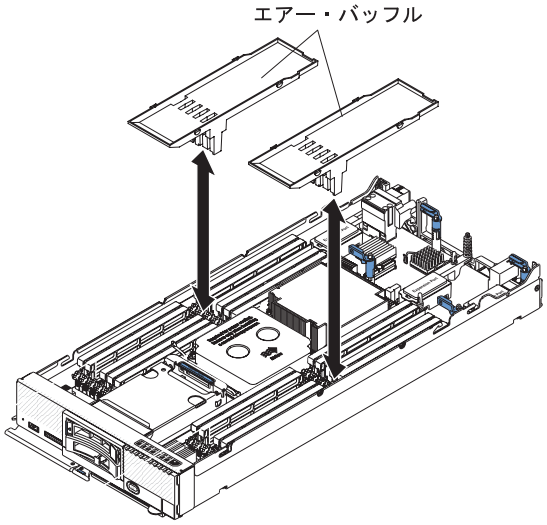
DIMM ペア	**1 個のマイクロプロセッサーが取り付けられている場合**	**2 個のマイクロプロセッサーが取り付けられている場合**	**チャネルごとの DIMM**
1	4 および 1[1]	4 および 1[1]	1
2	9 および 12[1]	13 および 16[1]	
3	2 および 5[1]	9 および 12[1]	
4	8 および 11	21 および 24[1]	
5	3 および 6[1]	2 および 5[1]	2
6	7 および 10[1]	14 および 17[1]	
7	なし	8 および 11[1]	
8	なし	20 および 23[1]	
9	なし	3 および 6[1]	3
10	なし	15 および 18[1]	
11	なし	7 および 10[1]	
12	なし	19 および 22[1]	

1. ミラーリング・チャネル・モードでは、DIMM ペアは、サイズ、タイプ、およびランク数が同一でなければなりません。

手順

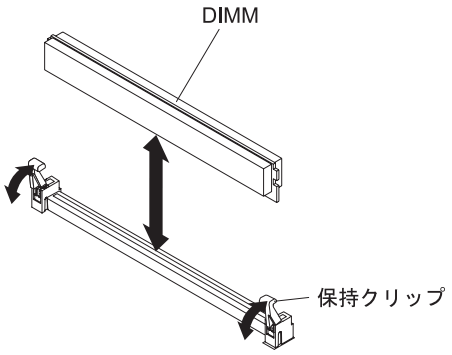
DIMM は、以下の手順で取り付けてください。

1. カバーを取り外します (317 ページの『管理ノード・カバーの取り外し』を参照)。
2. DIMM に付属の資料を読みます。
3. エアー・バッフルを取り外します。



4. DIMM コネクターの位置を確認します (12 ページの『システム・ボード・コネクター』を参照)。管理ノードから取り外す DIMM を判別します。
5. DIMM フィラーまたは他のメモリー・モジュールが、既に DIMM コネクターに取り付けられている場合は、それらを取り外します (331 ページの『DIMM の取り外し』を参照)。

   注: 管理ノードの電源を入れる前に、各 DIMM ソケットには DIMM または DIMM フィラーを必ず取り付けてください。
6. DIMM が入った帯電防止パッケージを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシの塗装されていない 金属部分、あるいは DIMM を取り付けるラックの接地されたコンポーネントの塗装されていない 金属面に少なくとも 2 秒間接触させてください。その後、DIMM をパッケージから取り出します。
7. DIMM を取り付けるには、取り付ける DIMM のそれぞれについて以下のステップを繰り返してください。



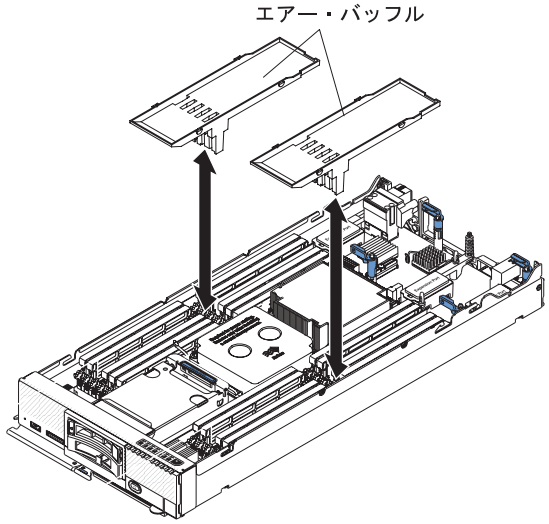
a. DIMM を取り付ける DIMM コネクターの両方の保持クリップが開いた位置にあることを確認します。

b. DIMM を回して、DIMM の切り欠きがシステム・ボード上の DIMM コネクターに正しく合うようにします。

   重要: 保持クリップの破損や DIMM コネクターの損傷を防止するために、クリップは慎重に取り扱ってください。

c. DIMM を押して DIMM コネクターに差し込みます。保持クリップが DIMM をコネクターにロックします。

d. 保持クリップの小さなタブが DIMM の切り欠きとかみ合っていることを確認します。 DIMM と保持クリップの間にすき間がある場合、DIMM は正しく取り付けられていません。DIMM をしっかりとコネクターに押し入れてから、タブが完全に納まるまで保持クリップを DIMM 側に押します。 DIMM が正しく取り付けられていると、保持クリップは DIMM の両サイドと平行になります。



8. エアー・バッフルを取り付けます。

   重要: 適切なシステム冷却を維持するために、DIMM コネクターの上にエアー・バッフルを取り付けずに管理ノードを作動させないでください。

次のタスク

DIMM を取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. 管理ノードにカバーを取り付けます (手順については 318 ページの『管理ノード・カバーの取り付け』を参照)。
2. 管理ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、311 ページの『シャーシへの管理ノードの取り付け』を参照)。

ファブリック・コネクターの取り外し

ファブリック変換コネクターを取り付けるには、この情報を使用します。

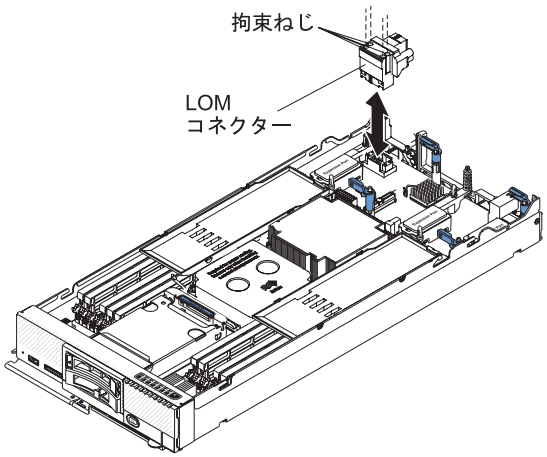
始める前に

ファブリック・コネクターを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの『安全について』および 307 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. シャーシにノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 309 ページの『シャーシからの IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 の取り外し』を参照)。
3. ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな場所にノードを注意して置きます。

手順

ファブリック・コネクターを取り外すには、以下のステップを実行してください。



1. カバーを取り外します (317 ページの『管理ノード・カバーの取り外し』を参照)。
2. システム・ボード上のファブリック・コネクターを見つけます (12 ページの『システム・ボード・コネクター』を参照)。
3. プラス・ドライバーを使用して、ファブリック・コネクターを固定している 4 個のねじを緩めます。
4. システム・ボードからファブリック・コネクターを持ち上げて取り外し、安全な場所に保管します。

次のタスク

ファブリック・コネクターの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

I/O 拡張アダプターを I/O 拡張コネクター 1 に取り付けるためにファブリック・コネクターを取り外した場合は、将来の使用に備えて、ファブリック・コネクターを安全な場所に保管してください。

ファブリック・コネクターの取り付け

ファブリック・コネクターを取り付けるには、この情報を使用します。

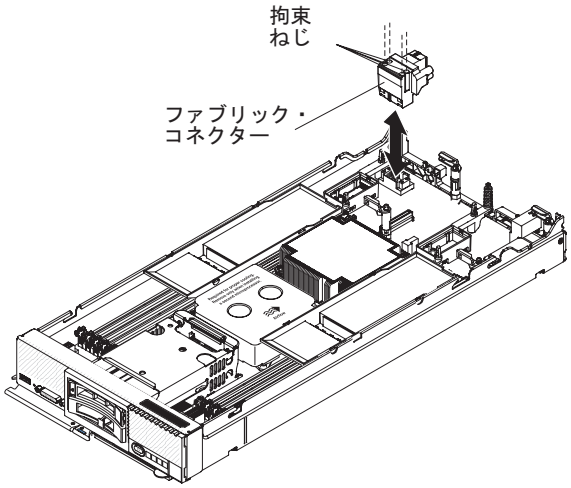
始める前に

ファブリック・コネクターを取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの『安全について』および 307 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに管理ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 309 ページの『シャーシからの IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 の取り外し』を参照)。
3. ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな場所に管理ノードを注意して置きます。

手順

ファブリック・コネクターを取り付けるには、以下のステップを実行してください。



1. カバーを取り外します (317 ページの『管理ノード・カバーの取り外し』を参照)。
2. ファブリック・コネクターの位置を確認します (12 ページの『システム・ボード・コネクター』を参照)。
3. システム・ボード上でファブリック・コネクターの位置を正しく合わせます。
4. プラス・ドライバーを使用して、4 個の拘束ねじを締め、ファブリック・コネクターを固定します。

   重要: ファブリック・コネクターが固定されていることを確認します。ただし、コネクターの損傷を避けるために、ねじを締めすぎないようにしてください。

次のタスク

ファブリック・コネクターを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. コンピュート・ノードにカバーを取り付けます (手順については 318 ページの『管理ノード・カバーの取り付け』を参照)。

2. コンピュート・ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、 311 ページの『シャーシへの管理ノードの取り付け』を参照)。

ホット・スワップ・ストレージ・バックプレーンの取り外し

ホット・スワップ・ストレージ・バックプレーンを取り外すには、この情報を使用します。

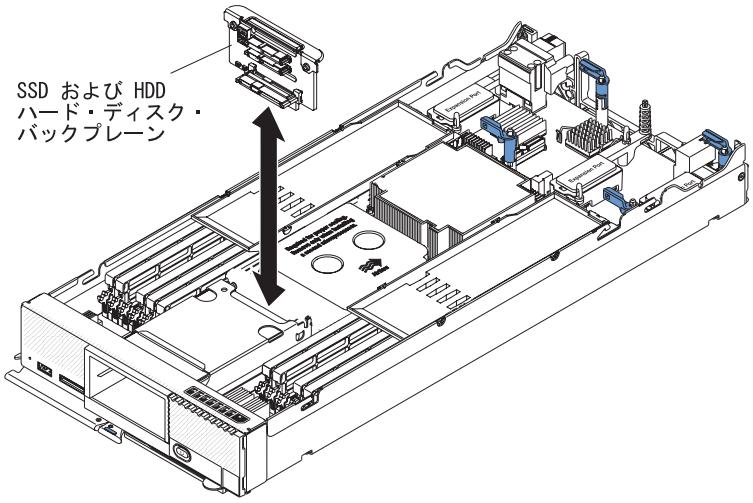
始める前に

ホット・スワップ・ストレージ・バックプレーンを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの『安全について』および 307 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. シャーシに管理ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 309 ページの『シャーシからの IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 の取り外し』を参照)。
3. 管理ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな場所に管理ノードを注意して置きます。

手順

ホット・スワップ・ストレージ・バックプレーンを取り外すには、以下のステップを実行してください。



1. カバーを取り外します (317 ページの『管理ノード・カバーの取り外し』を参照)。
2. ホット・スワップ・ストレージ・ドライブとストレージ・ドライブ・フィラーを取り外します。
3. ホット・スワップ・ストレージ・バックプレーンを持ち上げて取り外します。

次のタスク

ホット・スワップ・ストレージ・バックプレーンの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

ホット・スワップ・ストレージ・バックプレーンの取り付け

ホット・スワップ・ストレージ・バックプレーンを取り付けるには、この情報を使用します。

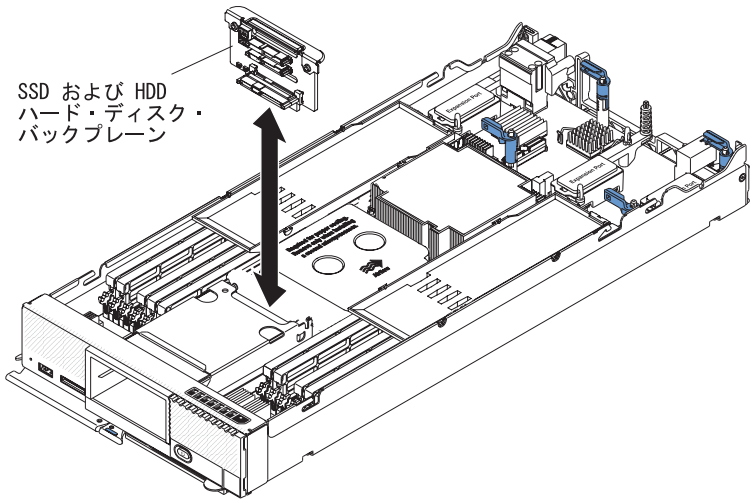
始める前に

ホット・スワップ・ストレージ・バックプレーンを取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの『安全について』および 307 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. シャーシに管理ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 309 ページの『シャーシからの IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 の取り外し』を参照)。
3. 管理ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな場所に管理ノードを注意して置きます。

手順

ホット・スワップ・ストレージ・バックプレーンを取り付けるには、以下のステップを実行してください。



1. カバーを取り外します (317 ページの『管理ノード・カバーの取り外し』を参照)。
2. バックプレーンをホット・スワップ・ストレージ・ケージおよびシステム・ボード上のコネクターに位置合わせし、バックプレーンがコネクターに完全に装着されて所定の位置に収まるまで押し込みます。
3. ホット・スワップ・ストレージ・ドライブとストレージ・ドライブ・フィラーを挿入します。

次のタスク

ホット・スワップ・ストレージ・バックプレーンを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. 管理ノードにカバーを取り付けます (手順については 318 ページの『管理ノード・カバーの取り付け』を参照)。
2. 管理ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、 311 ページの『シャーシへの管理ノードの取り付け』を参照)。

ホット・スワップ・ストレージ・ドライブの取り外し

以下の情報を使用して、ホット・スワップ・ストレージ・ドライブを取り外すことができます。

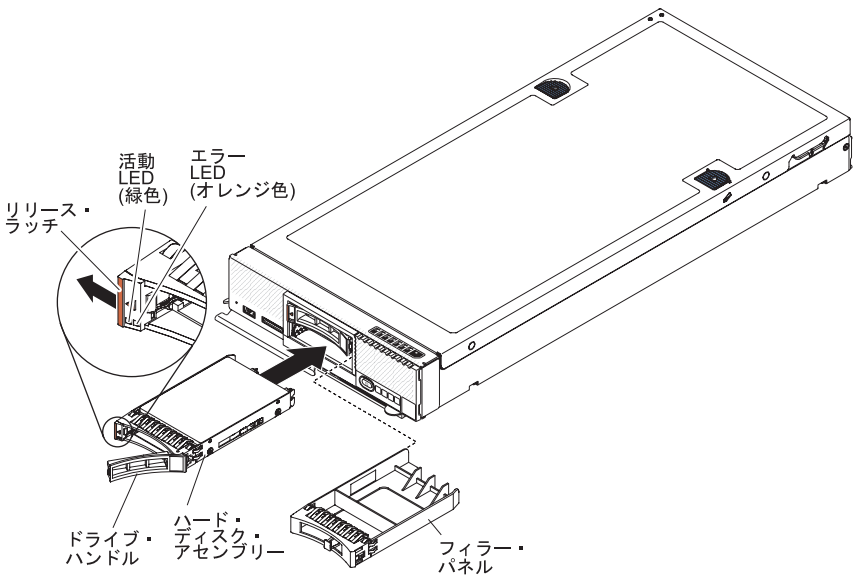
始める前に

ホット・スワップ・ストレージ・ドライブを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. ディスク・ドライブの変更は、すべての重要なデータをバックアップしてから行ってください。
2. v ページの『安全について』および 307 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

手順

ホット・スワップ・ストレージ・ドライブを取り外すには、以下のステップを実行してください。



1. ストレージ・ドライブのオレンジ色のリリース・ラッチを押し、ドライブ・リリース・ハンドルを解放します。
2. リリース・ハンドルを引いて、ストレージ・ベイからドライブを取り外します。

次のタスク

ストレージ・ドライブの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

ホット・スワップ・ストレージ・ドライブの取り付け

ホット・スワップ・ストレージ・ドライブを取り付けるには、この情報を使用します。

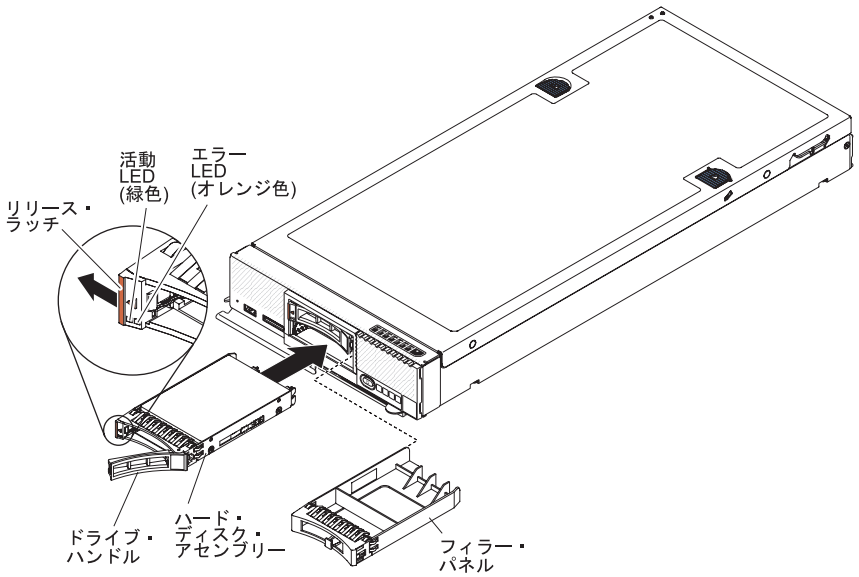
始める前に

ホット・スワップ・ストレージ・ドライブを取り付ける前に、 v ページの『安全について』および 307 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

このタスクについて

ノードには、ホット・スワップ SAS ハード・ディスクなどのホット・スワップ・ストレージ・ドライブを取り付けるための SAS または SATA ストレージ・ベイが 1 個あります。

ホット・スワップ・ストレージ・ドライブまたはドライブ・フィラーは、以下の手順で取り付けてください。



手順

1. ホット・スワップ・ストレージ・ドライブが入った帯電防止パッケージを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシの塗装されていない 金属面、または他の接地されたラック・コンポーネントの塗装されていない 金属面に接触させます。その後、パッケージからハード・ディスクを取り出します。
2. ホット・スワップ・ストレージ・ドライブのリリース・レバーを開き、ドライブをストレージ・ベイ内にスライドさせてコネクターにしっかり固定します。
3. リリース・レバーを閉じて、ホット・スワップ・ストレージ・ドライブをロックします。
4. ディスクの状況 LED を調べて、ハード・ディスクが正しく作動していることを確認します。

ソリッド・ステート・ドライブの取り外し

ソリッド・ステート・ドライブを取り外すには、この情報を使用します。

手順

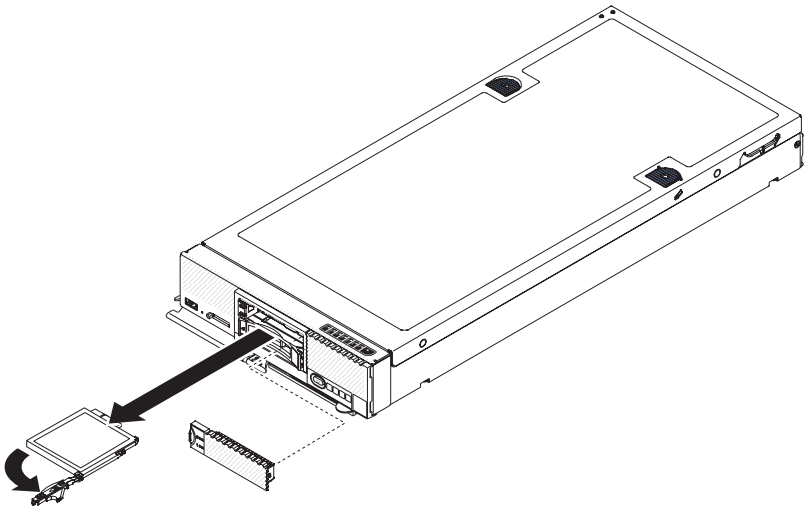
ソリッド・ステート・ドライブを取り外すには、以下のステップを実行してください。

1. ソリッド・ステート・ドライブ・ベゼルをノード前面から取り外します。
2. 取り外すソリッド・ステート・ドライブのリリース・ラッチを右に向かって押し、保持レバーの固定されていない方の端を回転させてサーバーから離します。
3. 保持レバーを手前に引き、ソリッド・ステート・ドライブをスロットからスライドさせて取り出します。

   注: ドライブをサーバーから取り外す際、ドライブを元の同じスロットに取り付けられるように、ドライブが取り外されたスロットを示すラベルをドライブに付けることを検討してください。
4. 保持レバーを閉じ、ラッチで固定します。

   注: 保持レバーを閉じる前に、ラッチを押さなければならない場合があります。

例



次のタスク

ソリッド・ステート・ドライブの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

ソリッド・ステート・ドライブの取り付け

ソリッド・ステート・ドライブを取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

ソリッド・ステート・ドライブを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

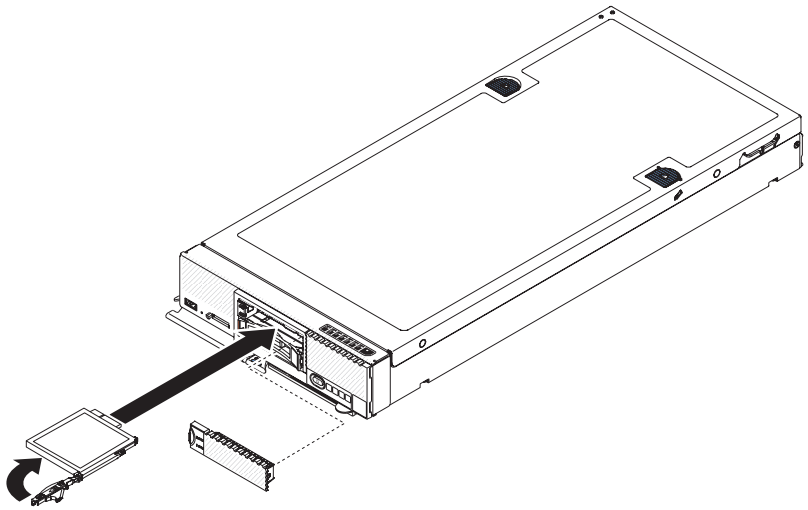
手順

ソリッド・ステート・ドライブを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

1. ソリッド・ステート・ドライブが入っている帯電防止パッケージをシャーシの塗装されていない 金属面、または他の接地されたラック・コンポーネントの塗装されていない 金属面に接触させます。その後、パッケージからソリッド・ステート・ドライブを取り出します。
2. ソリッド・ステート・ドライブがコネクターにしっかりと固定されるまで、ドライブをスロットの中にスライドさせて入れます。
3. 2 個目のソリッド・ステート・ドライブを取り付ける場合は、ステップ 1 から 2 を繰り返します。
4. 保持レバーを閉じ、ラッチで固定します。

   注: 保持レバーを閉じる前に、ラッチを押さなければならない場合があります。

例



Tier 2 CRU (お客様による交換が可能な部品) の取り外しと交換

Tier 2 CRU の取り外しと交換を行うには、この情報を使用します。

このタスクについて

Tier 2 と指定された CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のコンピュート・ノードに指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付けを要求することもできます。

ETE アダプターの取り外し

ETE アダプターを取り外すには、この情報を使用します。

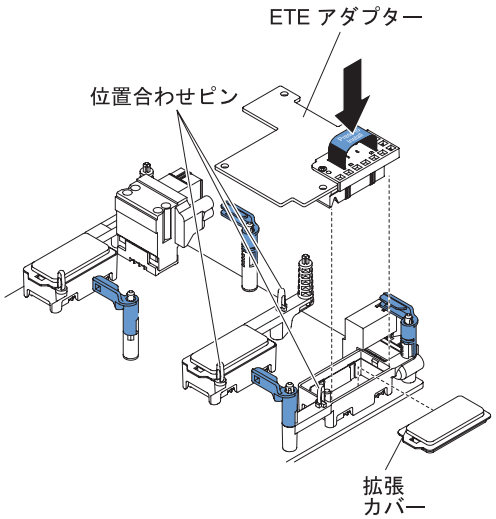
始める前に

ETE アダプターを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの『安全について』および 307 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. シャーシに管理ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 309 ページの『シャーシからの IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 の取り外し』を参照)。
3. ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな場所に管理ノードを注意して置きます。
4. カバーを取り外します (317 ページの『管理ノード・カバーの取り外し』を参照)。

手順

ETE アダプターを取り外すには、以下のステップを実行してください。



1. 管理ノードの ETE コネクターの位置を確認します (12 ページの『システム・ボード・コネクター』を参照)。
2. ETE コネクターの上に I/O 拡張アダプターが取り付けられている場合は、取り外してください (348 ページの『I/O 拡張アダプターの取り外し』を参照)。
3. ETE アダプターをコネクターから持ち上げ、管理ノードから取り外します。アダプターを前後に動かすと、アダプターを容易に取り外すことができます。
4. 必要に応じて、I/O 拡張アダプターを取り付けます (349 ページの『I/O 拡張アダプターの取り付け』を参照)。

次のタスク

ETE アダプターの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

ETE アダプターの取り付け

ETE アダプターを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

ETE アダプターを取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの『安全について』および 307 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. シャーシに管理ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 309 ページの『シャーシからの IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 の取り外し』を参照)。
3. ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな場所に管理ノードを注意して置きます。
4. カバーを取り外します (317 ページの『管理ノード・カバーの取り外し』を参照)。

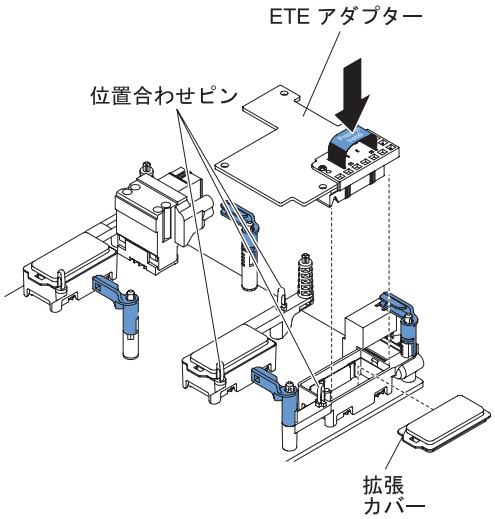
このタスクについて

このコンポーネントは、オプション装置として取り付けることができます。サポートされるオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照してください。

管理ノードが ETE アダプターをサポートするためには、2 個のマイクロプロセッサーを取り付ける必要があります。

手順

ETE アダプターを取り付けるには、以下のステップを実行してください。



1. ETE コネクターの位置を確認します (12 ページの『システム・ボード・コネクター』を参照)。
2. ETE コネクターの上に I/O 拡張アダプターが取り付けられている場合は、取り外してください (348 ページの『I/O 拡張アダプターの取り外し』を参照)。

3. ETE アダプターが入っている帯電防止パッケージをシャーシの塗装されていない 金属面、または他の接地されたラック・コンポーネントの塗装されていない金属面に接触させます。その後、パッケージから ETE アダプターを取り出します。
4. コネクターにプラスチック製のカバーが取り付けられている場合は、取り外します。
5. ETE アダプターのコネクターをシステム・ボード上のコネクターおよび位置合わせピンの位置に正しく合わせます。次に、アダプターを ETE コネクターに差し込みます。
6. 示された場所をしっかりと押して、ETE アダプターを完全に差し込みます。
7. 必要に応じて、I/O 拡張アダプターを取り付けます (349 ページの『I/O 拡張アダプターの取り付け』を参照)。

次のタスク

ETE アダプターを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. 管理ノードにカバーを取り付けます (手順については 318 ページの『管理ノード・カバーの取り付け』を参照)。
2. 管理ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、 311 ページの『シャーシへの管理ノードの取り付け』を参照)。
3. ETE アダプターを取り付けた後、取り付けを完了するためのデバイス・ドライバーおよび構成の情報について、ETE アダプターに付属の資料を参照してください。
4. アダプターのファームウェアを他の管理ソフトウェアと同じレベルに更新します。コマンド・ライン・インターフェースで、**installupd** コマンドを使用して、強制オプション (**-F**) を指定します。**installupd** の構文およびオプションについての詳細は、「*Command Reference Guide*」資料を参照してください。

I/O 拡張アダプターの取り外し

I/O 拡張アダプターを取り外すには、この情報を使用します。

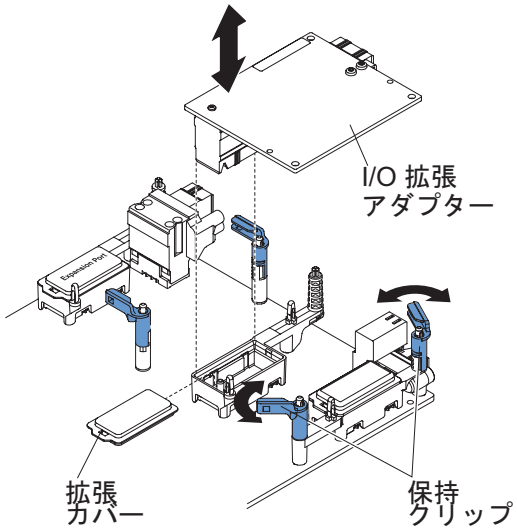
始める前に

I/O 拡張アダプターを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの『安全について』および 307 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. IBM Flex System エンタープライズ・シャーシにノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 309 ページの『シャーシからの IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 の取り外し』を参照)。
3. ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな場所にノードを注意して置きます。

手順

I/O 拡張アダプターを取り外すには、以下のステップを実行してください。



1. カバーを取り外します (317 ページの『管理ノード・カバーの取り外し』を参照)。
2. I/O 拡張アダプター・コネクターを見つけます (12 ページの『システム・ボード・コネクター』を参照)。
3. 保持クリップを開きます。
4. I/O 拡張アダプターをコネクターから持ち上げ、ノードから取り外します。アダプターを前後に動かすと、アダプターを容易に取り外すことができます。

次のタスク

I/O 拡張アダプターの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

I/O 拡張アダプターの取り付け

I/O 拡張アダプターを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

I/O 拡張アダプターを取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

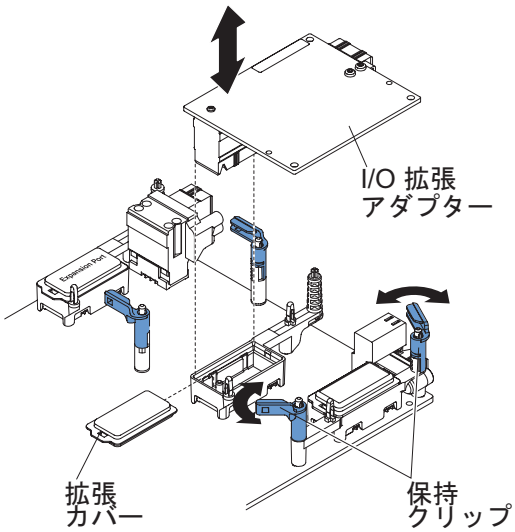
1. v ページの『安全について』および 307 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに管理ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 309 ページの『シャーシからの IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 の取り外し』を参照)。
3. 管理ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな場所に管理ノードを注意して置きます。

このタスクについて

このコンポーネントは、オプション装置または交換可能コンポーネントとして取り付けることができます。取り付け手順は、オプション装置でも交換可能コンポーネントでも同じです。

手順

I/O 拡張アダプターを取り付けるには、以下のステップを実行してください。



1. カバーを取り外します (317 ページの『管理ノード・カバーの取り外し』を参照)。
2. I/O 拡張コネクターを見つけます (12 ページの『システム・ボード・コネクター』を参照)。
3. コネクターに拡張カバーが取り付けられている場合は、取り外します。
4. 拡張アダプターが入った帯電防止パッケージを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシの塗装されていない 金属面、または他の接地されたラック・コンポーネントの塗装されていない 金属面に接触させます。その後、パッケージから拡張アダプターを取り出します。
5. 保持クリップを開きます。
6. 拡張アダプターのコネクターをシステム・ボード上の I/O 拡張コネクターおよび位置合わせピンと正しく位置を合わせます。次に、アダプターを I/O 拡張コネクターに押し込みます。
7. 示された場所をしっかり押して、拡張アダプターをコネクターおよび位置合わせピンに装着します。
8. 保持クリップを閉じます。

次のタスク

I/O 拡張アダプターを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. 管理ノードにカバーを取り付けます (手順については 318 ページの『管理ノード・カバーの取り付け』を参照)。

2. 管理ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、 311 ページの『シャーシへの管理ノードの取り付け』を参照)。
3. 取り付けを完了するには、デバイス・ドライバーおよび構成情報について拡張アダプターに付属の資料を参照してください。
4. 拡張アダプターのファームウェアを他の管理ソフトウェアと同じレベルに更新します。コマンド・ライン・インターフェースで、**installupd** コマンドを使用して、強制オプション (**-F**) を指定します。**installupd** の構文およびオプションについての詳細は、「*Command Reference Guide*」資料を参照してください。

マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し

マイクロプロセッサーおよびヒートシンクを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

マイクロプロセッサーおよびヒートシンクを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの『安全について』および 307 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. IBM Flex System エンタープライズ・シャーシにノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 309 ページの『シャーシからの IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 の取り外し』を参照)。
3. ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな場所にノードを注意して置きます。

このタスクについて

以下の注記では、マイクロプロセッサーを取り外すときに考慮する必要がある情報について説明しています。

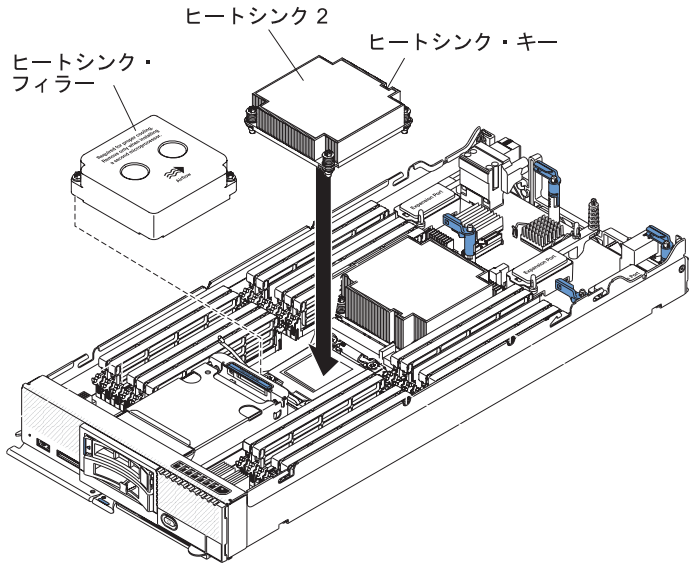
- 障害のないマイクロプロセッサーを取り外す場合 (例えば、システム・ボード・アセンブリーの交換時)、事前に次の重要な情報をお読みください。

  障害のあるヒートシンクまたはマイクロプロセッサーを交換しない場合は、これらのコンポーネントの取り外しまたは取り付けを行う場合にヒートシンクおよびマイクロプロセッサーを注意深く取り扱えば、ヒートシンクおよびマイクロプロセッサー上の熱伝導材の効果は残ります。熱伝導材には触らないでください。また、それ以外の原因でも熱伝導材が汚れることがないようにしてください。
- マイクロプロセッサー取り付けツールは、何回か使用した後には摩耗している場合があります。既存のマイクロプロセッサー取り付けツールを再使用する場合は、そのツールがしっかりとマイクロプロセッサーを保持できることを確認してください。返却する他の部品と一緒に、このツールを返却しないようにしてください。
- 障害のあるマイクロプロセッサーを交換する場合、CRU キットには交換用のマイクロプロセッサーとマイクロプロセッサー上のカバーが取り付けられた取り付けツールが 1 つと、カバーが付いていない空の取り付けツールが 1 つ入っています。

- 障害のあるマイクロプロセッサーを交換する場合、交換手順で使用するアルコール・ワイプおよび熱伝導グリースを入手する必要があります (369 ページの『第 5 章 部品リスト - IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734』を参照)。

手順

マイクロプロセッサーおよびヒートシンクを取り外すには、以下のステップを実行してください。



1. カバーを取り外します (317 ページの『管理ノード・カバーの取り外し』を参照)。
2. 取り外すマイクロプロセッサーを見つけます (12 ページの『システム・ボード・コネクター』を参照)。
3. ヒートシンクを取り外します。

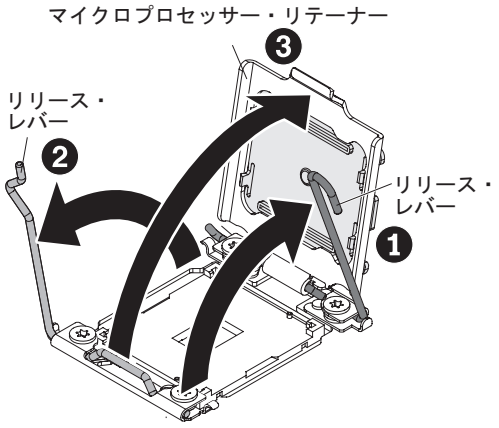
   重要: ヒートシンクの下部にある熱伝導材に触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材が汚染されます。マイクロプロセッサーまたはヒートシンク上の熱伝導材が汚れた場合は、ヒートシンクを交換する必要があります。

   a. ドライバーを使用してヒートシンクの片側のねじを緩め、マイクロプロセッサーとの密着状態を解除します。

   b. ドライバーを使ってヒートシンクのねじを緩めます。ねじが緩むまで、各ねじを完全に 2 回転させてください。

   c. ヒートシンクを慎重にマイクロプロセッサーから引き離します。

   重要: マイクロプロセッサー・ソケットのリリース・レバーを持ち上げるのに、ツールや、先がとがった物を使用しないでください。これを行うと、システム・ボードに永久的な損傷を与える可能性があります。
4. マイクロプロセッサー・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を開きます。



a. どのリリース・レバーが最初に開くリリース・レバーとしてラベル付けされているかを識別してから、そのリリース・レバーを開きます。

b. マイクロプロセッサー・ソケットの 2 番目のリリース・レバーを開きます。

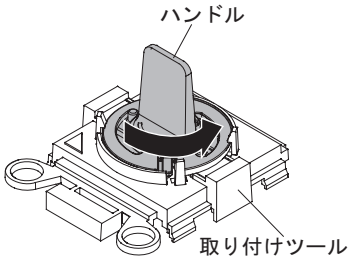
c. マイクロプロセッサー保持器具を開きます。

重要: マイクロプロセッサーおよびマイクロプロセッサー・ソケット上のコネクターには触らないでください。

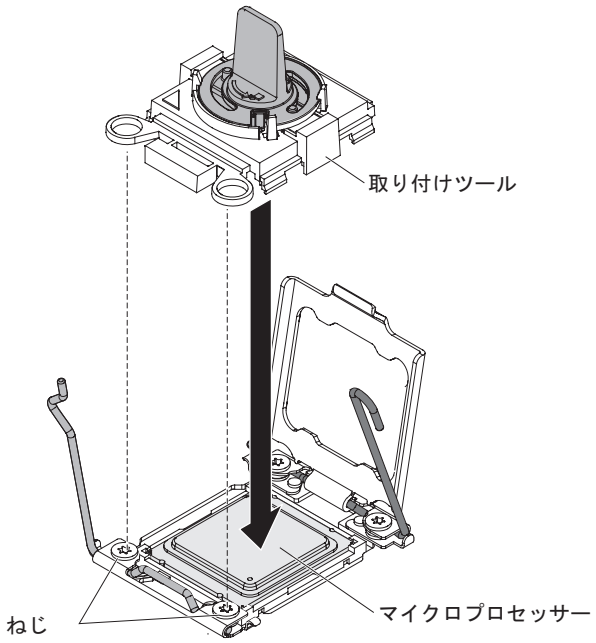
5. マイクロプロセッサー取り付けツールにマイクロプロセッサーを取り付けます。

注: マイクロプロセッサーを交換する場合は、FRU に付属の空の取り付けツールを使用して、マイクロプロセッサーを取り外します。

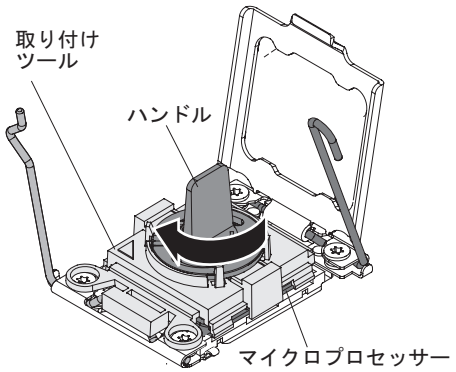
a. マイクロプロセッサー取り付けツールのハンドルを左回りに回転させ、ハンドルを開いた位置にします。



b. 取り付けツールをマイクロプロセッサー・ソケットの位置合わせピンと位置合わせして、ツールをマイクロプロセッサー上に下ろします。取り付けツールは、適切に位置合わせしなければソケット上に平坦に載りません。



c. 取り付けツールのハンドルを右回りに回転させ、マイクロプロセッサーを持ち上げてソケットから取り外します。



次のタスク

マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り付け

マイクロプロセッサーおよびヒートシンクを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

マイクロプロセッサーおよびヒートシンクを取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの『安全について』および 307 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

2. IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに管理ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 309 ページの『シャーシからの IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 の取り外し』を参照)。
3. 管理ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな場所に管理ノードを注意して置きます。

このタスクについて

以下の注記では、この管理ノードがサポートしているマイクロプロセッサーのタイプ、およびマイクロプロセッサーを取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を記載しています。

- このコンポーネントは、オプション装置または CRU として取り付けることができます。オプション装置と CRU の取り付け手順は同じです。
- IBM がサポートするオプションのマイクロプロセッサーは、コンピュート・ノードの容量および機能によって制限されています。取り付けるマイクロプロセッサーはすべて、コンピュート・ノードに搭載されたマイクロプロセッサーと同じ仕様でなければなりません。
- マイクロプロセッサーの各ソケットには、常にソケット・カバーとヒートシンク・フィラー、あるいはマイクロプロセッサーとヒートシンクが取り付けられている必要があります。コンピュート・ノードにマイクロプロセッサーを 1 つだけ取り付ける場合は、マイクロプロセッサー・ソケット 1 に取り付ける必要があります。
- 2 つ目のマイクロプロセッサーを取り付ける場合は、マイクロプロセッサーが同一であることを確認してください。
- 新しいマイクロプロセッサーを取り付ける前に、最新レベルの UEFI コードをダウンロードしてインストールしてください (ファームウェアの更新についての詳細は、「*IBM Flex System Manager システム管理ガイド*」資料を参照)。
- 2 つ目のマイクロプロセッサーを取り付ける場合、追加メモリーを取り付けるか、DIMM コネクター間でメモリーを再配分する必要がある場合があります。詳しくは、 332 ページの『DIMM の取り付け』を参照してください。
- マイクロプロセッサー取り付けツールは、何回か使用した後には摩耗している場合があります。既存のマイクロプロセッサー取り付けツールを再使用する場合は、そのツールがしっかりとマイクロプロセッサーを保持できることを確認してください。返却する他の部品と一緒に、このツールを返却しないようにしてください。
- 2 つ目のマイクロプロセッサーを取り付ける場合、マイクロプロセッサー・オプション・キットに付属のマイクロプロセッサー取り付けツールを使用して、マイクロプロセッサーを取り付ける必要があります。マイクロプロセッサー取り付けツールは、ツールに取り付けられた交換用のマイクロプロセッサーおよびマイクロプロセッサー上のカバーと一緒に発送されます。
- 障害のあるマイクロプロセッサーを交換する場合、CRU キットには交換用のマイクロプロセッサーとマイクロプロセッサー上のカバーが取り付けられた取り付けツールが 1 つと、カバーが付いていない空の取り付けツールが 1 つ入っています。

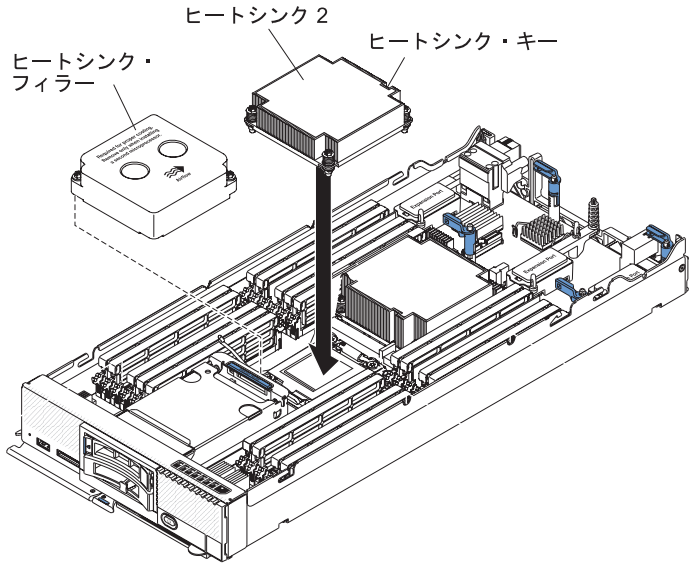
- 障害のあるマイクロプロセッサーを交換する場合、交換手順で使用する以下のものを入手する必要があります (369 ページの『第 5 章 部品リスト - IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734』を参照)。
  - アルコール・ワイプ
  - 熱伝導グリース

重要:

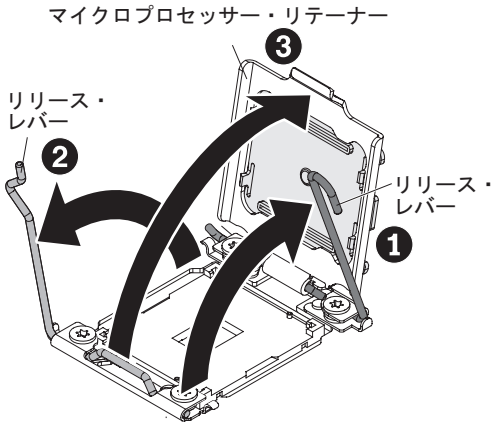
1. マイクロプロセッサー・ソケットのロック・レバーを持ち上げるときに、工具や鋭利な道具を使用しないでください。これを行うと、システム・ボードに永久的な損傷を与える可能性があります。
2. マイクロプロセッサー・ソケット内の接点に手を触れないでください。接点に手を触れると、システム・ボードに永久的な損傷を与える可能性があります。

手順

マイクロプロセッサーおよびヒートシンクを取り付けるには、以下のステップを実行してください。



1. カバーを取り外します (317 ページの『管理ノード・カバーの取り外し』を参照)。
2. ヒートシンク・フィラーが取り付けられている場合は、それを取り外します。
3. マイクロプロセッサー・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を開きます。



a. どのリリース・レバーが最初に開くリリース・レバーとしてラベル付けされているかを識別してから、そのリリース・レバーを開きます。

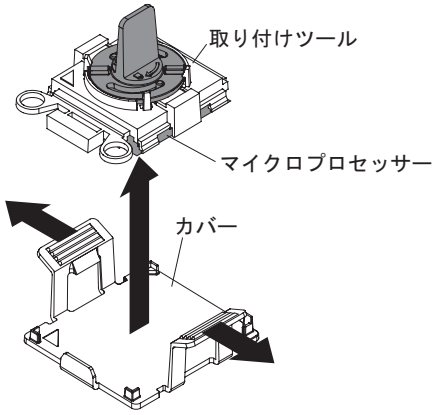
b. マイクロプロセッサー・ソケットの 2 番目のリリース・レバーを開きます。

c. マイクロプロセッサー保持器具を開きます。

4. マイクロプロセッサー・ソケットにマイクロプロセッサーを取り付けます。

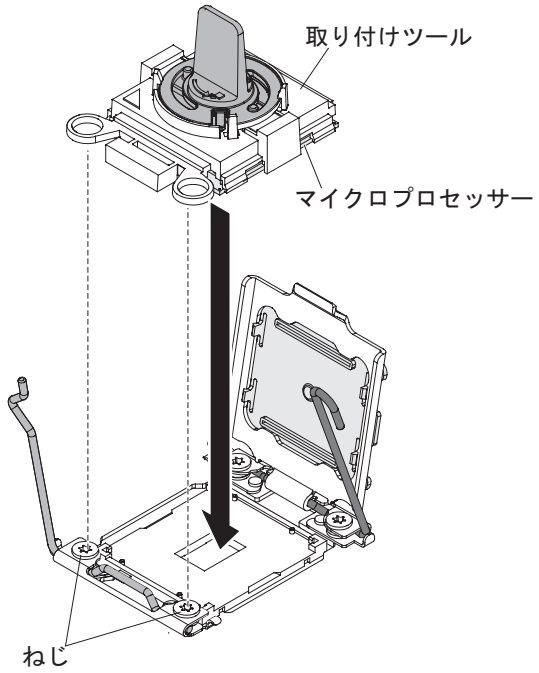
a. 新規のマイクロプロセッサーが入った帯電防止バッグを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ シャーシの塗装されていない 金属面、または他の接地されたラック・コンポーネントの塗装されていない 金属面に接触させます。その後、パッケージからマイクロプロセッサーと取り付けツールを取り出します。

b. カバーのサイドを解放し、取り付けツールからカバーを取り外します。マイクロプロセッサーは、取り付けツールに事前に取り付けられています。



注: マイクロプロセッサーの接点には触れないようにしてください。マイクロプロセッサーの接点が皮膚からの油脂などによって汚れると、接点とソケット間の接触不良の原因になる場合があります。

c. 取り付けツールをマイクロプロセッサー・ソケットに位置合わせします。取り付けツールは、適切に位置合わせしなければソケット上に平坦に載りません。

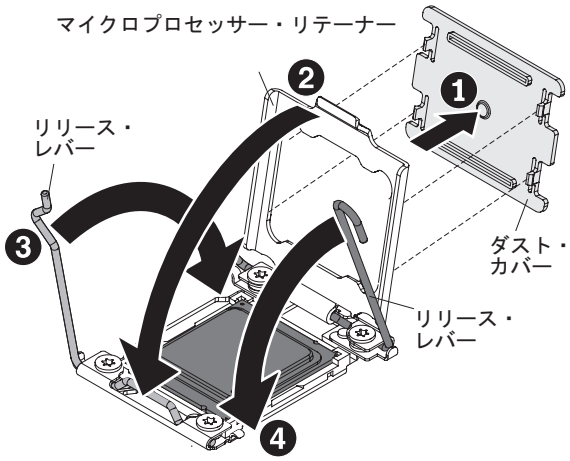


d. マイクロプロセッサー取り付けツールのハンドルを左回りに回転させ、マイクロプロセッサーをソケットに挿入します。マイクロプロセッサーには、確実にマイクロプロセッサーを正しく取り付けることができるように、切り欠きがあります。マイクロプロセッサーは、適切に取り付けられなければソケット上に平坦に載りません。

重要:

- マイクロプロセッサーをソケットに押し込まないでください。
- マイクロプロセッサー保持器具を閉じる前に、ソケット内のマイクロプロセッサーの向きと位置が正しいことを確認してください。
- ヒートシンクの下部あるいはマイクロプロセッサーの上部にある熱伝導材に触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材が汚れます。

5. マイクロプロセッサー・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を閉じます。



a. マイクロプロセッサー・ソケット上のマイクロプロセッサー保持器具を閉じます。
b. どのリリース・レバーが最初に閉じるリリース・レバーとしてラベル付けされているかを識別してから、そのリリース・レバーを閉じます。
c. マイクロプロセッサー・ソケットの 2 番目のリリース・レバーを閉じます。
d. マイクロプロセッサー保持器具上にソケット・カバーが取り付けられている場合は、保持器具を閉じるときに解放されます。コンピュート・ノードからソケット・カバーを取り外して、安全な場所に保管してください。

重要:

- 新しいヒートシンクを取り付ける場合は、プラスチック製のカバーを取り外した後ヒートシンクを下に置かないでください。
- ヒートシンクの下部にある熱伝導材に触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材が汚染されます。

6. 新しいヒートシンクを取り付ける場合は、ヒートシンクの下部からプラスチックの保護カバーを取り外します。以前にコンピュート・ノードから取り外したヒートシンクを再取り付けする場合は、ヒートシンクの下部およびマイクロプロセッサーの上部に熱伝導材が残っていることを確認します。
   a. マイクロプロセッサー上にヒートシンクを置きます。ヒートシンクには、適切に位置合わせを行えるように、切り欠きがあります。
   b. 熱伝導材側を下にして、保持ブラケット内のマイクロプロセッサー上にヒートシンクを位置合わせして置きます。
   c. ヒートシンクをしっかり押します。
   d. ヒートシンク上のねじを、ヒートシンクの保持モジュールの穴の位置に合わせます。
   e. 拘束ねじをしっかりと押しながら、ドライバーでこれらのねじを交互にきつくなるまで締めます。可能であれば、それぞれのねじを 1 回につき完全に 2 回転させてください。ねじがきつく締まるまで繰り返します。過度の力でねじを締めすぎないようにしてください。トルク・レンチを使用している場合は、8.5 ニュートン・メートル (Nm) から 13 Nm でねじを締めてください。

次のタスク

マイクロプロセッサーおよびヒートシンクを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. カバーを取り付けます (318 ページの『管理ノード・カバーの取り付け』を参照)。
2. ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ シャーシに取り付けます (手順については、311 ページの『シャーシへの管理ノードの取り付け』を参照)。

マイクロプロセッサー保持アセンブリーの取り外し

マイクロプロセッサー保持アセンブリーを取り外すには、この情報を使用します。

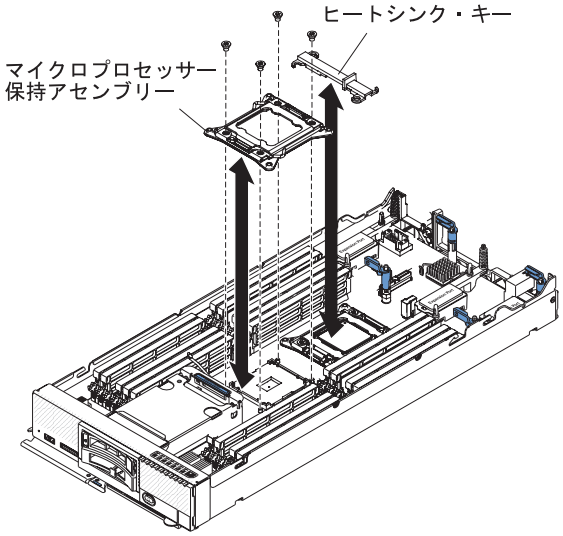
始める前に

マイクロプロセッサー保持アセンブリーを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの『安全について』および 307 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. シャーシに管理ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 309 ページの『シャーシからの IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 の取り外し』を参照)。
3. 管理ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな場所に管理ノードを注意して置きます。

手順

マイクロプロセッサー保持アセンブリーを取り外すには、以下のステップを実行してください。



1. カバーを取り外します (317 ページの『管理ノード・カバーの取り外し』を参照)。
2. システム・ボード上のマイクロプロセッサー・コネクターを見つけます (12 ページの『システム・ボード・コネクター』を参照)。
3. マイクロプロセッサーおよびヒートシンクが取り付けられている場合は、取り外します (351 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』を参照)。
4. マイクロプロセッサー保持アセンブリーからヒートシンク・キーを取り外し、安全な場所に保管します。
5. T20 Torx ドライバーを使用して、マイクロプロセッサー保持アセンブリーを固定している 4 個のねじを取り外します。

重要:

a. マイクロプロセッサー保持アセンブリーがマイクロプロセッサー・ソケットに触れないようにしてください。触れると、システム・ボードに永久的な損傷を与える可能性があります。

b. マイクロプロセッサー・ソケット内の接点に手を触れないでください。接点に手を触れると、システム・ボードに永久的な損傷を与える可能性があります。

6. マイクロプロセッサー保持アセンブリーを持ち上げて、システム・ボードから取り外します。

次のタスク

マイクロプロセッサー保持アセンブリーの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

マイクロプロセッサー保持アセンブリーの取り付け

マイクロプロセッサー保持アセンブリーを取り付けるには、この情報を使用します。

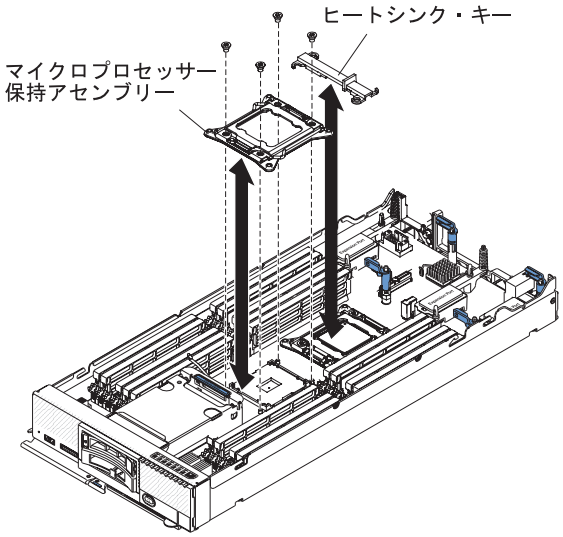
始める前に

マイクロプロセッサー保持アセンブリーを取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの『安全について』および 307 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. シャーシに管理ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 309 ページの『シャーシからの IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 の取り外し』を参照)。
3. 管理ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな場所に管理ノードを注意して置きます。

手順

マイクロプロセッサー保持アセンブリーを取り付けるには、以下のステップを実行してください。



1. カバーを取り外します (317 ページの『管理ノード・カバーの取り外し』を参照)。
2. マイクロプロセッサー・ソケットのリリース・レバーが開いた位置にあることを確認します。
3. マイクロプロセッサー保持アセンブリーをシステム・ボード上に位置合わせします。

   重要:

   a. マイクロプロセッサー保持アセンブリーがマイクロプロセッサー・ソケットに触れないようにしてください。これを行うと、システム・ボードに永久的な損傷を与える可能性があります。

   b. マイクロプロセッサー・ソケット内の接点に手を触れないでください。接点に手を触れると、システム・ボードに永久的な損傷を与える可能性があります。
4. T20 Torx ドライバーを使用して 4 個のねじを取り付け、マイクロプロセッサー保持アセンブリーを固定します。
5. マイクロプロセッサー保持アセンブリーにヒートシンク・キーを取り付けます。
6. 必要に応じて、マイクロプロセッサーとヒートシンクを取り付けます (354 ページの『マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り付け』を参照)。

次のタスク

マイクロプロセッサー保持アセンブリーを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. 管理ノードにカバーを取り付けます (手順については 318 ページの『管理ノード・カバーの取り付け』を参照)。
2. 管理ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、 311 ページの『シャーシへの管理ノードの取り付け』を参照)。

システム・ボード・アセンブリーの取り外し

システム・ボード・アセンブリーを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

システム・ボード・アセンブリーを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの『安全について』および 307 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. シャーシに管理ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 309 ページの『シャーシからの IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 の取り外し』を参照)。
3. 管理ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな場所に管理ノードを注意して置きます。
4. 交換手順で使用する以下のものを入手します (369 ページの『第 5 章 部品リスト - IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734』を参照)。
   - アルコール・ワイプ
   - ベゼル
   - 熱伝導グリース

このタスクについて

重要: システム・ボードを交換する場合、コンピュート・ノードを最新のファームウェアを使用して更新するか、既存のファームウェアをリストアする必要があります。先に進む前に、必ず、最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーを用意してください。詳しくは、「*IBM Flex System Manager システム管理ガイド*」資料の『ファームウェアおよびソフトウェアの更新』を参照してください。

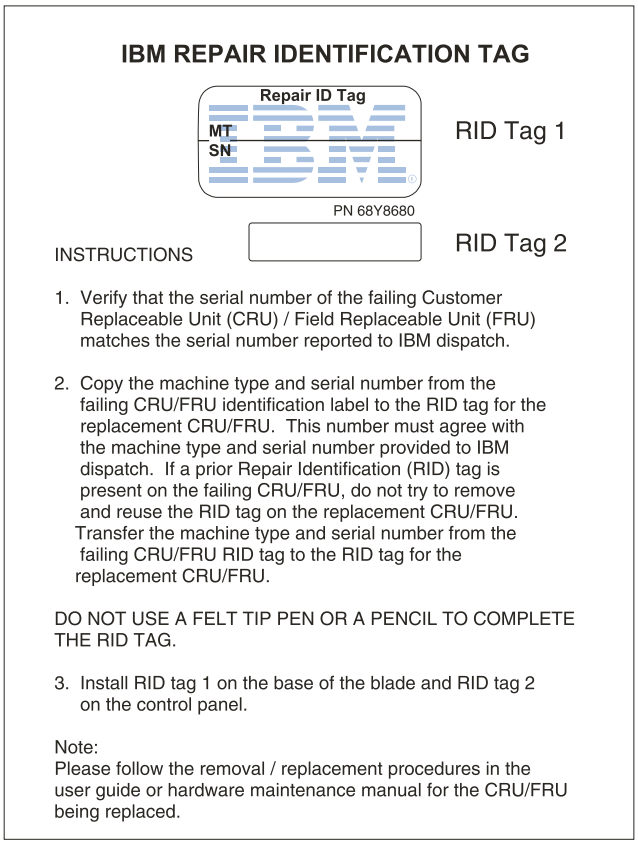
システム・ボード上のコネクターの位置についての詳細は、 12 ページの『システム・ボード・コネクター』を参照してください。

手順

システム・ボード・アセンブリーを取り外すには、次のステップを実行してください。

1. カバーを取り外します (317 ページの『管理ノード・カバーの取り外し』を参照)。
2. 以下にリストされているすべての取り付け済みコンポーネントをシステム・ボード・アセンブリーから取り外し、それらのコンポーネントを帯電防止面に置くか、新しいシステム・ボード・アセンブリーに取り付けます。
   - DIMM。 331 ページの『DIMM の取り外し』を参照してください。
   - I/O 拡張アダプター。 348 ページの『I/O 拡張アダプターの取り外し』を参照してください。
   - ストレージ・ドライブおよびソリッド・ステート・ドライブ。 342 ページの『ホット・スワップ・ストレージ・ドライブの取り外し』、および 322 ページの『ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブの取り外し』を参照してください。
   - マイクロプロセッサーおよびヒートシンク。 351 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』を参照してください。

- マイクロプロセッサー、ヒートシンク、およびマイクロプロセッサー・ヒートシンク・フィラー。 CRU キットに付属のマイクロプロセッサー取り付けツールを使用して、システム・ボード・アセンブリーから各マイクロプロセッサーを取り外し、そのマイクロプロセッサーをすぐに新規のシステム・ボード・アセンブリーに取り付けます (351 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』および 354 ページの『マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り付け』を参照)。
- ホット・スワップ・ストレージ・バックプレーン・アセンブリーおよびケージ。 319 ページの『ホット・スワップ・ストレージ・ケージの取り外し』を参照してください。



3. 新しいシステム・ボード・アセンブリーには IBM 修理識別 (RID) タグが付属しています。ボールペンを使用して、古いシステム・ボード・アセンブリーのマシン・タイプおよびシリアル番号を、新しいシステム・ボード・アセンブリーに付属している IBM 修理識別 (RID) タグの 3 つのラベルに書き写します。次に、タグ 1 をラベル・タブに、タグ 2 をノードの底部に、タグ 3 を新規ベゼルの右下隅に取り付けます。

次のタスク

システム・ボード・アセンブリーの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

システム・ボード・アセンブリーの取り付け

システム・ボード・アセンブリーを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

システム・ボード・アセンブリーを取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

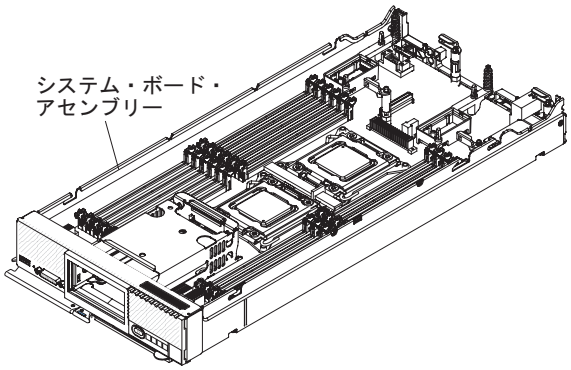
1. v ページの『安全について』および 307 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. シャーシに管理ノードが取り付けられている場合は、それを取り外します (手順については 309 ページの『シャーシからの IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 の取り外し』を参照)。
3. ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな場所に管理ノードを注意して置きます。
4. 交換手順で使用する以下のものを入手します (369 ページの『第 5 章 部品リスト - IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734』を参照)。
   - アルコール・ワイプ
   - ベゼル
   - 熱伝導グリース

このタスクについて

重要: システム・ボードを交換する場合、管理ノードを最新のファームウェアを使用して更新するか、既存のファームウェアをリストアする必要があります。先に進む前に、必ず、最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーを用意してください。詳しくは、「*IBM Flex System Manager システム管理ガイド*」資料の『ファームウェアおよびソフトウェアの更新』を参照してください。

手順

システム・ボード・アセンブリーを取り付けるには、次のステップを実行してください。



1. 以下のリストにある、旧システム・ボード・アセンブリーから取り外したすべてのコンポーネントを、新しいシステム・ボード・アセンブリーに取り付けます。
   - DIMM およびエアー・バッフル (332 ページの『DIMM の取り付け』を参照)。
   - I/O 拡張アダプター (349 ページの『I/O 拡張アダプターの取り付け』を参照)。

- ストレージ・ドライブおよびソリッド・ステート・ドライブ。 342 ページの『ホット・スワップ・ストレージ・ドライブの取り外し』、および 322 ページの『ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブの取り外し』を参照してください。
- マイクロプロセッサー、ヒートシンク、およびマイクロプロセッサー・ヒートシンク・フィラー。 CRU キットに付属のマイクロプロセッサー取り付けツールを使用して、システム・ボード・アセンブリーから各マイクロプロセッサーを取り外し、そのマイクロプロセッサーをすぐに新規のシステム・ボード・アセンブリーに取り付けます (351 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』および 354 ページの『マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り付け』を参照)。
- ハード・ディスク・バックプレーン (341 ページの『ホット・スワップ・ストレージ・バックプレーンの取り付け』を参照)。

2. ベゼルを取り付けます (327 ページの『ベゼルの取り付け』を参照)。

次のタスク

システム・ボード・アセンブリーを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. 管理ノードにカバーを取り付けます (手順については 318 ページの『管理ノード・カバーの取り付け』を参照)。
2. 管理ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、 311 ページの『シャーシへの管理ノードの取り付け』を参照)。
3. すべての Features on Demand 機能を再アクティブ化します。詳しくは、http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.8731.doc/features_on_demand.htmlを参照してください。
4. システム・ボードを交換した場合、汎用固有 ID (UUID) を更新する必要があります。Advanced Settings ユーティリティーを使用して、UEFI ベースの管理ノードの UUID を更新します。
5. システム・ボードのファームウェアを他の管理ソフトウェアと同じレベルに更新します。コマンド・ライン・インターフェースで、**installupd** コマンドを使用して、強制オプション (**-F**) を指定します。**installupd** の構文およびオプションについての詳細は、「*Command Reference Guide*」資料を参照してください。

熱伝導グリース

ヒートシンクおよびマイクロプロセッサーで熱伝導グリースを使用するためのガイドラインを判別するには、この情報を使用します。

このタスクについて

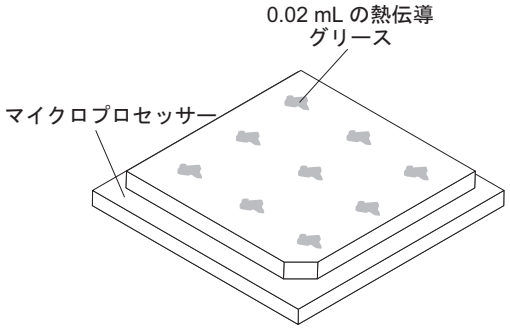
ヒートシンクをマイクロプロセッサー上部から取り外して再利用する場合、またはグリースにごみが付いている場合は、必ず熱伝導グリースを交換してください。

マイクロプロセッサーとヒートシンク上の損傷または汚染した熱伝導グリースを交換するには、以下のステップを実行します。

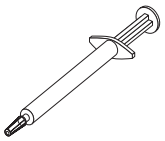
手順

1. ヒートシンク・アセンブリーをきれいな作業面に置きます。
2. クリーニング・パッドをパッケージから取り出し、完全に広げます。
3. クリーニング・パッドを使用して、ヒートシンクの底に付いた熱伝導グリースを拭き取ります。

   注: すべての熱伝導グリースが除去されたことを確認してください。
4. クリーニング・パッドの清潔な部分を使って、マイクロプロセッサーから熱伝導グリースを拭き取ります。熱伝導グリースがすべて除去されたら、クリーニング・パッドを廃棄してください。



5. 熱伝導グリースの注射器を使用して、マイクロプロセッサーの上部にそれぞれ 0.02 mL の 9 個のドットを均一な間隔で配置します。



   注: 注射器の 1 目盛りが 0.01mL です。グリースが適切に塗布されると、注射器には約半分 (0.22 mL) のグリースが残ります。
6. 354 ページの『マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り付け』のマイクロプロセッサー取り付け手順に従って続行します。

第 5 章 部品リスト - IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734

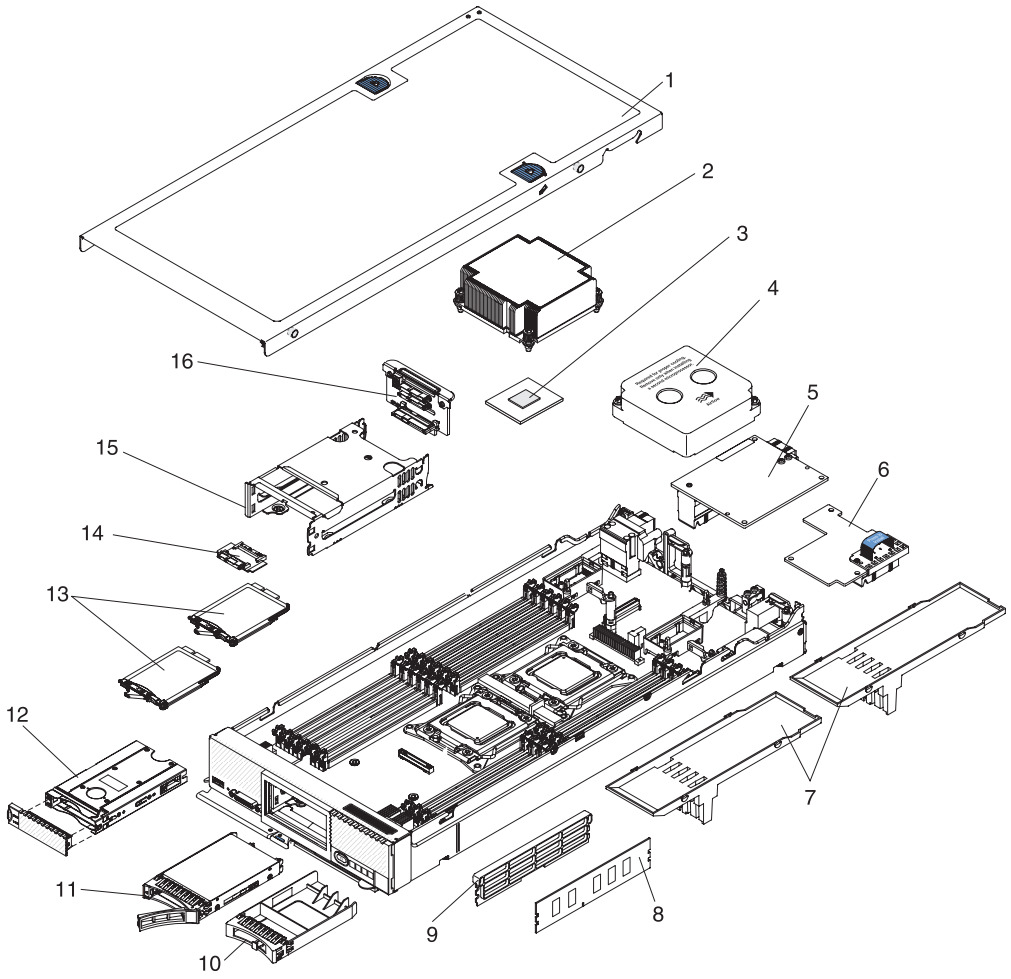
IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 では、以下の交換可能コンポーネントが使用可能です。Web で更新済みの部品リストを参照するには、次の手順を実行してください。

注: IBM Web サイトには定期的に変更が加えられています。実際の手順は、本書の説明とは少し異なる場合があります。

1. http://www.ibm.com/systems/support/supportsite.wss/brandmain?brandind=5000020 にアクセスしてください。
2. 「**Product support**」の下にある「**IBM Flex System**」をクリックします。
3. 「**Popular links**」の下にある「**Part documents lookup**」をクリックします。
4. 「**Product Family**」メニューから「**IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734**」を選択して、「**Go**」をクリックします。

注: 本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

© Copyright IBM Corp. 2011



管理ノードの交換可能コンポーネント

交換可能コンポーネントには、消耗部品、構造部品、およびお客様による交換が可能な部品 (CRU) があります。

- **消耗部品:** 消耗部品 (寿命のあるバッテリーやプリンター・カートリッジなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が消耗部品の入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。
- **構造部品:** 構造部品 (トップ・カバーおよびベゼルなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が構造部品の入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。
- **Tier 1 CRU (お客様による交換が可能な部品):** IBM が Tier 1 と指定する CRU の交換はお客様ご自身の責任で行っていただきます。サービス契約を締結していない場合に、お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。
- **Tier 2 のお客様による交換が可能な部品:** Tier 2 と指定された CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象の管理ノードに指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付けを要求することもできます。

保証の条件およびサービスと支援を得るための情報については、「*保証情報*」資料を参照してください。

索引	説明	CRU 部品番号 (Tier 1)	CRU 部品番号 (Tier 2)
2	ヒートシンク、前部マイクロプロセッサー		81Y5126
2	ヒートシンク、後部マイクロプロセッサー		81Y5127
3	Intel Xeon プロセッサー、E5-26X0 8C 2.0 GHz 20 MB キャッシュ 1600 MHz 95W		81Y5167
5	IBM Flex System CN4054 10 Gb 仮想ファブリック・アダプター		90Y3557
5	IBM Flex System FC3172 2 ポート 8 Gb FC アダプター		69Y1941
6	IBM Flex System ETE アダプター	49Y4988	
8	メモリー、4 GB 1R x 4 2 Gbit DDR-3 1333 MHz LP RDIMM	49Y1424	
8	メモリー、8 GB 2R x 4 2 Gbit DDR-3 1333 MHz LP RDIMM	49Y1415	
9	フィラー、DIMM	81Y5133	
11	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ SATA 1 TB 7.2 Krpm	81Y9731	
12	ソリッド・ステート・ドライブ・マウント・スリーブ		
13	ソリッド・ステート・ドライブ、200 GB HDD、SATA 1.8 型	40K6897	
14	ソリッド・ステート・ドライブ変換コネクター・カード	49Y4983	
16	ソリッド・ステート・ドライブおよびハード・ディスクのバックプレーン	49Y4986	
	システム・ボード付き基本アセンブリー		94Y4862
	ファブリック・コネクター	81Y5175	
	Light Path LED カード	81Y5290	
	IBM Flex System コンソール・ブレークアウト・ケーブル	81Y5287	
	ベゼル、前面アセンブリー	81Y5130	
	ヒートシンク、後部マイクロプロセッサー	81Y5127	
	前面ハンドル・アセンブリー	81Y5203	
	アダプター保持アセンブリー	94Y4866	
	各種部品キット	81Y5135	
	FRU キット	81Y5131	
	アルコール・ワイプ		59P4739
	熱伝導グリース		41Y9292
	CMOS バッテリー、3.0 ボルト (すべてのモデル)	33F8354	
	ラベル・キット	94Y4863	
	マイクロプロセッサー取り付けツール		94Y9955
	RFID ラベル・タグ・アセンブリー (EMEA)	00E6323	
	RFID ラベル・タグ・アセンブリー (US)	74Y8800	

各種部品キット

各種部品キットでは以下の部品が提供されています。
- アダプター保持アセンブリー
- トリム・ベゼル

消耗部品および構造部品

消耗部品および構造部品は、IBM の「保証の内容と制限」の対象とはなっていません。

表 8. 消耗部品および構造部品

索引	説明	消耗部品番号
1	カバー (すべてのモデル)	81Y5129
4	フィラー、前部マイクロプロセッサー・ソケット	81Y5134
7	DIMM 上のエアー・バッフル	81Y5177
15	ストレージ・ドライブ・ケージ	94Y4867
	シャーシ・バルクヘッド	94Y4869
	前面ハンドル・アセンブリー	81Y5203
	ラベル・アセンブリー・キット	94Y4863

消耗部品あるいは構造部品を注文するには、以下のステップを実行してください。

1. http://www.ibm.com にアクセスしてください。
2. 「**Products**」メニューから「**Upgrades, accessories & parts**」を選択します。
3. 「**Obtain maintenance parts**」をクリックし、説明に従って小売店に部品を注文します。

注文の際に支援が必要な場合は、小売部品ページにリストされているフリーダイヤル番号に電話するか、最寄りの IBM 担当員にお問い合わせください。

付録. ヘルプおよび技術サポートの入手

ヘルプ、サービス、技術支援、または IBM 製品に関する詳しい情報が必要な場合は、IBM がさまざまな形で提供している支援をご利用いただけます。この情報を使用して、IBM と IBM 製品に関する追加情報の入手、ご使用の IBM システムあるいはオプション装置で問題が発生した場合の対処方法の判別、およびサービスが必要になった場合の連絡先の判別を行います。

依頼する前に

連絡する前に、以下の手順を実行して、必ずお客様自身で問題の解決を試みてください。

ご使用の IBM 製品において IBM が保証サービスを実行する必要があると確信する場合は、お客様に連絡前の準備をしていただくことで、IBM サービス技術員がより効果的な支援を行うことができます。

- ご使用の IBM 製品用に更新されたファームウェアおよびオペレーティング・システム・デバイス・ドライバーがないか確認してください。 IBM 保証条件は、IBM 製品の所有者であるお客様の責任で、製品のソフトウェアおよびファームウェアの保守および更新を行う必要があることを明記しています (追加の保守契約によって保証されていない場合)。お客様の IBM サービス技術員は、問題の解決策がソフトウェアのアップグレードで文書化されている場合、ソフトウェアおよびファームウェアをアップグレードすることを要求します。

  IBM Flex System Manager 管理ソフトウェアで、IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 内のデバイス用のファームウェアとデバイス・ドライバーが最新のものであるかどうかを判別してください。
- ご使用の環境に新規のハードウェアまたはソフトウェアをインストールした場合は、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を確認して、ご使用の IBM 製品がそのハードウェアおよびソフトウェアをサポートしていることを確認してください。
- http://www.ibm.com/supportportal/ にアクセスし、問題解決に役立つ情報がないかを調べます。
- IBM サービスに提供するために、次の情報を収集します。このデータは、IBM サービスがお客様の問題を時間をかけずに解決するために役立ち、またお客様が契約したレベルのサービスを受け取ることを確実にします。
  - ハードウェアおよびソフトウェアの保守契約番号 (該当する場合)
  - マシン・タイプ番号 (IBM の 4 桁のマシン ID)
  - 型式番号
  - シリアル番号
  - 現行のシステム UEFI およびファームウェアのレベル
  - エラー・メッセージやログなど、その他関連情報

© Copyright IBM Corp. 2011

- IBM Flex System Manager 管理ソフトウェアから手動サービス要求を送信します。手動サービス要求を送信すると、問題に関する保守データが要求に組み込まれるので、IBM が問題の診断を迅速に開始するために役立ちます。
- Electronic Service Request を送信するには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request にアクセスしてください。Electronic Service Request を送信すると、IBM サービスが迅速に、そして効果的に関連情報を使用できるようになることで、お客様の問題の解決策を判別するプロセスが開始されます。IBM サービス技術員は、お客様が Electronic Service Request を完了および送信するとすぐに、解決策の作業を開始できます。

資料の使用

IBM システム、およびプリインストール・ソフトウェア、あるいはオプション装置に関する情報は、製品に付属の資料に記載されています。資料には、印刷された説明書、オンライン資料、README ファイル、およびヘルプ・ファイルがあります。

診断プログラムの使用方法については、システム資料にあるトラブルシューティングに関する情報を参照してください。トラブルシューティング情報または診断プログラムを使用した結果、デバイス・ドライバーの追加や更新、あるいは他のソフトウェアが必要になることがあります。IBM は WWW に、最新の技術情報を入手したり、デバイス・ドライバーおよび更新をダウンロードできるページを設けています。このページにアクセスするには http://www.ibm.com/supportportal/ を参照してください。

Flex System 製品ファミリーに関する最新の情報は、 http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/index.jsp に掲載されています。

ヘルプおよび情報を WWW から入手する

IBM 製品およびサポートに関する最新の情報を WWW から入手できます。

WWW 上の http://www.ibm.com/supportportal/ では、IBM システム、オプション装置、サービス、およびサポートについての最新情報が提供されています。

Flex System 製品ファミリーに関する最新の製品情報は、 http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/index.jsp に掲載されています。

ソフトウェアのサービスとサポート

IBM サポート・ラインを使用すると、IBM 製品での使用法、構成、およびソフトウェアの問題について、電話によるサポートを有料で受けることができます。

使用する国または地域で、サポート・ラインがサポートする製品について詳しくは、 http://www.ibm.com/services/supline/products/ をご覧ください。

サポート・ラインおよびその他の IBM サービスについての詳細は、http://www.ibm.com/services/ を参照するか、またはサポートの電話番号については http://www.ibm.com/planetwide/ を参照してください。米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

ハードウェアのサービスとサポート

ハードウェアの保守は、IBM 販売店か IBM サービスを通じて受けることができます。

保証サービスを提供する IBM 認定販売店を見つけるには、 http://www.ibm.com/partnerworld/ にアクセスして、ページの右側にある「**パートナーを探す**」をクリックしてください。IBM サポートの電話番号については、http://www.ibm.com/planetwide/ を参照してください。米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

米国およびカナダでは、ハードウェア・サービスおよびサポートは、1 日 24 時間、週 7 日ご利用いただけます。英国では、これらのサービスは、月曜から金曜までの午前 9 時から午後 6 時までご利用いただけます。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものであり、本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態で提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。 IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

商標

IBM、IBM ロゴおよび ibm.com® は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。

© Copyright IBM Corp. 2011

現時点での IBM の商標リストについては、 http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml の「Copyright and trademark information」をご覧ください。

Adobe および PostScript は、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Cell Broadband Engine は、米国およびその他の国における Sony Computer Entertainment, Inc. の商標であり、同社の許諾を受けて使用しています。

Intel、Intel Xeon、Itanium、Pentium は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft、Windows、および Windows NT は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

重要事項

プロセッサーの速度とは、マイクロプロセッサーの内蔵クロックの速度を意味しますが、他の要因もアプリケーション・パフォーマンスに影響します。

CD または DVD のドライブ・スピードは、読み取り速度が変動します。実際の速度は記載された速度と異なる場合があり、最大可能な速度よりも遅いことがあります。

主記憶装置、実記憶域と仮想記憶域、またはチャネル転送量を表す場合、KB は 1024 バイト、MB は 1,048,576 バイト、GB は 1,073,741,824 バイトを意味します。

ハード・ディスクの容量、または通信ボリュームを表すとき、MB は 1,000,000 バイトを意味し、GB は 1,000,000,000 バイトを意味します。ユーザーがアクセス可能な総容量は、オペレーティング環境によって異なる可能性があります。

内蔵ハード・ディスクの最大容量は、IBM から入手可能な現在サポートされている最大のドライブを標準ハード・ディスクの代わりに使用し、すべてのハード・ディスク・ベイに取り付けることを想定しています。

最大メモリーは標準メモリーをオプション・メモリー・モジュールと取り替える必要があることもあります。

IBM は、ServerProven® に登録されている他社製品およびサービスに関して、商品性、および特定目的適合性に関する黙示的な保証も含め、一切の保証責任を負いません。これらの製品は、第三者によってのみ提供および保証されます。

IBM は、他社製品に関して一切の保証責任を負いません。他社製品のサポートがある場合は、IBM ではなく第三者によって提供されます。

いくつかのソフトウェアは、その小売り版 (利用可能である場合) とは異なる場合があり、ユーザー・マニュアルまたはすべてのプログラム機能が含まれていない場合があります。

サーバーの廃棄・譲渡時のハード・ディスク上のデータ消去に関するご注意

これらのサーバーの中のハード・ディスクという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。従ってそのサーバーを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。
ところがこのハード・ディスク内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。「データを消去する」という場合、一般に

- データを「ゴミ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ゴミ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化 (フォーマット) する
- 付属のリカバリー・プログラムを使い、工場出荷状態に戻す

などの作業をすると思いますが、これらのことをしても、ハード・ディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際にデータが消された状態ではありません。つまり、一見消去されたように見えますが、Windows® などの OS のもとで、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っているという状態にあるのです。

従いまして、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このサーバーのハード・ディスク内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

サーバーの廃棄・譲渡等を行う際に、ハード・ディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハード・ディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。消去するためには、ハード・ディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊して読めなくする、または、専用ソフトウェアあるいはサービス (共に有償) をご利用になられることを推奨します。

なお、ハード・ディスク上のソフトウェア (オペレーティング・システム、アプリケーション・ソフトウェアなど) を削除することなくサーバーを譲渡すると、ソフトウェア・ライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、十分な確認を行う必要があります。

データ消去支援サービスまたは機器リサイクル支援サービスについての詳細は、弊社営業担当員または「ダイヤル IBM」044-221-1522 へお問い合わせください。

粒子汚染

重要: 浮遊微小粒子 (金属片や微粒子を含む) や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わされることで、本書に記載されている装置にリスクをもたらす可能性があります。

過度のレベルの微粒子や高濃度の有害ガスによって発生するリスクの中には、装置の誤動作や完全な機能停止の原因となり得る損傷も含まれます。以下の仕様では、このような損傷を防止するために設定された微粒子とガスの制限について説明しています。以下の制限を、絶対的な制限としてみなしたり、使用したりしてはなりません。微粒子や環境腐食物質、ガスの汚染物質移動が及ぼす影響の度合いは、温度や空気中の湿気など他の多くの要因によって左右されるからです。本書で説明されている具体的な制限がない場合は、人体の健康と安全の保護を脅かすことのない微粒子とガスのレベルを維持するよう、実践していく必要があります。お客様の環境の微粒子あるいはガスのレベルが装置損傷の原因であると IBM が判断した場合、IBM は、装置または部品の修理あるいは交換の条件として、かかる環境汚染を改善する適切な是正措置の実施を求める場合があります。かかる是正措置は、お客様の責任で実施していただきます。

表 9. 微粒子およびガスの制限

汚染物質	**制限**
微粒子	• 室内の空気は、ASHRAE Standard 52.2 に従い、大気粉塵が 40% のスポット効率で継続してフィルタリングされなければならない (MERV 9 準拠) 1。 • データ・センターに取り入れる空気は、MIL-STD-282 に準拠する HEPA フィルターを使用し、99.97% 以上の粒子捕集率効果のあるフィルタリングが実施されなければならない。 • 粒子汚染の潮解相対湿度は、60% を超えていなければならない 2。 • 室内には、亜鉛ウィスカーのような導電性汚染があってはならない。
ガス	• 銅: ANSI/ISA 71.04-1985 準拠の Class G1 3 • 銀: 腐食率は 30 日間で 300 Å 未満

1 ASHRAE 52.2-2008 - 一般的な換気および空気清浄機器について、微粒子の大きさごとの除去効率をテストする方法。Atlanta: American Society of Heating, Refrigerating and Air-Conditioning Engineers, Inc.

2 粒子汚染の潮解相対湿度とは、水分を吸収した塵埃が、十分に濡れてイオン導電性を持つようになる湿度のことです。

3 ANSI/ISA-71.04-1985。プロセス計測およびシステム制御のための環境条件: 気中浮遊汚染物質。 Instrument Society of America, Research Triangle Park, North Carolina, U.S.A.

通信規制の注記

This product is not intended to be connected directly or indirectly by any means whatsoever to interfaces of public telecommunications networks, nor is it intended to be used in a public services network.

本製品は、電気通信事業者の通信回線への直接、またはそれに準ずる方式での接続を目的とするものではありません。

電波障害自主規制特記事項

この装置にモニターを接続する場合は、モニターに付属の指定のモニター・ケーブルおよび電波障害抑制装置を使用してください。

Federal Communications Commission (FCC) statement

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

Properly shielded and grounded cables and connectors must be used in order to meet FCC emission limits. IBM is not responsible for any radio or television interference caused by using other than recommended cables and connectors or by unauthorized changes or modifications to this equipment. Unauthorized changes or modifications could void the user's authority to operate the equipment.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules.Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that might cause undesired operation.

Industry Canada Class A emission compliance statement

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Australia and New Zealand Class A statement

Attention: This is a Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

European Union EMC Directive conformance statement

This product is in conformity with the protection requirements of EU Council Directive 2004/108/EC on the approximation of the laws of the Member States relating to electromagnetic compatibility. IBM cannot accept responsibility for any failure to satisfy the protection requirements resulting from a nonrecommended modification of the product, including the fitting of non-IBM option cards.

Attention: This is an EN 55022 Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

Responsible manufacturer:

International Business Machines Corp.
New Orchard Road
Armonk, New York 10504
914-499-1900

European Community contact:

IBM Technical Regulations, Department M456
IBM-Allee 1, 71137 Ehningen, Germany
Telephone: +49 7032 15-2937
Email: tjahn@de.ibm.com

Germany Class A statement

Deutschsprachiger EU Hinweis: Hinweis für Geräte der Klasse A EU-Richtlinie zur Elektromagnetischen Verträglichkeit

Dieses Produkt entspricht den Schutzanforderungen der EU-Richtlinie 2004/108/EG zur Angleichung der Rechtsvorschriften über die elektromagnetische Verträglichkeit in den EU-Mitgliedsstaaten und hält die Grenzwerte der EN 55022 Klasse A ein.

Um dieses sicherzustellen, sind die Geräte wie in den Handbüchern beschrieben zu installieren und zu betreiben. Des Weiteren dürfen auch nur von der IBM empfohlene Kabel angeschlossen werden. IBM übernimmt keine Verantwortung für die Einhaltung der Schutzanforderungen, wenn das Produkt ohne Zustimmung der IBM verändert bzw. wenn Erweiterungskomponenten von Fremdherstellern ohne Empfehlung der IBM gesteckt/eingebaut werden.

EN 55022 Klasse A Geräte müssen mit folgendem Warnhinweis versehen werden: "Warnung: Dieses ist eine Einrichtung der Klasse A. Diese Einrichtung kann im Wohnbereich Funk-Störungen verursachen; in diesem Fall kann vom Betreiber verlangt werden, angemessene Maßnahmen zu ergreifen und dafür aufzukommen."

Deutschland: Einhaltung des Gesetzes über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten

Dieses Produkt entspricht dem "Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten (EMVG)". Dies ist die Umsetzung der EU-Richtlinie 2004/108/EG in der Bundesrepublik Deutschland.

Zulassungsbescheinigung laut dem Deutschen Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten (EMVG) (bzw. der EMC EG Richtlinie 2004/108/EG) für Geräte der Klasse A

Dieses Gerät ist berechtigt, in Übereinstimmung mit dem Deutschen EMVG das EG-Konformitätszeichen - CE - zu führen.

Verantwortlich für die Einhaltung der EMV Vorschriften ist der Hersteller:

International Business Machines Corp.
New Orchard Road
Armonk, New York 10504
914-499-1900

Der verantwortliche Ansprechpartner des Herstellers in der EU ist:

IBM Deutschland
Technical Regulations, Department M456
IBM-Allee 1, 71137 Ehningen, Germany
Telephone: +49 7032 15-2937
Email: tjahn@de.ibm.com

Generelle Informationen:

Das Gerät erfüllt die Schutzanforderungen nach EN 55024 und EN 55022 Klasse A.

VCCI クラス A 情報技術装置

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

電子情報技術産業協会 (JEITA) 表示

高調波ガイドライン準用品

電子情報技術産業協会 (JEITA) 承認済み (変更付き) 高調波指針 (1 相当たりの入力電流が 20 A より大きい機器)

Korea Communications Commission (KCC) statement

이 기기는 업무용(A급)으로 전자파적합기기로서 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기 바라며, 가정외의 지역에서 사용하는 것을 목적으로 합니다.

This is electromagnetic wave compatibility equipment for business (Type A). Sellers and users need to pay attention to it. This is for any areas other than home.

Russia Electromagnetic Interference (EMI) Class A statement

ВНИМАНИЕ! Настоящее изделие относится к классу А.
В жилых помещениях оно может создавать радиопомехи, для снижения которых необходимы дополнительные меры

People's Republic of China Class A electronic emission statement

中华人民共和国“A类”警告声明

声 明

此为A级产品，在生活环境中，该产品可能会造成无线电干扰。在这种情况下，可能需要用户对其干扰采取切实可行的措施。

Taiwan Class A compliance statement

警告使用者:
這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

アダプター保持アセンブリー
  取り外し 324
  取り付け 325
アレイ、SAS 343
安全、点検 vi
安全に関する注意書き v, viii
イベント・ログ 21
  管理ノードを再始動せずに表示 22
インフォメーション・センター 374
エラー
  接続 295
  メモリー 299
  目視で確認できる問題 300
エラー・コード 26
  IMM 26
  IMM2 26
  UEFI 診断コード 275
汚染、粒子およびガス 380
オプション・デバイス、取り付け 307

[カ行]

ガイドライン
  システムの信頼性 308
  電気機器の保守 vii
  取り付け 307
  トレーニングを受けたサービス技術員 vi
概要、IBM Flex System Manager 管理ソフトウェア 13
拡張コネクター 12
ガス汚染 380
活動 LED 8
カバー
  取り外し 317
  取り付け 318
管理対象リソース 13
管理ノード (management node)
  トラブルシューティング 295
  取り外し 309
  取り付け 311
  部品リスト 369
管理ノードが CMM と通信できない 296
管理ノードのコンポーネントの取り外しおよび交換 307
管理ノードの再始動 11
管理ノードの始動 11
管理ノードの停止 11
管理ノードの電源オフ 11
管理ノードの電源オン 11
管理ノード・カバー
  取り付け 318
関連資料 2
「危険」の注記、意味 6
技術員により交換される部品 (FRU) 307
交換
  熱伝導グリース 366
構成
  最小 305
コネクター、システム・ボード 12
コントロール・パネル・コネクター 12
コンピュート・ノード
  Power Systems 15
  X-Architecture 14
コンポーネント
  管理ノード、取り外しおよび交換 307
  図示 7
  返却 309

[サ行]

サービスとサポート
  依頼する前に 373
  ソフトウェア 374
  ハードウェア 375
再現性の低い接続の問題 299
再現性の低い問題 297
最小構成 305
支援、入手 373
識別 LED 8
事項、重要 378
システムの信頼性に関する ガイドライン 308
システム・イベント・ログ 21
システム・ボード
  コネクター 12
システム・ボードのコンポーネント
  場所 7
システム・ボードの変換コネクター用コネクター
  取り外し 337
システム・ボード・アセンブリー、IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734
  取り外し 363
  取り付け 365
質量、IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 6
シャーシ、IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 のサポート 1
シャーシ・バルクヘッド
  取り外し 313
  取り付け 315
「重要」の注記、意味 6
重要な注意 378
出版物、関連した 2
主要なコンポーネント
  システム・ボード 7
仕様
  IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 6
障害 LED 8
商標 378
消耗部品および構造部品、取り外しと交換 313
消耗部品および構造部品の取り外しと交換 313
資料
  使用 374
資料 CD 4
資料、関連した 2
新磁気ディスク制御機構 (RAID)
  SAS アレイ 343
診断ツール 17
スケーリング・カード・コネクター 12
寸法、IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 6
静電気 308
静電気に弱い装置、取り扱い 308
接続の問題 295
前面ハンドル
  取り外し 316
  取り付け 316
装置、返却 309
装置またはコンポーネントの返却 309
ソフトウェアのサービスおよびサポートの電話番号 374
ソリッド・ステート・ドライブ
  取り外し 344
  取り付け 345

© Copyright IBM Corp. 2011

[タ行]

チェック・ログ LED 8
「注意」の注記、意味 6
通信規制の注記 380
通信できない 295
粒子汚染 380
電気機器、保守 vii
電気機器の保守 vii
電源 LED 8
点検、安全 vi
電源共用コネクター 12
電源ボタン 8
電源ボタン/LED
  高速で点滅 303
  問題 303
電子情報技術産業協会表示 383
電波障害自主規制特記事項 381
特記事項 377
ドライブ
  オプション、SAS 343
トラブルシューティング 17
  ソリッド・ステート・ドライブ 296
  トラブルシューティング表 295, 303
  ハード・ディスク 296
  CMM と通信できない 295, 296
  I/O モジュールと通信できない 296
  Service Bulletin 17
トラブルシューティング表 295
  電源オン問題 303
  ハード・ディスクの問題 296
取り外し
  管理ノード (management node) 309
  前面ハンドル 316
  ベゼル 327
  ホット・スワップ・ハード・ディスク 342
  IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734 309
取り付け
  オプション装置 307
  管理ノード (management node) 311
  ベゼル 327
  ホット・スワップ・ハード・ディスク 343
  SAS ハード・ ディスク 343
取り付けのガイドライン 307
トレーニングを受けたサービス技術員、ガイドライン vi

[ナ行]

入手、ヘルプ 374
熱伝導グリース、交換 366
ノード・カバー
  取り外し 317

[ハ行]

ハードウェアおよびソフトウェア
  要件 4
ハードウェアのサービスとサポート電話番号 375
ハード・ディスク
  トラブルシューティング 296
  ホット・スワップ、取り付け 343
  問題 296
ハイパーバイザー変換コネクター用コネクター 12
バッテリー 12
  取り外し 328
  取り付け 329
パフォーマンスの問題 302
ハンドル、前面
  取り付け 316
ヒートシンク
  取り外し 351
  取り付け 354
  熱伝導グリース 366
ファブリック・コネクター
  取り外し 337
  取り付け 339
部品リスト 369, 370
ベゼル
  取り外し 327
  取り付け 327
ヘルプ
  入手 373
ヘルプ、WWW 374
ボタン
  キーボード、ビデオ、マウス 8
  電源 8
  メディア・トレイ選択 8
ホット・スワップ・ストレージ・ケージ
  取り外し 320
  取り付け 321
ホット・スワップ・ストレージ・デバイス
  SAS ハード・ ディスク 343
ホット・スワップ・ストレージ・バックプレーン
  取り外し 340
  取り付け 341
ホット・スワップ・ハード・ディスク
  取り外し 342

[マ行]

マイクロプロセッサー
  取り外し 351
  取り付け 354
  熱伝導グリース 366
マイクロプロセッサー保持アセンブリー
  取り外し 360
マイクロプロセッサー保持アセンブリー *(続き)*
  取り付け 361
マイクロプロセッサー・コネクター 12
マイクロプロセッサー・テストのエラー・コード 294
未解決問題 305
メッセージ
  マイクロプロセッサー・テスト、DSA 294
  IMM 26
  UEFI 診断コード 275
メディア・トレイ選択 LED 8
メディア・トレイ選択ボタン 8
メモリーの問題 299
メモリー・ミラーリング 332
メモリー・モジュール
  取り外し 331
  取り付け 332
目視で確認できる問題 300
問題
  偶発的 297
  再現性の低い接続 299
  接続 295
  パフォーマンス 302
  未解決 305
  メモリー 299
  目視で確認できる問題 300

[ヤ行]

要件
  ソフトウェア 4
  ハードウェア 4
  ハードウェアおよびソフトウェア 4

[ラ行]

リカバリー
  CMM 313

A

Australia Class A statement 381

C

China Class A electronic emission statement 384
Class A electronic emission notice 381
CMM
  リカバリー 313
CMM と通信できない 295
CRU の取り外しと交換 323, 345
CRU、Tier 1、取り外しと交換 323

CRU、Tier 2、取り外しと交換 345

D

DIMM
取り外し 331
取り付け 332
DIMM コネクター 12
Documentation Browser
使用 5
Documentation CD 4
DSA
実行 24
テキスト・メッセージ 25
テスト結果の表示 25
マイクロプロセッサー・テスト 294
メッセージ 293
DSA 293
DSA 診断
概要 23
DSA テスト結果の表示 25
DSA ログ 21
Dynamic System Analysis 診断
参照： DSA

E

electronic emission Class A notice 381
ETE アダプター
取り外し 346
取り付け 347
European Union EMC Directive conformance statement 382

F

FCC Class A notice 381

G

Germany Class A statement 382

I

IBM Flex System Manager Type 7955、8731、および 8734
質量 6
仕様 6
寸法 6
取り外し 309
IBM Flex System Manager 管理ソフトウェア 14, 15
シャーシ・マネージメント・モジュール (CMM) 14
IBM Flex System Manager 管理ソフトウェア の概要 13
IMM2
システム・イベント・ログ、Setup ユーティリティーから表示 22
Setup ユーティリティーからの表示 22
Industry Canada Class A emission compliance statement 381
I/O 拡張アダプター
取り外し 348
取り付け 349
I/O 拡張コネクター (CIOv) 12
I/O 拡張コネクター (SSD) 12
I/O モジュールと通信できない 296

J

JEITA 表示 383

K

Korea Communications Commission statement 383
KVM 選択 LED 8
KVM 選択ボタン 8

L

LED
活動 8
識別 8
障害 8
チェック・ログ 8
電源 8
表示 17
メディア・トレイ選択 8
KVM 選択 8
Light Path 診断 17
Light Path 診断、確認 17

N

New Zealand Class A statement 381
notices
electronic emission 381
FCC, Class A 381

P

People's Republic of China Class A electronic emission statement 384
POST イベント・ログ 21

R

Russia Class A electromagnetic interference statement 384
Russia Electromagnetic Interference (EMI) Class A statement 384

S

safety v
SAS
アレイ
サポートされるタイプ 343
SAS ハード・ ディスク
取り付け 343
ホット・スワップ・ストレージ・デバイス 343
SCSI 343
Serial Attached SCSI (SAS)
ホット・スワップ・ハード・ディスク
取り付け 343
Service Bulletin 17
SSD
取り付け 345
参照： ソリッド・ステート・ドライブ
SSD マウント・スリーブ
取り外し 322
取り付け 323

T

Taiwan Class A compliance statement 384
Tier 1 CRU 307
Tier 1 CRU、取り外しと交換 323
Tier 2 CRU 307
Tier 2 CRU、取り外しと交換 345

U

UEFI 診断コード 275
United States electronic emission Class A notice 381
United States FCC Class A notice 381

V

VCCI クラス A 情報技術装置 383

部品番号: 00D1129

Printed in Japan

(1P) P/N: 00D1129

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21